

# V 調査結果

## [解説・グラフ]

## 〔1〕 県の基本政策について

問1 「経済の活性化」について、第3期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで〇印）

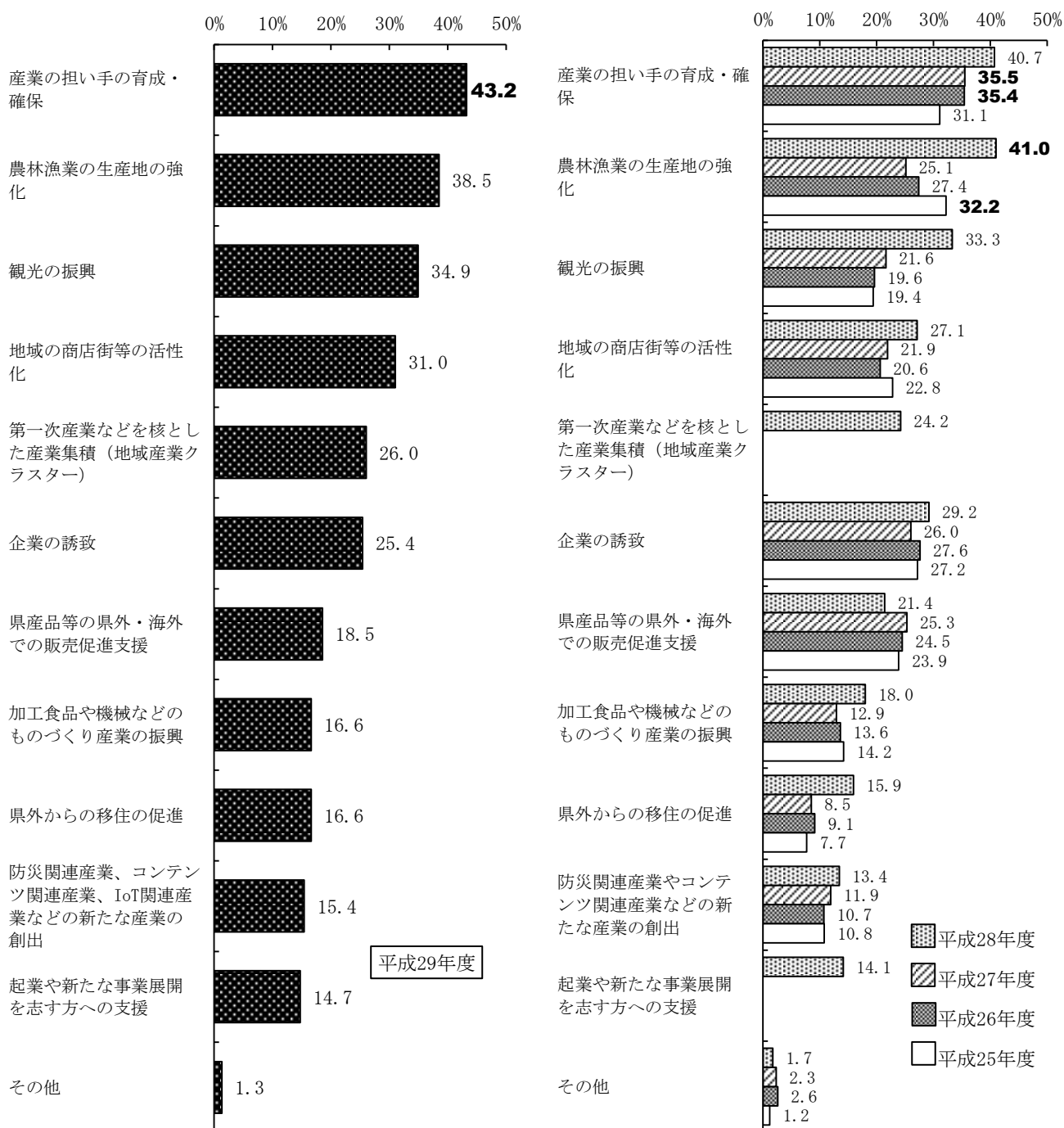
【総合】 「産業の担い手の育成・確保」が43.2%と1位になっている。

次いで「農林漁業の生産地の強化」が38.5%、「観光の振興」が34.9%と続いている。

【過去の調査との比較】

選択肢の一部が変更されたため単純な比較はできないが、昨年度2位だった「産業の担い手の育成・確保」が今年度は1位になっており、昨年度1位だった「農林漁業の生産地の強化」が2位になっている。

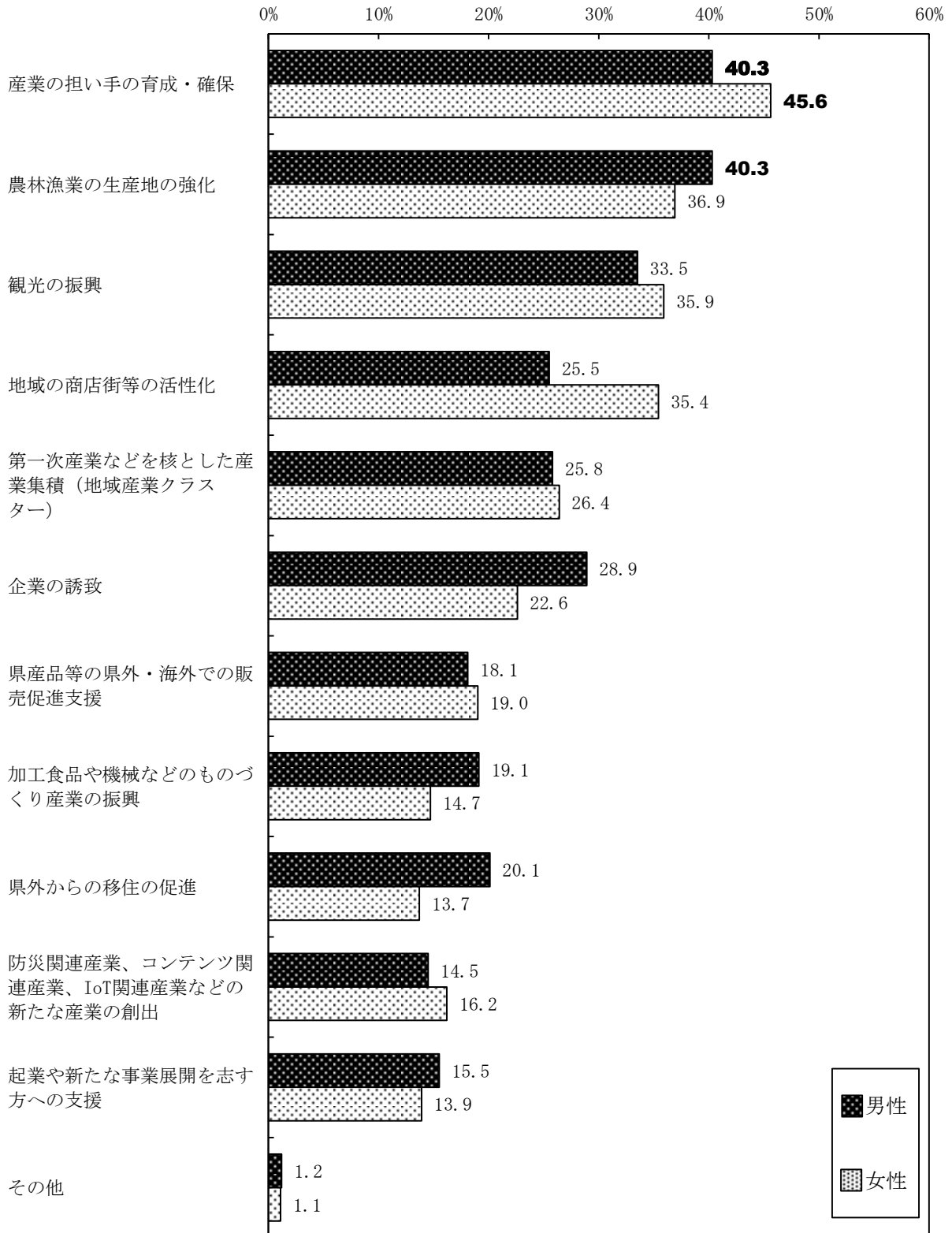
### 《 総 合 》



【性別】

男性では「産業の担い手の育成・確保」と「農林漁業の生産地の強化」が、女性では「産業の担い手の育成・確保」が1位になっている。

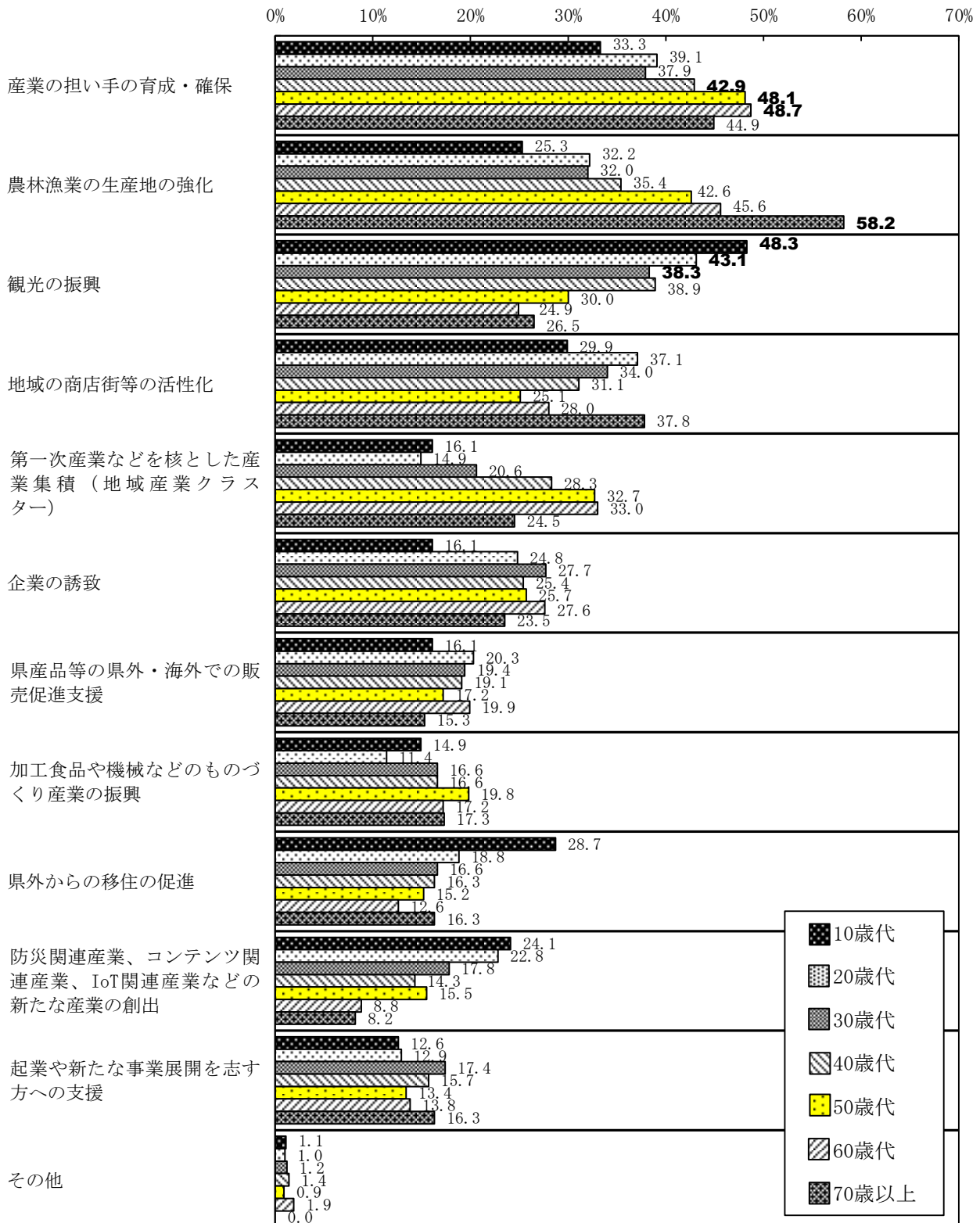
《 性別 》



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「観光の振興」が、40歳代、50歳代、60歳代では「産業の担い手の育成・確保」が、70歳以上では「農林漁業の生産地の強化」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目 属性		農林漁業の生産地の強化	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	新たな産業の創出	防災関連産業、コンテンツ関連産業、IoT関連産業などの新たな産業の創出	観光の振興	県産品等の県外・海外での販売促進支援	産業の担い手の育成・確保	県外からの移住の促進	第一次産業などを核とした産業集積（地域産業クラスター）	起業や新たな事業展開を志す方への支援	企業の誘致	地域の商店街等の活性化	その他
		職業別	農林業	70.1	14.4	10.3	16.5	27.8	45.4	13.4	32.0	17.5	15.5	14.4
	漁業	77.8	11.1	0.0	22.2	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	11.1	55.6	0.0	
	商工サービス業自営	36.2	20.3	8.7	40.6	10.1	43.5	21.7	26.1	21.7	21.7	31.9	0.0	
	事務職	37.2	16.1	19.7	34.9	18.3	47.7	14.7	23.4	9.6	36.7	30.3	0.5	
	技術職	29.4	14.9	17.0	39.4	18.1	44.3	18.8	22.7	14.9	28.7	32.3	1.1	
	労務職	37.4	20.7	12.3	35.0	20.2	41.4	15.3	24.1	17.7	26.6	30.0	0.5	
	管理職	43.8	21.9	15.6	37.5	20.3	39.1	15.6	35.9	10.9	32.8	20.3	1.6	
	自由業	36.4	9.1	18.2	18.2	18.2	50.0	13.6	31.8	22.7	27.3	40.9	0.0	
	主婦・主夫	39.6	12.8	16.8	28.2	20.8	47.7	12.1	32.2	10.1	22.1	34.9	2.7	
	学生	26.7	13.8	29.3	41.4	19.0	35.3	22.4	18.1	14.7	15.5	34.5	0.9	
	無職	43.9	19.6	7.9	29.6	19.6	44.4	14.8	30.7	17.5	21.7	31.2	1.6	
	その他	35.9	17.6	15.9	44.7	12.9	37.1	18.8	27.6	13.5	23.5	34.1	1.8	
広域市町村圏別	高知市	33.0	15.1	17.2	37.7	20.6	42.3	17.3	26.6	11.8	27.6	32.1	1.4	
	安芸広域圏	43.9	17.5	12.3	22.8	9.6	51.8	13.2	23.7	15.8	36.8	33.3	0.0	
	南国・香美広域圏	37.1	17.5	14.4	36.2	21.8	39.7	15.7	28.8	16.6	20.1	36.2	1.3	
	嶺北広域圏	47.1	20.6	8.8	32.4	11.8	50.0	17.6	35.3	17.6	20.6	17.6	2.9	
	仁淀川広域圏	34.9	19.8	17.5	32.5	19.0	47.6	15.1	27.8	15.9	26.2	23.8	0.0	
	高吾北広域圏	45.1	9.8	13.7	27.5	23.5	47.1	13.7	19.6	23.5	21.6	29.4	0.0	
	高幡広域圏	48.8	15.4	13.0	28.5	14.6	47.2	21.1	19.5	17.1	17.9	37.4	4.1	
	幡多広域圏	49.3	21.4	14.9	37.3	14.4	38.3	15.4	26.4	17.4	22.9	22.4	0.0	

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第3期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

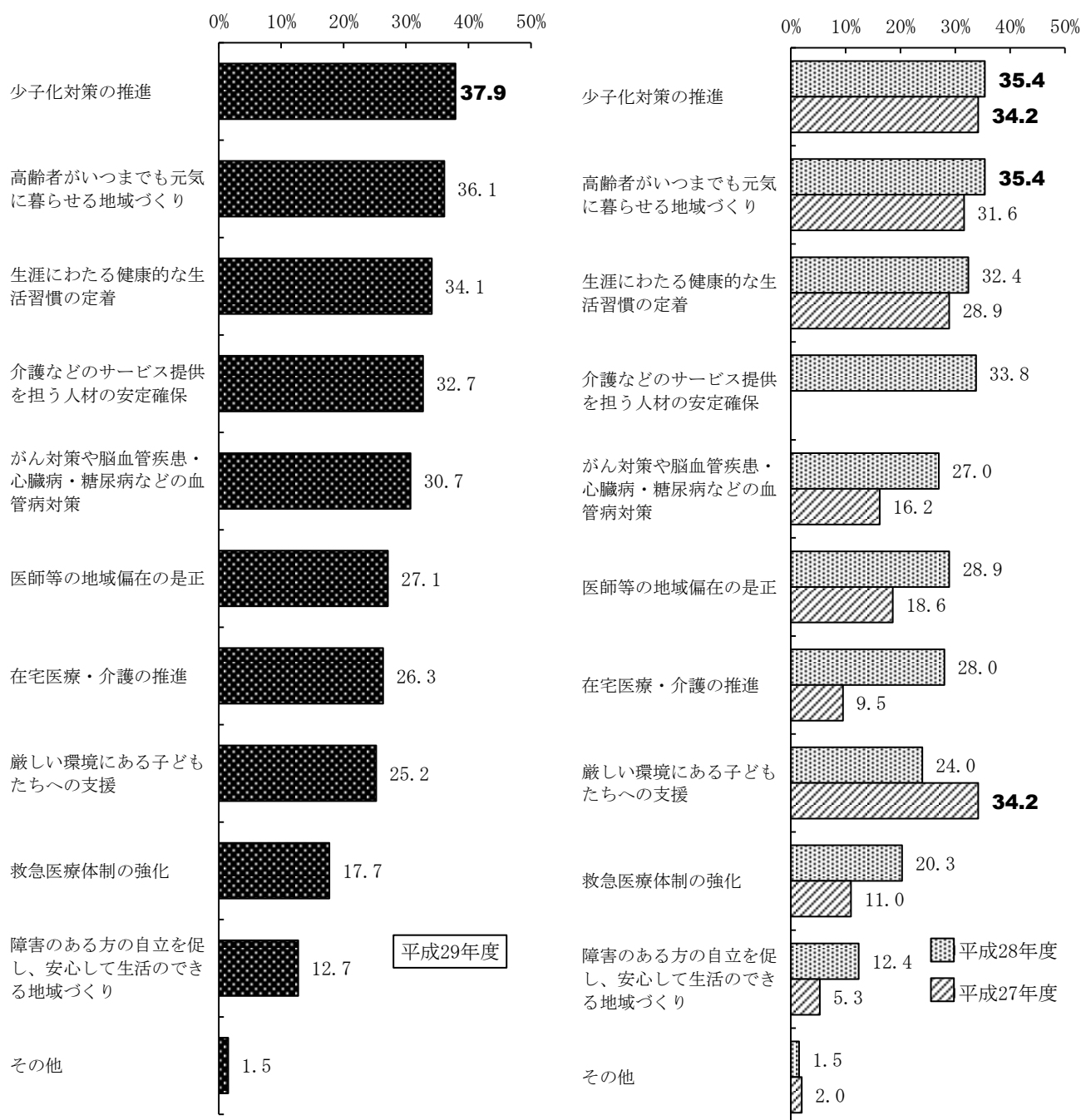
【総合】 「少子化対策の推進」が37.9%で1位になっている。

次いで「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が36.1%、「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が34.1%と続いている。

【過去の調査との比較】

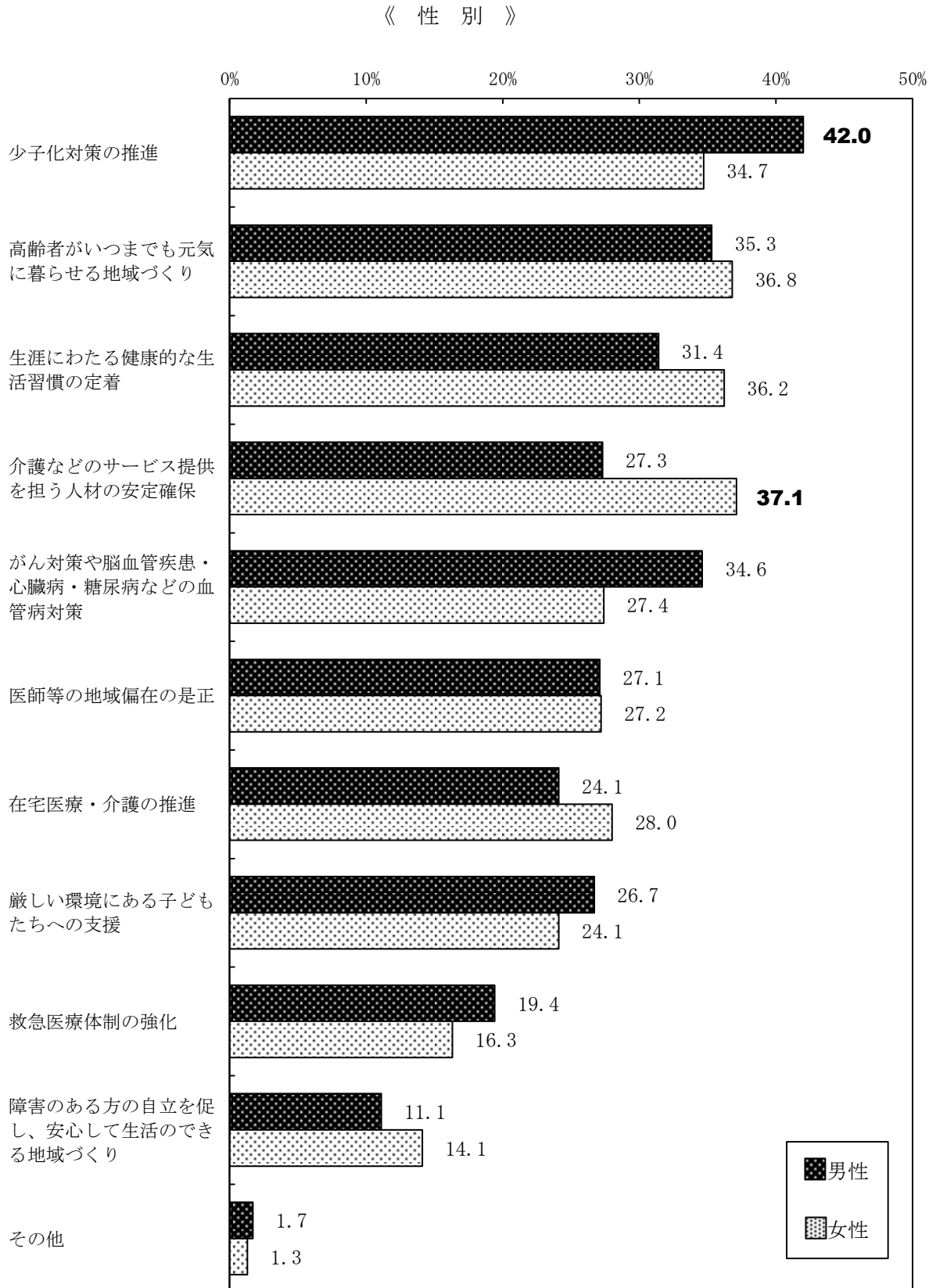
「少子化対策の推進」が昨年度より2.5ポイント増加して1位になっており、昨年度、同率で1位だった「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が0.7ポイント増加しているが2位になっている。

《 総合 》



【性別】

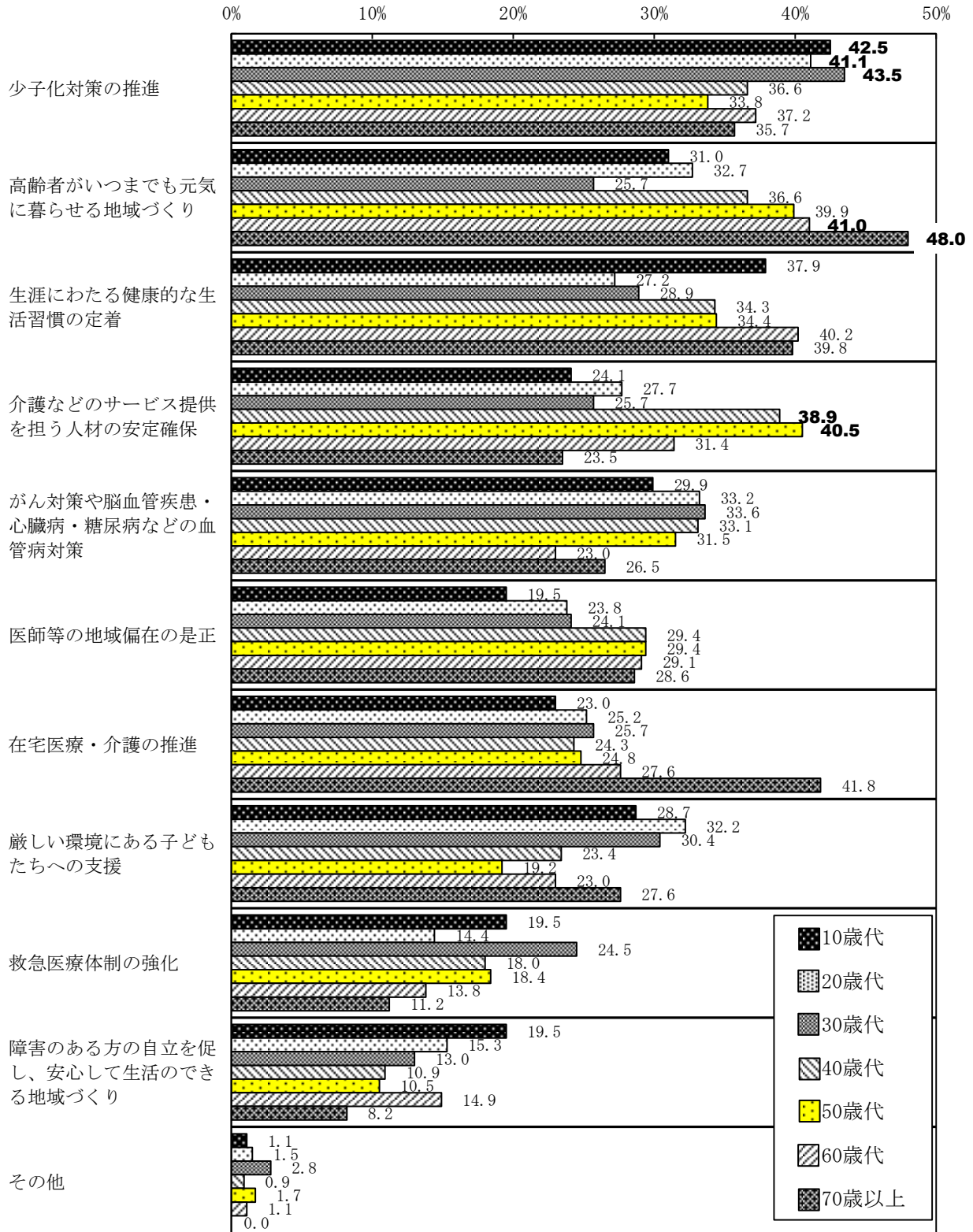
男性では「少子化対策の推進」が、女性では「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が1位になっている。「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」では、女性が男性よりも9.8ポイント高くなっている。



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「少子化対策の推進」が、40歳代、50歳代では「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が、60歳代、70歳以上では「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が1位になっている。

《 年代別 》





《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	医師等の地域偏在の是正	在宅医療・介護の推進	救急医療体制の強化	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり	障害のある方の自立を促し、安心して生活のできる地域づくり	厳しい環境にある子どもたちへの支援	少子化対策の推進	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	その他
職業別	農林業	39.2	39.2	29.9	28.9	18.6	33.0	9.3	17.5	38.1	23.7	2.1
	漁業	66.7	22.2	66.7	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0
	商工サービス業自営	31.9	31.9	31.9	29.0	14.5	34.8	10.1	29.0	40.6	26.1	1.4
	事務職	24.3	38.5	27.5	24.3	19.3	38.1	8.7	26.6	39.9	37.2	0.9
	技術職	25.5	31.9	27.7	25.5	16.3	35.8	12.1	23.8	41.5	40.4	1.4
	労務職	37.9	28.6	25.6	29.1	15.8	34.5	14.3	26.6	37.4	27.6	2.5
	管理職	32.8	34.4	35.9	10.9	29.7	45.3	7.8	17.2	50.0	26.6	1.6
	自由業	27.3	59.1	13.6	40.9	4.5	45.5	9.1	31.8	31.8	27.3	0.0
	主婦・主夫	26.8	34.9	29.5	28.2	16.1	33.6	15.4	22.8	37.6	37.6	2.0
	学生	29.3	34.5	20.7	22.4	18.1	31.9	18.1	29.3	45.7	25.0	1.7
	無職	28.0	36.5	27.0	29.1	14.3	42.3	14.3	28.0	31.2	30.2	0.5
その他	37.6	30.6	23.5	26.5	21.2	34.1	14.7	24.7	30.0	37.1	1.2	
広域市町村圏別	高知市	31.4	36.5	21.8	26.5	13.7	38.3	12.8	25.1	39.7	34.6	1.5
	安芸広域圏	30.7	29.8	45.6	21.1	34.2	28.9	10.5	17.5	32.5	29.8	1.8
	南国・香美広域圏	29.7	30.6	25.3	27.5	19.7	35.4	11.8	29.3	35.8	35.8	0.4
	嶺北広域圏	17.6	41.2	44.1	23.5	14.7	35.3	5.9	20.6	38.2	38.2	2.9
	仁淀川広域圏	29.4	39.7	17.5	26.2	14.3	38.1	17.5	31.0	33.3	27.8	1.6
	高吾北広域圏	33.3	41.2	15.7	33.3	11.8	45.1	9.8	25.5	33.3	41.2	0.0
	高幡広域圏	29.3	24.4	37.4	26.8	18.7	31.7	17.1	23.6	43.9	27.6	2.4
	幡多広域圏	31.8	31.8	37.3	25.4	23.9	31.8	11.4	23.4	38.3	27.9	1.5

問3 「教育の充実と子育て支援」について、教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで〇印）

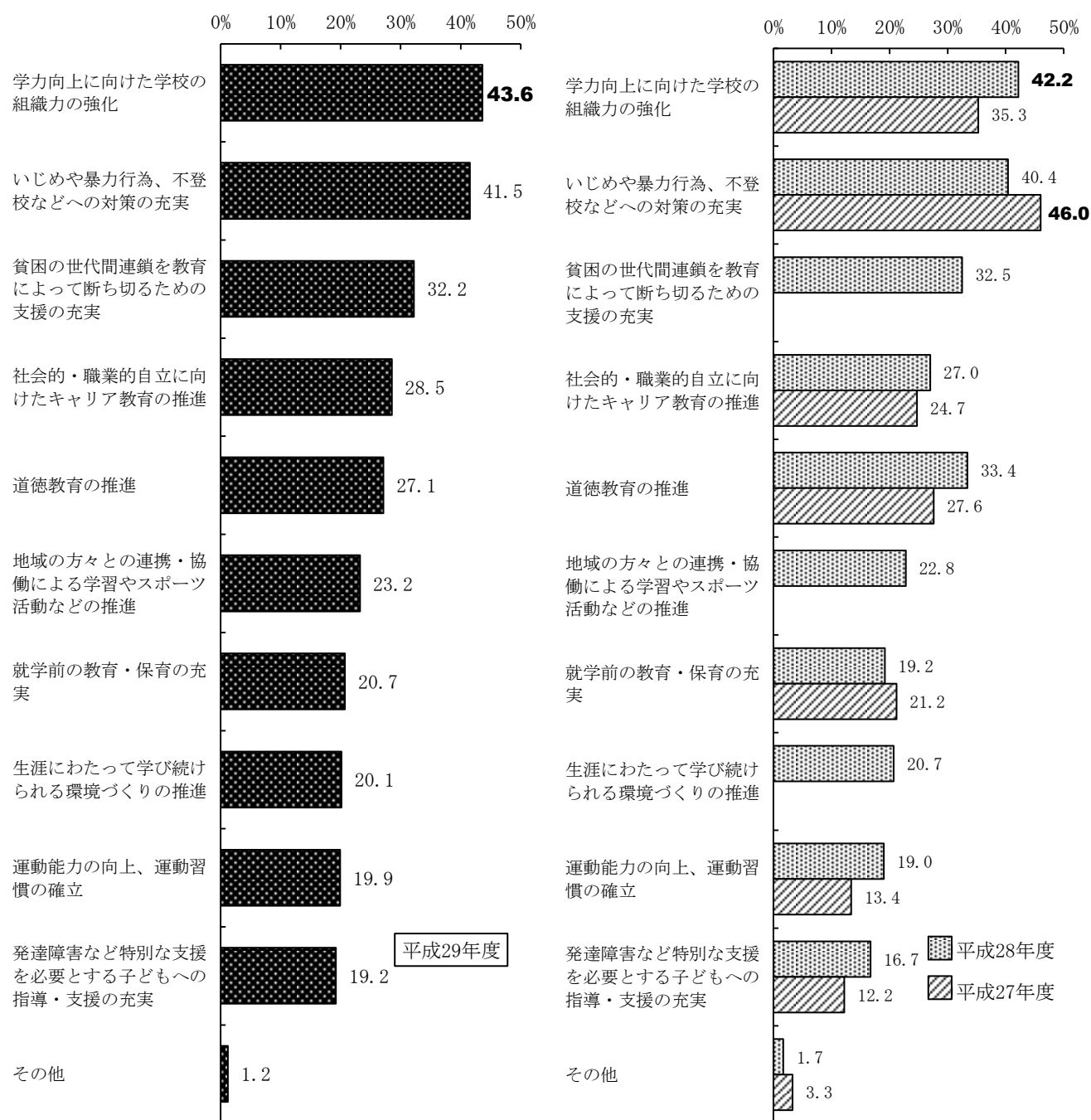
【総合】 「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が43.6%で1位になっている。

次いで「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が41.5%、「貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実」が32.2%と続いている。

【過去の調査との比較】

今年度も、昨年度と同じく「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が1位になっている。「道徳教育の推進」が昨年度から6.3ポイント減少し、3位から5位になっている。

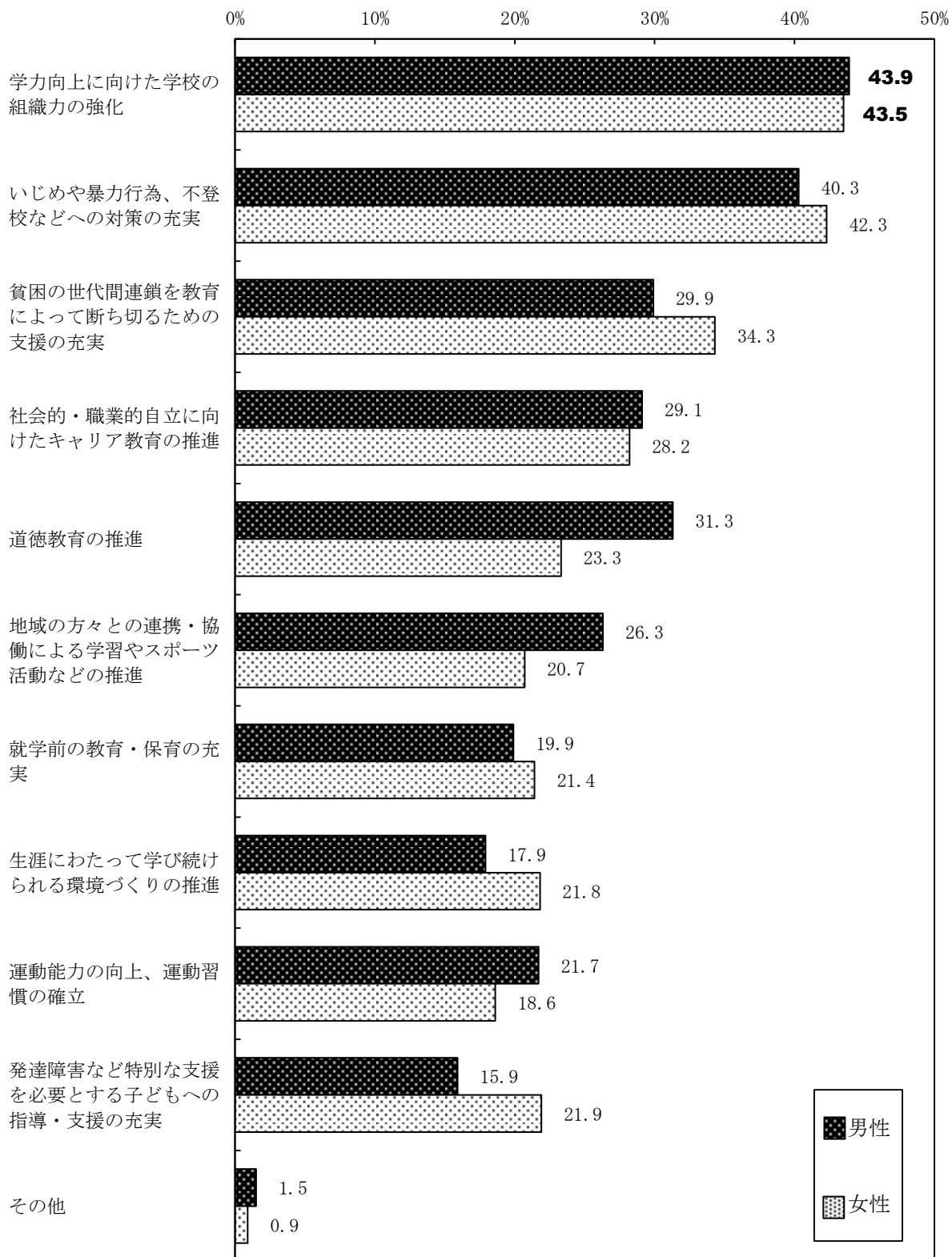
《 総 合 》



【性別】

男女とも「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が、「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が続いており、次いで男性では「道德教育の推進」が、女性では「貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実」が続いている。

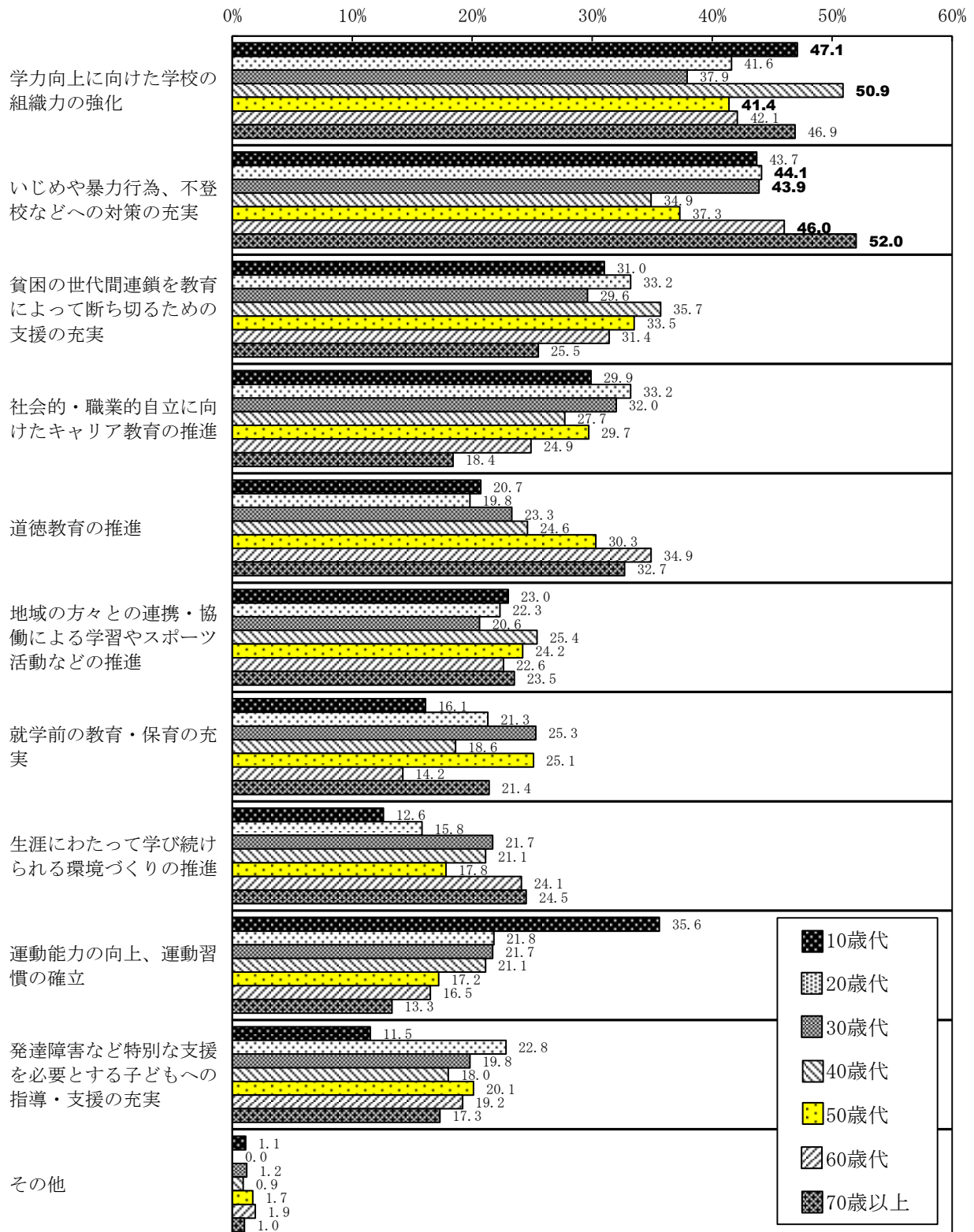
《 性別 》



【年代別】

10歳代、40歳代、50歳代では「学力向上に向けた学校の組織力の強化」、20歳代、30歳代、60歳代、70歳以上では「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属 性		項 目	学力向上に向けた学校の組織力の強化	道徳教育の推進	運動能力の向上、運動習慣の確立	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	就学前の教育・保育の充実	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	その他
職業別	農林業	47.4	37.1	17.5	32.0	16.5	23.7	34.0	33.0	8.2	21.6	3.1	
	漁業	33.3	44.4	11.1	0.0	11.1	22.2	66.7	22.2	33.3	11.1	0.0	
	商工サービス業自営	36.2	27.5	17.4	34.8	18.8	37.7	33.3	29.0	21.7	21.7	0.0	
	事務職	51.8	20.6	18.8	31.2	13.3	37.6	36.2	21.6	22.0	22.9	1.4	
	技術職	41.5	22.7	17.0	33.3	24.8	32.3	31.9	25.2	29.1	19.1	0.7	
	労務職	38.9	33.5	21.7	24.6	17.7	34.5	47.3	19.7	18.7	17.7	0.5	
	管理職	48.4	32.8	32.8	21.9	14.1	23.4	31.3	32.8	25.0	21.9	3.1	
	自由業	45.5	31.8	18.2	22.7	27.3	36.4	40.9	27.3	18.2	13.6	0.0	
	主婦・主夫	40.3	23.5	11.4	28.9	24.2	32.9	48.3	19.5	27.5	19.5	2.0	
	学生	47.4	18.1	32.8	25.9	17.2	32.8	41.4	27.6	15.5	12.1	0.0	
	無職	39.7	32.3	19.6	24.3	19.0	29.1	55.0	16.9	11.1	27.0	1.1	
その他	47.6	27.1	23.5	28.8	18.8	32.4	45.3	21.2	20.6	17.6	1.8		
広域市町村圏別	高知市	44.5	24.8	19.3	29.3	20.3	34.4	39.2	24.1	21.1	19.7	1.4	
	安芸広域圏	40.4	32.5	17.5	31.6	15.8	29.8	41.2	12.3	21.9	24.6	0.0	
	南国・香美広域圏	38.9	31.4	17.9	26.2	18.8	31.9	45.4	21.0	24.0	22.7	0.4	
	嶺北広域圏	41.2	32.4	20.6	20.6	17.6	32.4	35.3	35.3	11.8	17.6	2.9	
	仁淀川広域圏	47.6	25.4	23.8	31.0	22.2	28.6	43.7	23.8	17.5	16.7	1.6	
	高吾北広域圏	52.9	31.4	25.5	19.6	11.8	37.3	43.1	25.5	9.8	19.6	0.0	
	高幡広域圏	40.7	25.2	26.8	25.2	23.6	32.5	37.4	23.6	22.8	21.1	1.6	
幡多広域圏	44.8	26.4	18.4	31.8	15.9	27.4	47.3	26.4	19.9	16.4	1.5		

問4 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第3期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

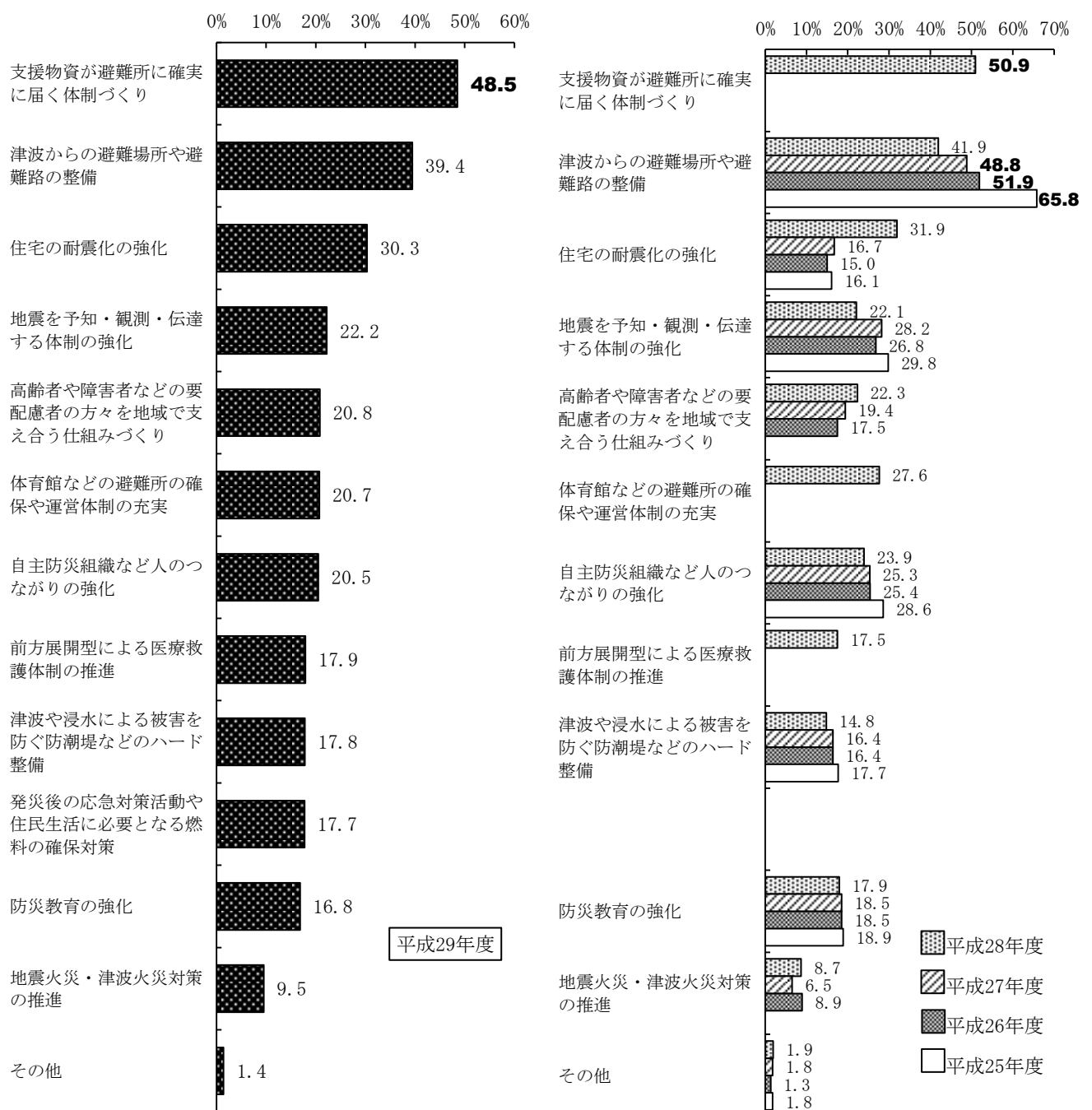
【総合】 「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が48.5%で1位になっている。

次いで「津波からの避難場所や避難路の整備」が39.4%、「住宅の耐震化の強化」が30.3%と続いている。

【過去の調査との比較】

選択数が増えられたため単純な比較はできないが、昨年度と同じく今年度も「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が1位になっている。

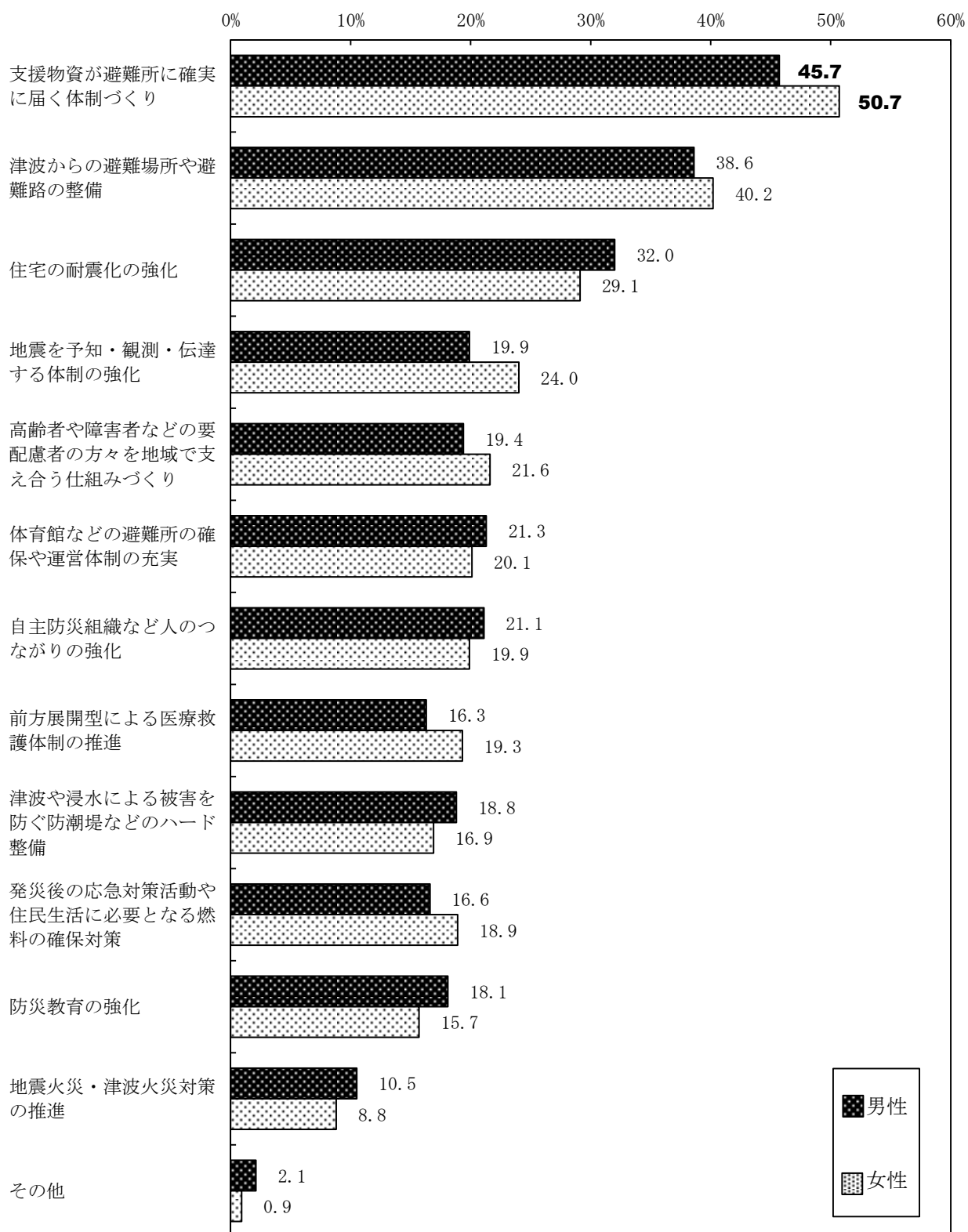
《 総 合 》



【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

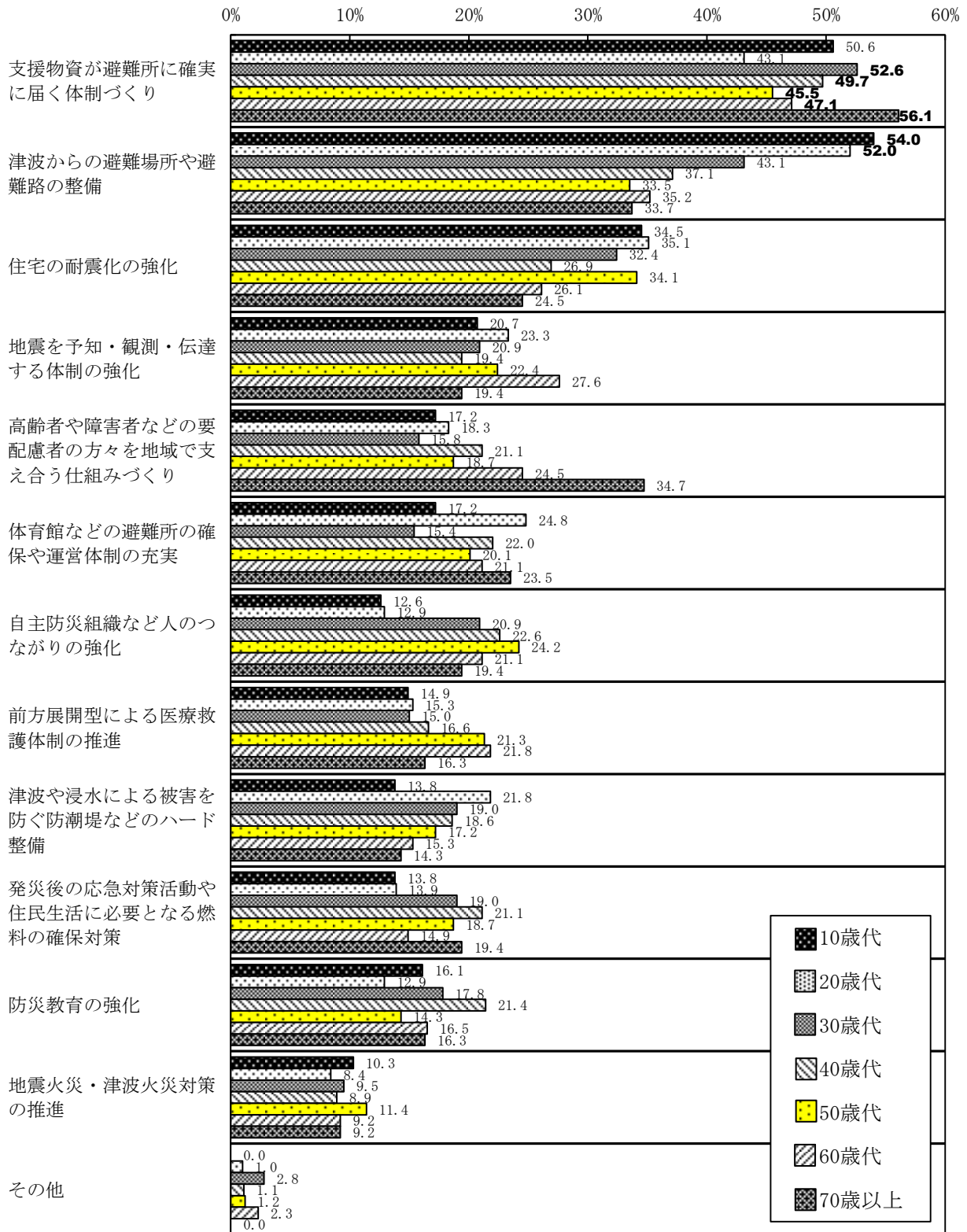
《 性別 》



【年代別】

10歳代、20歳代では「津波からの避難場所や避難路の整備」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が1位になっている。

《 年 代 別 》





《職業別・広域市町村圏別・沿岸部別》

(単位：％)

項目		住宅の耐震化の強化	津波からの避難場所や避難路の整備	営体制の充実	体育館などの避難所の確保や運	支援助資が避難所に確実に届く体制づくり	前方展開型による医療救護体制の推進	防災教育の強化	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	地震火災・津波火災対策の推進	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	地震を予知・観測・伝達する体制の強化	自主防災組織など人のつながりの強化	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	その他
職業別	農林業	34.0	34.0	12.4	49.5	19.6	20.6	20.6	6.2	12.4	26.8	20.6	16.5	3.1	
	漁業	11.1	88.9	11.1	44.4	0.0	0.0	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0	11.1	0.0	
	商工サービス業自営	31.9	42.0	23.2	43.5	21.7	15.9	27.5	14.5	17.4	13.0	20.3	13.0	1.4	
	事務職	28.9	39.9	23.9	44.5	17.0	20.2	17.9	7.8	18.3	21.1	28.0	17.9	1.4	
	技術職	29.1	39.0	22.7	48.2	18.4	18.8	19.5	8.2	17.4	18.4	23.0	21.6	1.1	
	労務職	32.5	35.5	16.7	55.2	15.8	7.4	23.2	8.9	21.2	21.7	14.3	26.1	2.0	
	管理職	31.3	35.9	21.9	31.3	14.1	29.7	15.6	9.4	21.9	28.1	31.3	15.6	0.0	
	自由業	31.8	27.3	13.6	59.1	27.3	13.6	27.3	9.1	9.1	27.3	22.7	27.3	0.0	
	主婦・主夫	27.5	38.9	21.5	46.3	21.5	16.8	22.1	8.7	18.1	24.8	22.1	14.1	2.7	
	学生	33.6	60.3	18.1	44.8	15.5	15.5	19.0	12.1	17.2	20.7	12.1	8.6	0.9	
	無職	30.7	35.4	24.3	54.0	18.5	14.8	22.8	11.1	14.8	22.8	17.5	14.8	0.0	
その他	31.8	38.2	19.4	50.6	18.2	16.5	17.6	11.8	18.8	26.5	18.2	16.5	2.4		
広域市町村圏別	高知市	31.3	38.2	22.1	48.7	16.5	16.9	19.6	10.3	19.9	22.4	19.4	17.5	1.1	
	安芸広域圏	27.2	39.5	18.4	49.1	23.7	9.6	11.4	13.2	21.1	21.1	17.5	25.4	0.0	
	南国・香美広域圏	26.6	35.8	20.5	45.9	20.1	18.3	20.1	10.9	19.7	22.7	22.3	21.0	0.9	
	嶺北広域圏	35.3	29.4	32.4	47.1	20.6	20.6	23.5	8.8	2.9	20.6	26.5	14.7	2.9	
	仁淀川広域圏	34.1	46.8	14.3	47.6	15.9	17.5	20.6	7.9	15.9	25.4	23.0	15.1	2.4	
	高吾北広域圏	39.2	37.3	23.5	37.3	21.6	15.7	29.4	5.9	11.8	25.5	27.5	13.7	2.0	
	高幡広域圏	28.5	44.7	17.9	48.8	17.1	18.7	27.6	6.5	11.4	20.3	23.6	18.7	4.1	
幡多広域圏	29.4	43.8	19.9	53.2	17.9	16.4	22.9	7.5	15.9	19.9	17.9	14.9	1.5		
部別	沿岸部	27.3	46.5	18.8	47.0	17.9	14.3	17.7	10.7	21.7	23.9	16.8	20.3	1.8	
	非沿岸部	32.2	35.9	21.6	49.0	17.9	18.0	22.1	9.1	15.7	21.3	22.5	16.6	1.3	

問5 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

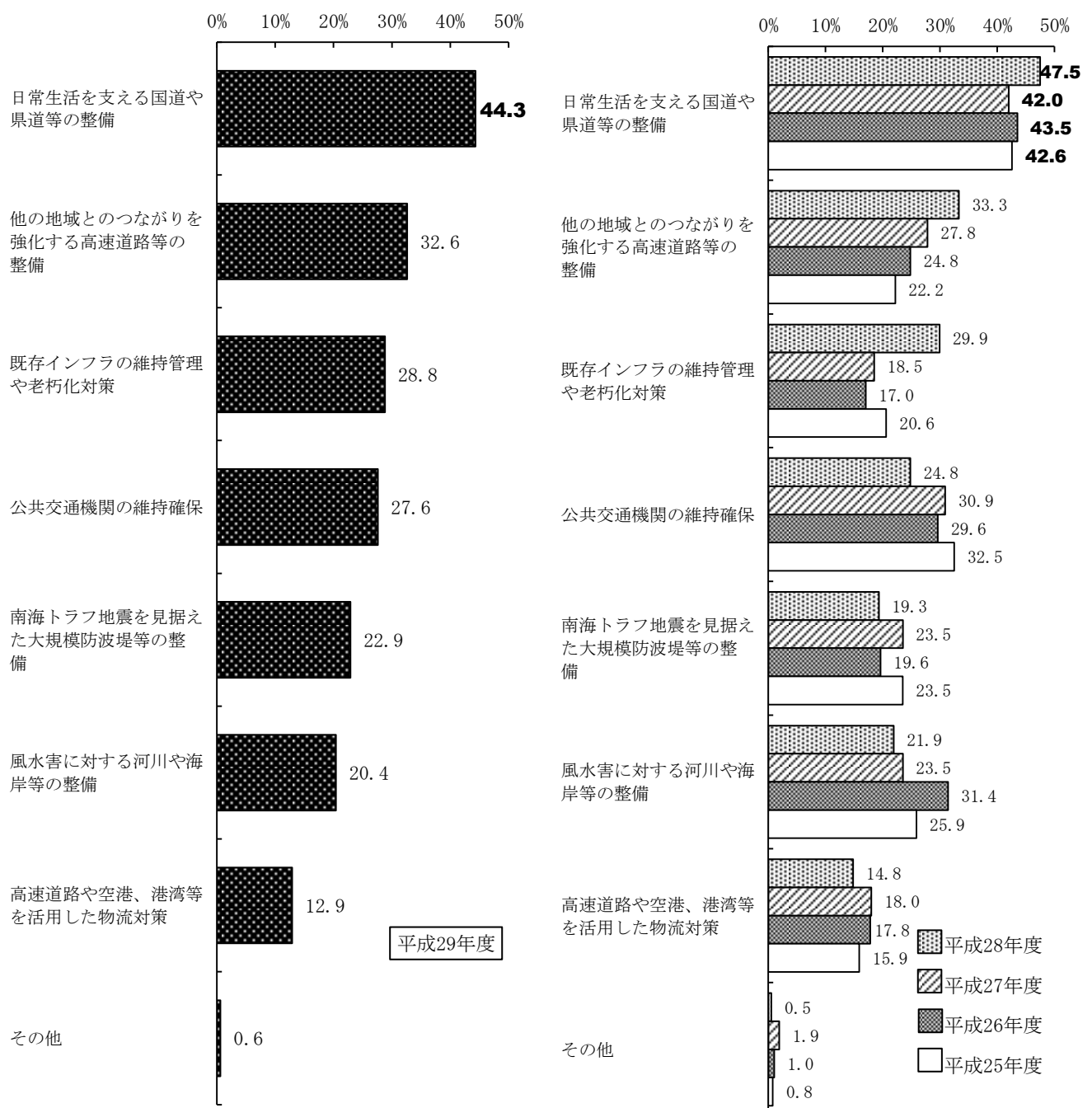
【総合】 「日常生活を支える国道や県道等の整備」が44.3%と1位になっている。

次いで「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が32.6%、「既存インフラの維持管理や老朽化対策」が28.8%と続いている。

【過去の調査との比較】

今年度も、昨年度と同じく「日常生活を支える国道や県道等の整備」が1位になっており、以降の順位もほぼ同じとなっている。

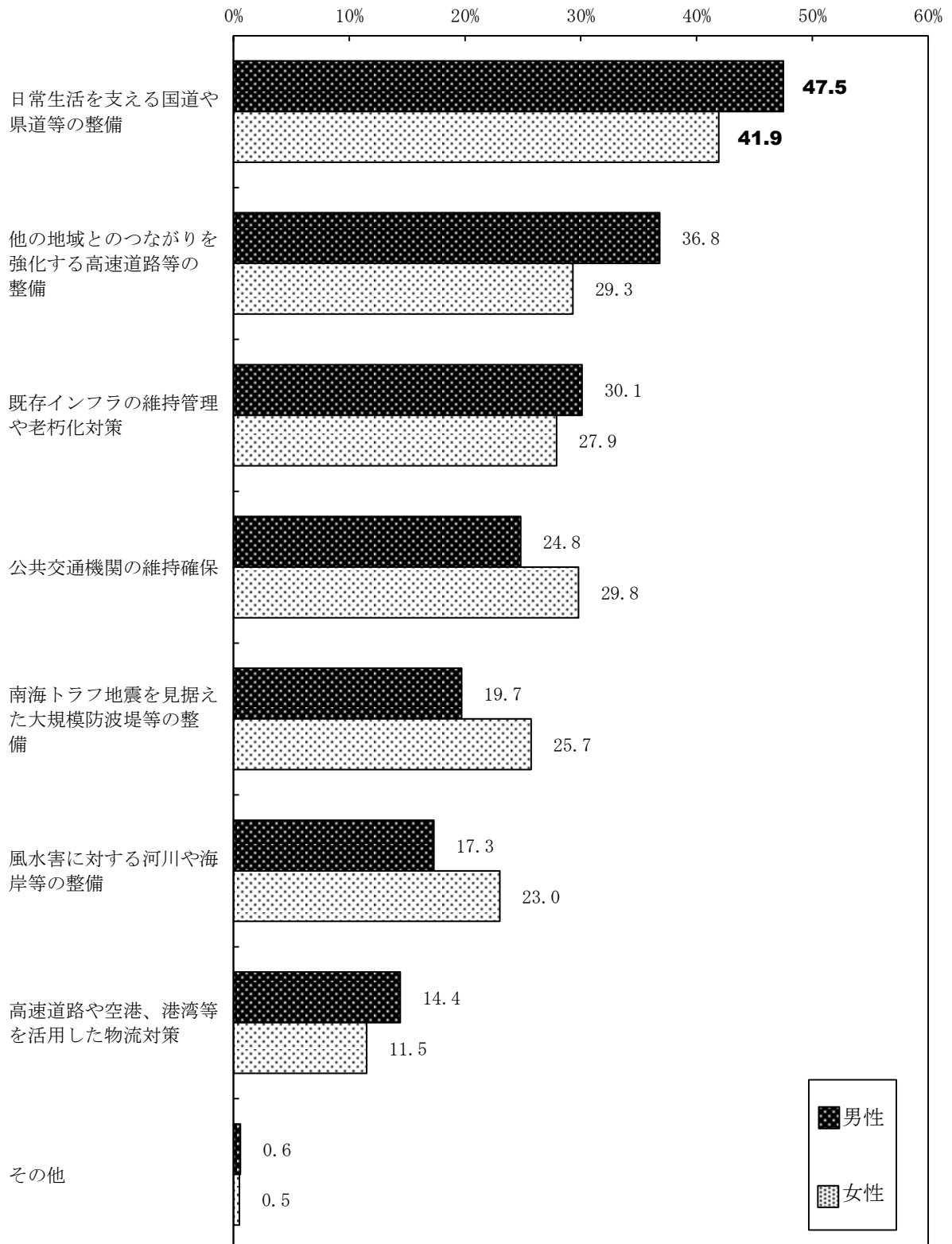
《 総 合 》



【性別】

男女とも「日常生活を支える国道や県道等の整備」が1位になっている。次いで男性では「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」、女性では「公共交通機関の維持確保」、「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が続いている。

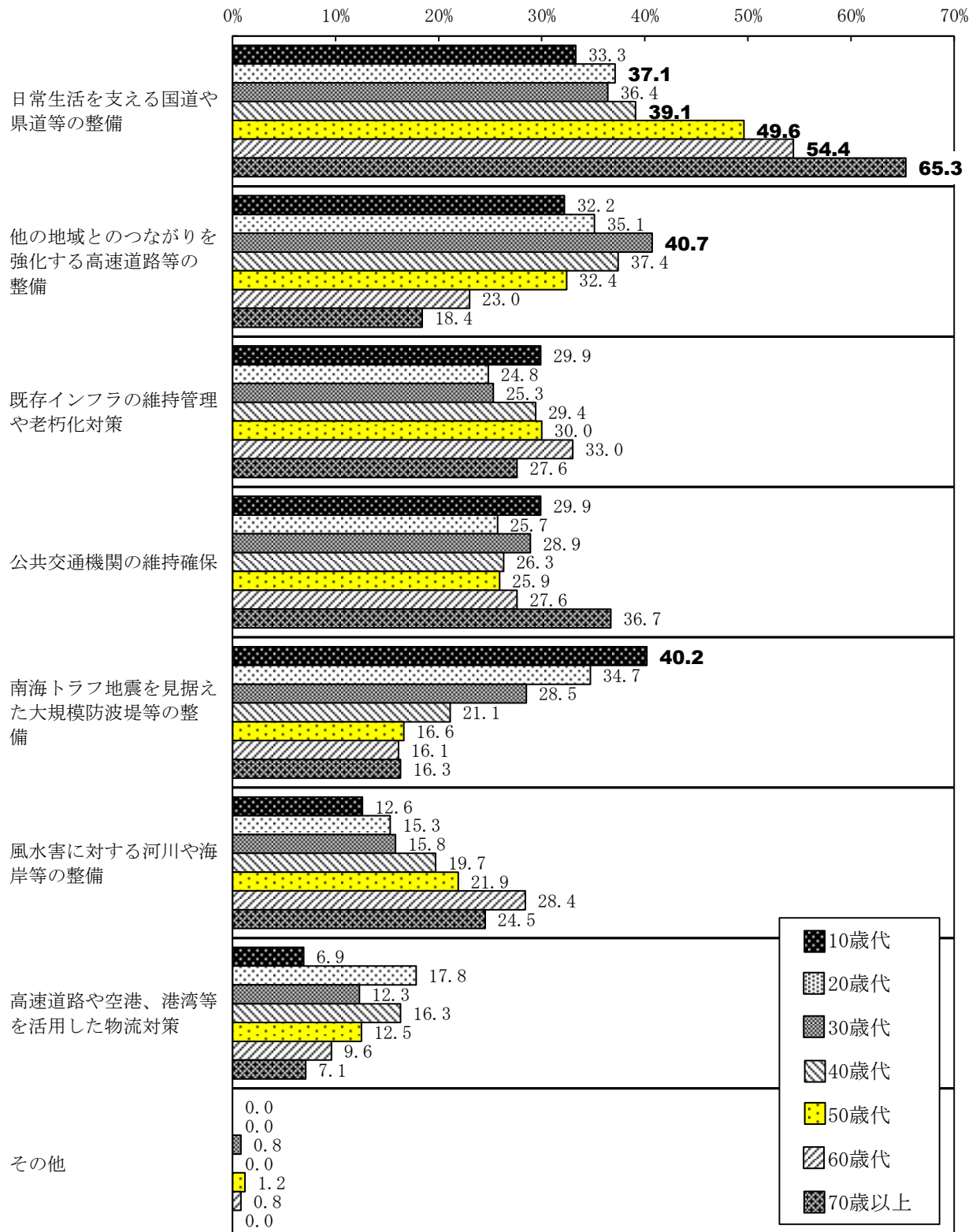
《 性別 》



【年代別】

10歳代では「南海トラフ地震を見据えた大規模防波堤等の整備」が、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、30歳代では「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が、70歳以上では「日常生活を支える国道や県道等の整備」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属性		項目	高速道路等の整備	他の地域とのつながりを強化する	日常生活を支える国道や県道等の整備	風水害に対する河川や海岸等の整備	南海トラフ地震を見据えた大規模防波堤等の整備	既存インフラの維持管理や老朽化対策	公共交通機関の維持確保	高速道路や空港、港湾等を活用した物流対策	その他
職業別	農林業		27.8	49.5	30.9	15.5	27.8	19.6	14.4	0.0	
	漁業		44.4	55.6	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営		30.4	52.2	21.7	21.7	30.4	24.6	14.5	0.0	
	事務職		39.0	44.5	14.7	18.8	33.0	31.2	10.6	0.5	
	技術職		39.7	36.9	19.9	20.6	26.6	32.3	14.2	0.0	
	労務職		33.5	47.3	17.2	22.2	22.2	28.6	17.7	1.5	
	管理職		45.3	53.1	17.2	17.2	34.4	14.1	14.1	0.0	
	自由業		27.3	50.0	27.3	27.3	22.7	27.3	13.6	0.0	
	主婦・主夫		26.2	42.3	20.1	26.8	32.2	31.5	10.1	0.7	
	学生		35.3	33.6	11.2	38.8	31.0	25.0	9.5	0.0	
	無職		20.6	53.4	28.6	21.2	30.2	28.0	9.0	0.5	
	その他		30.0	42.4	21.8	28.8	27.6	22.9	15.9	1.2	
広域市町村圏別	高知市		31.1	41.1	16.6	25.9	31.8	29.2	14.9	0.4	
	安芸広域圏		39.5	53.5	23.7	18.4	15.8	22.8	13.2	1.8	
	南国・香美広域圏		29.7	45.4	21.8	21.8	28.8	28.8	14.4	0.4	
	嶺北広域圏		17.6	79.4	11.8	14.7	23.5	38.2	2.9	2.9	
	仁淀川広域圏		24.6	45.2	26.2	27.0	31.7	21.4	15.1	0.0	
	高吾北広域圏		27.5	56.9	13.7	29.4	27.5	31.4	2.0	0.0	
	高幡広域圏		30.1	48.0	26.0	14.6	33.3	30.9	9.8	0.8	
	幡多広域圏		48.3	38.3	26.4	19.4	22.4	22.9	8.5	0.0	

問6 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

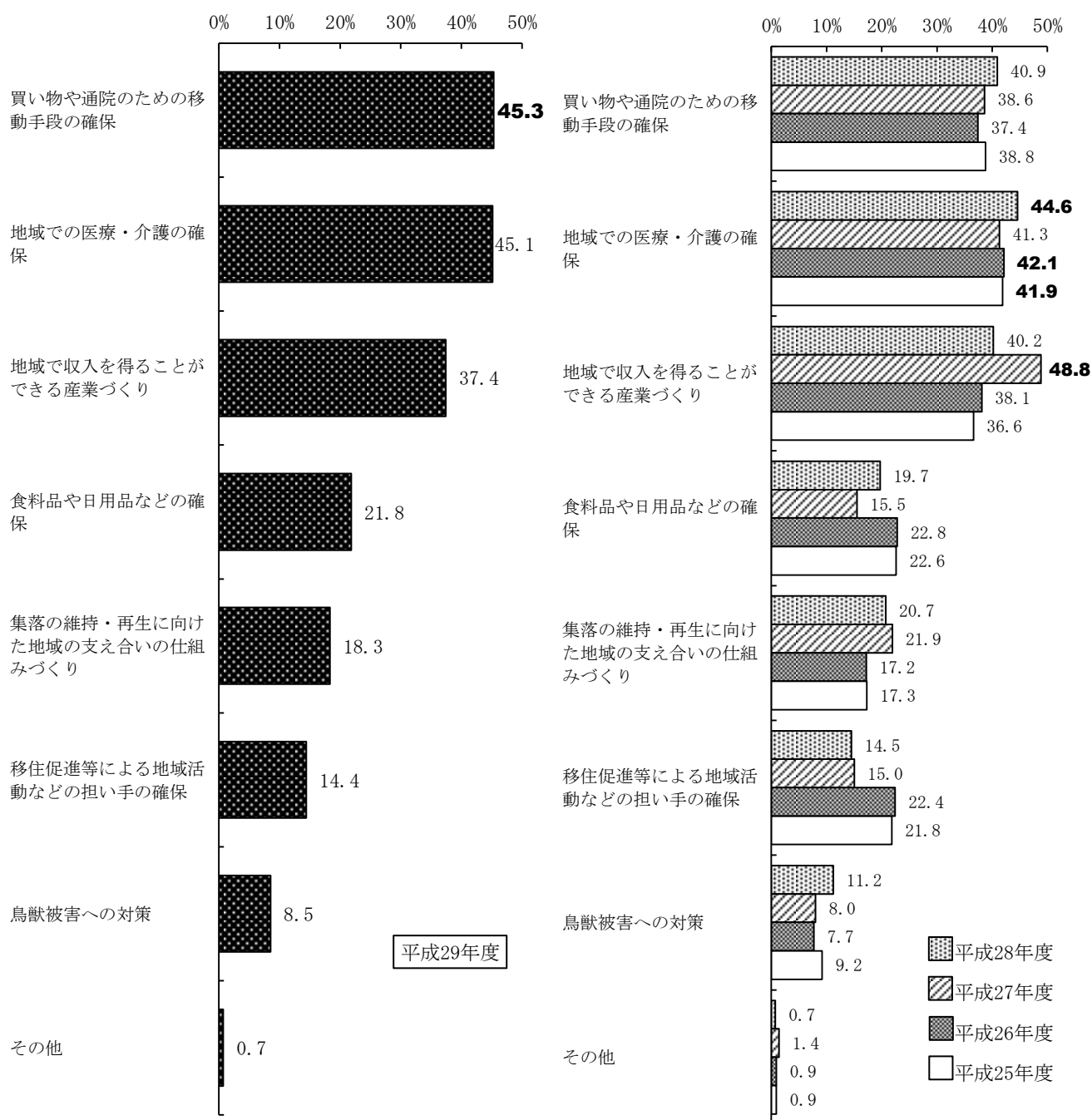
【総合】 「買い物や通院のための移動手段の確保」が45.3%で1位になっている。

次いで「地域での医療・介護の確保」が45.1%、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が37.4%と続いている。

【過去の調査との比較】

今年度は、「買い物や通院のための移動手段の確保」が昨年度から4.4ポイント増加し、2位から1位になっている。

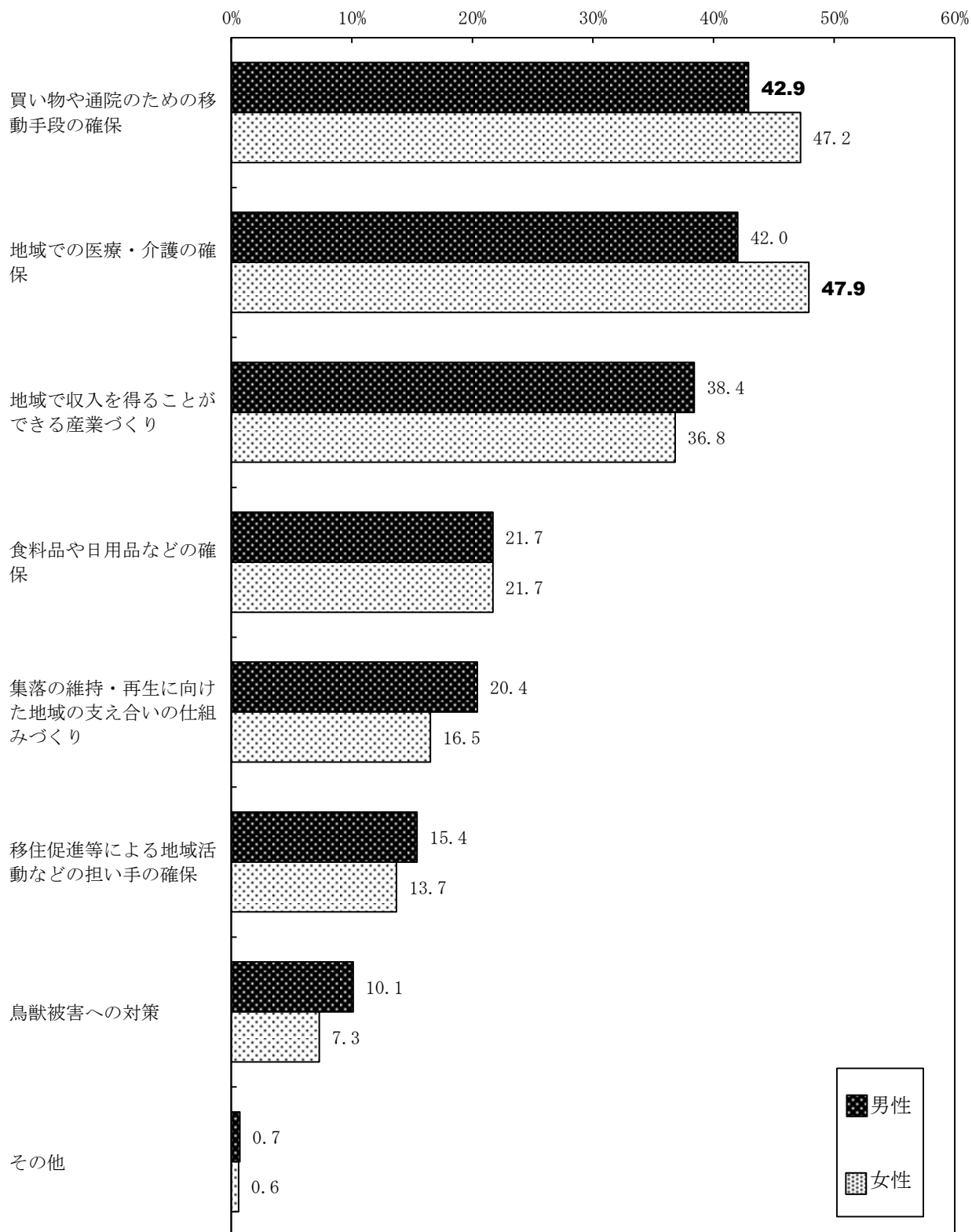
《 総 合 》



【性別】

男性では「買い物や通院のための移動手段の確保」が、女性では「地域での医療・介護の確保」が1位になっている。次いで男性では「地域での医療・介護の確保」、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が、女性では「買い物や通院のための移動手段の確保」、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が続いている。

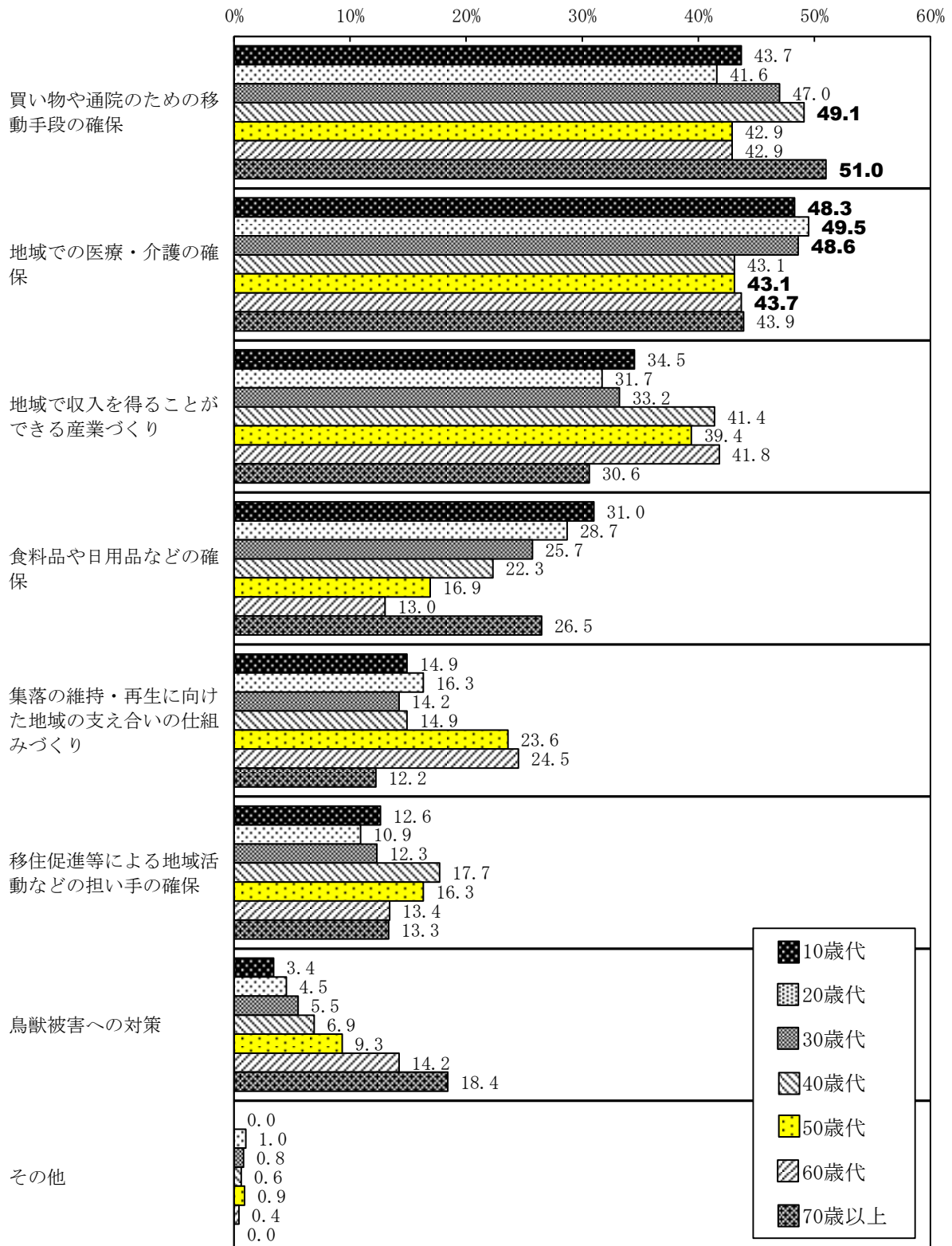
《 性別 》



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代では「地域での医療・介護の確保」が、40歳代、70歳以上では「買い物や通院のための移動手段の確保」が1位になっている。

《 年 代 別 》





《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目 属性		食料品や日用品などの確保	地域での医療・介護の確保	買い物や通院のための移動手段の確保	地域で収入を得ることができる産業づくり	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	鳥獣被害への対策	その他		
										農林業	漁業
職業別	農林業	9.3	38.1	35.1	46.4	25.8	13.4	21.6	0.0		
	漁業	0.0	77.8	44.4	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0		
	商工サービス業自営	21.7	31.9	47.8	39.1	15.9	17.4	17.4	0.0		
	事務職	22.0	42.7	47.2	36.2	21.6	15.6	6.0	0.5		
	技術職	20.9	47.2	42.6	43.6	17.0	15.6	3.9	1.4		
	労務職	22.2	43.8	43.8	35.0	19.7	15.3	9.4	1.5		
	管理職	18.8	46.9	32.8	46.9	20.3	20.3	9.4	0.0		
	自由業	22.7	50.0	40.9	40.9	18.2	13.6	9.1	0.0		
	主婦・主夫	19.5	45.6	51.0	35.6	18.8	13.4	7.4	0.7		
	学生	28.4	48.3	44.8	34.5	13.8	11.2	3.4	0.0		
	無職	28.0	47.1	50.8	28.6	16.9	10.1	14.3	0.0		
その他	21.2	50.0	47.6	35.3	14.1	15.9	5.9	0.6			
広域市町村圏別	高知市	20.7	45.6	46.5	37.2	17.9	16.2	7.3	0.4		
	安芸広域圏	23.7	43.0	42.1	46.5	14.0	12.3	9.6	0.9		
	南国・香美広域圏	20.5	47.6	46.7	36.2	17.0	14.0	6.6	0.4		
	嶺北広域圏	8.8	26.5	50.0	52.9	20.6	14.7	20.6	2.9		
	仁淀川広域圏	26.2	40.5	50.8	26.2	21.4	19.8	5.6	1.6		
	高吾北広域圏	25.5	43.1	43.1	41.2	17.6	7.8	9.8	0.0		
	高幡広域圏	21.1	51.2	37.4	37.4	24.4	9.8	10.6	1.6		
	幡多広域圏	24.4	46.3	41.3	39.3	16.4	11.4	12.9	0.0		

問7 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

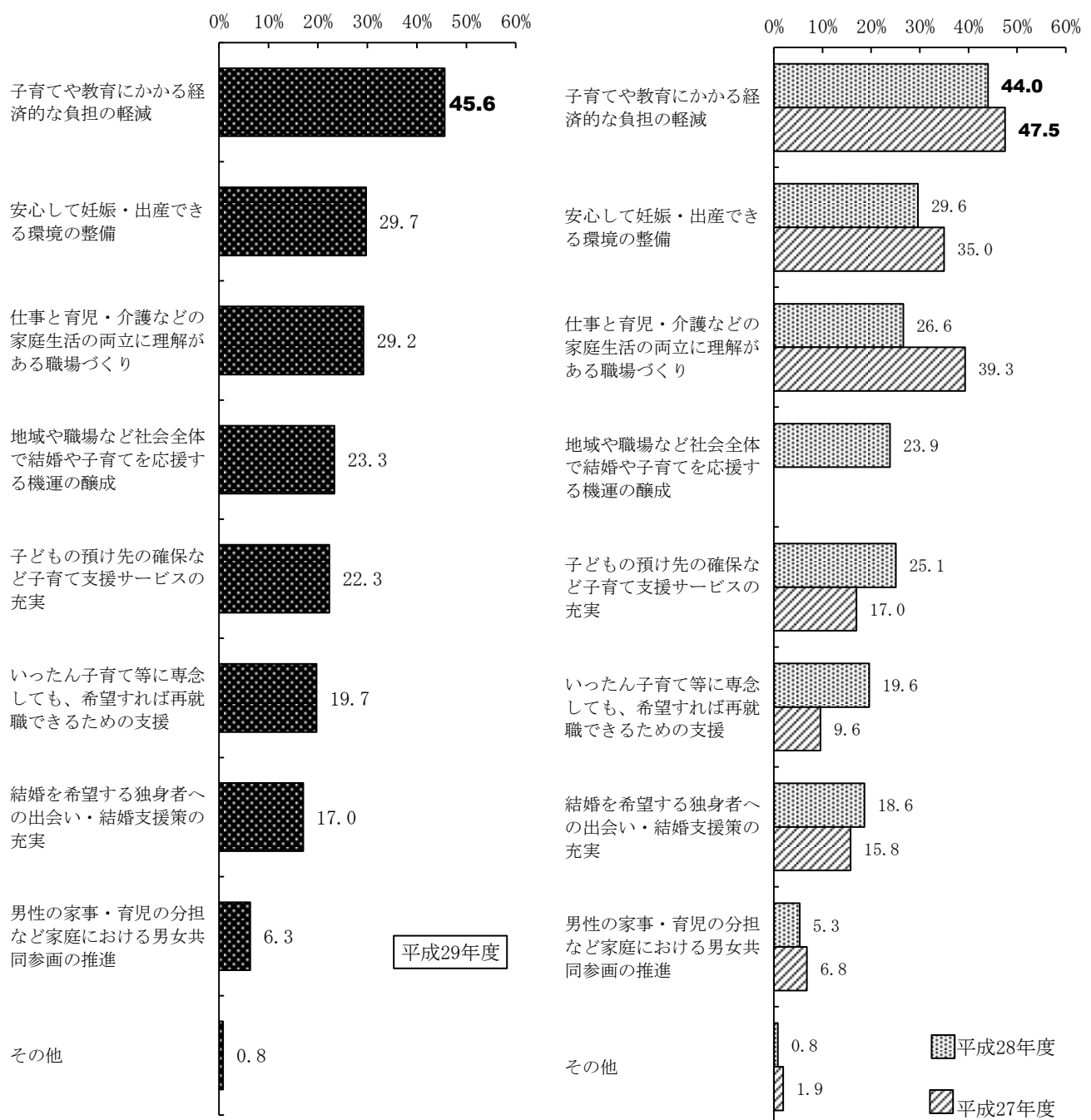
【総合】 「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が45.6%で1位になっている。

次いで「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が29.7%、「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が29.2%と続いている。

【過去の調査との比較】

今年度も、「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が昨年度から1.6ポイント増加し1位になっている。

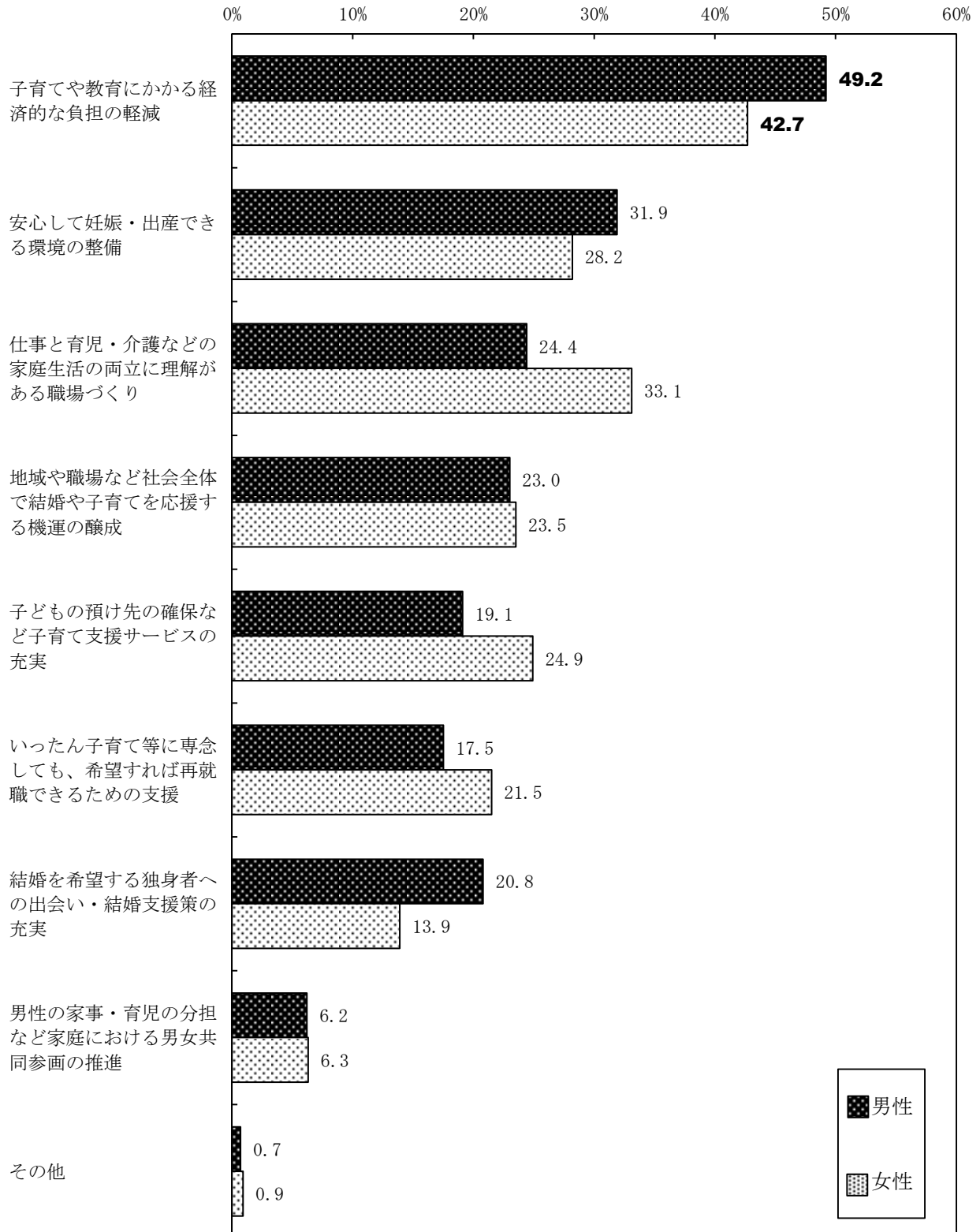
《 総 合 》



【性別】

男女とも「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が1位になっている。次いで男性では「安心して妊娠・出産できる環境の整備」、女性では「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」、「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が続いている。

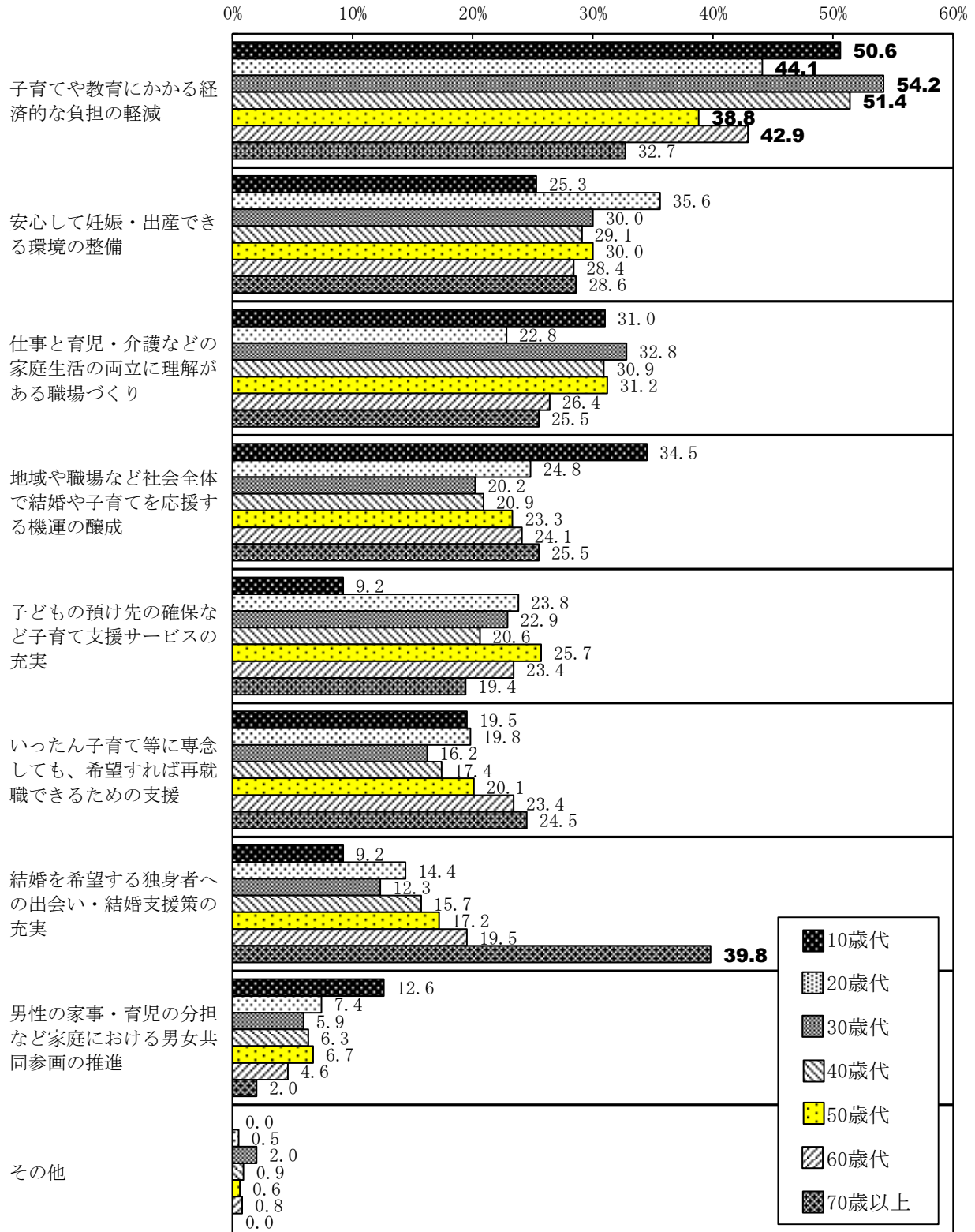
《 性別 》



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が、70歳以上では「結婚を希望する独身者への出会い・結婚支援策の充実」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	結婚を希望する独身者への出会い・結婚支援策の充実	安心して妊娠・出産できる環境の整備	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	子ども預け先の確保など子育て支援サービスの充実	同参画の推進	男性の家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	職できるための支援	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	その他
職業別	農林業	24.7	28.9	27.8	46.4	12.4	3.1	16.5	30.9	0.0		
	漁業	11.1	44.4	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0		
	商工サービス業自営	26.1	29.0	34.8	42.0	26.1	5.8	18.8	14.5	0.0		
	事務職	21.6	13.3	31.7	50.0	28.9	4.6	16.5	27.1	0.5		
	技術職	20.6	14.2	29.8	46.5	25.2	5.3	18.1	33.3	1.4		
	労務職	23.2	14.8	27.1	47.3	14.3	6.4	21.7	38.4	1.0		
	管理職	14.1	20.3	34.4	56.3	31.3	4.7	15.6	17.2	0.0		
	自由業	40.9	9.1	27.3	54.5	13.6	9.1	4.5	36.4	0.0		
	主婦・主夫	18.8	13.4	28.9	40.3	23.5	7.4	21.5	36.9	2.0		
	学生	38.8	10.3	29.3	50.0	14.7	11.2	17.2	22.4	0.0		
	無職	27.0	25.9	28.6	35.4	21.7	5.3	25.4	23.3	1.1		
その他	19.4	14.7	31.8	47.1	23.5	8.8	21.8	28.2	0.6			
広域市町村圏別	高知市	22.8	14.5	31.1	46.5	21.8	6.5	20.8	29.9	1.0		
	安芸広域圏	19.3	15.8	28.9	48.2	23.7	4.4	18.4	31.6	0.9		
	南国・香美広域圏	25.8	21.4	23.6	42.8	27.5	5.7	13.5	33.2	0.0		
	嶺北広域圏	20.6	26.5	26.5	29.4	14.7	8.8	26.5	32.4	5.9		
	仁淀川広域圏	23.0	15.1	31.7	42.1	24.6	4.8	27.0	23.8	1.6		
	高吾北広域圏	33.3	23.5	27.5	41.2	21.6	5.9	15.7	27.5	0.0		
	高幡広域圏	21.1	20.3	35.0	49.6	15.4	8.9	17.9	26.0	0.8		
幡多広域圏	23.4	16.9	29.9	48.8	21.4	6.5	18.4	27.4	0.0			

問8 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】 「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が46.8%で1位になっている。

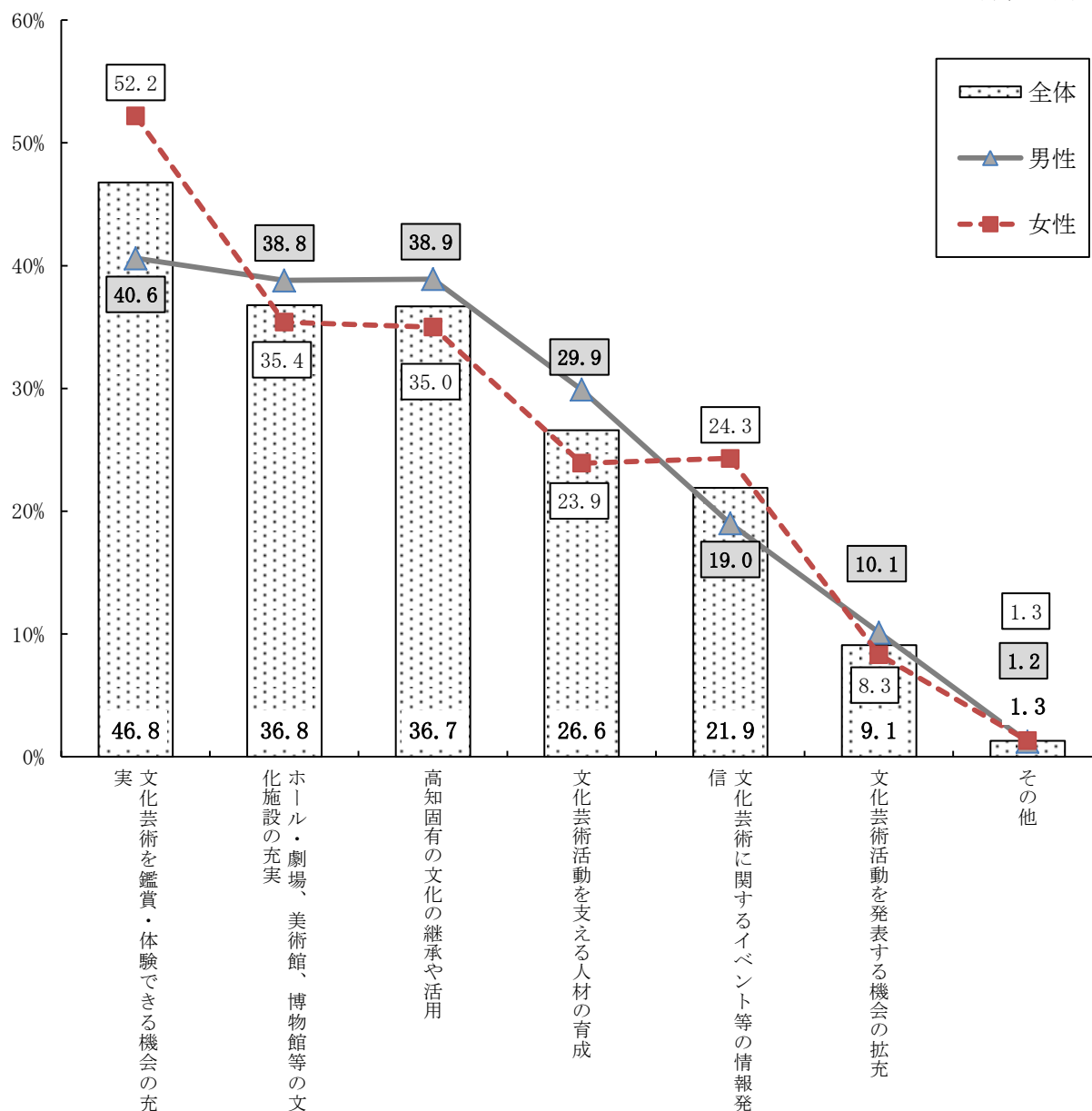
次いで「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が36.8%、「高知固有の文化の継承や活用」が36.7%と続いている。

【性別】

男女とも「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が1位になっている。次いで男性では「高知固有の文化の継承や活用」、「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が、女性では「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」、「高知固有の文化の継承や活用」が続いている。

《総合・性別》

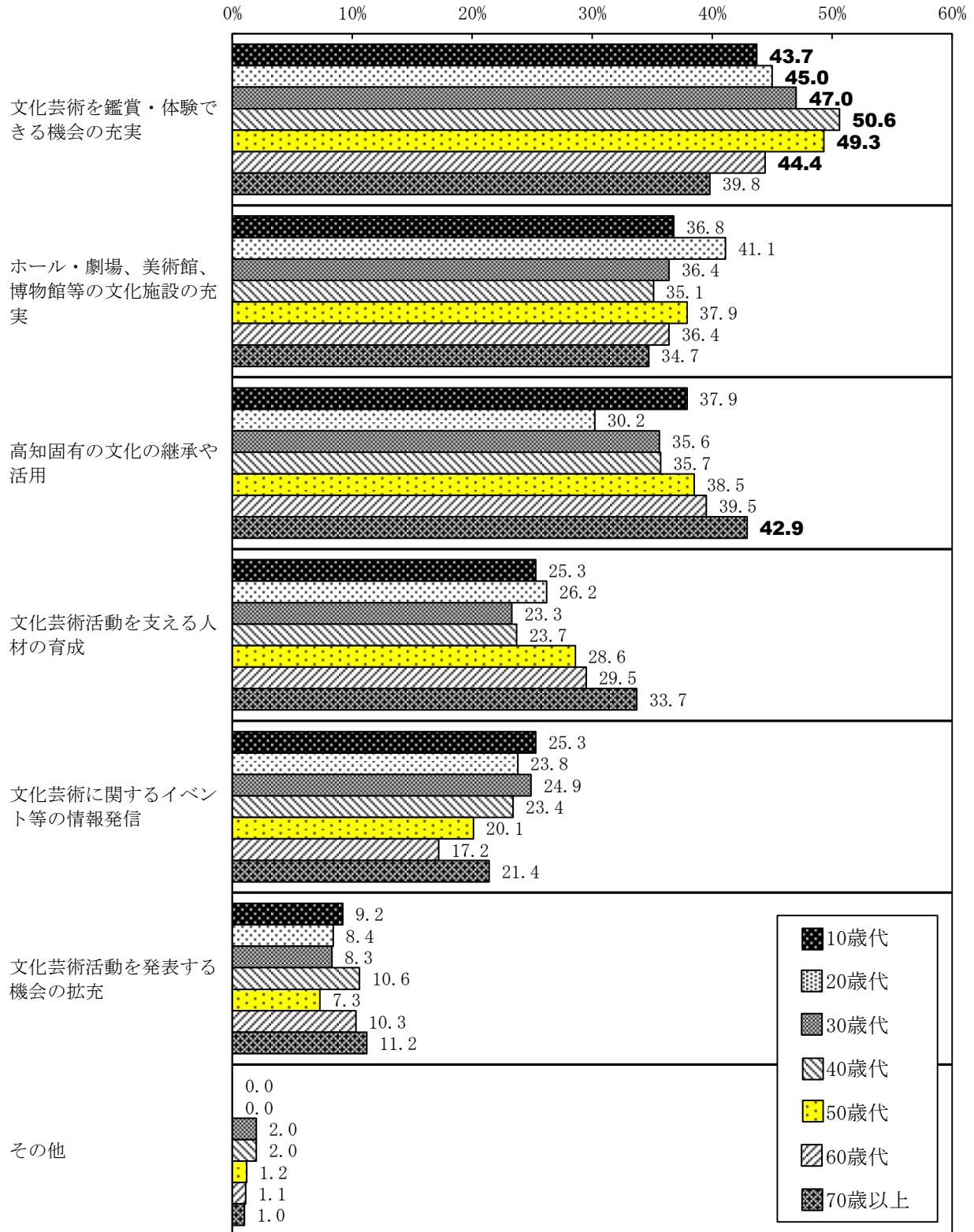
(単位：%)



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が、70歳以上では「高知固有の文化の継承や活用」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属 性		項 目	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	文化芸術活動を発表する機会の拡充	高知固有の文化の継承や活用	育成 文化芸術活動を支える人材の	文化芸術に関するイベント等の情報発信	その他
職業別	農林業	34.0	43.3	4.1	45.4	25.8	17.5	2.1	
	漁業	33.3	11.1	0.0	66.7	33.3	22.2	0.0	
	商工サービス業自営	39.1	47.8	11.6	33.3	23.2	30.4	0.0	
	事務職	33.9	53.7	9.6	38.5	22.0	22.5	1.8	
	技術職	36.9	54.6	8.5	30.9	24.8	22.3	0.7	
	労務職	38.4	40.9	9.9	36.5	25.1	23.2	2.0	
	管理職	42.2	45.3	7.8	35.9	28.1	18.8	1.6	
	自由業	36.4	54.5	13.6	31.8	31.8	18.2	4.5	
	主婦・主夫	33.6	52.3	8.7	40.3	27.5	18.8	1.3	
	学生	37.9	41.4	12.1	38.8	24.1	21.6	0.0	
	無職	37.0	40.2	9.5	37.6	39.2	19.6	0.5	
	その他	40.0	42.9	9.4	35.3	24.1	25.3	1.8	
広域市町村圏別	高知市	38.7	49.7	8.6	32.7	27.5	22.1	0.8	
	安芸広域圏	40.4	45.6	9.6	39.5	21.1	19.3	0.9	
	南国・香美広域圏	31.4	38.9	10.5	41.9	29.3	23.6	2.2	
	嶺北広域圏	32.4	38.2	8.8	47.1	32.4	20.6	2.9	
	仁淀川広域圏	41.3	41.3	11.1	37.3	25.4	23.0	0.8	
	高吾北広域圏	31.4	60.8	3.9	41.2	17.6	21.6	0.0	
	高幡広域圏	34.1	41.5	8.9	46.3	27.6	21.1	2.4	
幡多広域圏	35.8	53.2	9.0	34.3	25.4	20.4	1.5		



問9 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】 「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が51.8%で1位になっている。

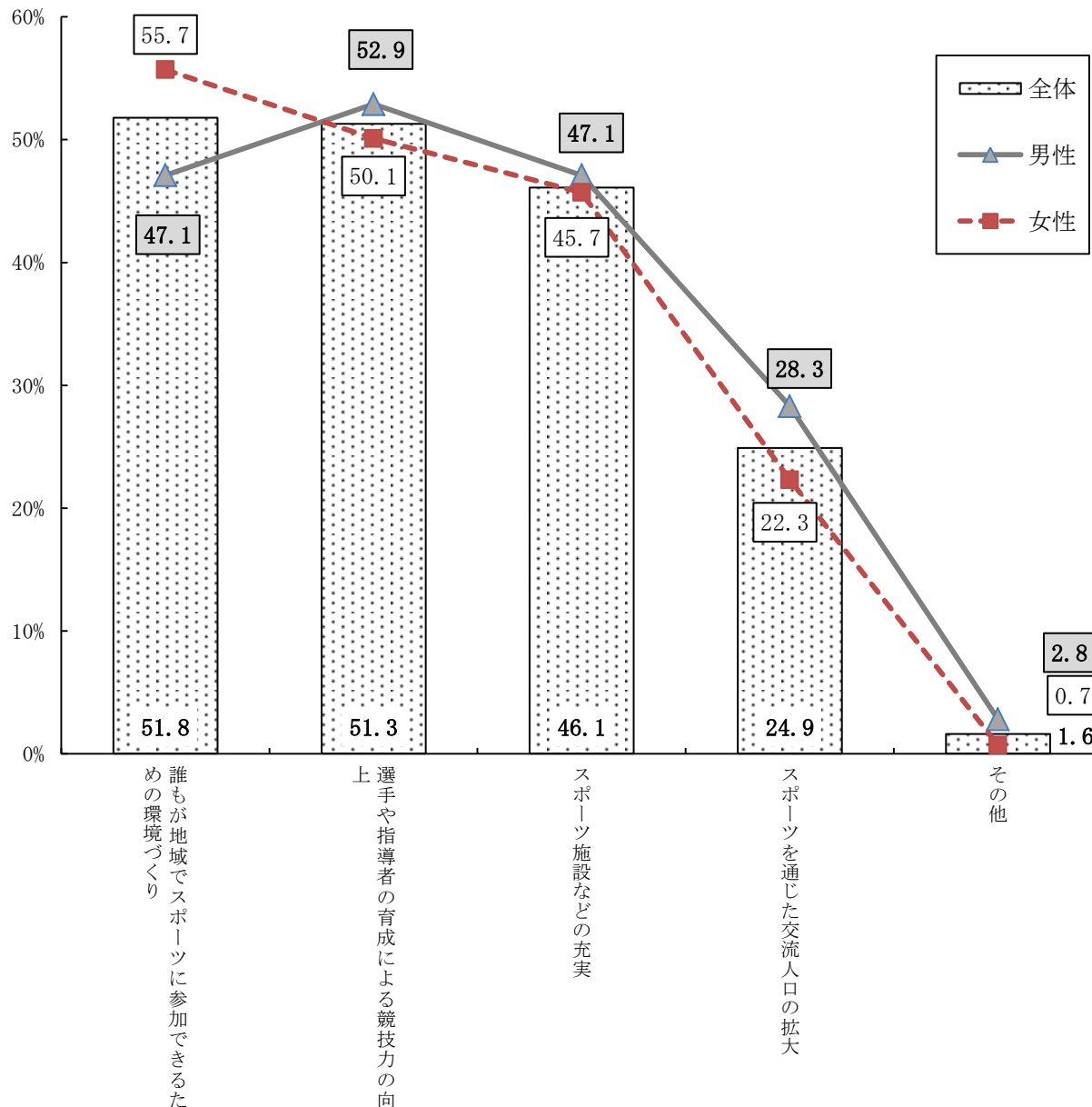
次いで「選手や指導者の育成による競技力の向上」が51.3%、「スポーツ施設などの充実」が46.1%と続いている。

【性別】

男性では「選手や指導者の育成による競技力の向上」が、女性では「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が1位になっている。「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」では女性が男性よりも8.6ポイント高くなっている。

《総合・性別》

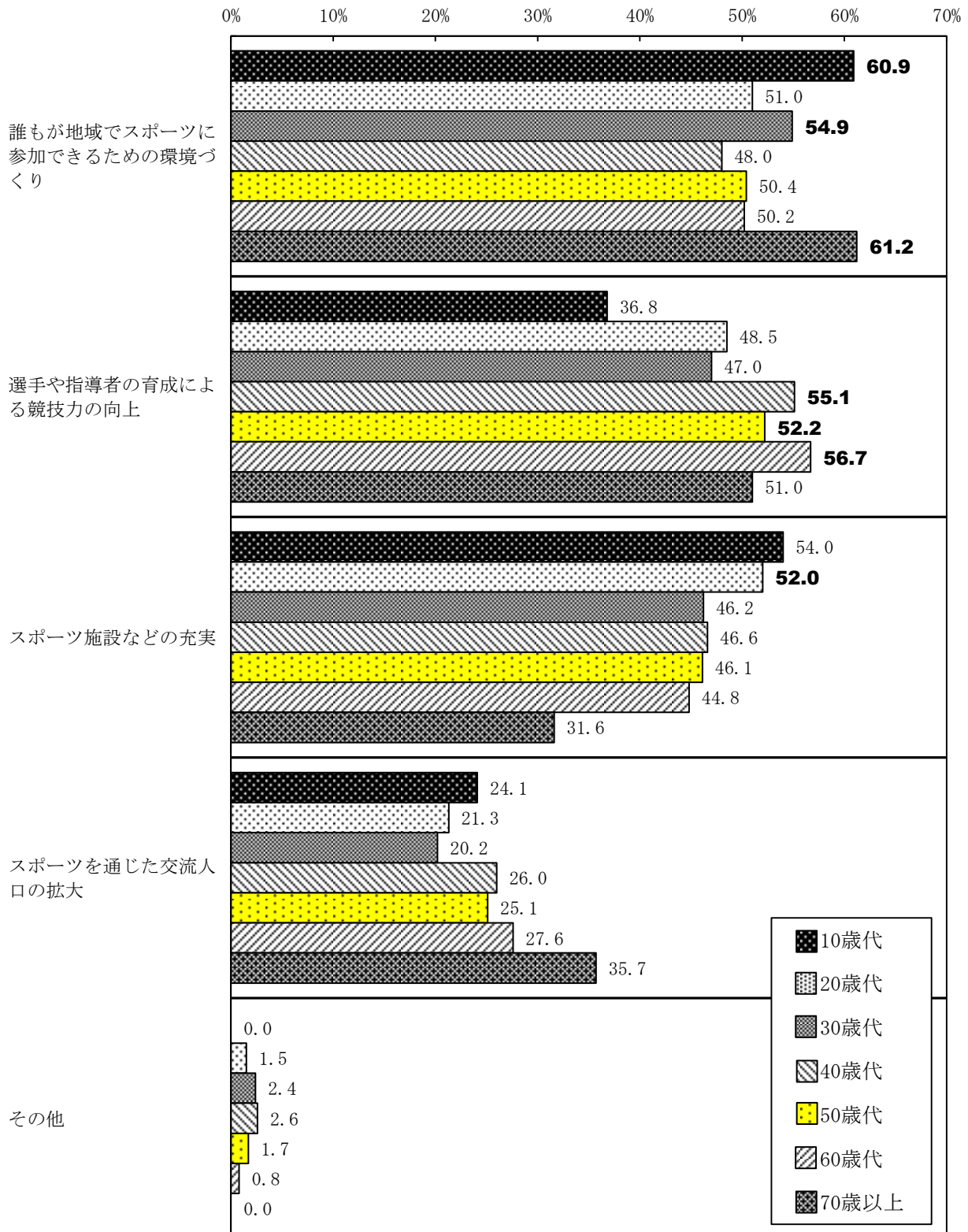
(単位：%)



【年代別】

10歳代、30歳代、70歳以上では「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が、20歳代では「スポーツ施設などの充実」が、40歳代、50歳代、60歳代では「選手や指導者の育成による競技力の向上」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項 目		選手や指導者の育成による競 技力の向上	誰もが地域でスポーツに参加 できるための環境づくり	拡大 スポーツを通じた交流人口の	スポーツ施設などの充実	その他
職業別	農林業	60.8	43.3	24.7	45.4	1.0
	漁業	55.6	33.3	33.3	55.6	0.0
	商工サービス業自営	46.4	46.4	24.6	55.1	0.0
	事務職	52.8	49.5	23.9	49.1	1.8
	技術職	47.2	54.3	22.7	48.6	2.5
	労務職	47.8	48.8	27.6	47.3	3.0
	管理職	56.3	46.9	29.7	40.6	1.6
	自由業	63.6	54.5	31.8	45.5	0.0
	主婦・主夫	53.7	54.4	20.1	39.6	1.3
	学生	42.2	56.9	25.0	50.9	0.0
	無職	59.3	54.0	28.0	38.6	1.1
	その他	48.8	55.9	25.3	48.2	1.8
広域市町村圏別	高知市	51.5	51.4	23.4	47.2	1.5
	安芸広域圏	55.3	45.6	19.3	52.6	0.0
	南国・香美広域圏	48.0	53.7	26.6	45.9	1.3
	嶺北広域圏	64.7	52.9	26.5	38.2	2.9
	仁淀川広域圏	53.2	55.6	23.0	46.8	2.4
	高吾北広域圏	51.0	58.8	35.3	35.3	0.0
	高幡広域圏	44.7	54.5	31.7	43.9	3.3
	幡多広域圏	54.2	47.8	25.9	46.8	2.0

問10 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。(2つまで○印)

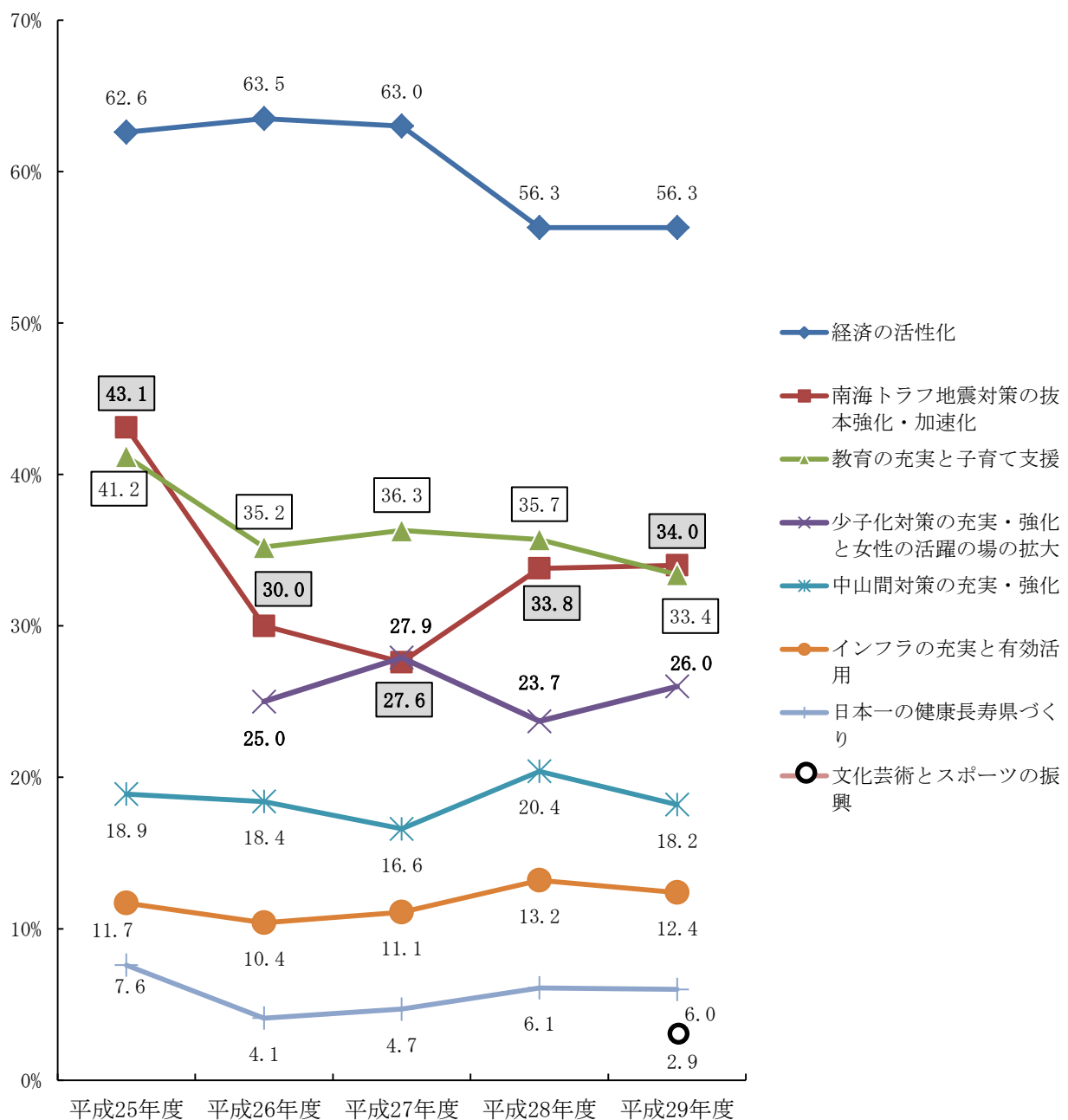
【総合】 「経済の活性化」が56.3%で1位になっている。

次いで「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が34.0%、「教育の充実と子育て支援」が33.4%と続いている。

【過去の調査との比較】

選択数が増えたため単純な比較はできないが、今年度も「経済の活性化」が1位になっている。

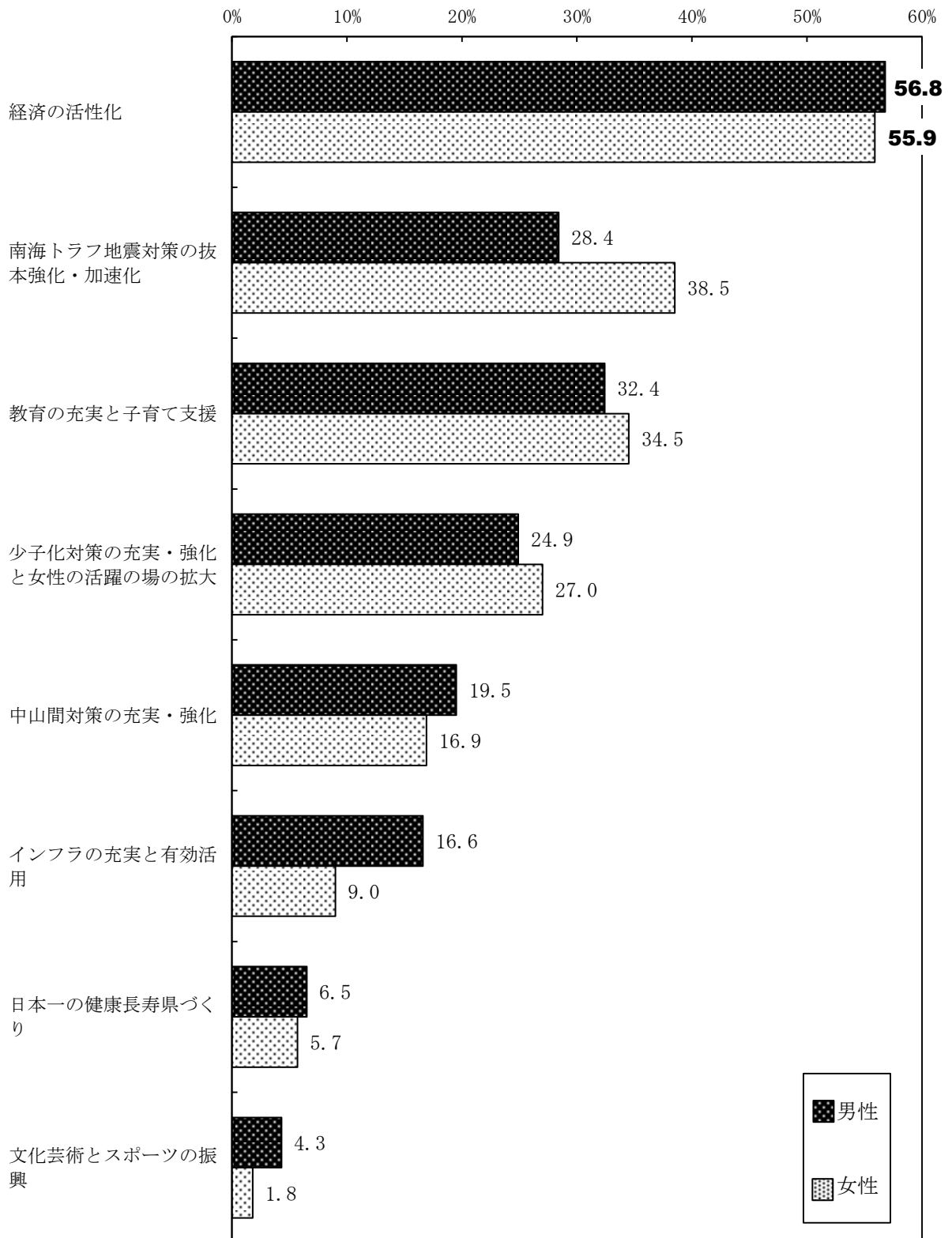
《 総 合 》



【性別】

男女とも「経済の活性化」が1位になっている。次いで男性では「教育の充実と子育て支援」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が、女性では「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、「教育の充実と子育て支援」が続いている。

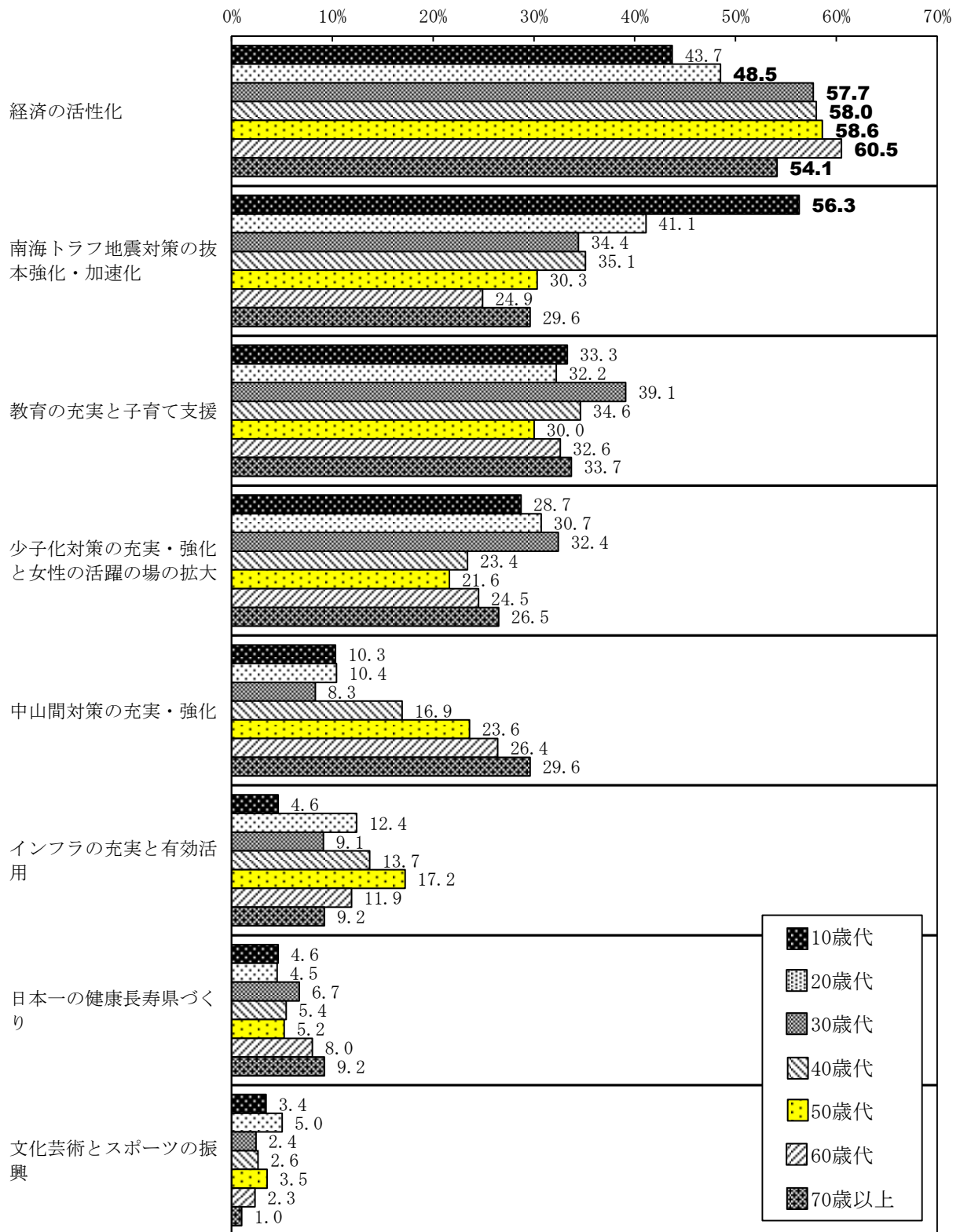
《 性別 》



【年代別】

10歳代では「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が、10歳代を除くすべての年代では「経済の活性化」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		経済の活性化	日本一の健康長寿県づくり	教育の充実と子育て支援	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	インフラの充実と有効活用	中山間対策の充実・強化	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	文化芸術とスポーツの振興
属性									
職業別	農林業	59.8	2.1	26.8	19.6	12.4	40.2	19.6	2.1
	漁業	66.7	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	77.8	11.1
	商工サービス業自営	65.2	8.7	31.9	23.2	14.5	24.6	26.1	1.4
	事務職	56.4	6.4	39.4	38.1	13.3	14.7	22.0	2.3
	技術職	53.9	5.3	36.2	30.9	11.7	13.1	35.1	3.5
	労務職	62.1	5.4	27.1	30.5	15.3	17.7	26.6	3.4
	管理職	54.7	7.8	45.3	29.7	25.0	20.3	10.9	0.0
	自由業	63.6	9.1	36.4	40.9	9.1	13.6	13.6	4.5
	主婦・主夫	59.7	4.0	37.6	33.6	12.8	14.1	26.8	1.3
	学生	41.4	6.9	36.2	56.0	6.9	8.6	24.1	4.3
	無職	57.7	8.5	29.6	31.7	10.1	28.0	23.3	3.2
	その他	51.8	7.1	28.2	41.2	10.6	15.9	27.1	3.5
広域市町村圏別	高知市	58.0	6.6	33.5	36.3	11.1	13.5	28.0	3.1
	安芸広域圏	65.8	2.6	29.8	33.3	18.4	17.5	20.2	1.8
	南国・香美広域圏	50.2	6.1	34.9	30.1	14.4	18.8	27.9	4.8
	嶺北広域圏	47.1	5.9	29.4	23.5	11.8	52.9	14.7	2.9
	仁淀川広域圏	59.5	7.1	33.3	33.3	13.5	12.7	27.0	3.2
	高吾北広域圏	60.8	7.8	21.6	23.5	7.8	45.1	19.6	0.0
	高幡広域圏	44.7	4.9	33.3	37.4	4.9	30.9	30.1	3.3
	幡多広域圏	55.7	6.0	37.3	34.3	17.9	16.4	21.4	1.5

問 12 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(1つだけ○印)

【総合】

「わからない」が8.2%となっており、より一層の周知の工夫が必要である。

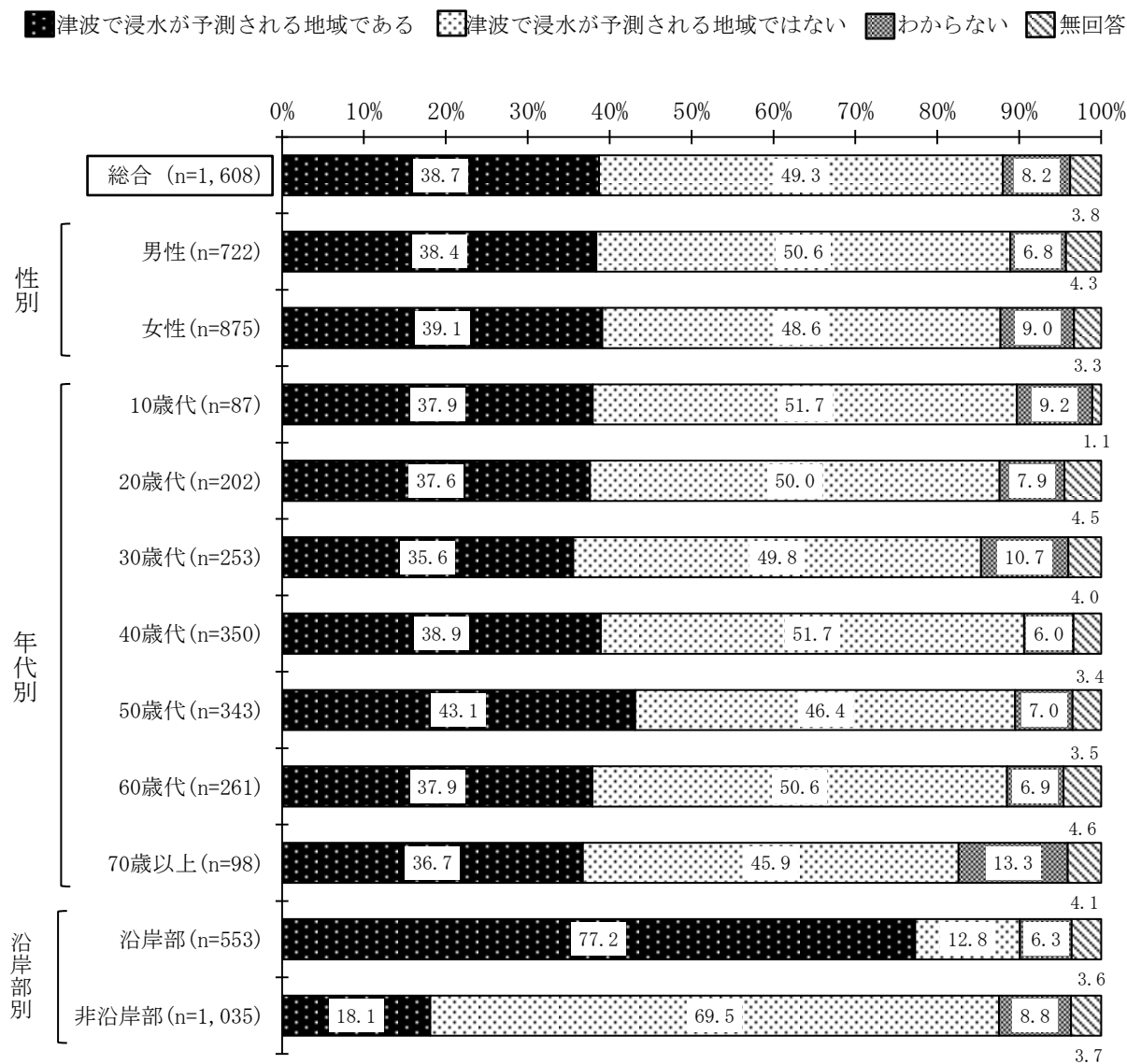
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

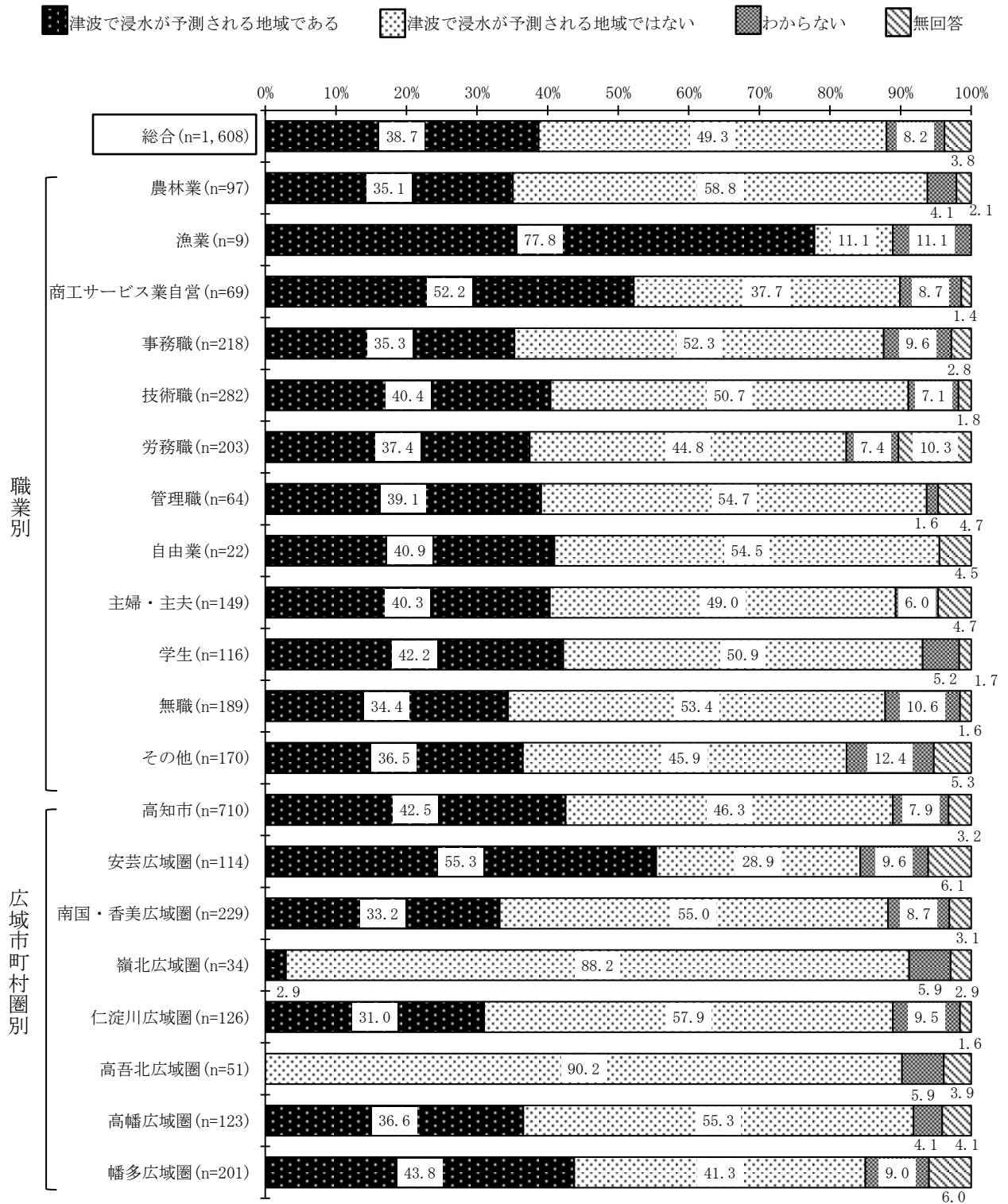
70歳以上では「わからない」が他の年代と比べると高くなっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》





《職業別・広域市町村圏別》



問 13 あなたが津波の浸水が予測される地域にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。

(1つだけ○印)

【総合】 「揺れがおさまった後、すぐに」が71.7%で1位になっている。

次いで「津波警報が出たら」が13.6%、「市町村から避難の呼びかけがあったら」が8.7%と続いている。

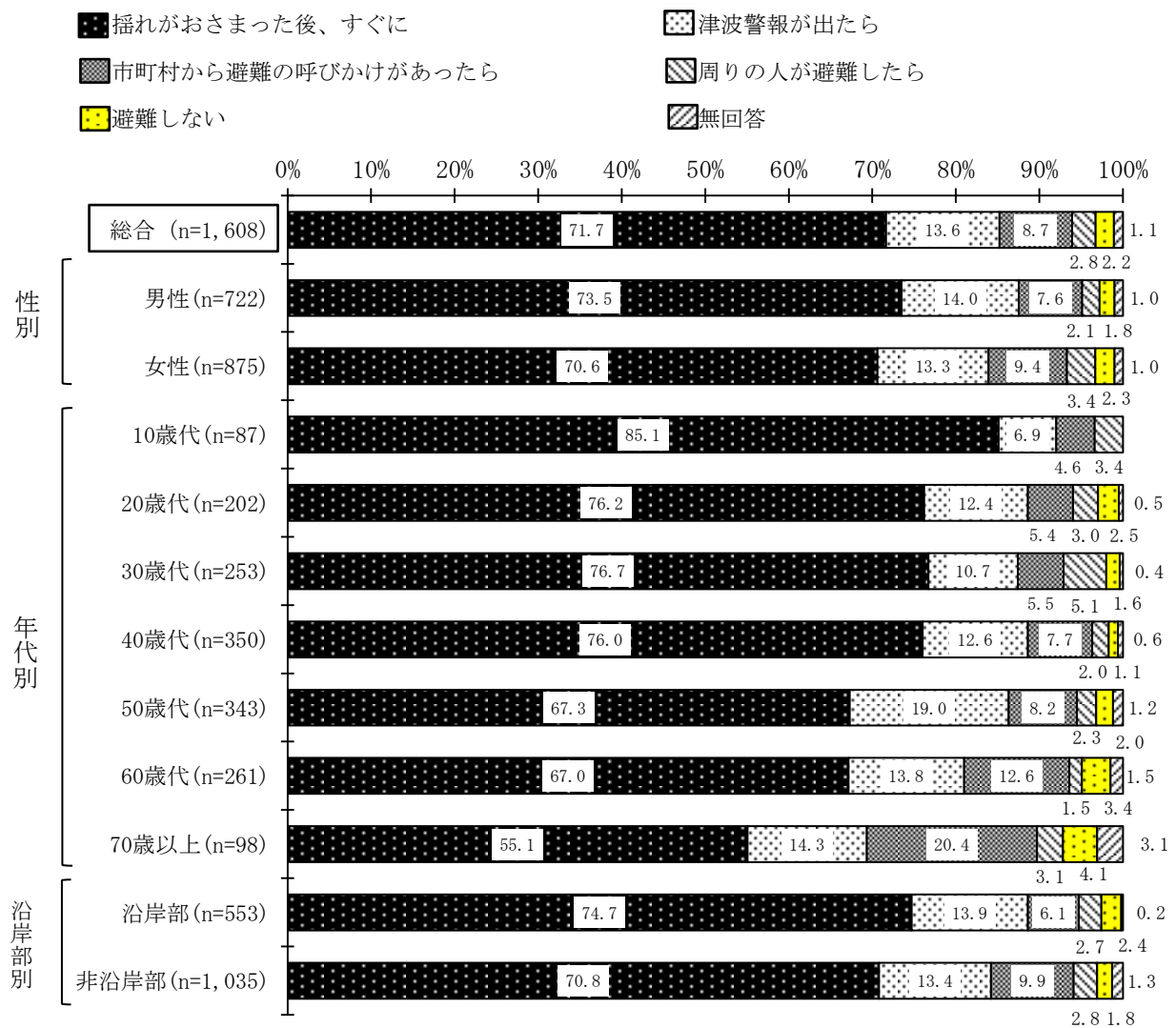
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

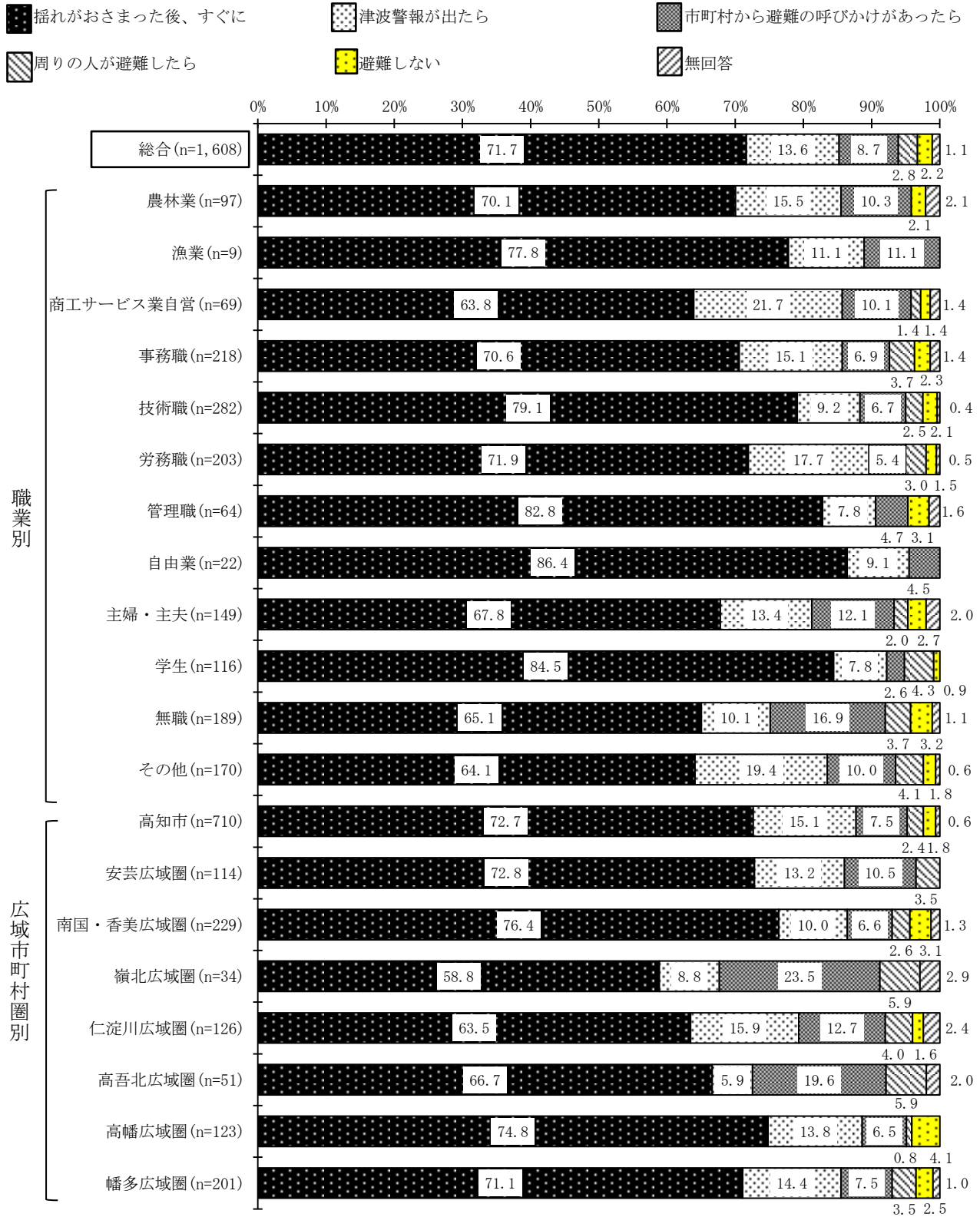
【年代別】

すべての年代で「揺れがおさまった後、すぐに」が1位になっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》



《職業別・広域市町村圏別》



【問 12×問 13 のクロス分析】

「あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。」という質問への回答に対し、「いつ避難するのか。」について見てみると、「わからない」では「揺れがおさまった後、すぐに」が低く、「津波警報が出たら」、「市町村から避難の呼びかけがあったら」、「避難しない」が高くなっている。

《問 12×問 13 のクロス分析》

(単位：%)

		問 13				
		揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら	避難しない
問 12	津波で浸水が予測される地域である	72.2	15.3	7.4	2.1	2.7
	津波で浸水が予測される地域ではない	75.0	10.3	9.0	2.4	1.6
	わからない	50.0	22.7	14.4	9.1	3.8

問 14 強い揺れにより、家具（タンス、本棚、食器棚、戸棚）や家電（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ）などが倒れたり、飛んできてることがあります。耐震金具などにより家具や家電を固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。  
 あなたのお宅では、家具や家電などの固定をしていますか。（1つだけ〇印）

【総合】 「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が66.7%で1位になっている。

次いで「固定している」が14.7%、「固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない」が9.6%と続いている。

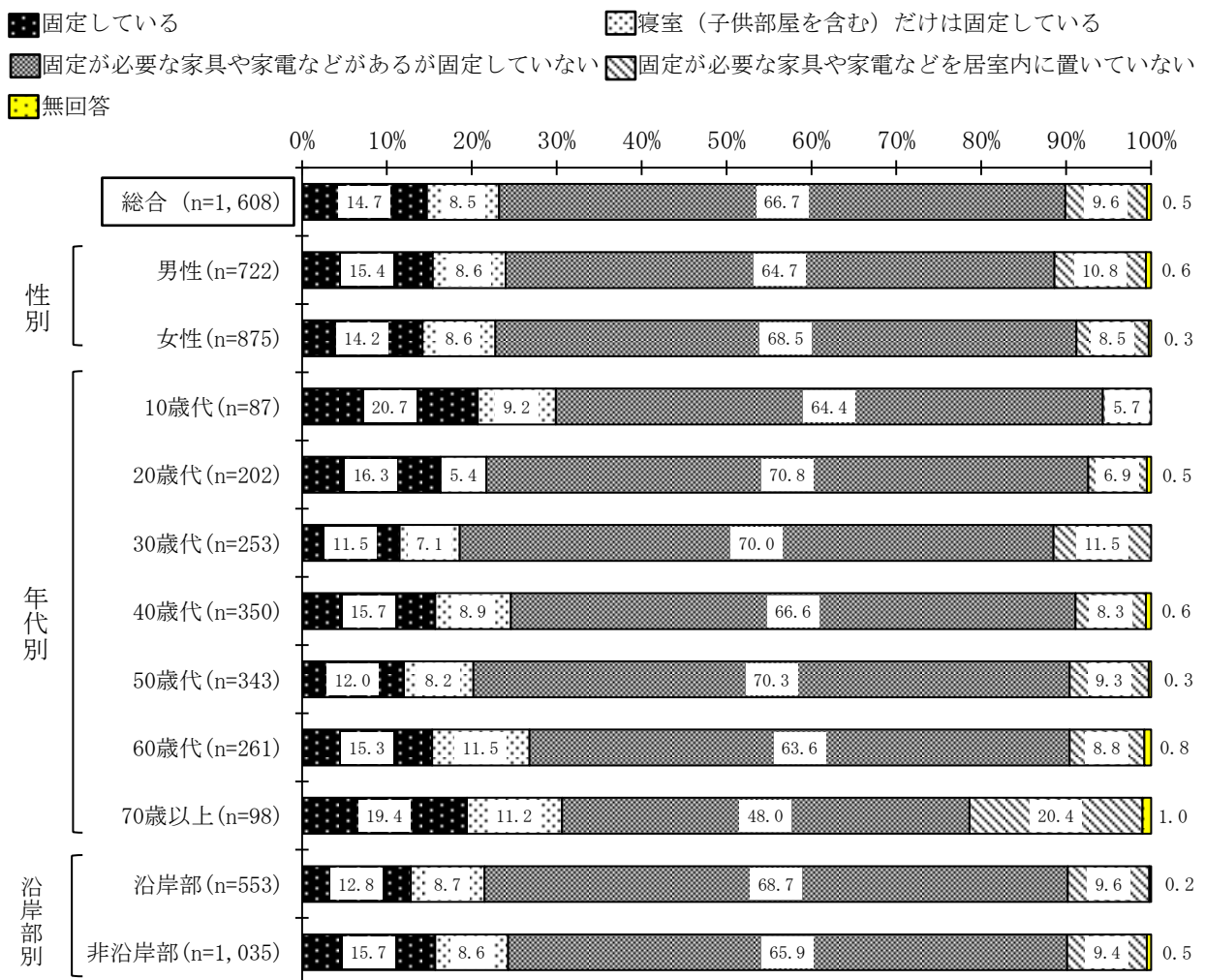
【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

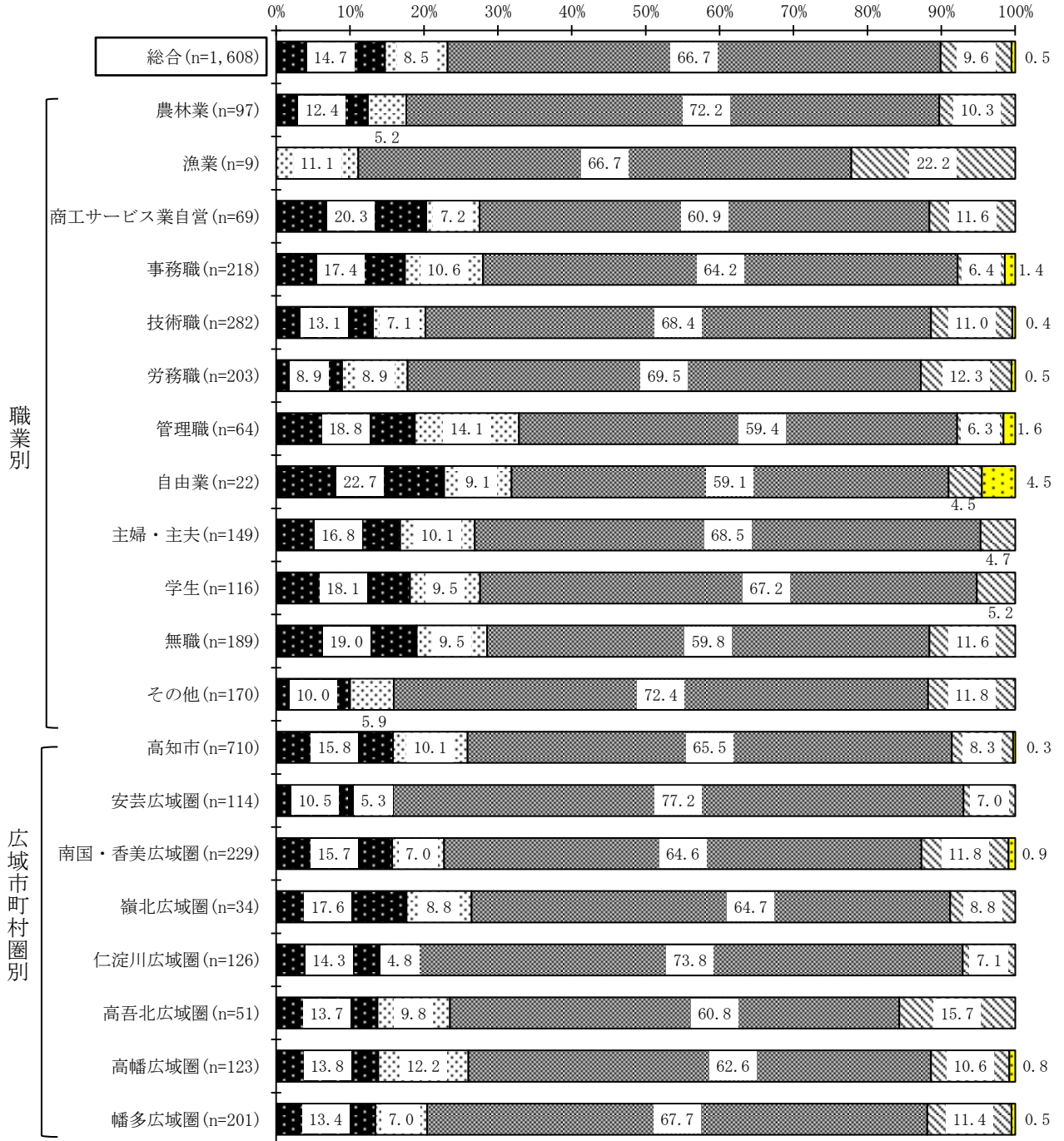
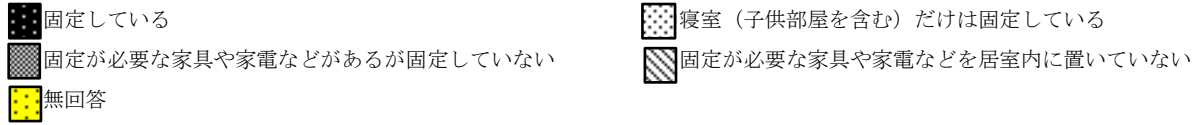
【年代別】

すべての年代で「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が1位になっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 15 強い揺れにより、ご自宅に大きな被害が出た場合、避難所で避難生活を送ることになります。発災直後においては、行政が避難所の運営を行うことが困難であるため、避難所の開設や運営について、住民の皆さま自らが行っていただく必要があります。  
あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】 「関わりたい」と「関わりたいが、やり方がわからない」を合わせると 69.9%が避難所の開設や運営に関わりたいと思っている。

そのうち「関わりたい」が 32.0%、「関わりたいが、やり方がわからない」が 37.9%となっている。

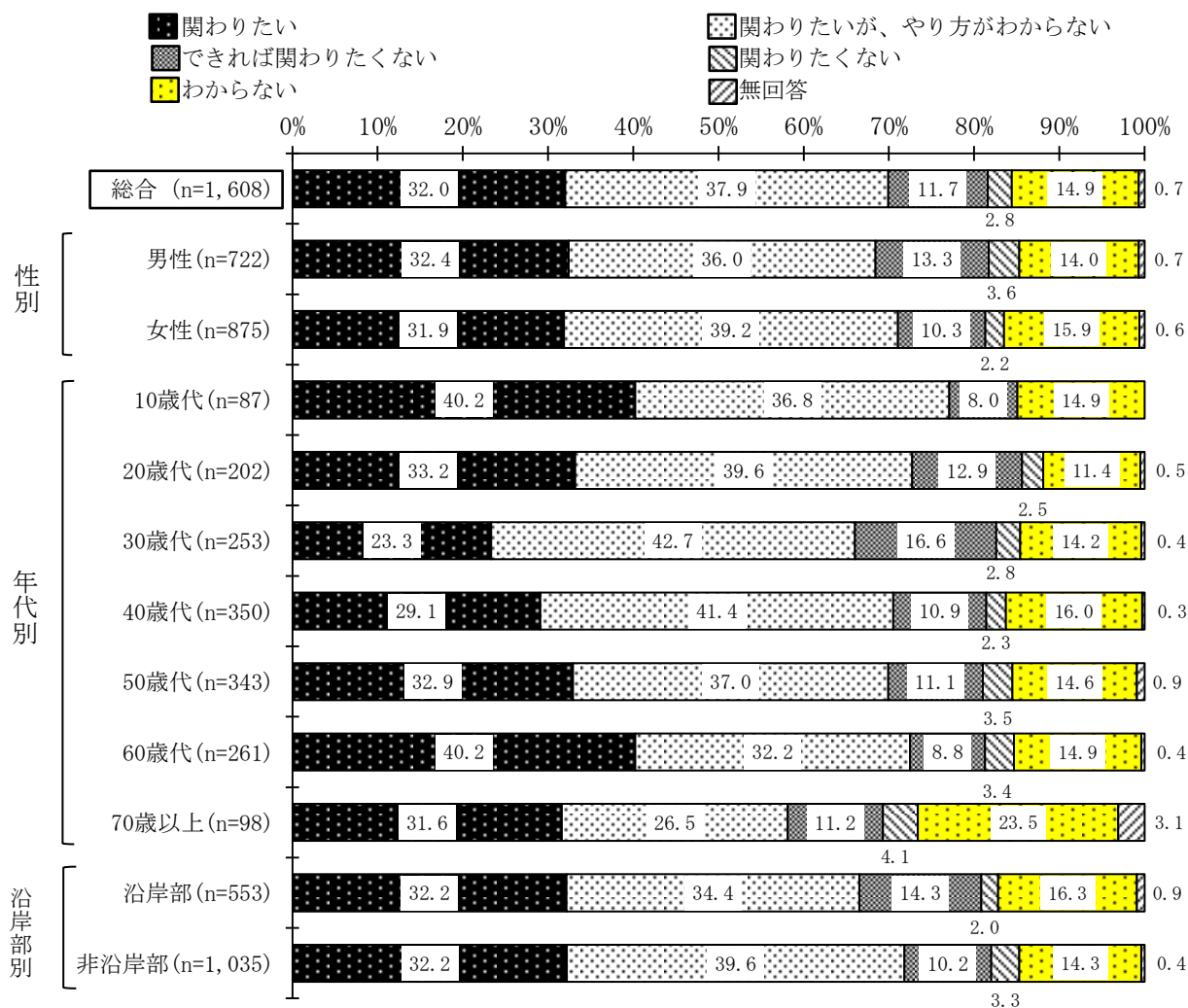
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

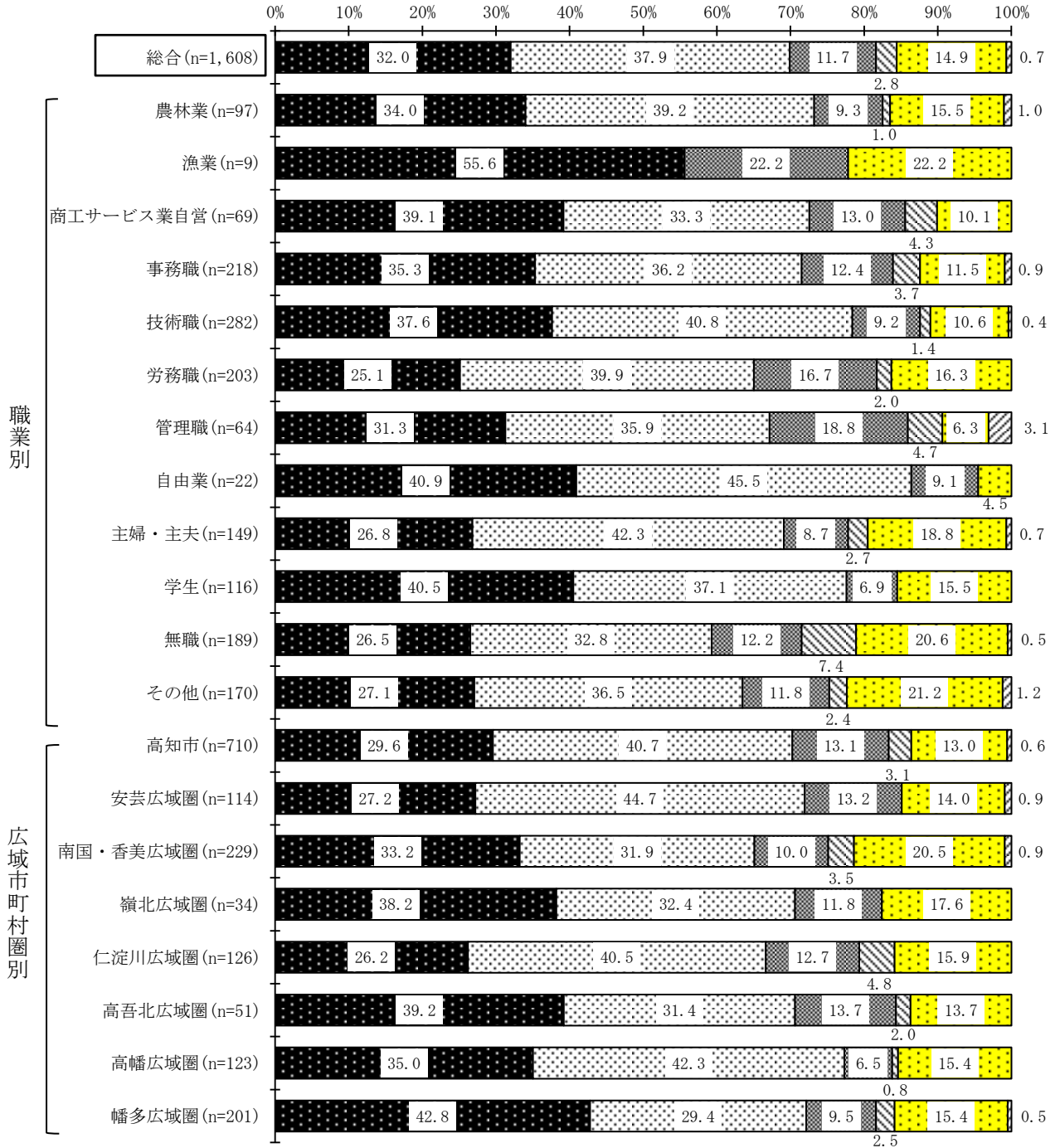
10 歳代、60 歳代、70 歳以上では「関わりたい」が、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「関わりたいが、やり方がわからない」が 1 位になっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》



《職業別・広域市町村圏別》

関わりたい
  関わりたいが、やり方がわからない
  できれば関わりたくない
  関わりたくない
  わからない
  無回答





問 16 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含まれます。)(1つだけ○印)

【総合】 **63.4%が食料を「備蓄している」と回答しており、「備蓄していない」の36.0%を27.4ポイント上回っている。**

そのうち「1日～2日分を備蓄している」が40.5%、「3日～6日分を備蓄している」が19.4%、「7日分以上を備蓄している」が3.5%となっている。

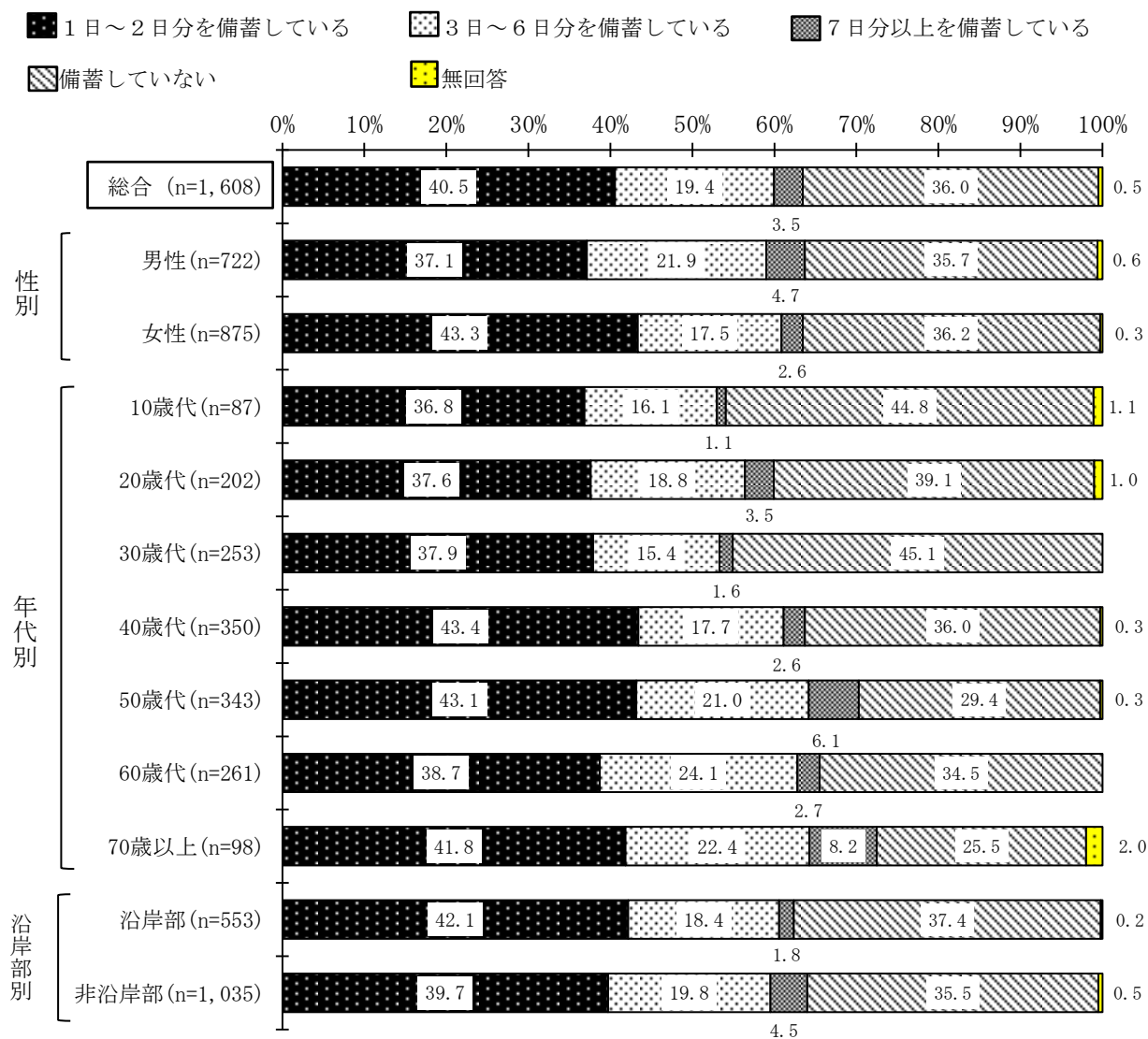
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

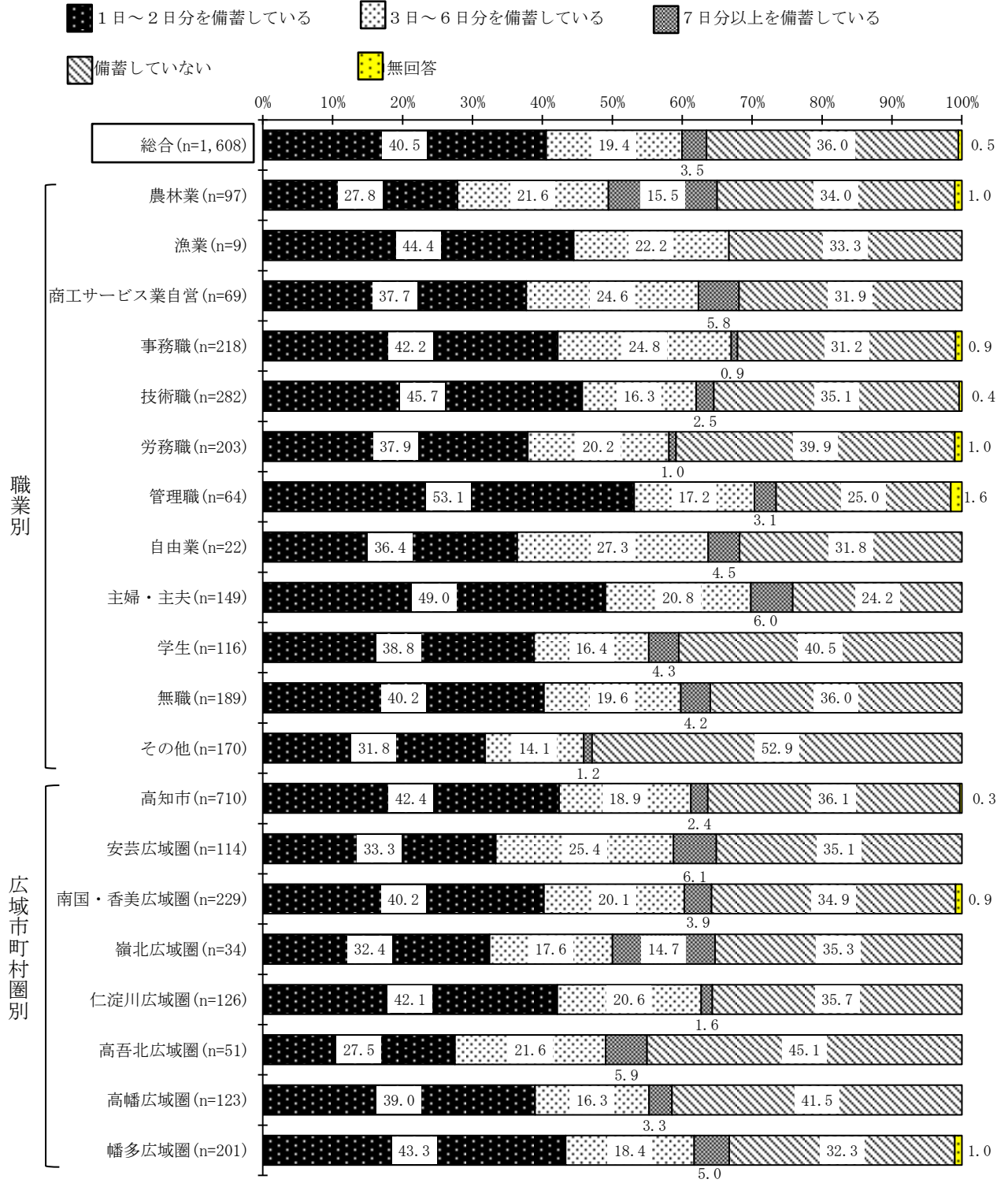
【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「備蓄していない」が、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「1日～2日分を備蓄している」が1位になっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 17 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)(1つだけ○印)

【総合】 **59.9%が飲料水を「備蓄している」と回答しており、「備蓄していない」の39.4%を20.5ポイント上回っている。**

そのうち「1日～2日分を備蓄している」が38.9%、「3日～6日分を備蓄している」が16.5%、「7日分以上を備蓄している」が4.5%となっている。

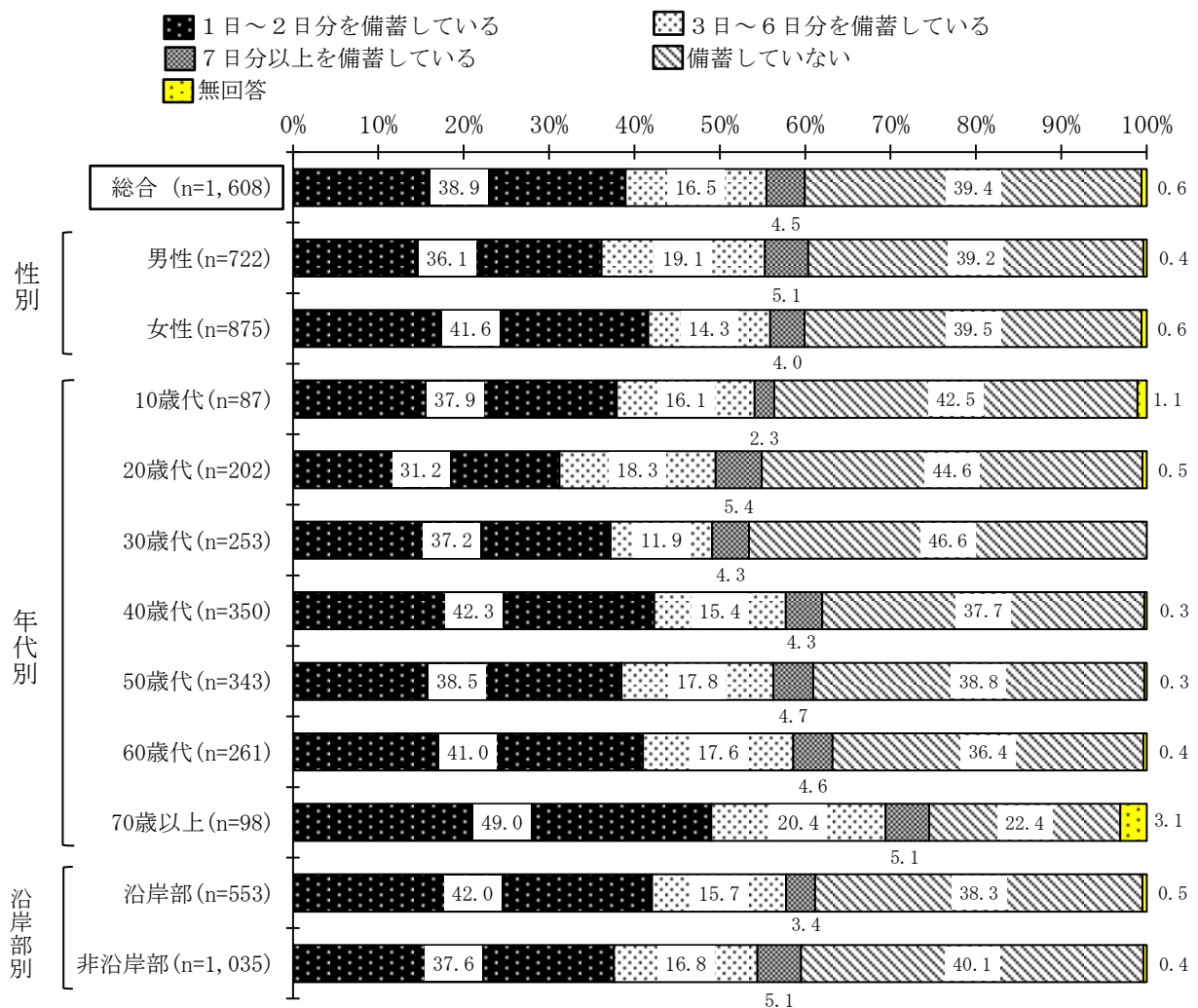
【性別】

男性では「備蓄していない」が、女性では「1日～2日分を備蓄している」が1位になっている。

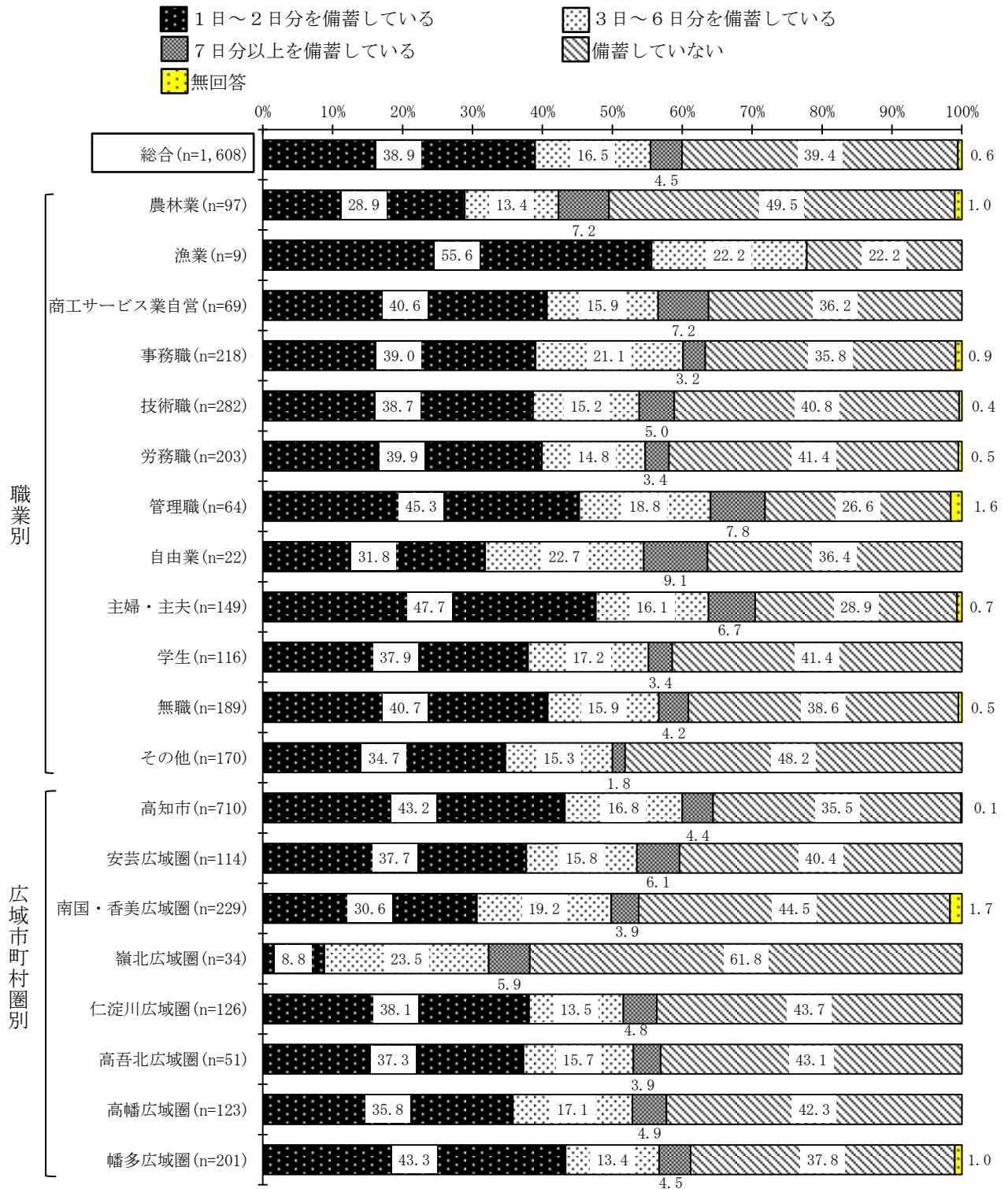
【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、50歳代では「備蓄していない」が、40歳代、60歳代、70歳以上では「1日～2日分を備蓄している」が1位になっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 18 過去 1 年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。  
(1 つだけ○印)

【総合】 「参加した」が 42.2%で 1 位になっている。

次いで「訓練がなかった、またはあったかわからない」が 27.7%、「都合が合わず参加できなかった」が 21.0%となっている。

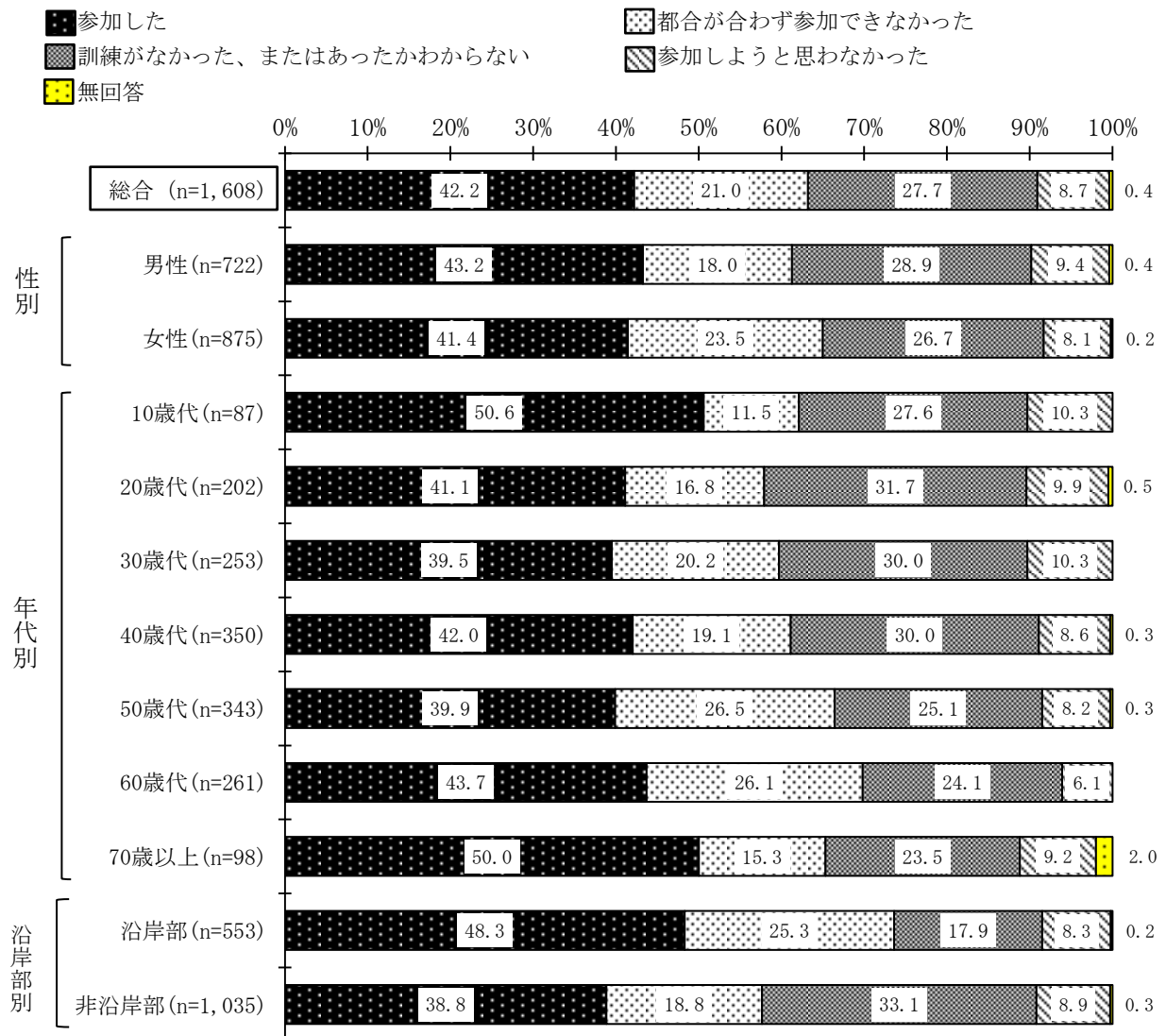
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

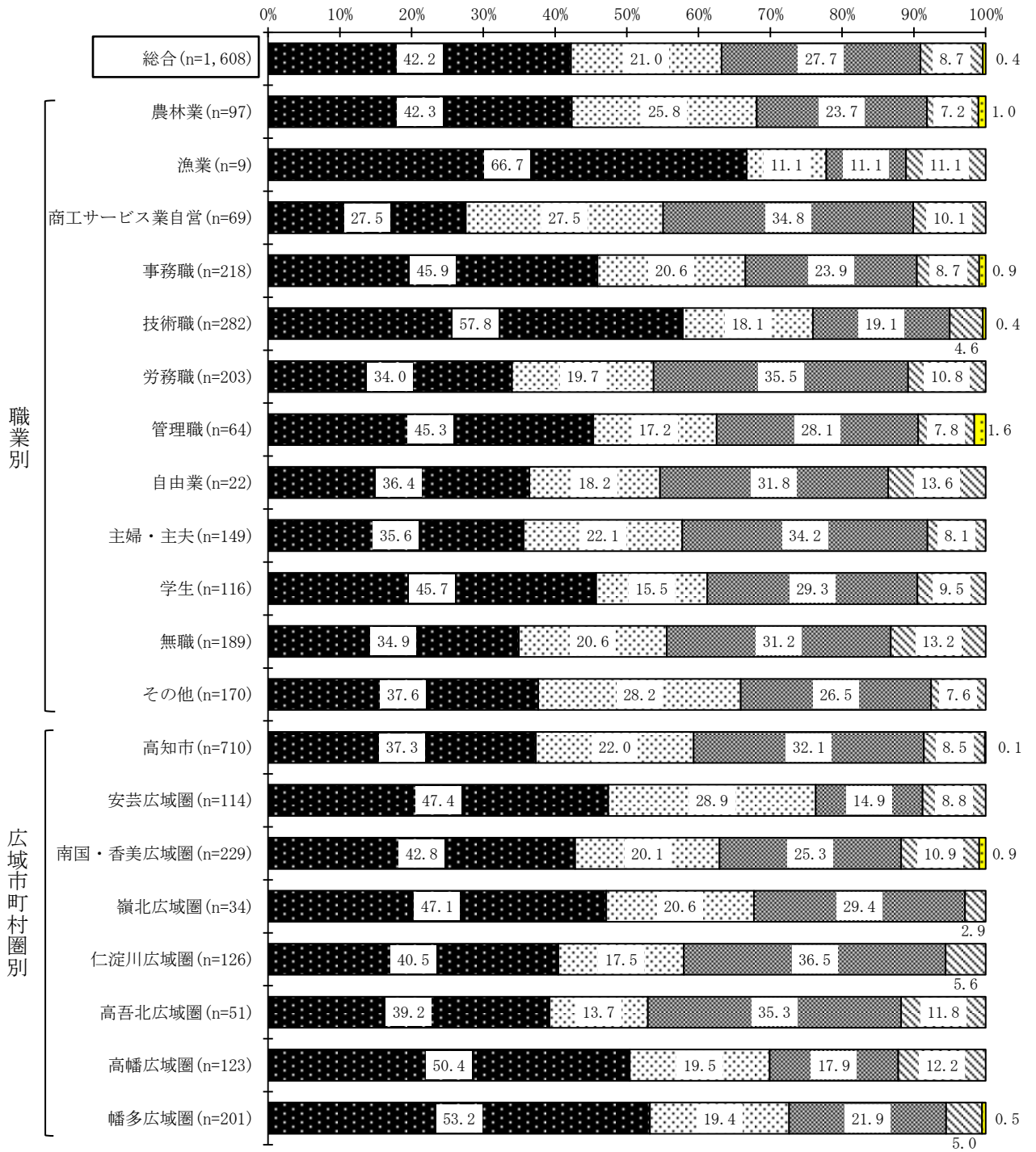
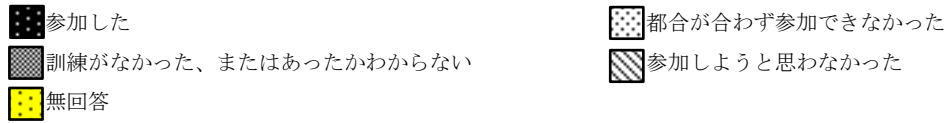
【年代別】

すべての年代で「参加した」が 1 位になっている。

《総合・性別・年代別・沿岸部別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 19 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。  
(2つまで○印)

【総合】 「近所同士で声を掛け合って一緒に参加する」が36.2%で1位になっている。

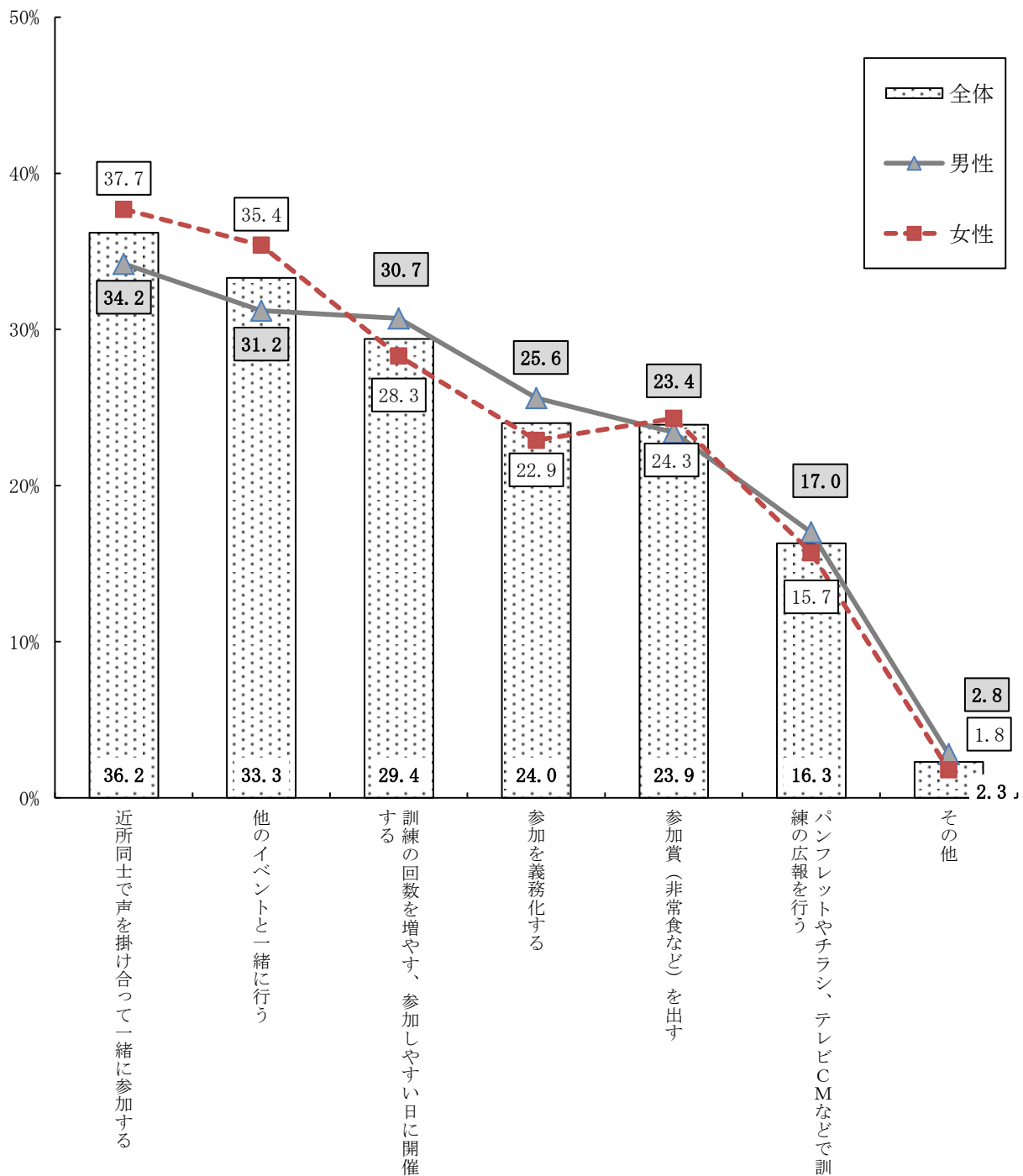
次いで「他のイベントと一緒にを行う」が33.3%、「訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する」が29.4%となっている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

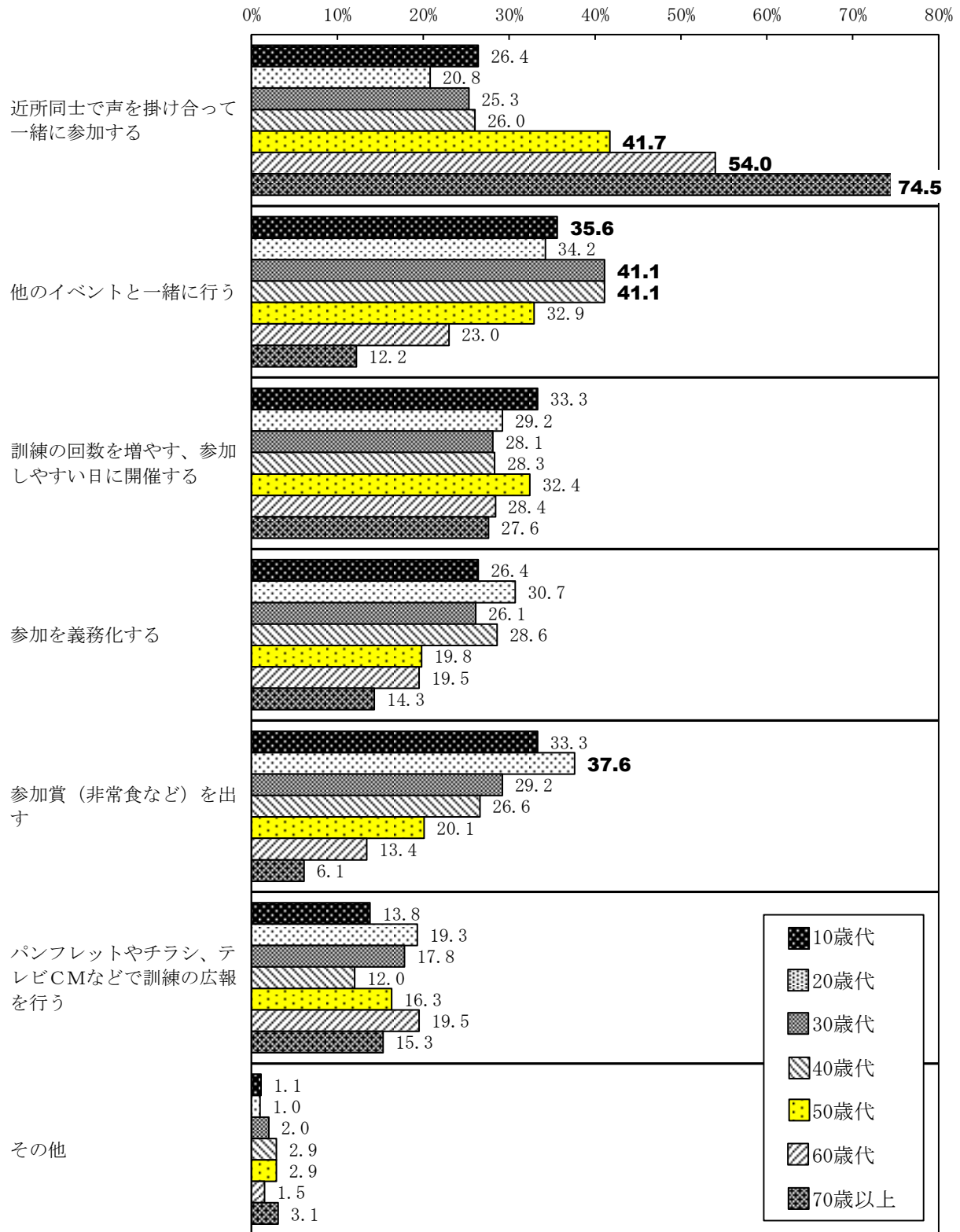
(単位：%)



【年代別】

10歳代、30歳代、40歳代では「他のイベントと一緒にやる」が、20歳代では「参加賞（非常食など）を出す」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「近所同士で声を掛け合っ一緒に参加する」が1位になっている。

《 年 代 別 》





《職業別・広域市町村圏別・沿岸部別》

(単位：%)

項目 属性		近所同士で声を掛け合っ て一緒に参加する	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う	他のイベントと一緒に 行う	参加賞(非常食など)を出す	参加を義務化する	その他
職業別	農林業	50.5	21.6	11.3	27.8	17.5	20.6	1.0
	漁業	55.6	22.2	11.1	33.3	11.1	33.3	0.0
	商工サービス業自営	44.9	36.2	15.9	30.4	18.8	26.1	0.0
	事務職	28.9	28.0	12.8	40.8	27.5	27.1	3.7
	技術職	30.5	32.3	12.8	38.3	27.0	23.4	2.1
	労務職	33.5	31.0	14.3	35.0	23.2	27.6	2.5
	管理職	23.4	34.4	23.4	32.8	26.6	20.3	4.7
	自由業	40.9	31.8	27.3	27.3	18.2	31.8	0.0
	主婦・主夫	40.9	28.2	19.5	31.5	18.1	23.5	2.7
	学生	19.0	29.3	17.2	35.3	40.5	29.3	0.9
	無職	53.4	26.5	22.8	21.7	15.9	16.4	1.6
	その他	38.2	29.4	17.6	32.4	24.7	24.1	2.4
広域市町村圏別	高知市	29.4	32.4	17.7	36.2	24.8	25.1	2.0
	安芸広域圏	44.7	22.8	15.8	31.6	22.8	25.4	1.8
	南国・香美広域圏	36.7	26.6	18.8	32.8	20.1	24.5	2.6
	嶺北広域圏	55.9	29.4	8.8	20.6	23.5	26.5	0.0
	仁淀川広域圏	38.1	29.4	18.3	31.7	24.6	31.0	0.8
	高吾北広域圏	52.9	31.4	11.8	35.3	13.7	15.7	2.0
	高幡広域圏	45.5	29.3	10.6	30.9	28.5	19.5	2.4
幡多広域圏	39.3	26.4	13.9	31.3	26.9	18.9	3.5	
部別 沿岸	沿岸部	39.2	29.7	14.5	32.2	24.2	22.4	1.8
	非沿岸部	34.2	29.6	17.2	34.3	24.1	25.1	2.4

問 20 あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。  
増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（1つだけ○印）

【総合】 「昭和56年5月以前の木造住宅」が25.7%で1位になっている。

次いで「昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅」が21.8%、「平成12年6月以降の木造住宅」が16.8%となっている。

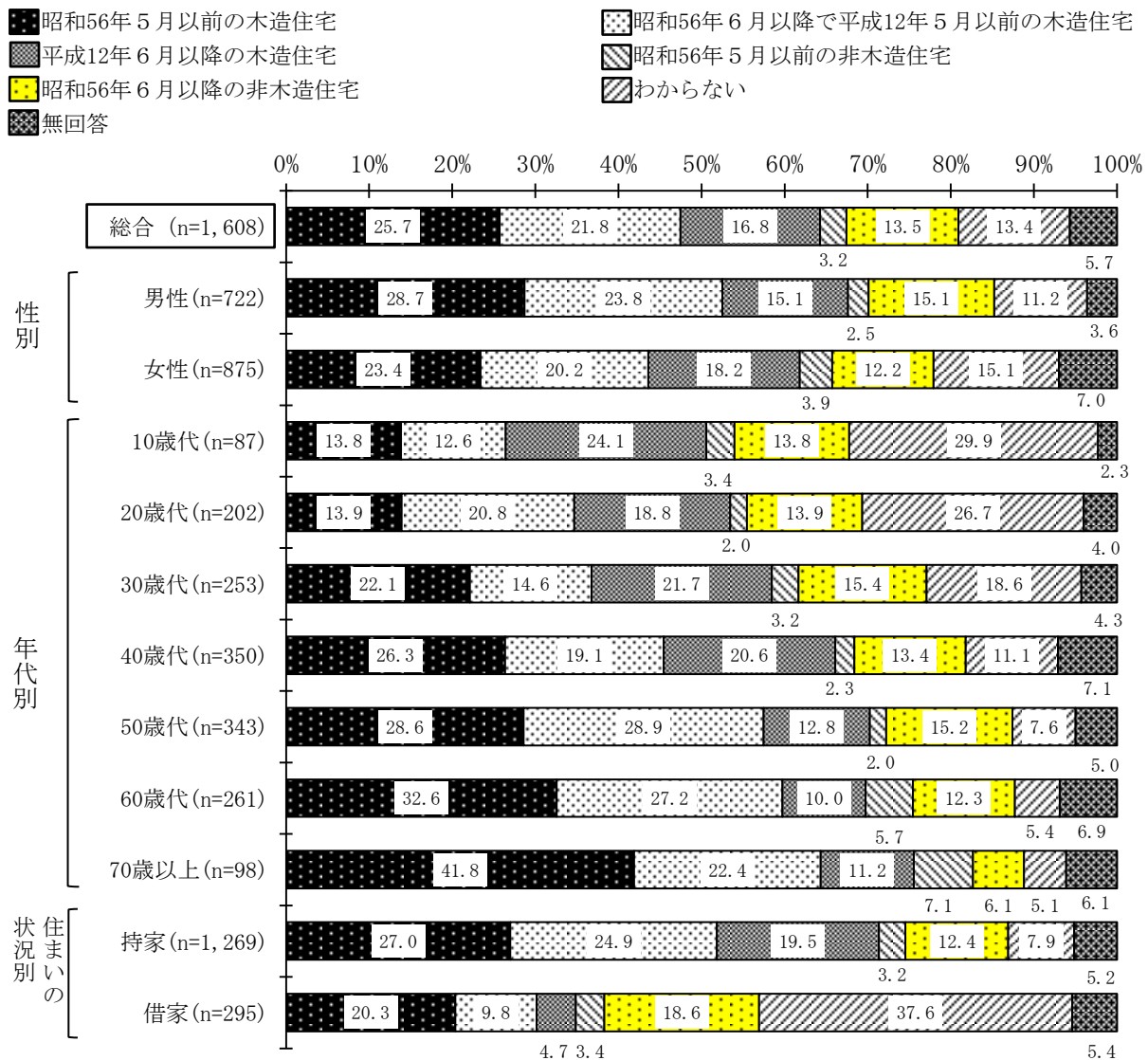
【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

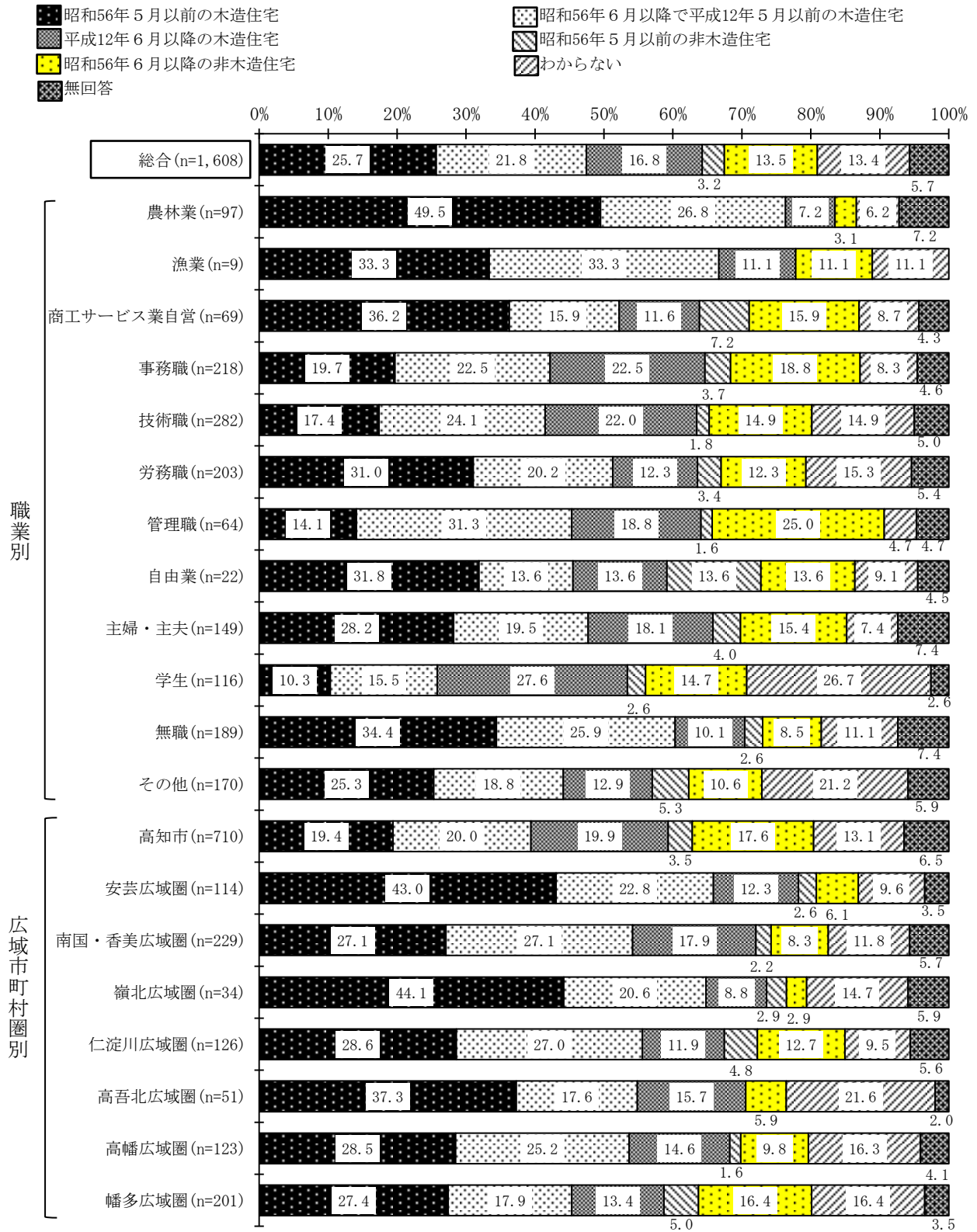
【年代別】

低い年代ほど「わからない」が高くなっている。

《総合・性別・年代別・住まいの状況別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 20 副問 1 (問 20 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

専門家による耐震診断(地震の揺れに対する建物の強さの診断)を受けたことがありますか、また、その結果はどうでしたか。(1つだけ○印)

【総合】 「診断を受けたことはない」が79.2%で1位になっている。

次いで「診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」が17.9%となっている。

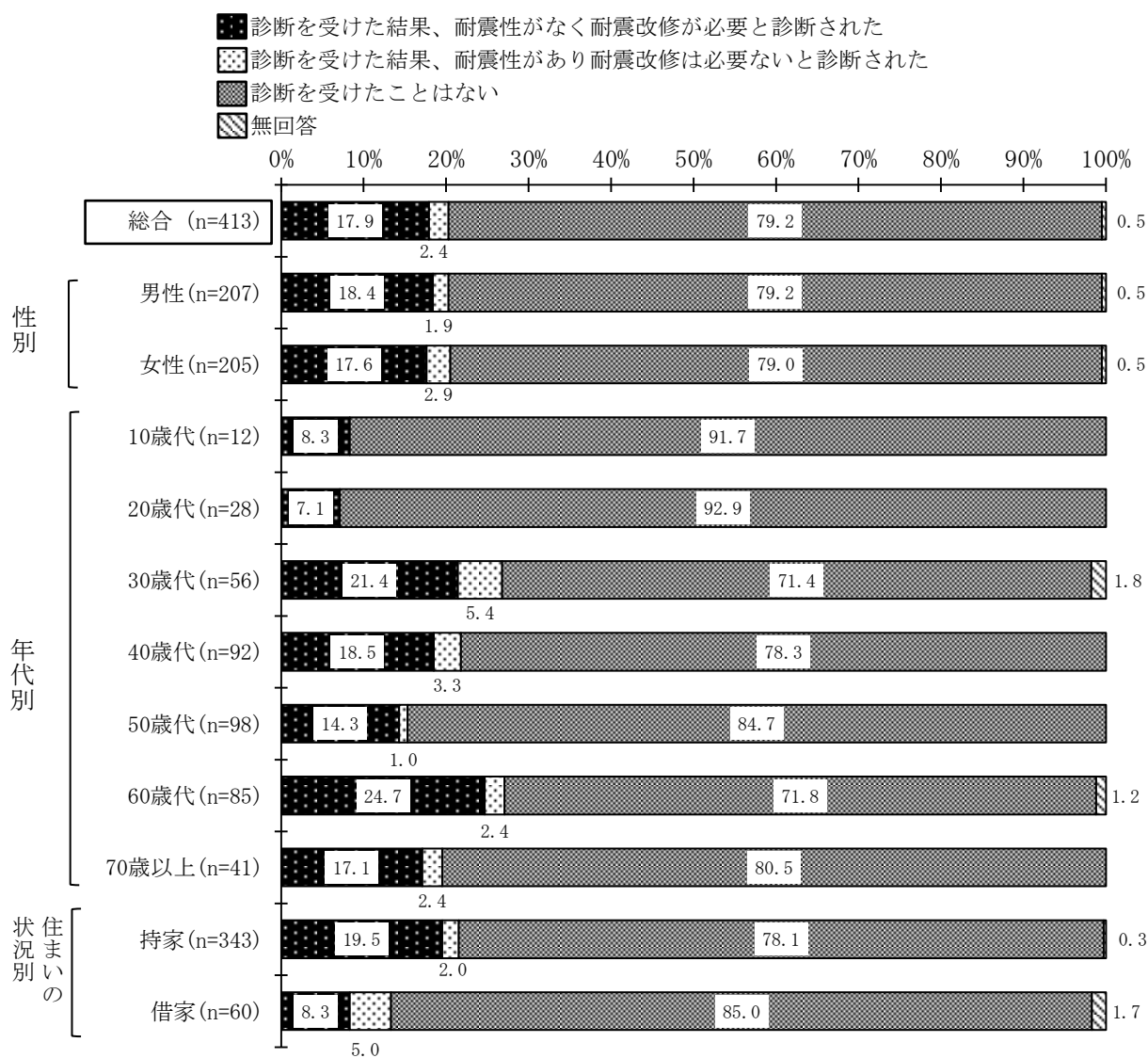
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

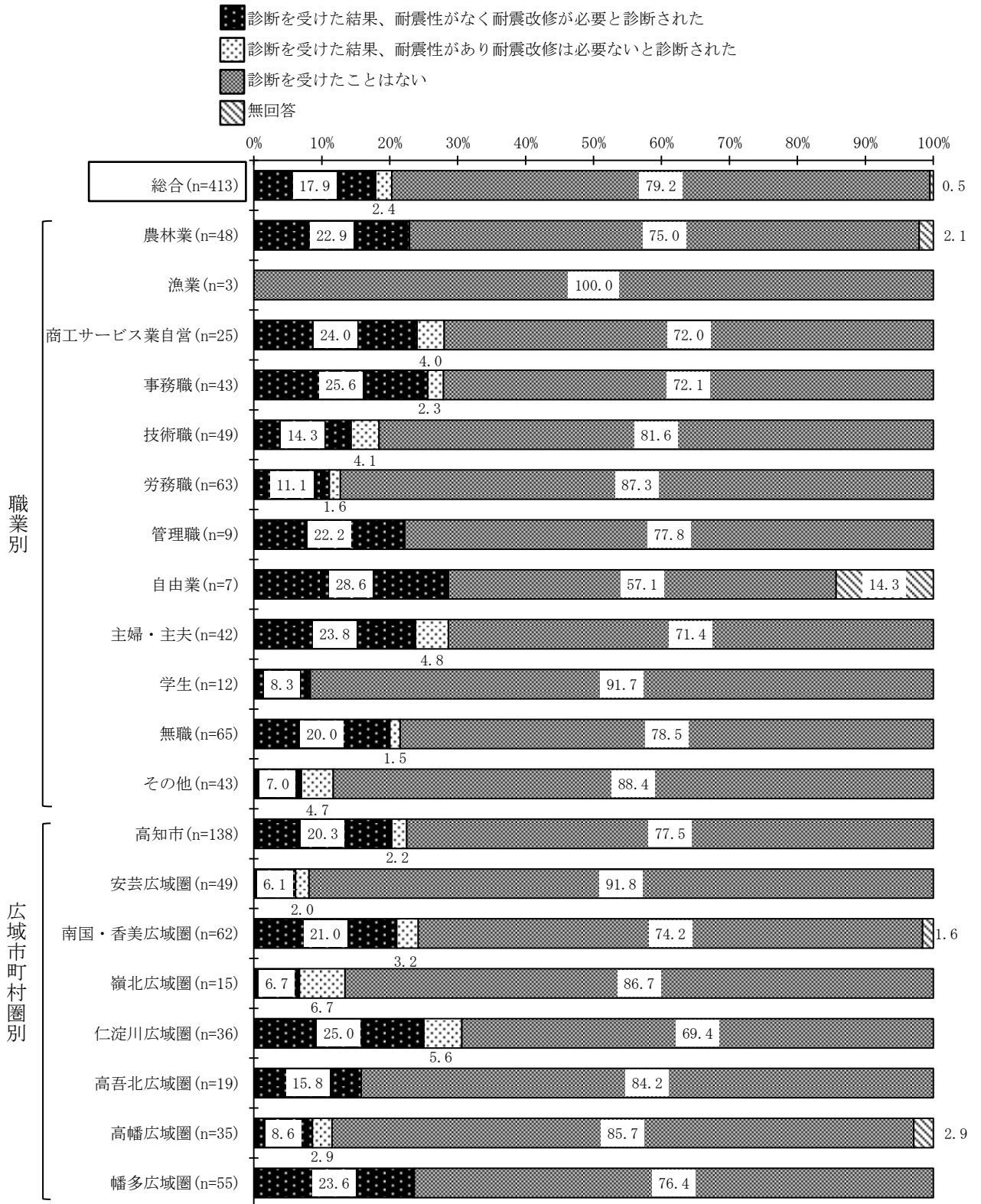
【年代別】

すべての年代で「診断を受けたことはない」が1位になっている。

《総合・性別・年代別・住まいの状況別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 20 副問 2 (副問 1 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

耐震改修工事を行いましたか、また、建て替えなどを予定していますか。(1 つだけ○印)

【総合】 「耐震改修工事を行った」が 47.3% で 1 位になっている。

次いで「耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」が 21.6% と続いている。

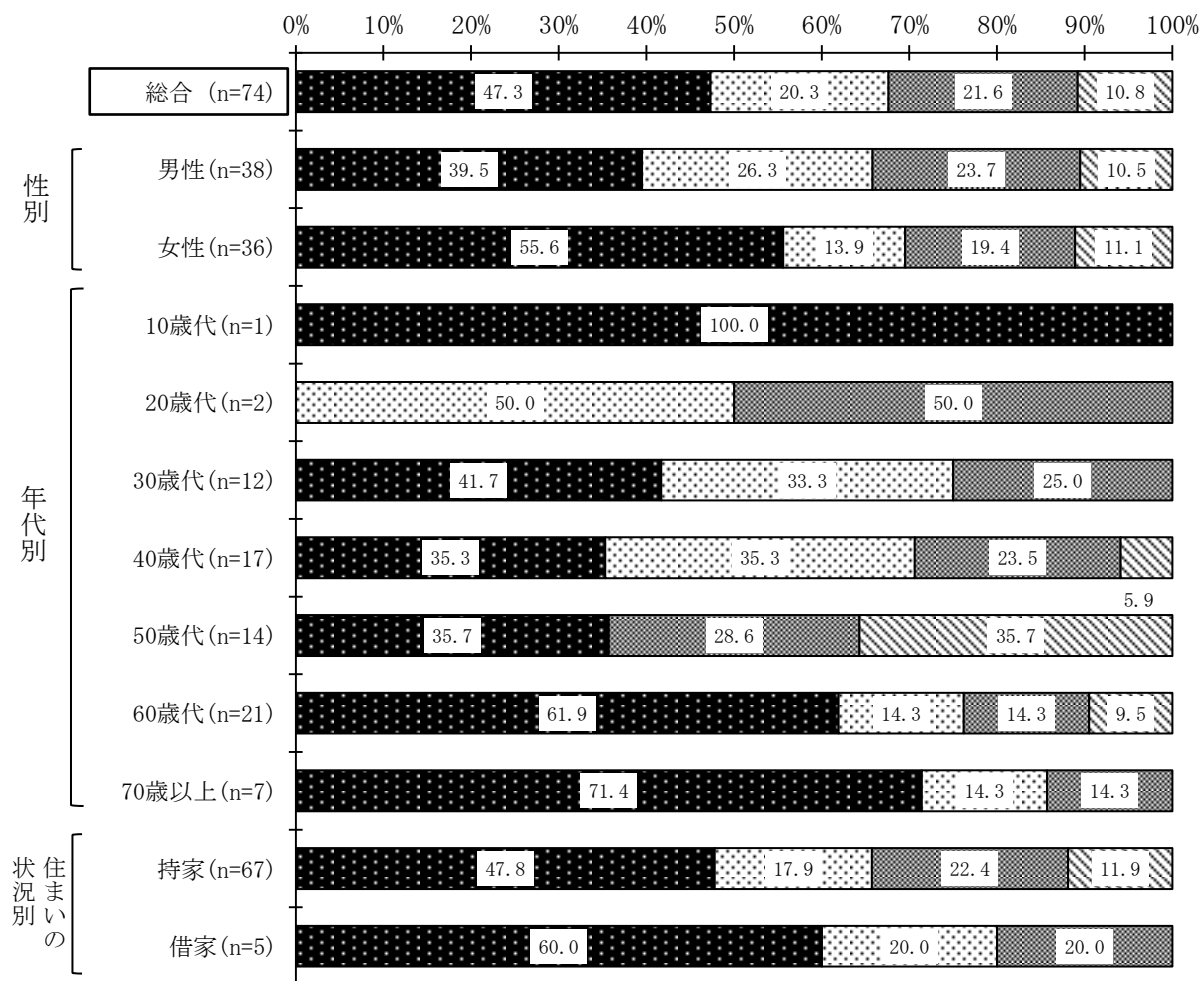
【性別】

「耐震改修工事を行った」では、女性が男性より 16.1 ポイント高くなっている。

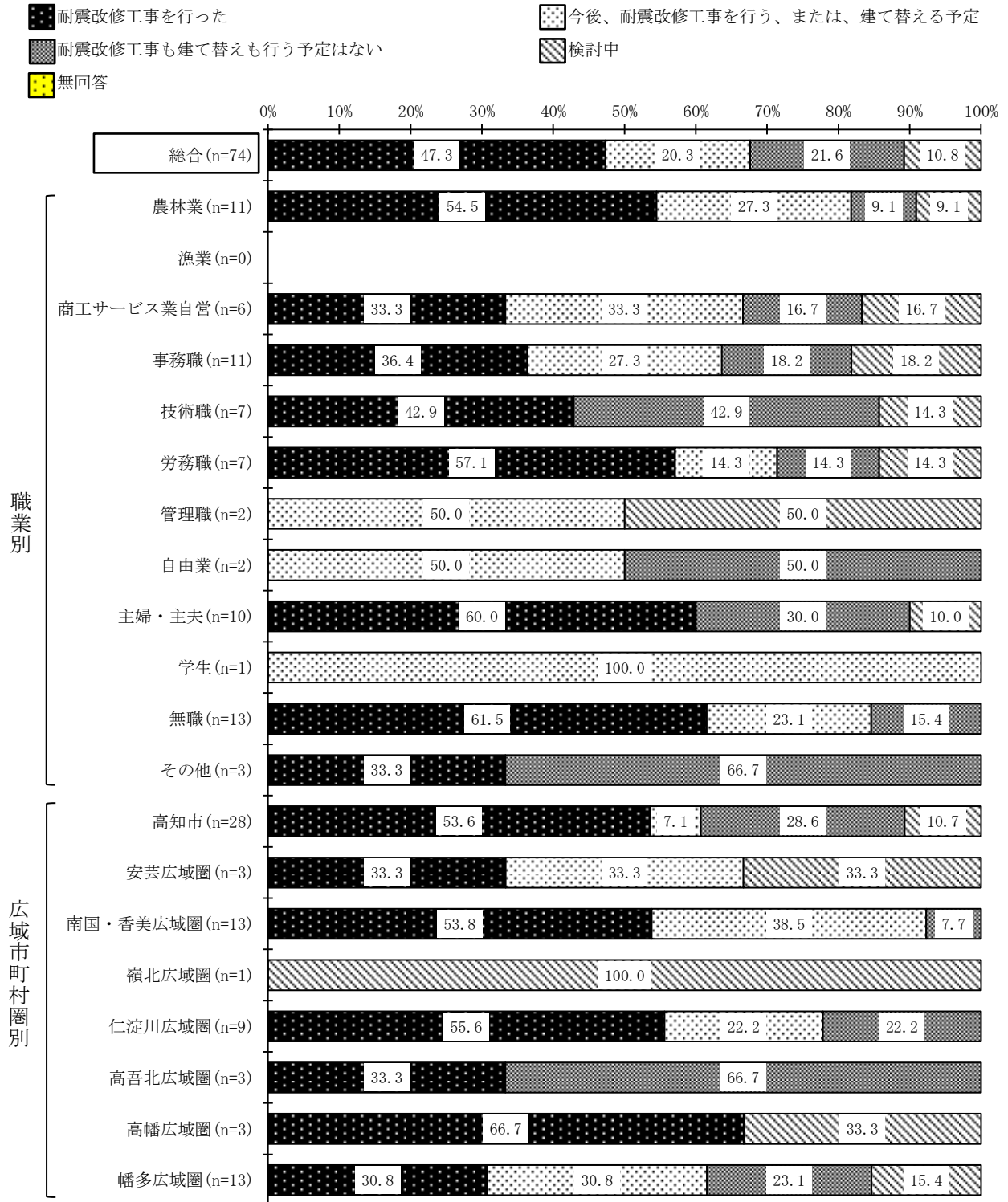
【年代別】

60 歳代、70 歳以上では「耐震改修工事を行った」が高くなっている。

《総合・性別・年代別・住まいの状況別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 20 副問 3 (副問 1で「3」を選んだ方のみお答えください。)

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が44.6%で1位になっている。

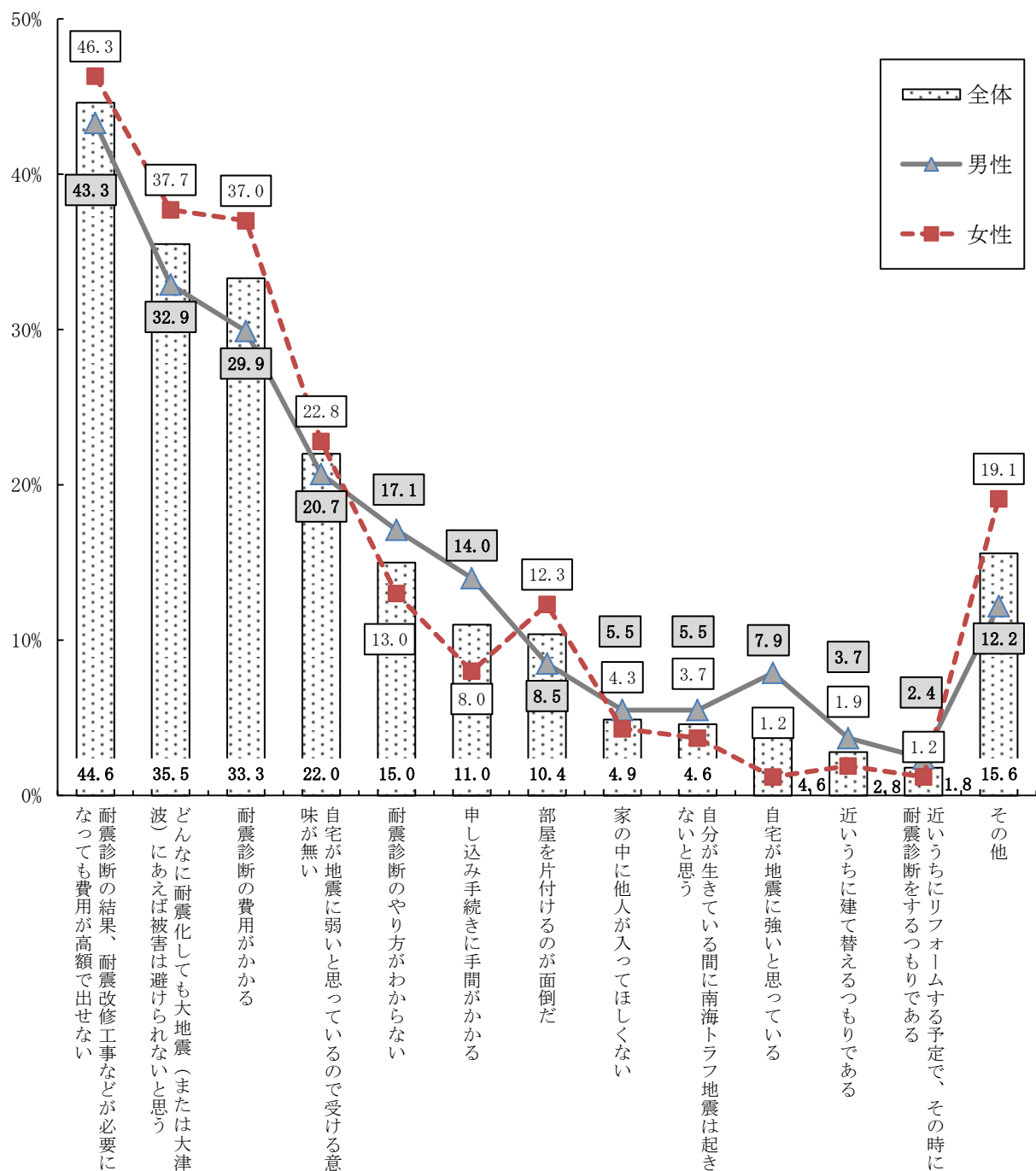
次いで「どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う」が35.5%、「耐震診断の費用がかかる」が33.3%となっている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

(単位：%)

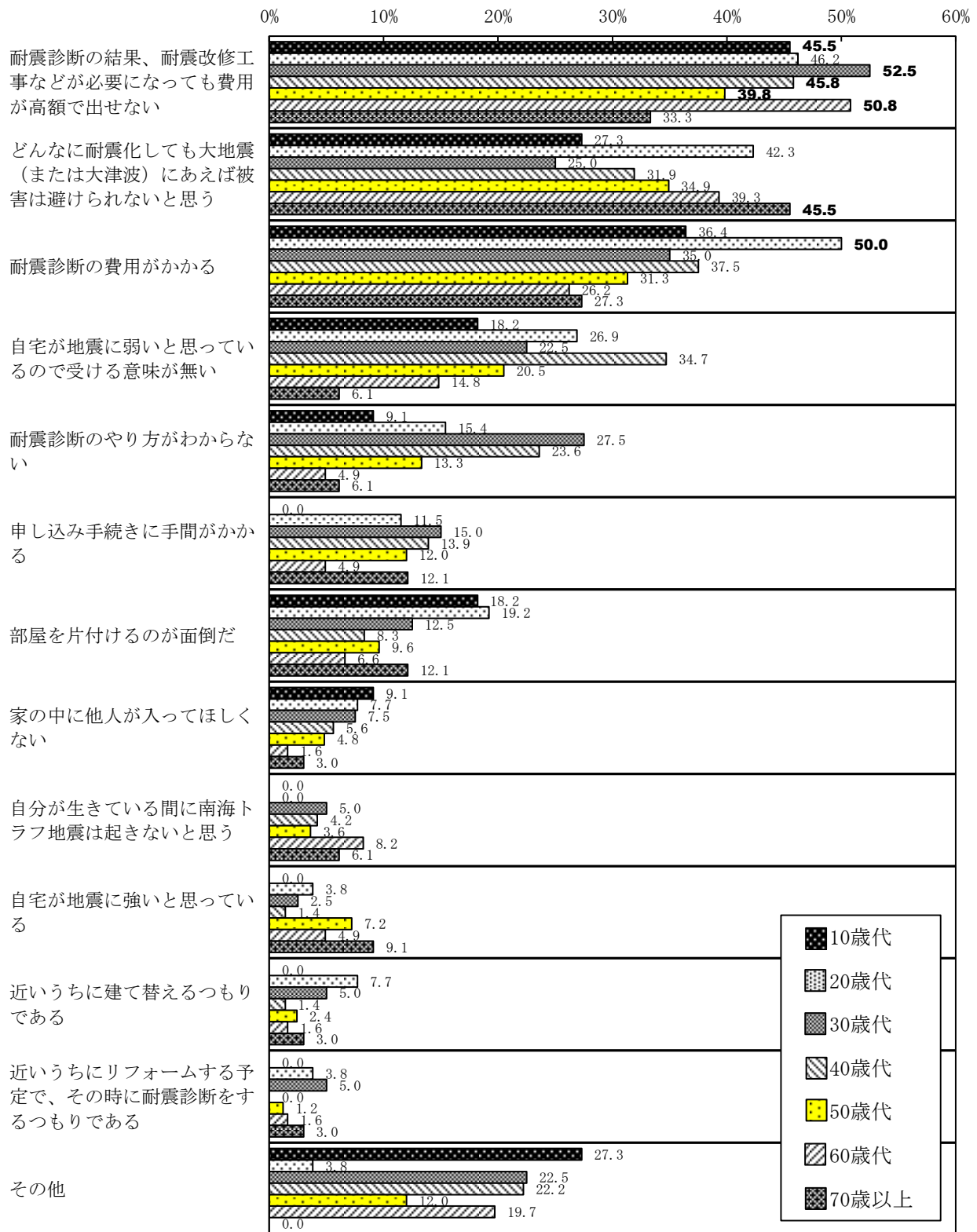




【年代別】

10歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない」が、20歳代では「耐震診断の費用がかかる」が、70歳以上では「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別・住まいの状況別》

(単位：%)

項目		属性												
		自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	自宅が地震に強いと思っている	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	自宅が地震に弱いと思っている	申し込み手続きに手間がかかる	家の中に他人が入ってほしくない	部屋を片付けるのが面倒だ	耐震診断の費用がかかる	耐震診断のやり方がわからない	耐震診断の結果、耐震改修工事が必要になっても費用が高額で出せない	近いうちに建て替えるつもりである	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	その他
職業別	農林業	2.8	11.1	16.7	11.1	5.6	13.9	30.6	8.3	2.8	0.0	41.7	27.8	0.0
	漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	商工サービス業自営	0.0	11.1	11.1	16.7	0.0	11.1	27.8	22.2	0.0	0.0	61.1	44.4	22.2
	事務職	6.5	0.0	29.0	3.2	3.2	16.1	41.9	19.4	0.0	3.2	45.2	35.5	12.9
	技術職	5.0	0.0	15.0	12.5	2.5	10.0	37.5	17.5	0.0	5.0	45.0	37.5	17.5
	労務職	3.6	5.5	32.7	12.7	5.5	5.5	32.7	20.0	1.8	3.6	47.3	36.4	18.2
	管理職	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6
	自由業	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	6.7	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	30.0	3.3	3.3	3.3	40.0	20.0	23.3
	学生	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	18.2	36.4	9.1	9.1	0.0	45.5	18.2	18.2
	無職	5.9	5.9	21.6	7.8	11.8	11.8	25.5	11.8	2.0	2.0	45.1	49.0	11.8
その他	5.3	5.3	7.9	15.8	5.3	15.8	39.5	18.4	2.6	0.0	42.1	34.2	23.7	
広域市町村圏別	高知市	2.8	3.7	23.4	11.2	3.7	12.1	41.1	16.8	1.9	5.6	40.2	24.3	18.7
	安芸広域圏	4.4	2.2	17.8	8.9	6.7	11.1	31.1	8.9	0.0	0.0	46.7	53.3	11.1
	南国・香美広域圏	2.2	8.7	23.9	15.2	6.5	13.0	34.8	13.0	2.2	2.2	54.3	39.1	10.9
	嶺北広域圏	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	23.1	7.7	7.7	0.0	30.8	38.5	15.4
	仁淀川広域圏	12.0	4.0	16.0	8.0	12.0	16.0	24.0	8.0	0.0	4.0	40.0	48.0	24.0
	高吾北広域圏	6.3	0.0	25.0	12.5	6.3	6.3	18.8	18.8	6.3	0.0	56.3	56.3	6.3
	高幡広域圏	3.3	6.7	33.3	10.0	3.3	10.0	30.0	16.7	3.3	3.3	50.0	16.7	13.3
	幡多広域圏	4.8	2.4	21.4	11.9	2.4	4.8	28.6	19.0	0.0	0.0	40.5	40.5	19.0
住まいの状況別	持家	4.9	5.6	20.5	12.3	5.2	11.9	35.1	15.7	2.2	3.4	48.1	36.9	10.8
	借家	0.0	0.0	31.4	5.9	3.9	3.9	25.5	11.8	0.0	0.0	23.5	25.5	43.1

問 20 副問 4 (副問 2 で「3」、「4」を選んだ方のみお答えください。)

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「費用が高い」が 75.0% で 1 位になっている。

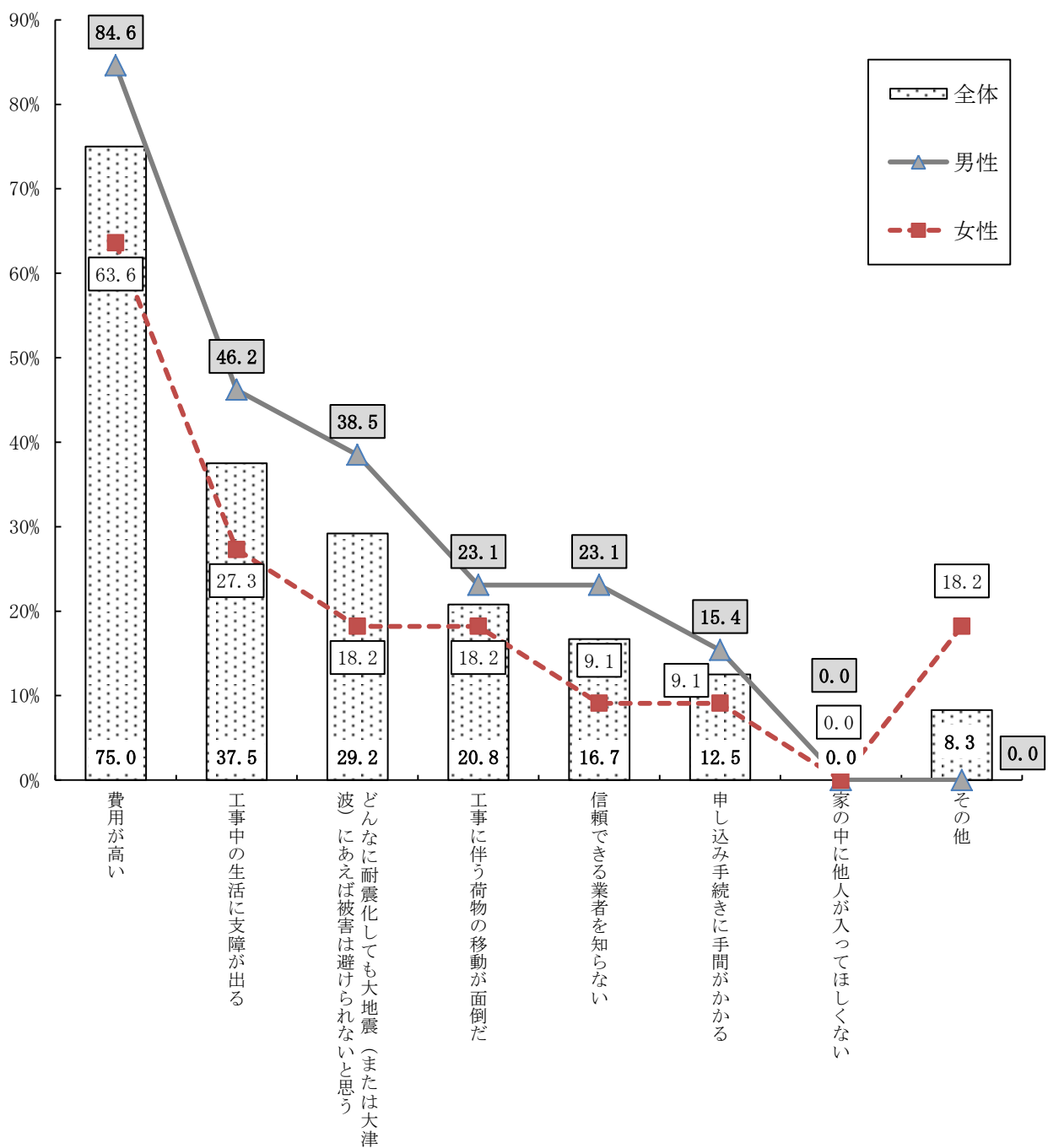
次いで「工事中の生活に支障が出る」が 37.5%、「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」が 29.2% と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

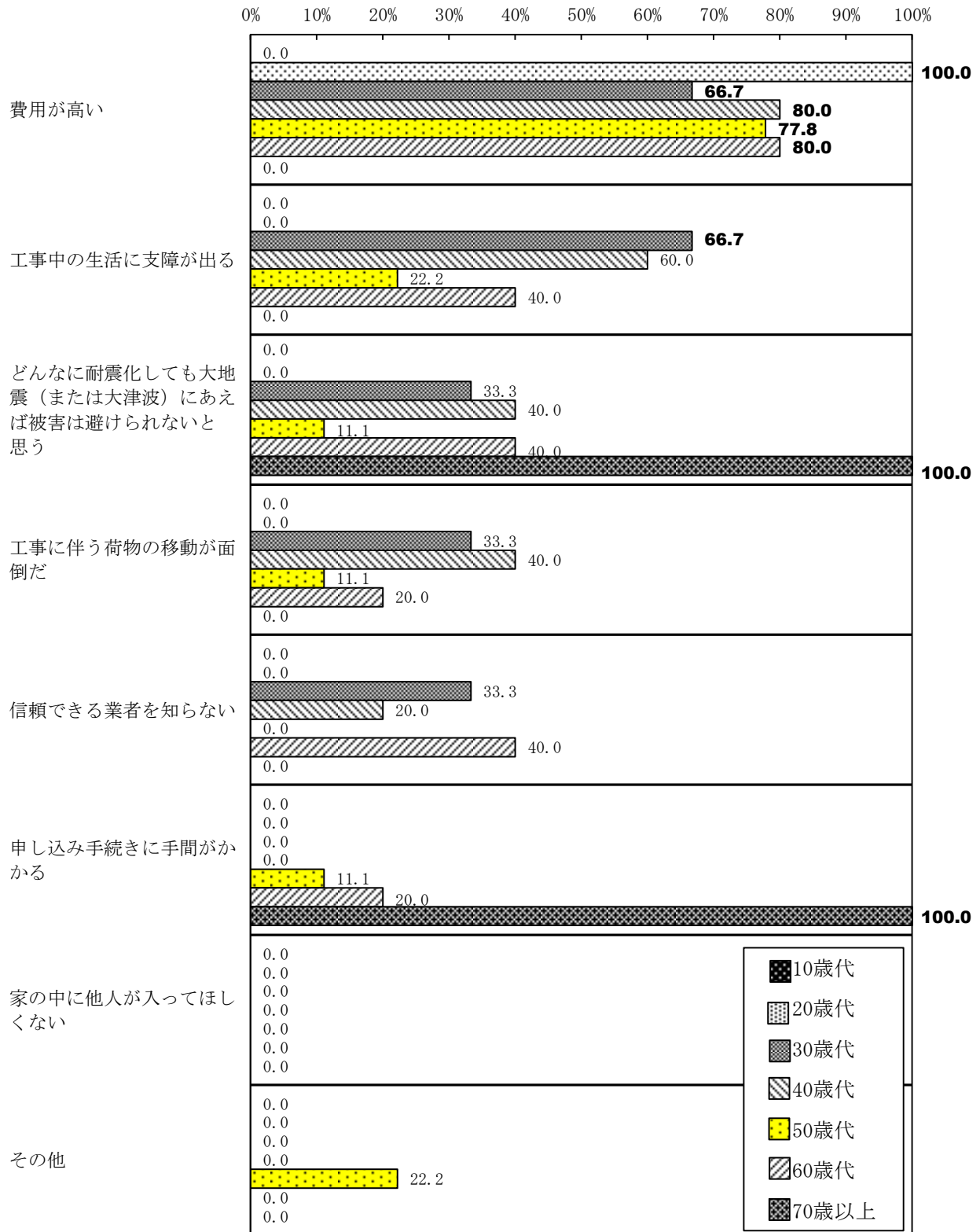
(単位：%)



【年代別】

20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「費用が高い」が、30歳代ではこれと同率で「工事中の生活に支障が出る」が、70歳以上では「どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う」、「申し込み手続きに手間がかかる」が同率で1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別・住まいの状況別》

(単位：%)

項目 属性		費用が高い	申し込み手続きに手間がかかる	家の中に他人が入ってほしくない	工事中の生活に支障が出る	工事に伴う荷物の移動が面倒だ	信頼できる業者を知らない	どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う	その他
職業別	農林業	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務職	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	技術職	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	労務職	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	管理職	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	自由業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
広域市町村圏別	高知市	72.7	9.1	0.0	18.2	9.1	9.1	36.4	9.1
	安芸広域圏	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	南国・香美広域圏	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	嶺北広域圏	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	高吾北広域圏	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	高幡広域圏	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	幡多広域圏	80.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0
住まいの状況別	持家	73.9	13.0	0.0	39.1	17.4	17.4	30.4	4.3
	借家	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

問 20 副問 5 (各問から副問 5 へ誘導された方のみお答えください。)

県や市町村が昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますが、ご存じですか。(1つだけ○印)

【総合】 「知っている」と「既に利用した(利用中を含む)」を合わせると 58.5%が制度を知っている。

そのうち「知っている」が 54.6%、「既に利用した(利用中を含む)」が 3.9%となっている。

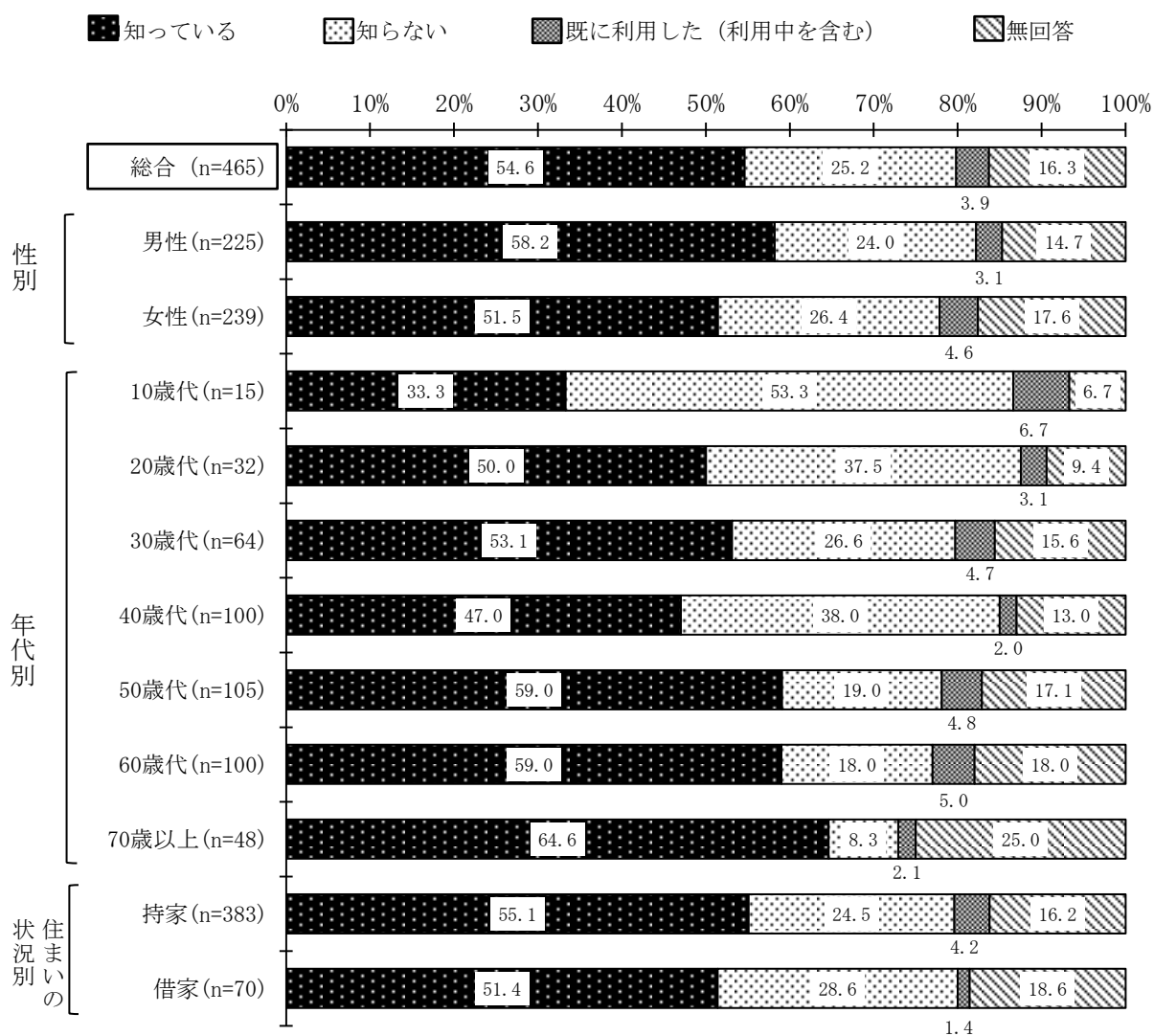
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

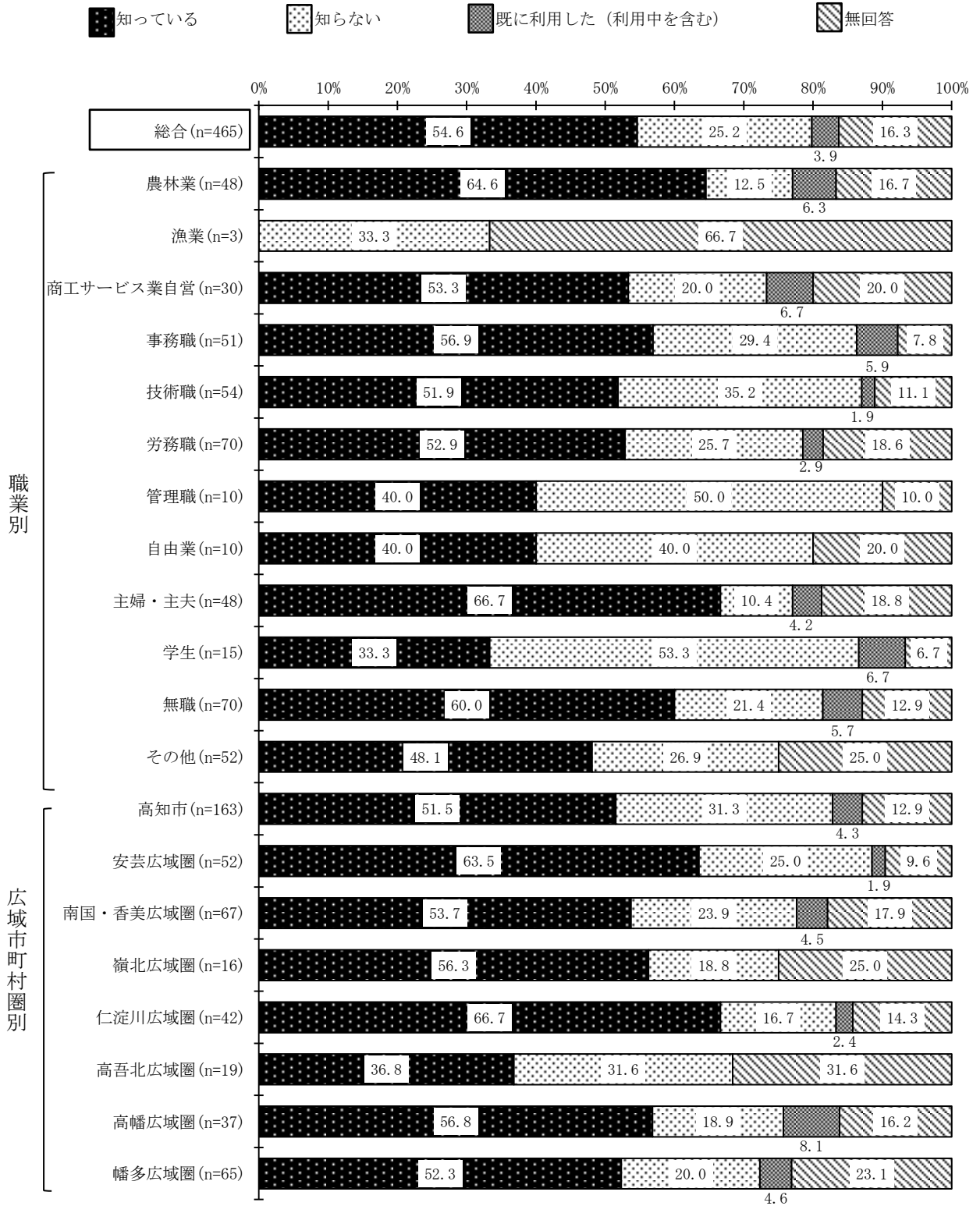
【年代別】

10 歳代では「知らない」が、10 歳代を除くすべての年代では「知っている」が 1 位になっている。

《総合・性別・年代別・住まいの状況別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 21 耐震改修工事について、自己負担がどれくらいの金額までなら工事をしてよいと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】 「10万円まで」が33.3%で1位になっている。

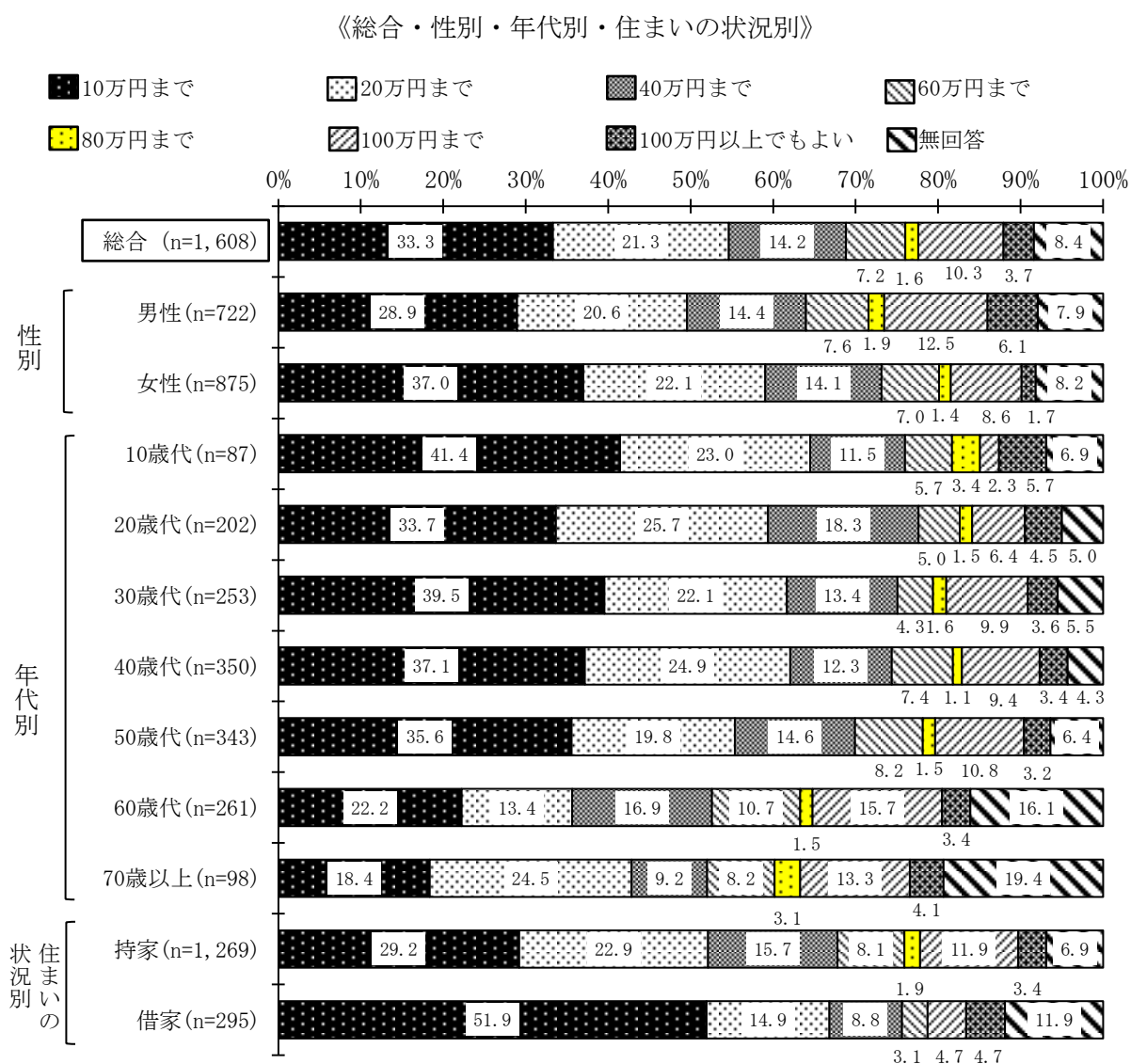
次いで「20万円まで」が21.3%、「40万円まで」が14.2%と続いている。

【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

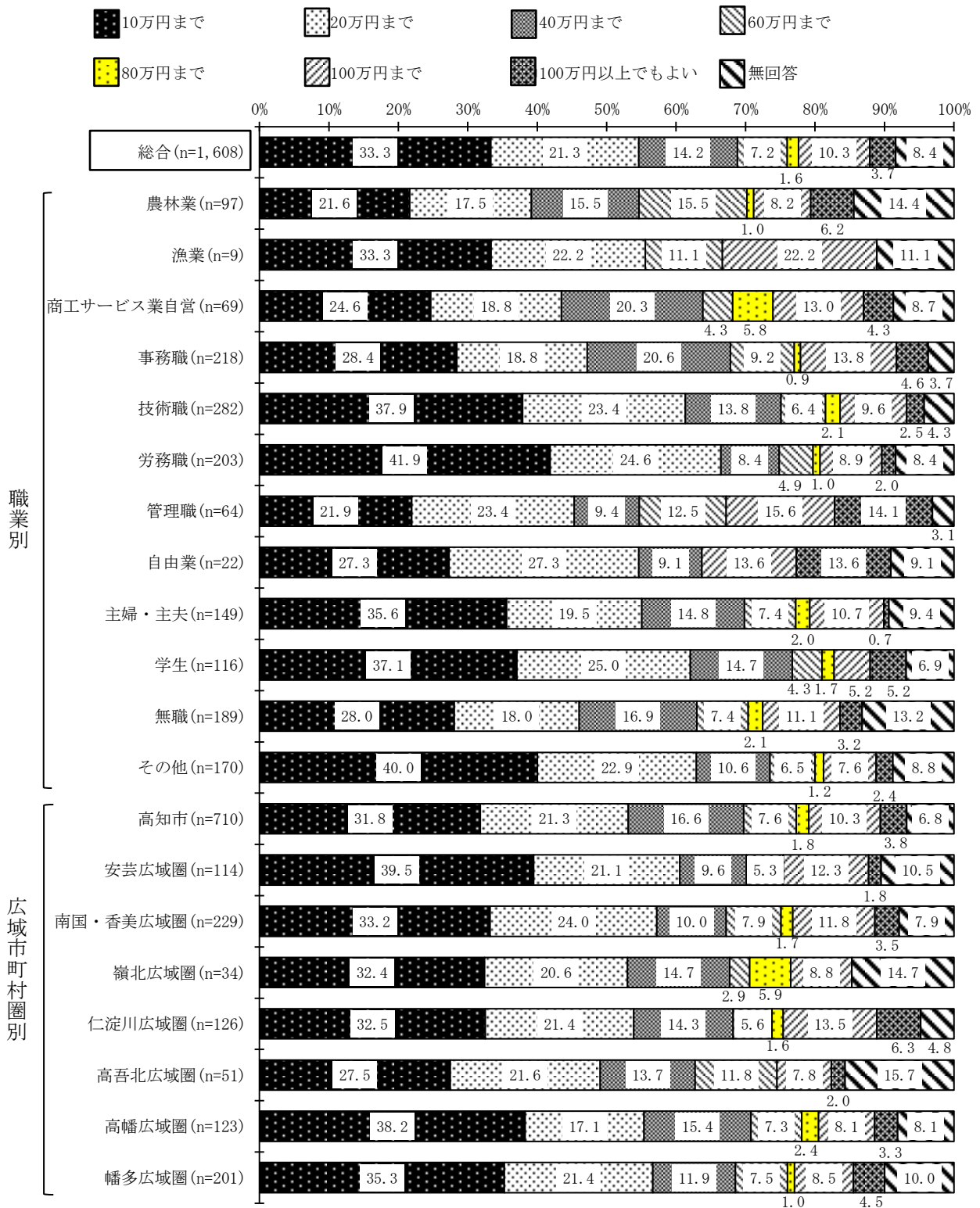
【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「10万円まで」が、70歳以上では「20万円まで」が1位になっている。





《職業別・広域市町村圏別》



【問 20×問 21 のクロス分析】

「自宅の建築年と構造についてお答えください。」という質問への回答に対し、「耐震工事における自己負担額がどれくらいの金額までなら工事をしてよいと思いますか。」について見てみると、建築年と構造に関わらず、「10万円まで」が高くなっている。

《問 20×問 21 のクロス分析》

(単位：%)

		問 21						
		10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	でもよい 100万円以上
問 20	昭和 56 年 5 月以前の木造住宅	31.7	21.1	11.4	5.6	1.7	12.8	3.4
	昭和 56 年 6 月以降で平成 12 年 5 月以前の木造住宅	30.3	20.9	16.6	11.4	2.0	12.3	4.0
	平成 12 年 6 月以降の木造住宅	25.6	24.8	18.9	9.3	1.9	9.3	2.6
	昭和 56 年 5 月以前の非木造住宅	32.7	15.4	11.5	3.8	1.9	13.5	3.8
	昭和 56 年 6 月以降の非木造住宅	33.2	21.2	15.7	6.5	0.9	11.5	6.9
	わからない	50.7	20.9	7.4	4.7	1.4	3.7	2.3

問 22 今後、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。

(3つまで○印)

【総合】 「耐震診断士の無料派遣」が43.2%で1位になっている。

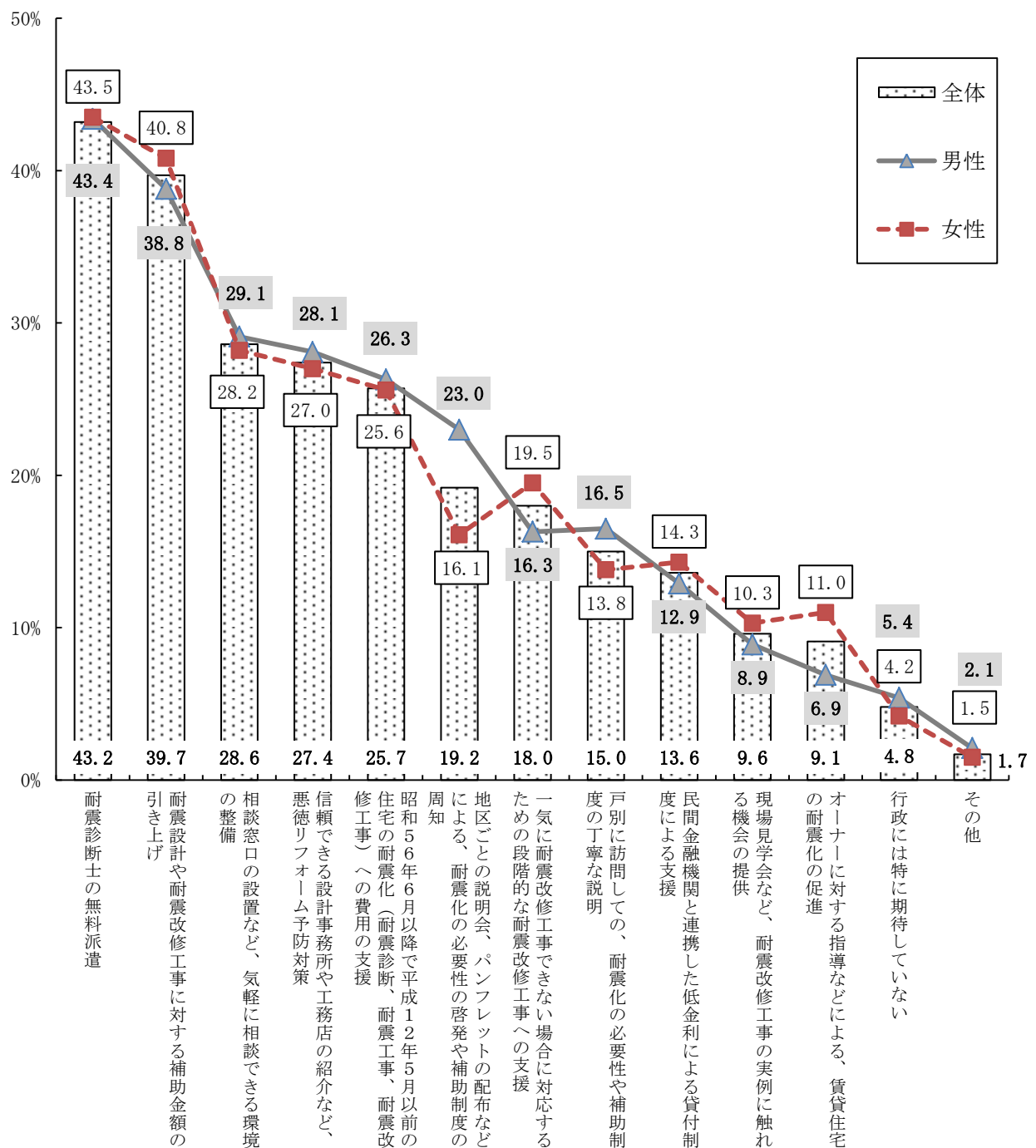
次いで「耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ」が39.7%、「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が28.6%と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

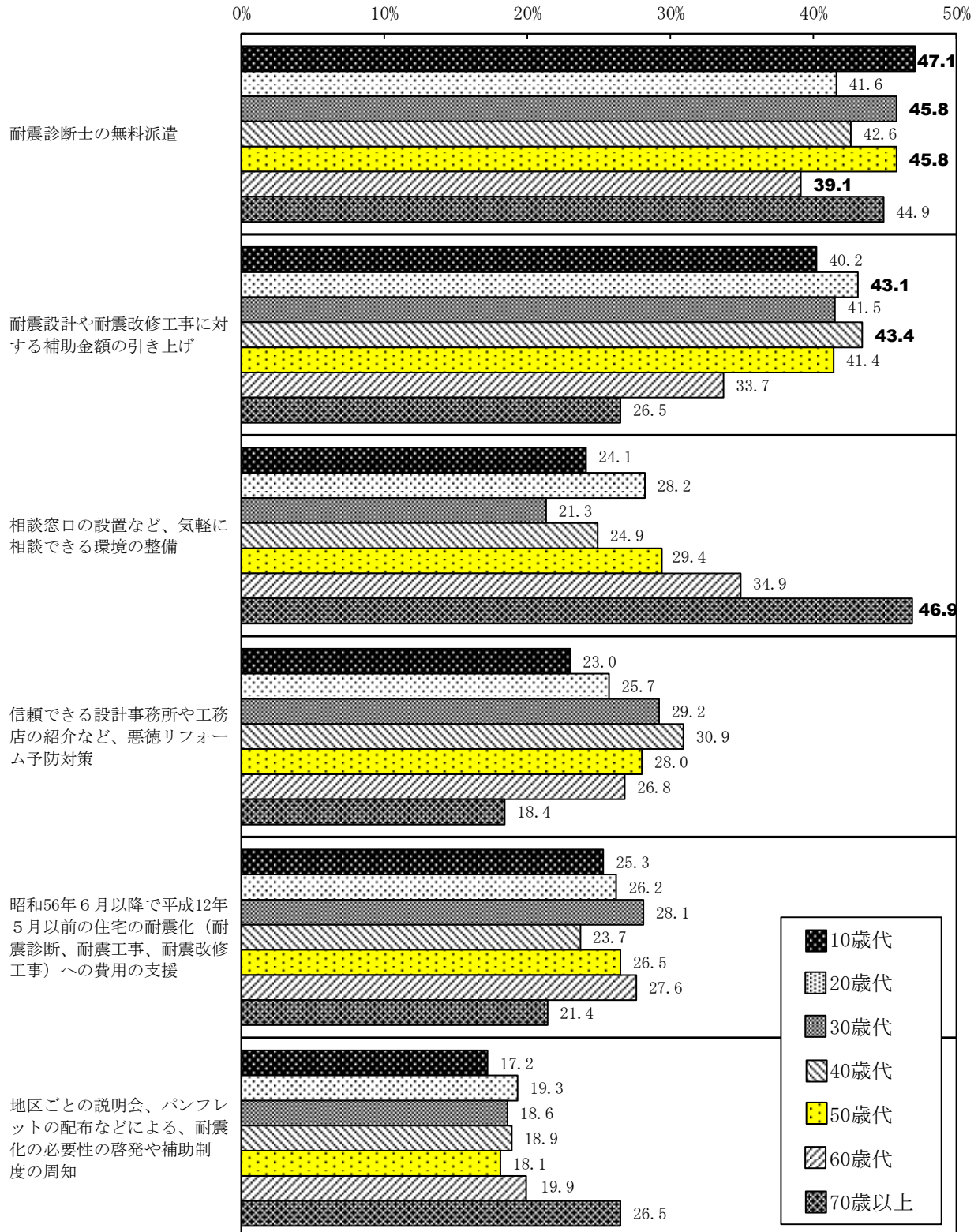
(単位：%)

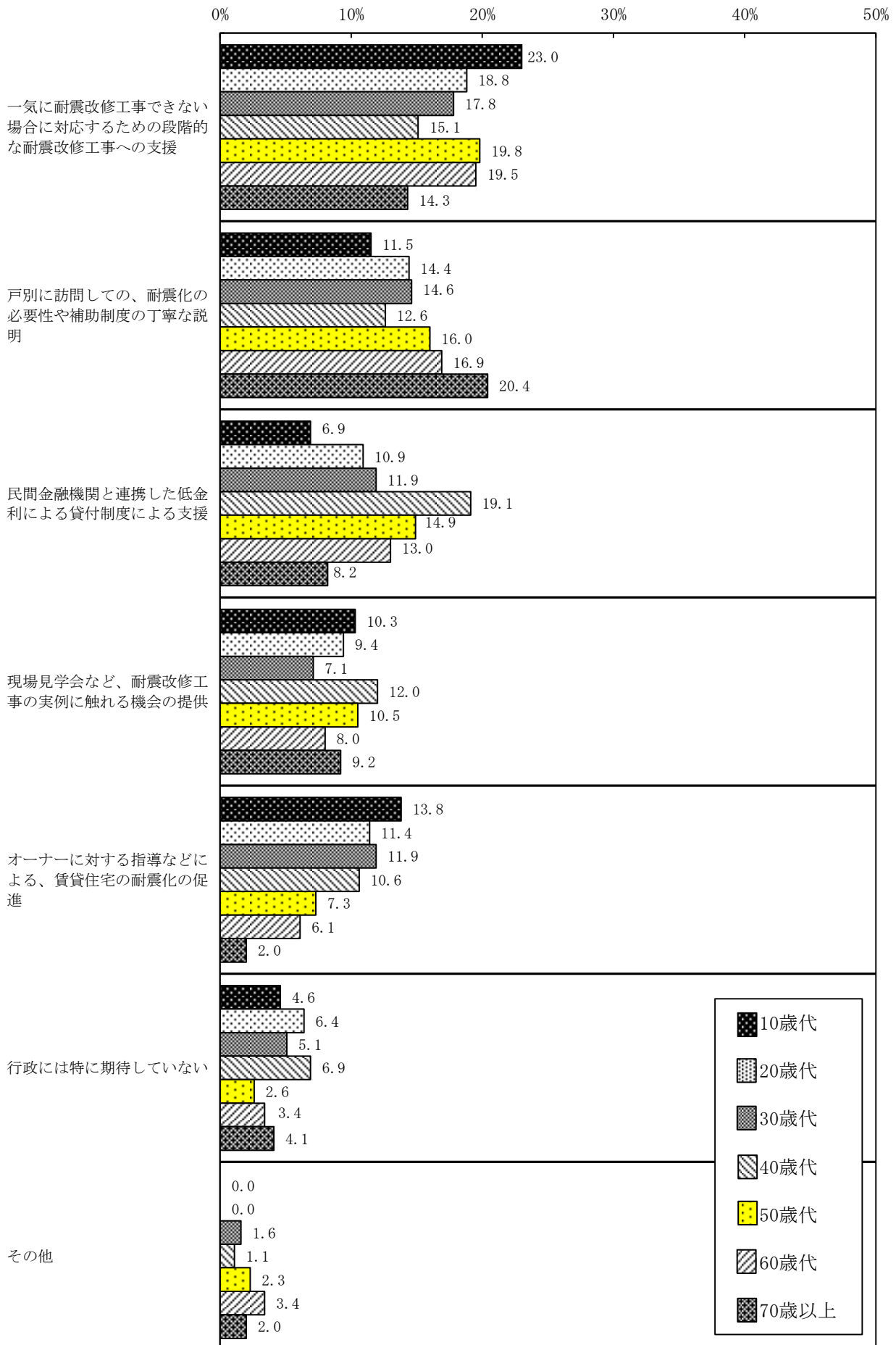


【年代別】

10歳代、30歳代、50歳代、60歳代では「耐震診断士の無料派遣」が、20歳代、40歳代では「耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ」が、70歳以上では「相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備」が1位になっている。

《 年 代 別 》





《職業別・広域市町村圏別・住まいの状況別》

(単位：%)

属性		項目												
		相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	耐震診断士の無料派遣	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	一気耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	費用の支援	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震工事、耐震改修工事)への費用の支援	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供	オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進
職業別	農林業	27.8	23.7	17.5	39.2	36.1	19.6	22.7	9.3	30.9	5.2	2.1	5.2	2.1
	漁業	44.4	22.2	22.2	33.3	44.4	11.1	0.0	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業 自営	36.2	18.8	18.8	33.3	33.3	23.2	20.3	13.0	24.6	8.7	4.3	7.2	0.0
	事務職	24.3	21.6	12.4	41.7	42.2	20.6	27.1	14.2	28.9	14.2	11.9	3.7	1.8
	技術職	26.2	16.0	16.3	44.7	41.8	16.0	25.9	17.0	29.4	7.8	12.1	5.0	1.1
	労務職	24.6	18.2	16.7	45.3	36.5	17.2	24.6	13.8	31.5	5.9	11.8	6.4	1.5
	管理職	23.4	35.9	15.6	43.8	51.6	9.4	32.8	23.4	21.9	4.7	4.7	6.3	1.6
	自由業	36.4	13.6	18.2	50.0	45.5	22.7	18.2	18.2	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0
	主婦・主夫	30.2	18.1	14.1	50.3	38.9	19.5	22.8	9.4	26.8	12.8	9.4	4.7	3.4
	学生	25.0	20.7	12.9	46.6	44.0	18.1	33.6	8.6	24.1	8.6	10.3	3.4	0.0
	無職	36.5	21.2	16.9	42.9	31.7	17.5	29.6	10.1	25.9	8.5	3.2	4.2	2.1
	その他	31.8	13.5	10.0	41.8	45.3	19.4	24.1	17.1	25.9	12.9	11.2	3.5	2.9
広域市町村圏別	高知市	27.9	17.9	11.7	44.5	42.4	17.0	27.7	13.1	29.6	9.3	12.8	4.4	1.1
	安芸広域圏	25.4	17.5	15.8	35.1	37.7	20.2	28.1	14.0	25.4	12.3	3.5	7.9	3.5
	南国・香美広域圏	28.4	20.5	16.6	48.0	36.7	21.8	29.7	13.1	25.8	6.6	4.8	4.4	1.7
	嶺北広域圏	44.1	17.6	20.6	38.2	29.4	23.5	20.6	8.8	17.6	8.8	5.9	11.8	2.9
	仁淀川広域圏	24.6	18.3	16.7	46.0	30.2	16.7	23.8	15.9	34.9	12.7	9.5	4.8	1.6
	高吾北広域圏	37.3	31.4	19.6	37.3	43.1	9.8	15.7	7.8	19.6	13.7	7.8	3.9	3.9
	高幡広域圏	30.1	25.2	22.8	49.6	35.0	21.1	23.6	13.0	22.0	10.6	4.1	2.4	1.6
	幡多広域圏	29.9	18.4	16.4	37.3	45.8	17.4	19.9	16.9	26.4	9.5	8.0	5.5	2.0
住まいの 状況別	持家	29.1	20.0	15.5	44.8	41.2	18.9	26.7	13.9	28.5	9.5	4.6	4.2	1.7
	借家	25.8	16.3	13.2	38.3	35.3	15.3	23.4	12.2	22.4	9.2	29.2	7.1	2.0

問 23 日ごろから診療を受けるだけでなく、病気や健康に関して相談することができる、かかりつけ医として医師がいますか。(1つだけ〇印)

【総合】 「いない」が59.4%で、「いる」の39.2%を20.2ポイント上回っている。

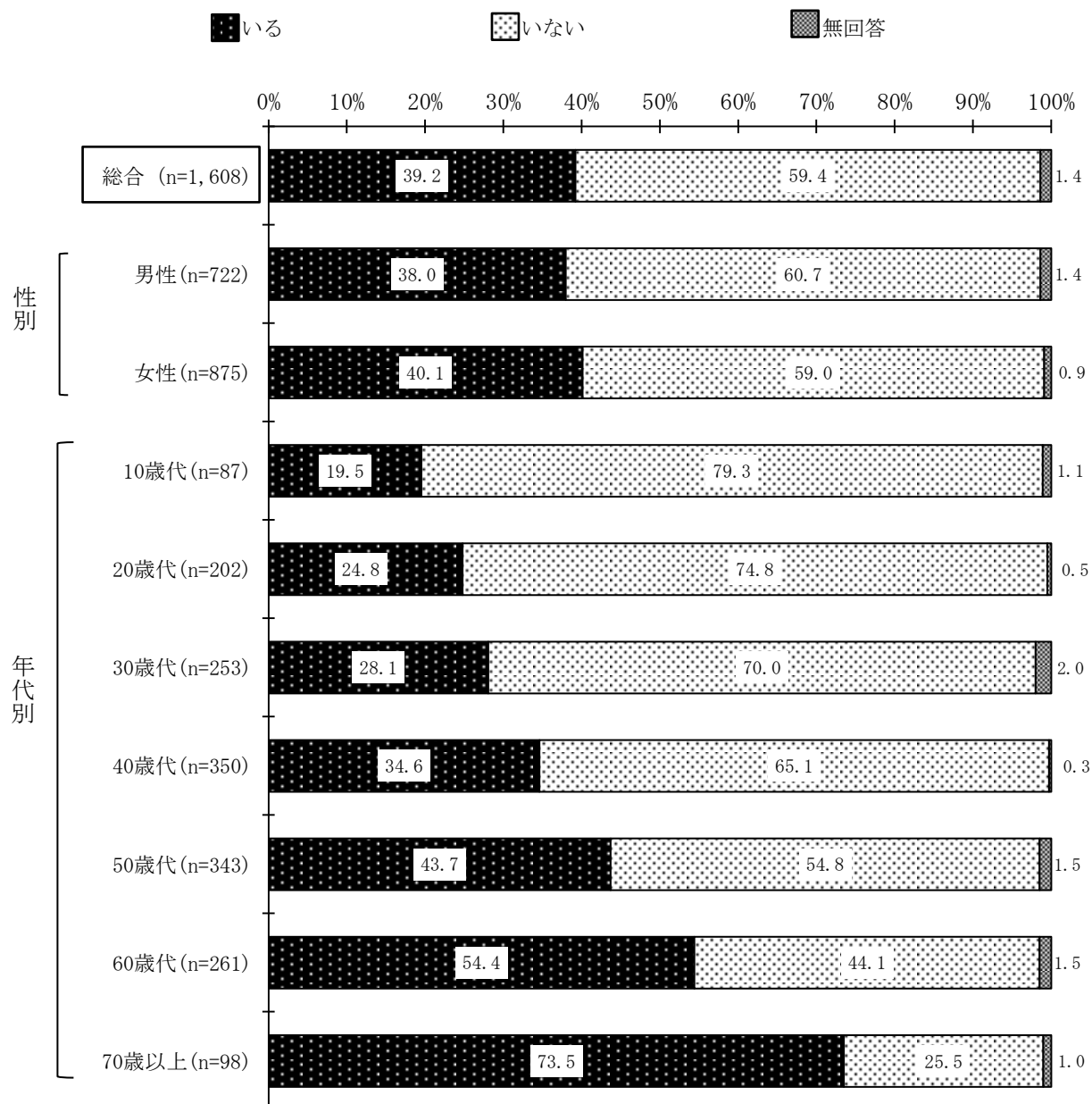
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

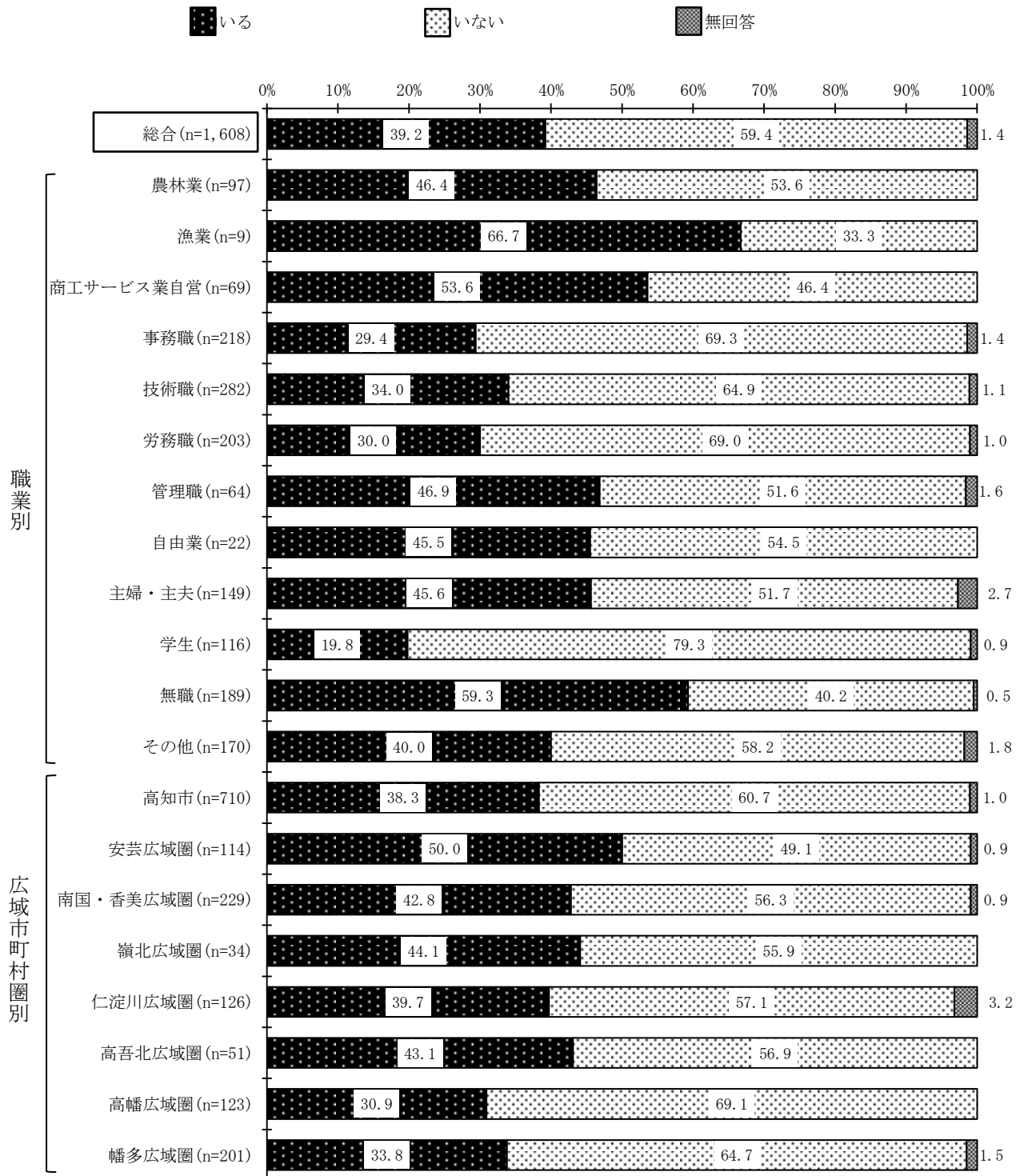
【年代別】

高い年代ほど「いる」が高くなっている。

《総合・性別・年代別》



《職業別・広域市町村圏別》





問 24 仮にあなたが病気の急性期を過ぎて、その後遺症などで長期の治療が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。(1つだけ○印)

【総合】 「病院に入院して診療を受ける」が31.1%で1位になっている。

次いで「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」が27.9%、「わからない」が16.5%と続いている。

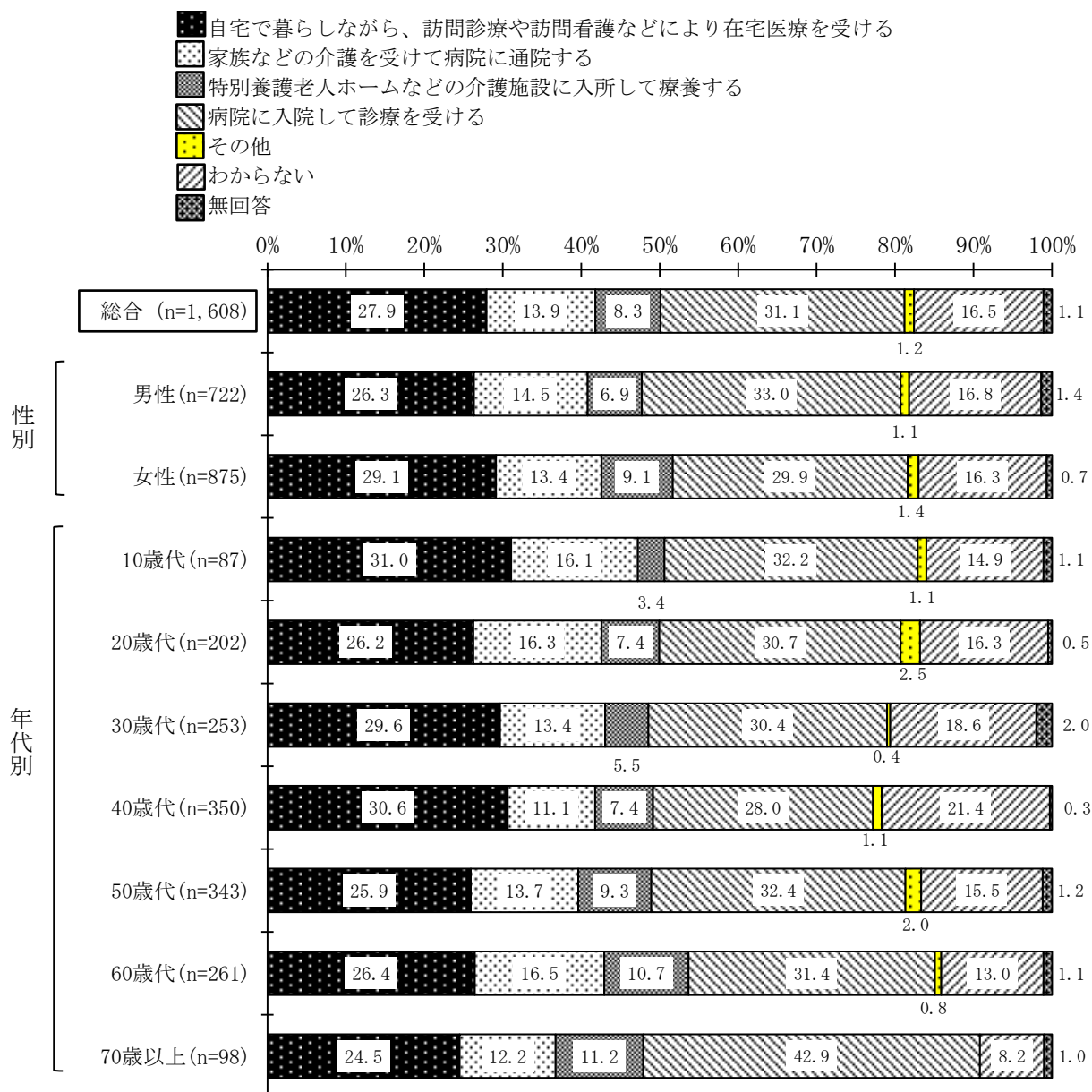
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

【年代別】

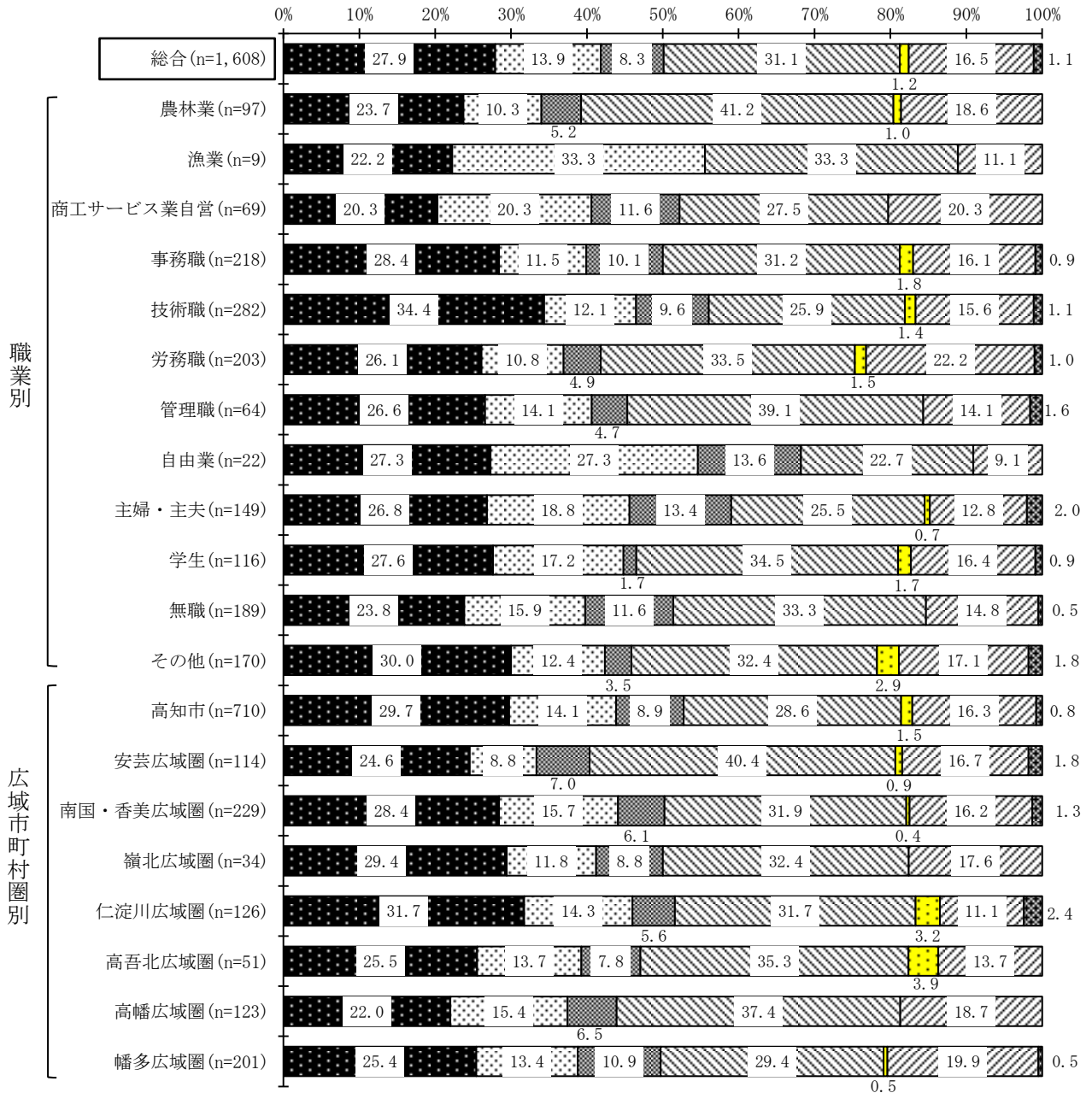
40歳代を除くすべての年代で「病院に入院して診療を受ける」が、40歳代では「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」が1位になっている。

《総合・性別・年代別》



《職業別・広域市町村圏別》

- 自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける
- ▨ 家族などの介護を受けて病院に通院する
- ▩ 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して療養する
- ▧ 病院に入院して診療を受ける
- その他
- ▨ わからない
- ▩ 無回答



【問 23×問 24 のクロス分析】

「かかりつけ医としている医師がいますか。」という質問へ回答に対し、「長期の治療が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。」について見てみると、かかりつけ医師がいる、いないに関わらず、「病院に入院して診療を受ける」が高くなっている。

《問 23×問 24 のクロス分析》

(単位：%)

		問 24					
		自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける	家族などの介護を受けて病院に通院する	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して療養する	病院に入院して診療を受ける	その他	わからない
問 23	いる	30.1	12.8	9.4	33.1	1.4	13.0
	いない	26.9	14.8	7.6	30.4	1.0	19.2

問 25 あなたが長期の療養が必要になった場合、どのような条件や環境を整えれば在宅医療を選択しますか。（2つまで○印）

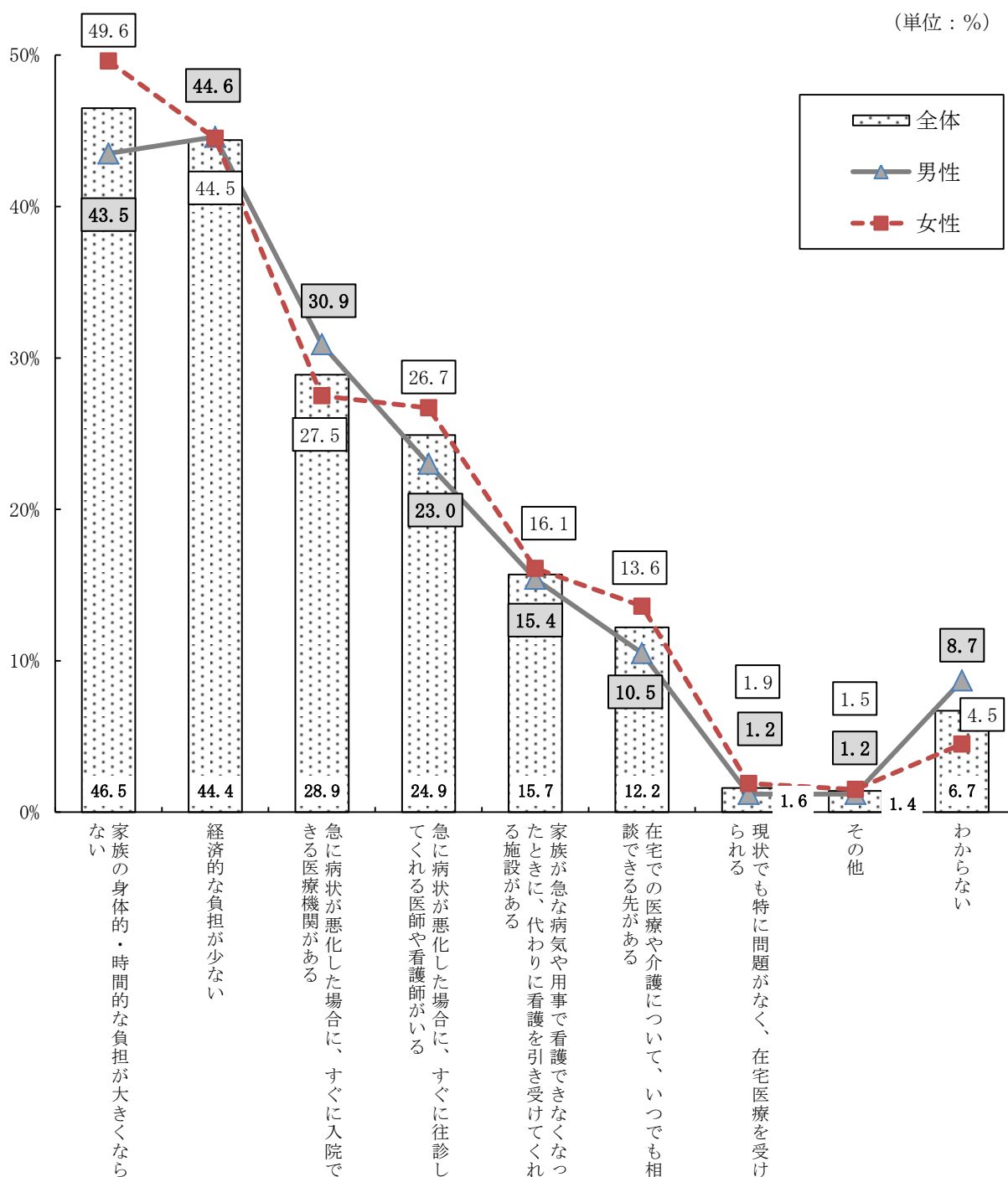
【総合】 「家族の身体的・時間的な負担が大きくなるしない」が46.5%で1位になっている。

次いで「経済的な負担が少ない」が44.4%、「急に病状が悪化した場合に、すぐに入院できる医療機関がある」が28.9%と続いている。

【性別】

男性では「経済的な負担が少ない」が、女性では「家族の身体的・時間的な負担が大きくなるしない」が1位になっている。

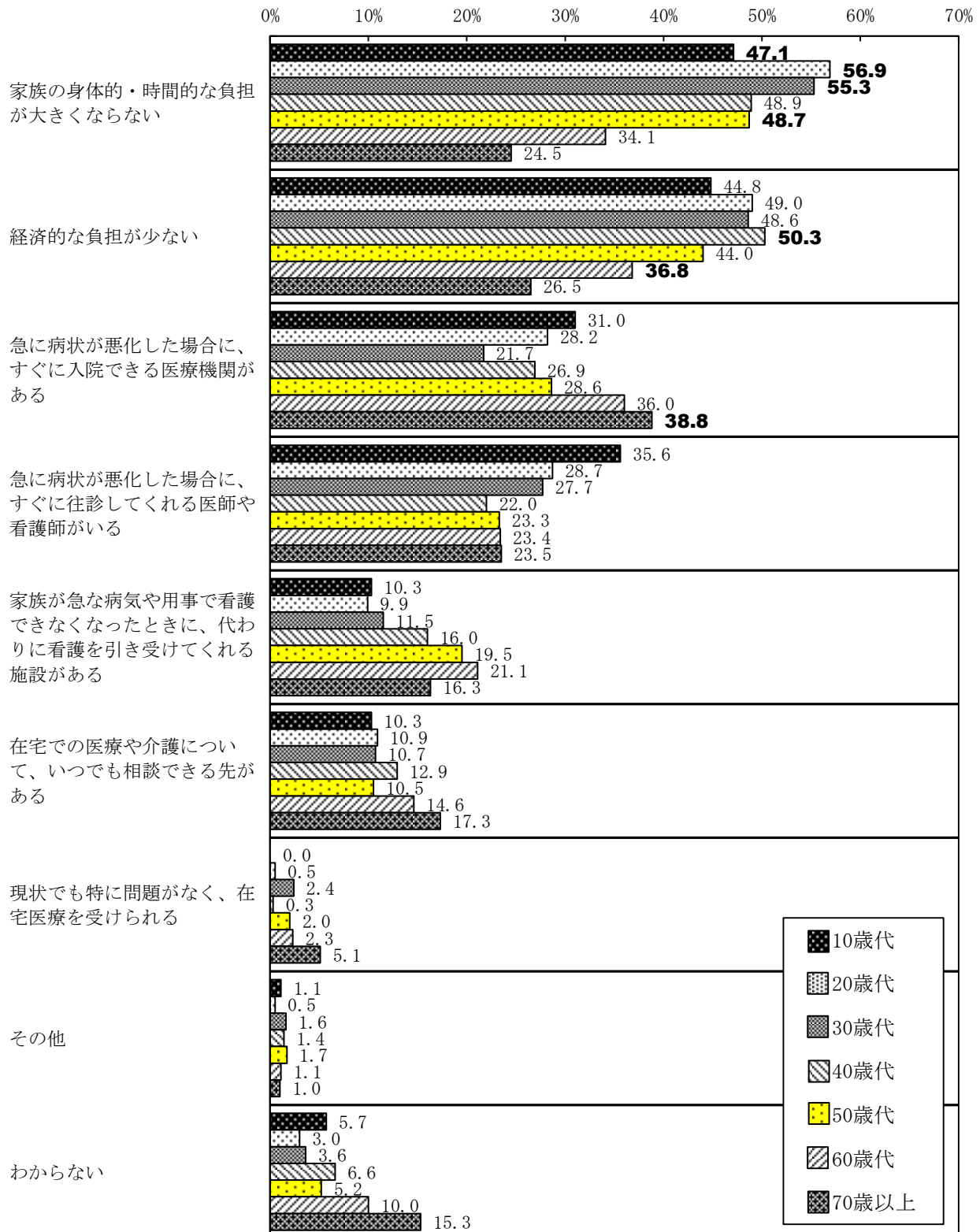
《総合・性別》



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、50歳代では「家族の身体的・時間的な負担が大きくなる」が、40歳代、60歳代では「経済的な負担が少ない」が、70歳以上では「急に病状が悪化した場合に、すぐに入院できる医療機関がある」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属 性		項 目												
		ある	在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある	看護師がいる	急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や	急に病状が悪化した場合に、すぐに入院できる医療機関がある	急に病状が悪化した場合に、すぐに入院できる医療機関がある	施設がある	家族が急な病気や用事で看護できなくなったときに、代わり看護を引き受けてくれる施設がある	家族の身体的・時間的な負担が大きくなる	家族の身体的・時間的な負担が大きくなる	経済的な負担が少ない	在宅医療を受けられる	現状でも特に問題がなく、在宅医療を受けられる
職業別	農林業	12.4	27.8	34.0	13.4	43.3	38.1	5.2	0.0	8.2				
	漁業	11.1	33.3	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0	22.2				
	商工サービス業自営	15.9	11.6	39.1	17.4	47.8	42.0	0.0	1.4	5.8				
	事務職	11.9	26.1	22.5	15.6	60.6	43.6	0.0	1.4	2.8				
	技術職	11.3	29.4	28.4	13.1	53.5	49.3	1.1	1.1	2.8				
	労務職	5.4	20.7	28.1	15.8	45.8	55.7	1.5	2.0	4.9				
	管理職	14.1	23.4	31.3	18.8	50.0	37.5	1.6	1.6	6.3				
	自由業	13.6	22.7	36.4	31.8	27.3	27.3	0.0	0.0	13.6				
	主婦・主夫	18.8	25.5	24.8	24.2	45.6	36.2	2.0	2.0	6.0				
	学生	13.8	33.6	30.2	6.9	46.6	47.4	0.9	0.9	5.2				
	無職	13.2	24.9	35.4	15.3	29.1	32.3	4.8	2.1	16.4				
	その他	12.4	20.6	28.2	16.5	44.1	54.1	0.6	0.6	5.9				
広域市町村圏別	高知市	11.8	23.5	28.2	16.6	51.7	42.8	1.4	1.4	6.1				
	安芸広域圏	6.1	21.9	28.1	25.4	33.3	52.6	3.5	0.0	6.1				
	南国・香美広域圏	13.1	27.5	27.1	13.5	46.7	45.9	2.2	1.3	6.6				
	嶺北広域圏	5.9	26.5	32.4	17.6	38.2	44.1	2.9	0.0	5.9				
	仁淀川広域圏	11.1	28.6	28.6	19.8	48.4	46.8	1.6	0.8	2.4				
	高吾北広域圏	17.6	13.7	31.4	11.8	47.1	41.2	0.0	3.9	13.7				
	高幡広域圏	16.3	27.6	31.7	12.2	46.3	42.3	0.8	1.6	6.5				
	幡多広域圏	13.9	28.9	32.3	10.0	38.8	46.3	1.0	1.5	8.0				

【問 24×問 25 のクロス分析】

「長期の治療が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。」という質問への回答に対し、「どのような条件や環境を整えば在宅医療を選択しますか。」について見てみると、どのような医療を選択するかに関わらず、「家族の身体的・時間的な負担が大きくなる」が高く、「その他」、「わからない」では「経済的な負担が少ない」が高くなっている。

《問 24×問 25 のクロス分析》

(単位：%)

		問 25								
		在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある	急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる	急に病状が悪化した場合に、すぐに入院できる医療機関がある	急に病状が悪化したときに、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある	家族が急な病気や用事で看護できないようになったときに、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある	家族の身体的・時間的な負担が大きくなる	経済的な負担が少ない	現状でも特に問題がなく、在宅医療を受けられる	その他
問 24	自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける	20.5	35.0	29.7	16.3	43.1	41.5	1.6	0.4	2.7
	家族などの介護を受けて病院に通院する	13.9	36.8	31.4	12.6	44.8	42.6	1.3	0.4	4.0
	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して療養する	7.5	12.8	32.3	24.8	53.4	37.6	0.8	4.5	3.0
	病院に入院して診療を受ける	7.8	22.4	36.0	17.0	48.0	44.4	2.2	1.4	5.8
	その他	5.0	0.0	5.0	15.0	45.0	50.0	5.0	25.0	5.0
	わからない	8.6	12.4	13.9	10.9	50.8	56.8	1.1	0.4	19.5

問 26 あなたや家族の方が在宅医療を選択する場合、どこに相談しますか。（2つまで○印）

【総合】 「かかりつけ医、入院している病院の医療ソーシャルワーカーや主治医」が57.3%で1位になっている。

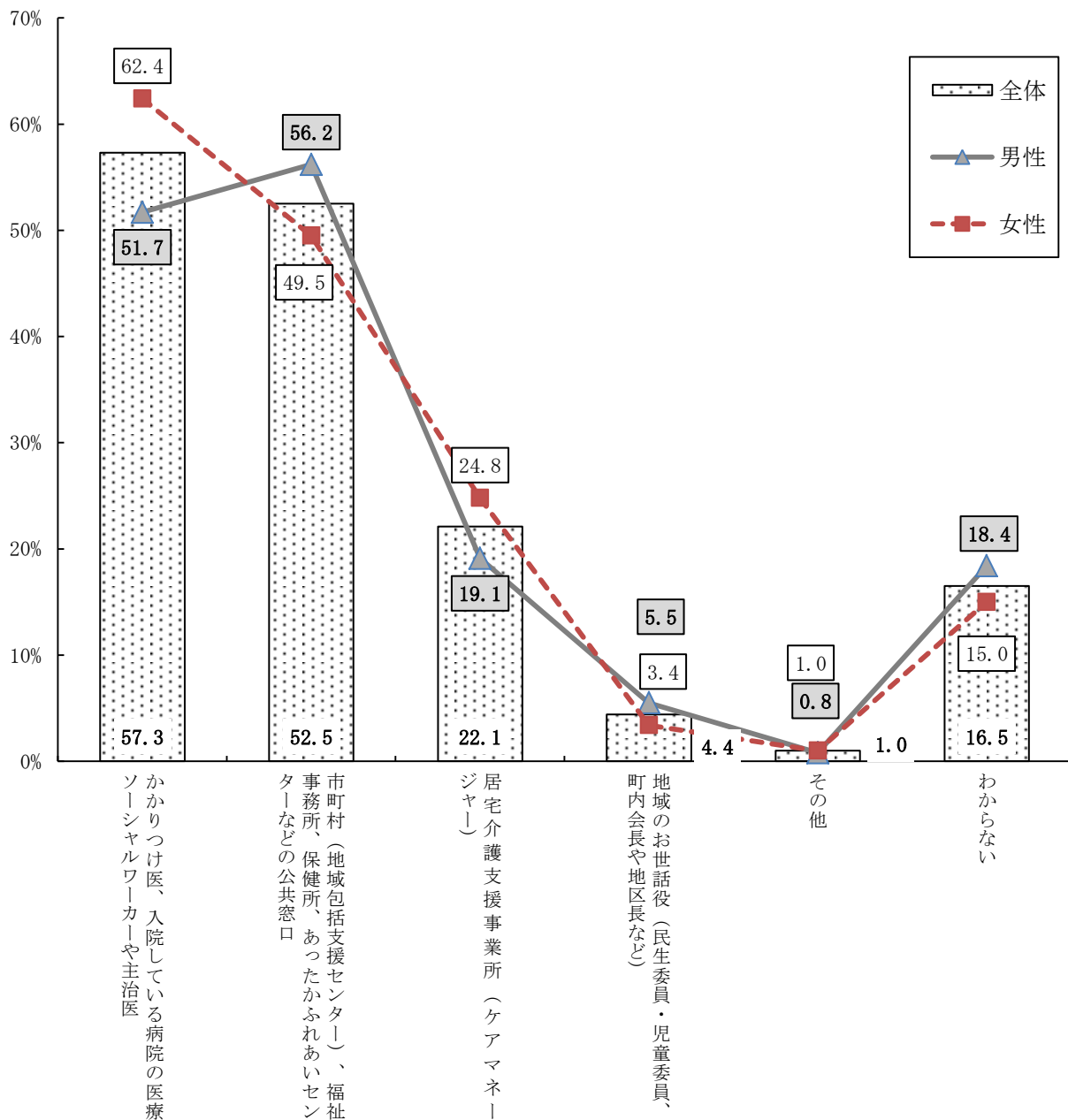
次いで「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所、あったかふれあいセンターなどの公共窓口」が52.5%、「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」が22.1%と続いている。

【性別】

男性では「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所、あったかふれあいセンターなどの公共窓口」が、女性では「かかりつけ医、入院している病院の医療ソーシャルワーカーや主治医」が1位になっている。

《総合・性別》

(単位：%)

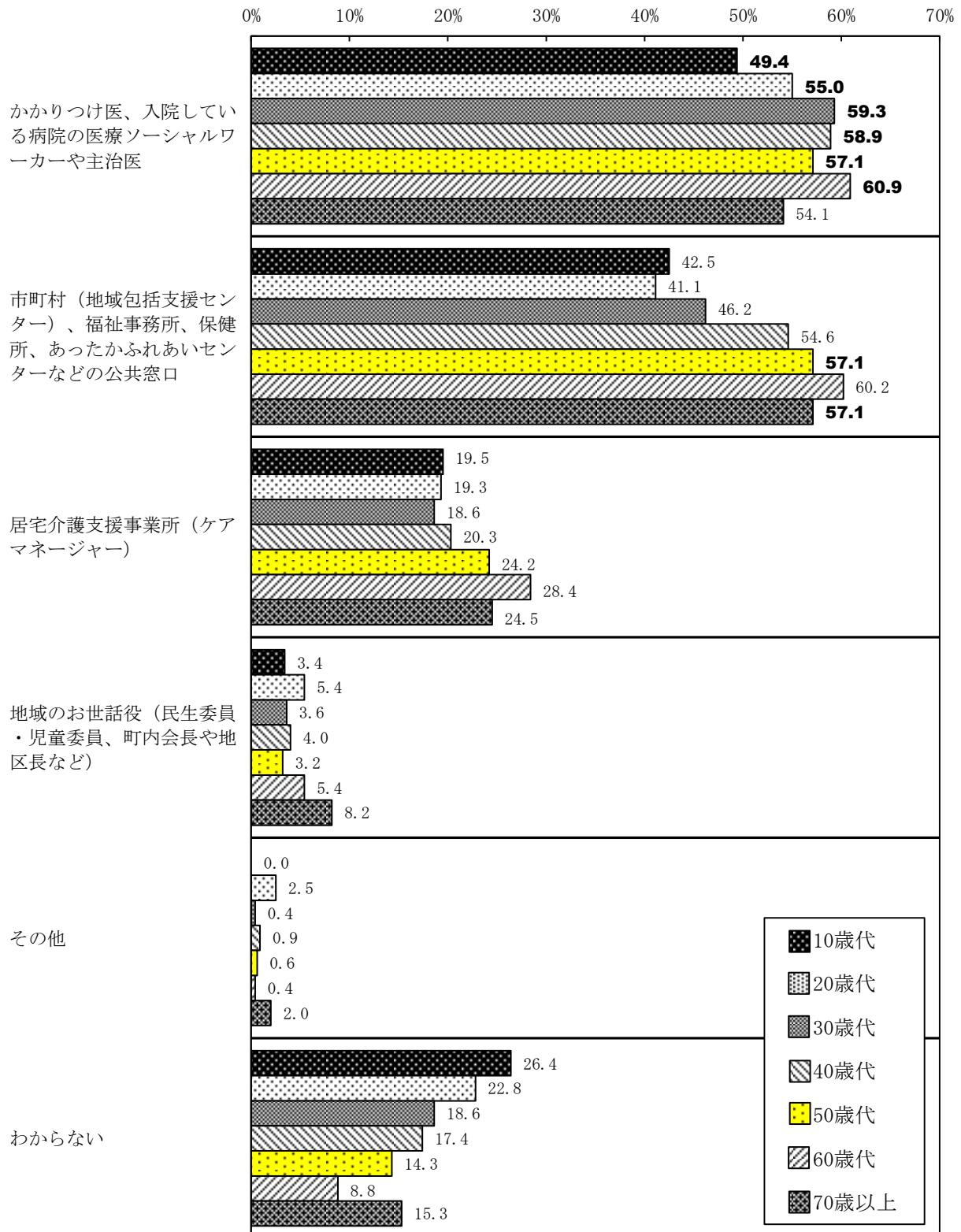




【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「かかりつけ医、入院している病院の医療ソーシャルワーカーや主治医」が、50歳代、70歳以上では「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所、あったかふれあいセンターなどの公共窓口」が1位になっている。（50歳代では複数の項目が同率で1位になっている。）

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属 性		項 目	市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所、あったかふれあいセンターなどの公共窓口	かかりつけ医、入院している病院の医療ソーシャルワーカーや主治医	地域のお世話役（民生委員・児童委員、町内会長や地区長など）	居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）	その他	わからない
職業別	農林業	68.0	45.4	5.2	27.8	0.0	15.5	
	漁業	77.8	55.6	0.0	33.3	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	44.9	56.5	4.3	23.2	0.0	20.3	
	事務職	55.5	61.9	1.4	21.6	0.5	10.6	
	技術職	52.5	61.0	5.3	19.1	1.4	13.8	
	労務職	52.2	49.3	6.4	23.2	0.5	17.7	
	管理職	43.8	59.4	4.7	25.0	3.1	18.8	
	自由業	45.5	63.6	4.5	36.4	0.0	13.6	
	主婦・主夫	49.7	66.4	4.7	25.5	2.0	12.8	
	学生	40.5	50.0	3.4	19.8	0.0	28.4	
	無職	58.2	59.3	3.2	21.2	0.5	19.0	
	その他	52.4	60.0	5.9	20.0	0.6	18.2	
広域市町村圏別	高知市	46.9	63.0	3.1	22.8	0.8	16.3	
	安芸広域圏	64.9	59.6	3.5	21.1	0.0	9.6	
	南国・香美広域圏	50.7	57.2	3.5	18.8	0.9	21.4	
	嶺北広域圏	67.6	52.9	14.7	14.7	0.0	14.7	
	仁淀川広域圏	60.3	55.6	1.6	25.4	0.8	12.7	
	高吾北広域圏	56.9	49.0	11.8	27.5	0.0	11.8	
	高幡広域圏	60.2	49.6	7.3	22.8	1.6	18.7	
	幡多広域圏	55.7	48.3	7.0	22.4	1.0	17.9	

問 27 あなたは日頃お酒をどのくらいの頻度で飲みますか。(1つだけ○印)

【総合】 週に1回以上飲む人の割合が42.5%となっている。

そのうち「毎日飲む」が20.0%、「週に4～5回」が8.3%、「週に2～3回」が7.5%、「週に1回程度」が6.7%となっている。

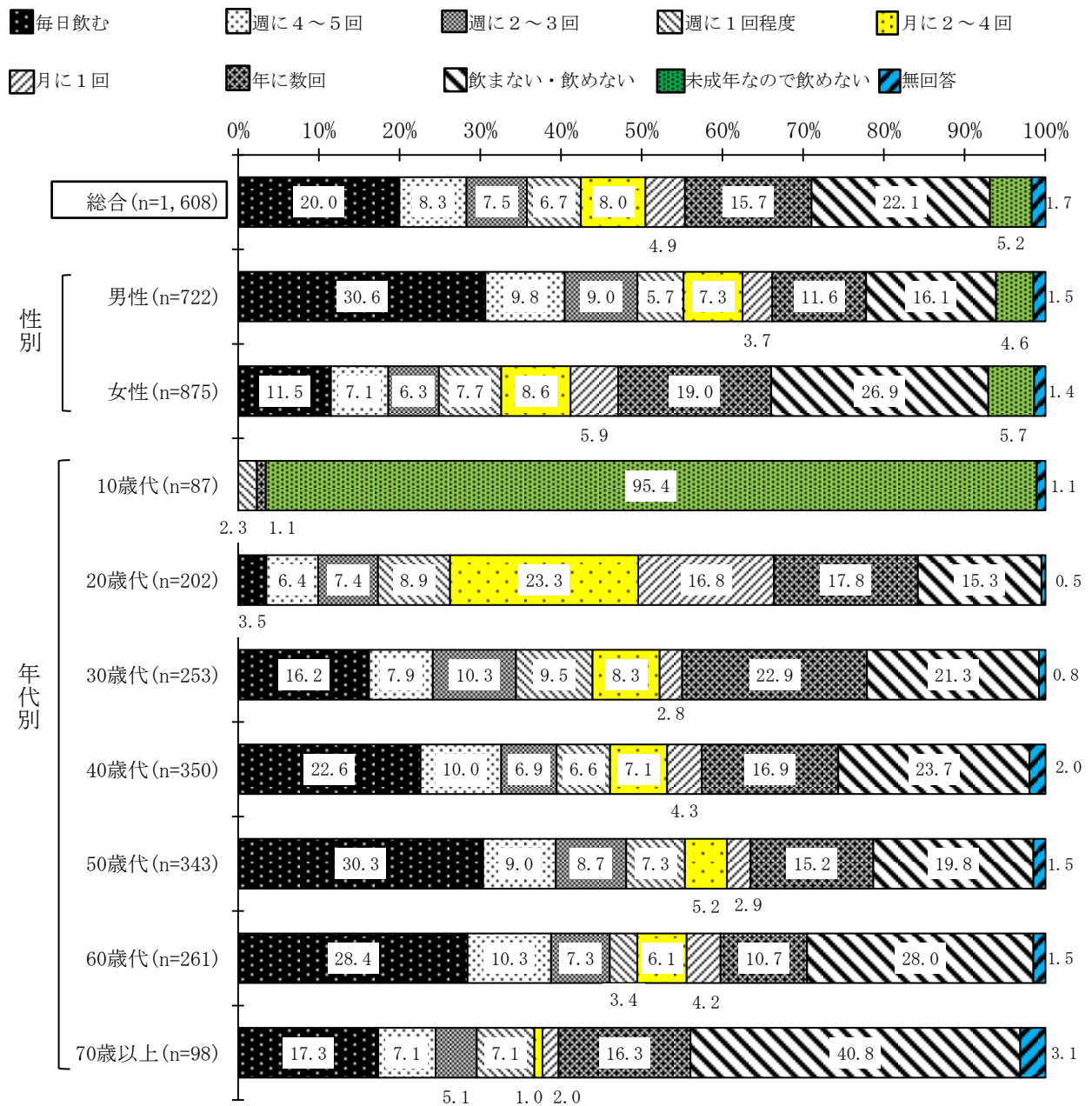
【性別】

男性では「毎日飲む」が、女性では「飲まない・飲めない」が最も高くなっている。「毎日飲む」では男性が女性よりも19.1ポイント高くなっている。

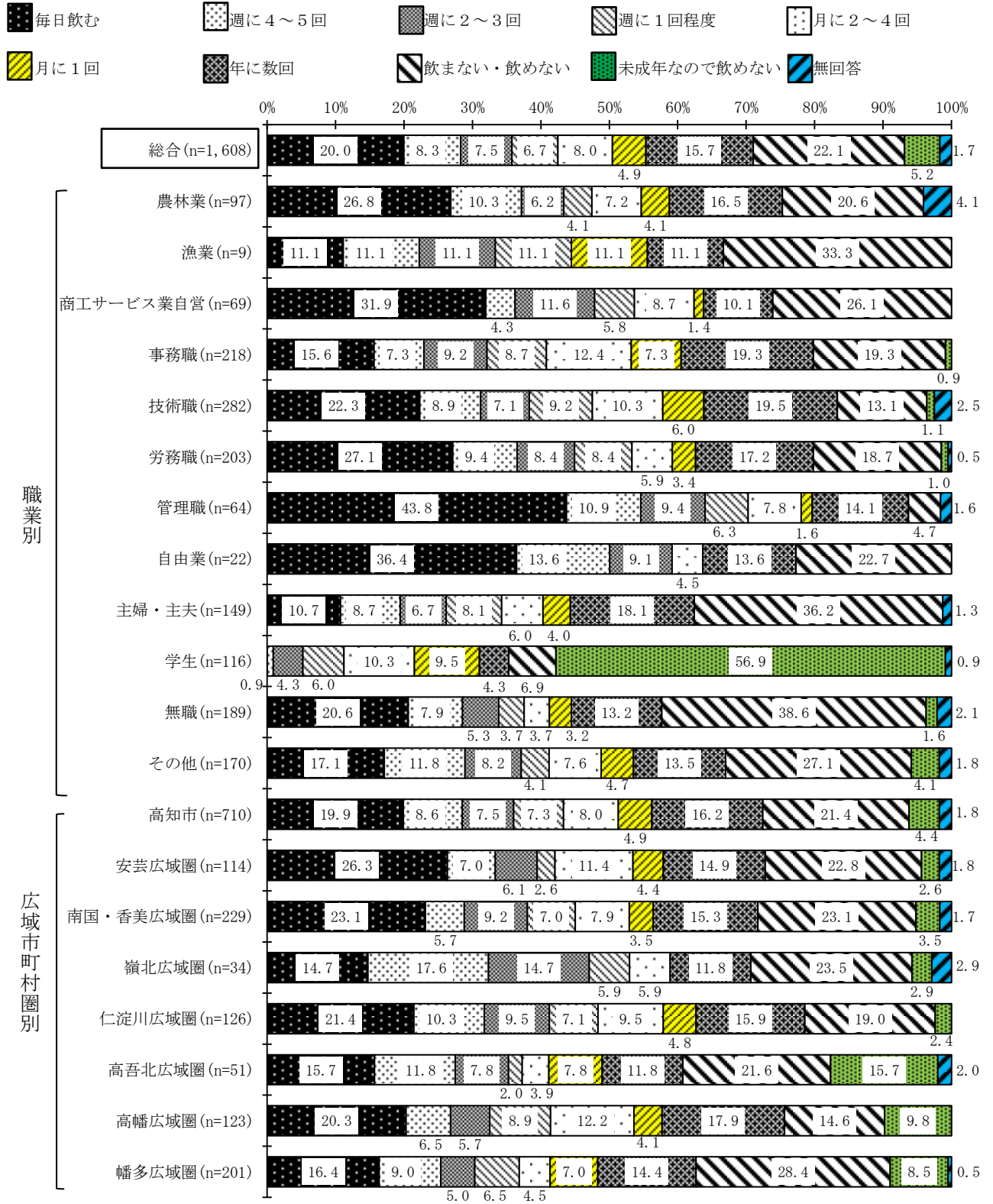
【年代別】

「毎日飲む」が50歳代では30.3%、60歳代では28.4%と、他の年代よりも高くなっている。

《総合・性別・年代別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 27 副問 1 (問 27 で「1・2・3・4・5・6・7」を選んだ方のみお答えください。)  
 飲酒するときにはどのような理由で飲酒することが多いですか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「飲み会や宴会のため」が42.0%で1位になっている。

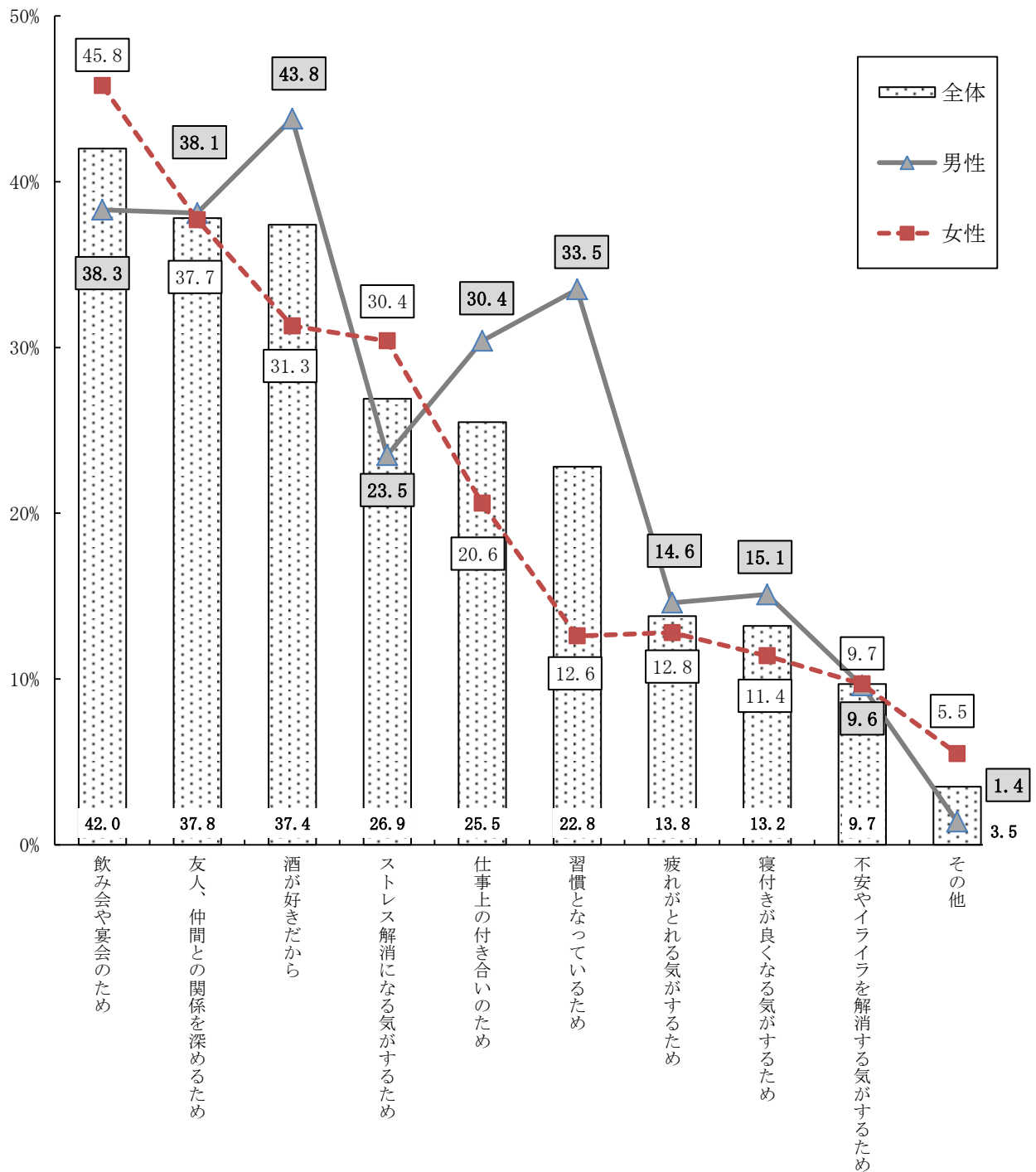
次いで「友人、仲間との関係を深めるため」が37.8%、「酒が好きだから」が37.4%と続いている。

【性別】

男性では「酒が好きだから」が、女性では「飲み会や宴会のため」が1位になっている。

《総合・性別》

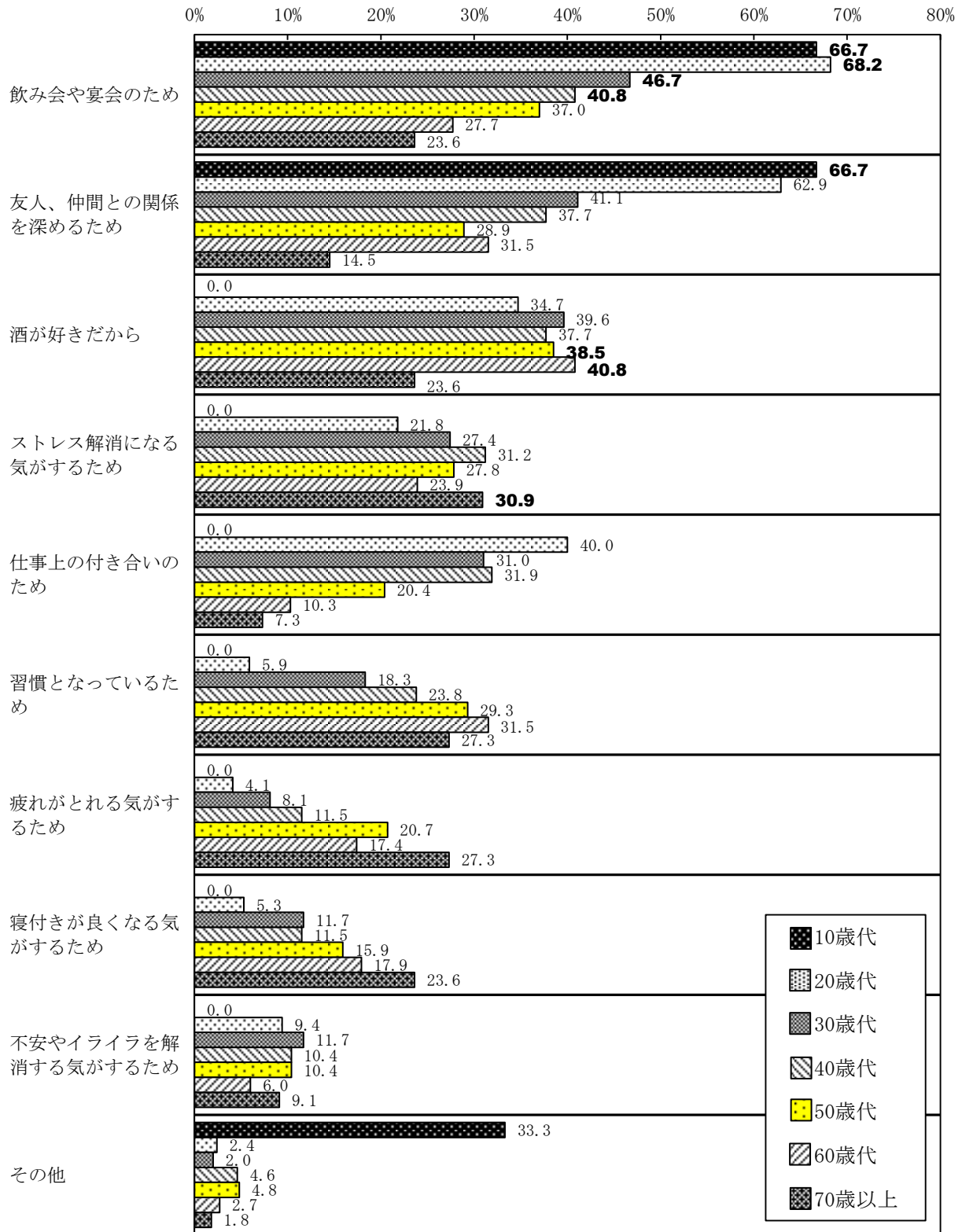
(単位：%)



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、40歳代では「飲み会や宴会のため」が、10歳代ではこれと同率で「友人、仲間との関係を深めるため」が、50歳代、60歳代では「酒が好きだから」が、70歳以上では「ストレス解消になる気がするため」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		酒が好きだから	飲み会や宴会のため	友人、仲間との関係を深めるため	仕事上の付き合いのため	習慣となっているため	疲れがとれる気がするため	寝付きが良くなる気がするため	ストレス解消になる気がするため	不安やイライラを解消する気がするため	その他
職業別	農林業	38.4	42.5	42.5	21.9	27.4	27.4	15.1	19.2	6.8	5.5
	漁業	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0
	商工サービス業自営	43.1	29.4	37.3	19.6	33.3	17.6	23.5	21.6	13.7	0.0
	事務職	36.8	51.7	42.5	34.5	13.2	5.7	7.5	19.5	5.7	5.2
	技術職	38.3	50.2	44.7	33.2	22.1	12.3	12.8	33.2	11.1	2.6
	労務職	37.7	35.8	33.3	27.8	32.7	17.9	16.7	32.1	11.1	1.2
	管理職	40.0	41.7	30.0	46.7	36.7	15.0	11.7	26.7	10.0	0.0
	自由業	52.9	52.9	41.2	41.2	23.5	23.5	29.4	35.3	11.8	0.0
	主婦・主夫	31.2	28.0	32.3	5.4	15.1	15.1	17.2	30.1	12.9	6.5
	学生	29.3	65.9	70.7	7.3	0.0	2.4	0.0	22.0	7.3	0.0
	無職	45.0	24.8	22.9	7.3	29.4	12.8	15.6	19.3	9.2	3.7
その他	32.5	43.9	31.6	23.7	20.2	13.2	9.6	32.5	9.6	7.9	
広域市町村圏別	高知市	39.3	44.7	38.9	28.0	20.8	12.8	12.3	27.6	9.7	3.9
	安芸広域圏	31.3	38.6	42.2	22.9	31.3	10.8	19.3	33.7	12.0	2.4
	南国・香美広域圏	31.1	37.8	36.6	20.1	25.0	16.5	11.6	29.3	10.4	1.2
	嶺北広域圏	41.7	37.5	33.3	4.2	29.2	25.0	16.7	37.5	8.3	4.2
	仁淀川広域圏	40.4	41.4	37.4	25.3	17.2	14.1	11.1	27.3	7.1	3.0
	高吾北広域圏	29.0	41.9	32.3	16.1	38.7	12.9	16.1	16.1	12.9	3.2
	高幡広域圏	40.9	45.2	39.8	33.3	25.8	14.0	12.9	22.6	9.7	7.5
幡多広域圏	39.7	37.3	34.9	24.6	21.4	13.5	15.9	22.2	7.9	2.4	

【問 27×問 27 副問 1 のクロス分析】

「日頃お酒をどのくらいの頻度で飲みますか。」という質問への回答に対し、「飲酒するときにはどのような理由で飲酒することが多いですか。」について見てみると、「毎日飲む」、「週に4～5回」、「週に2～3回」では「酒が好きだから」が、「週に1回程度」では「友人、仲間との関係を深めるため」が、「月に2～4回」、「月に1回」、「年に数回」では「飲み会や宴会のため」が1位になっている。

《問 27×問 27 副問 1 のクロス分析》

(単位：%)

		問 27 副問 1									
		酒が好きだから	飲み会や宴会のため	友人、仲間との関係を深めるため	仕事上の付き合いのため	習慣となっているため	疲れがとれる気がするため	寝付きが良くなる気がするため	ストレス解消になる気がするため	不安やイライラを解消する気がするため	その他
問 27	毎日飲む	65.2	17.4	19.3	13.7	58.7	18.6	28.0	33.2	15.8	2.2
	週に4～5回	62.7	23.1	28.4	21.6	36.6	23.9	11.9	35.8	9.7	3.7
	週に2～3回	48.3	38.3	32.5	20.8	15.8	19.2	12.5	42.5	14.2	4.2
	週に1回程度	23.1	42.6	45.4	19.4	1.9	15.7	8.3	33.3	7.4	6.5
	月に2～4回	22.7	58.6	53.9	35.9	0.8	10.9	6.3	23.4	7.8	4.7
	月に1回	11.4	72.2	55.7	35.4	1.3	8.9	6.3	13.9	3.8	3.8
	年に数回	5.2	67.1	52.0	38.9	0.0	2.0	3.2	9.9	3.6	2.8
	飲まない・飲めない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	未成年なので飲めない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



問 27 副問 2 (副問 1 を答えた方のみお答えください。)

飲酒について、心がけていることはありますか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「飲酒運転をしない、させない」が 60.5% で 1 位になっている。

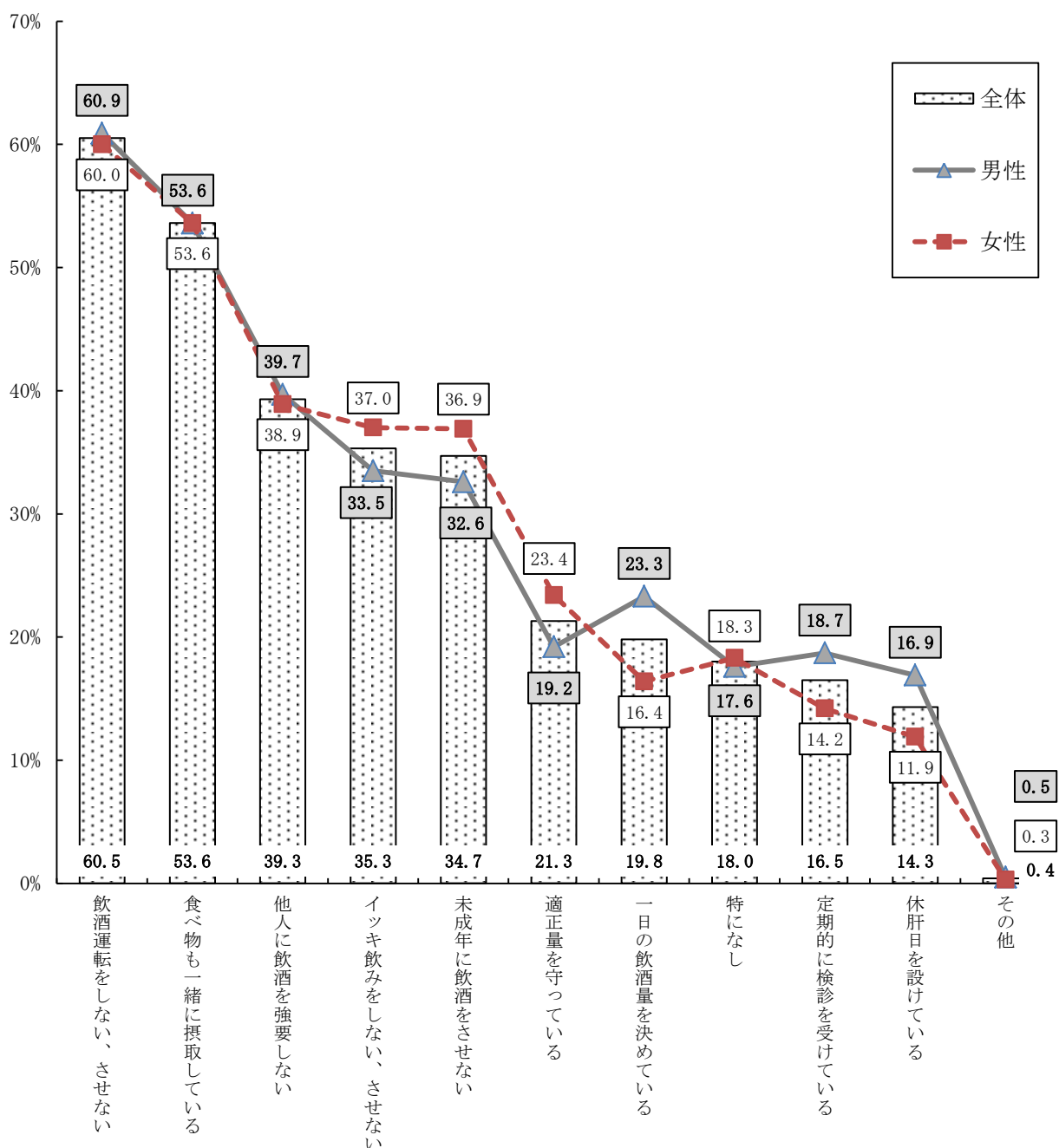
次いで「食べ物と一緒に摂取している」が 53.6%、「他人に飲酒を強要しない」が 39.3% と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

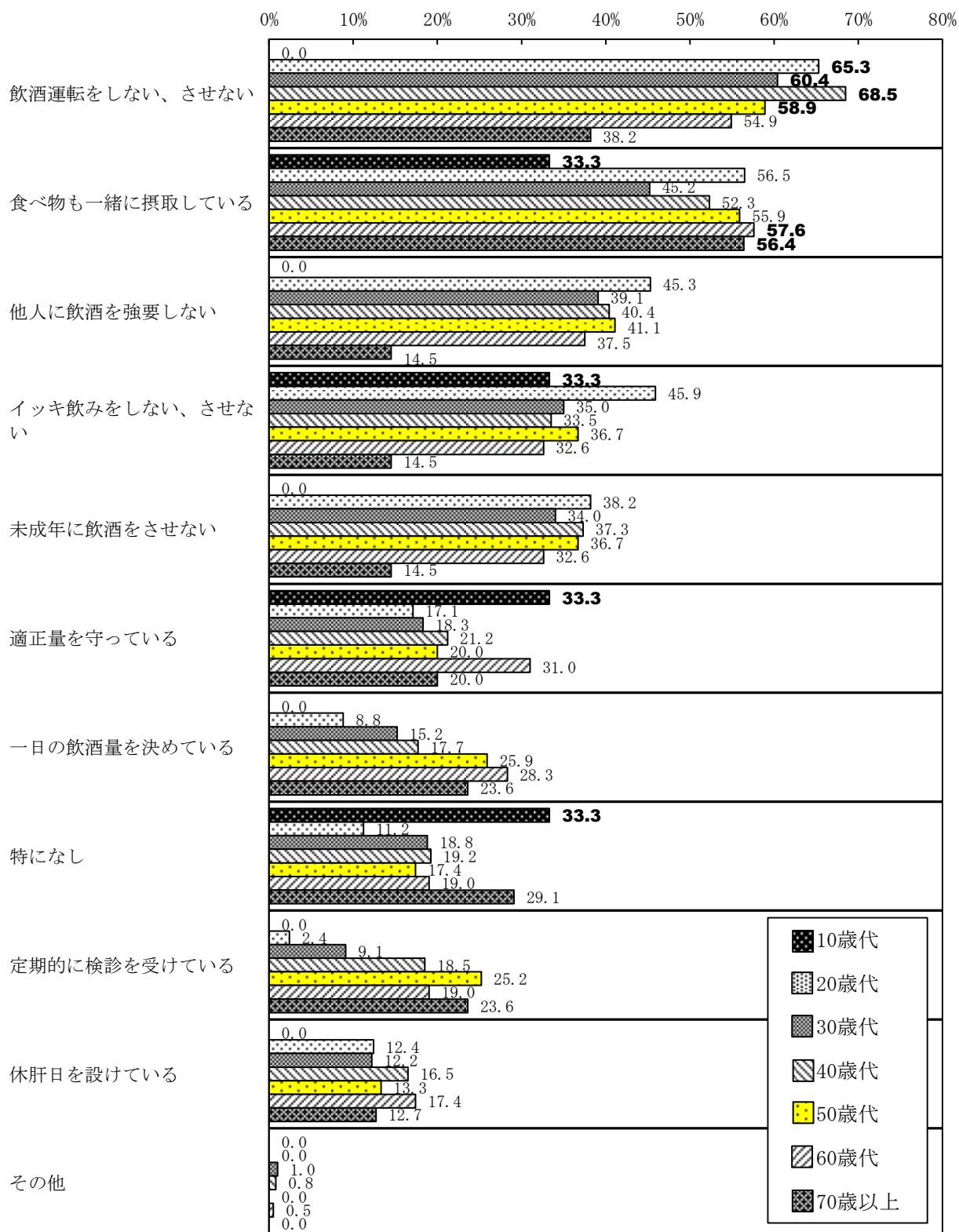
(単位：%)



【年代別】

20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「飲酒運転をしない、させない」が、60歳代、70歳以上では「食べ物と一緒に摂取している」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		特になし	休肝日を設けている	適正量を守っている	一日の飲酒量を決めている	食べ物と一緒に摂取している	定期的に検診を受けている	他人に飲酒を強要しない	未成年に飲酒をさせない	イッキ飲みをしない、させない	飲酒運転をしない、させない	その他
職業別	農林業	19.2	20.5	23.3	24.7	47.9	20.5	34.2	31.5	31.5	58.9	0.0
	漁業	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	66.7	0.0
	商工サービス業自営	29.4	17.6	15.7	21.6	51.0	31.4	39.2	27.5	29.4	64.7	2.0
	事務職	14.9	12.1	25.9	17.8	56.3	10.3	46.6	43.1	38.5	64.4	1.1
	技術職	17.4	16.2	15.7	20.4	51.1	19.1	41.7	36.6	40.4	63.0	0.0
	労務職	14.2	14.2	21.6	16.7	52.5	12.3	36.4	33.3	31.5	62.3	0.0
	管理職	21.7	13.3	21.7	23.3	53.3	28.3	56.7	41.7	43.3	71.7	0.0
	自由業	17.6	5.9	29.4	11.8	52.9	29.4	29.4	35.3	23.5	41.2	0.0
	主婦・主夫	19.4	14.0	34.4	17.2	51.6	15.1	43.0	39.8	37.6	57.0	1.1
	学生	7.3	2.4	12.2	7.3	70.7	2.4	36.6	31.7	43.9	58.5	0.0
	無職	27.5	13.8	25.7	27.5	56.0	16.5	32.1	22.9	25.7	46.8	0.0
	その他	14.9	16.7	14.9	21.9	57.0	14.9	29.8	32.5	34.2	60.5	0.9
広域市町村圏別	高知市	17.7	15.2	23.3	19.3	56.6	18.1	42.6	37.5	39.1	61.7	0.6
	安芸広域圏	15.7	10.8	20.5	27.7	53.0	21.7	34.9	31.3	31.3	57.8	0.0
	南国・香美広域圏	17.1	12.2	18.3	16.5	48.8	14.0	34.1	31.1	33.5	62.2	0.6
	嶺北広域圏	16.7	12.5	16.7	16.7	50.0	4.2	29.2	20.8	20.8	58.3	0.0
	仁淀川広域圏	21.2	16.2	14.1	15.2	48.5	10.1	35.4	31.3	32.3	59.6	0.0
	高吾北広域圏	12.9	12.9	22.6	25.8	58.1	32.3	29.0	35.5	41.9	64.5	3.2
	高幡広域圏	22.6	11.8	24.7	20.4	48.4	17.2	40.9	39.8	35.5	58.1	0.0
	幡多広域圏	16.7	18.3	21.4	24.6	56.3	12.7	42.1	31.7	28.6	57.9	0.0

【問 27×問 27 副問 2 のクロス分析】

「日頃お酒をどのくらいの頻度で飲みますか。」という質問への回答に対し、「飲酒について、心がけていることはありますか。」について見てみると、お酒を飲む頻度に関わらず、「飲酒運転をしない、させない」が1位になっている。

《問 27×問 27 副問 2 のクロス分析》

(単位：%)

		問 27 副問 2											
		特になし	休肝日を設けている	適正量を守っている	一日の飲酒量を決めている	食べ物と一緒に摂取している	定期的に検診を受けている	他人に飲酒を強要しない	未成年に飲酒をさせない	イッキ飲みをしない、させない	飲酒運転をしない、させない	その他	
問 27	毎日飲む	22.7	9.9	22.0	36.3	56.8	26.4	41.3	36.0	38.8	63.4	0.0	
	週に4～5回	14.2	42.5	28.4	33.6	61.2	26.1	43.3	43.3	39.6	65.7	0.7	
	週に2～3回	9.2	39.2	22.5	18.3	58.3	20.0	35.0	35.0	29.2	63.3	0.0	
	週に1回程度	13.0	8.3	20.4	9.3	50.9	9.3	38.9	36.1	29.6	55.6	0.9	
	月に2～4回	13.3	3.1	21.1	11.7	54.7	10.2	35.9	28.1	34.4	64.8	0.8	
	月に1回	13.9	10.1	21.5	7.6	57.0	11.4	45.6	41.8	46.8	68.4	0.0	
	年に数回	24.2	2.8	16.7	4.4	42.9	5.2	36.5	29.0	31.0	50.0	0.8	
	飲まない・飲めない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	未成年なので飲めない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 28 アルコールが体に及ぼす影響について、次のことを知っていますか。

(当てはまるものすべてに○印)

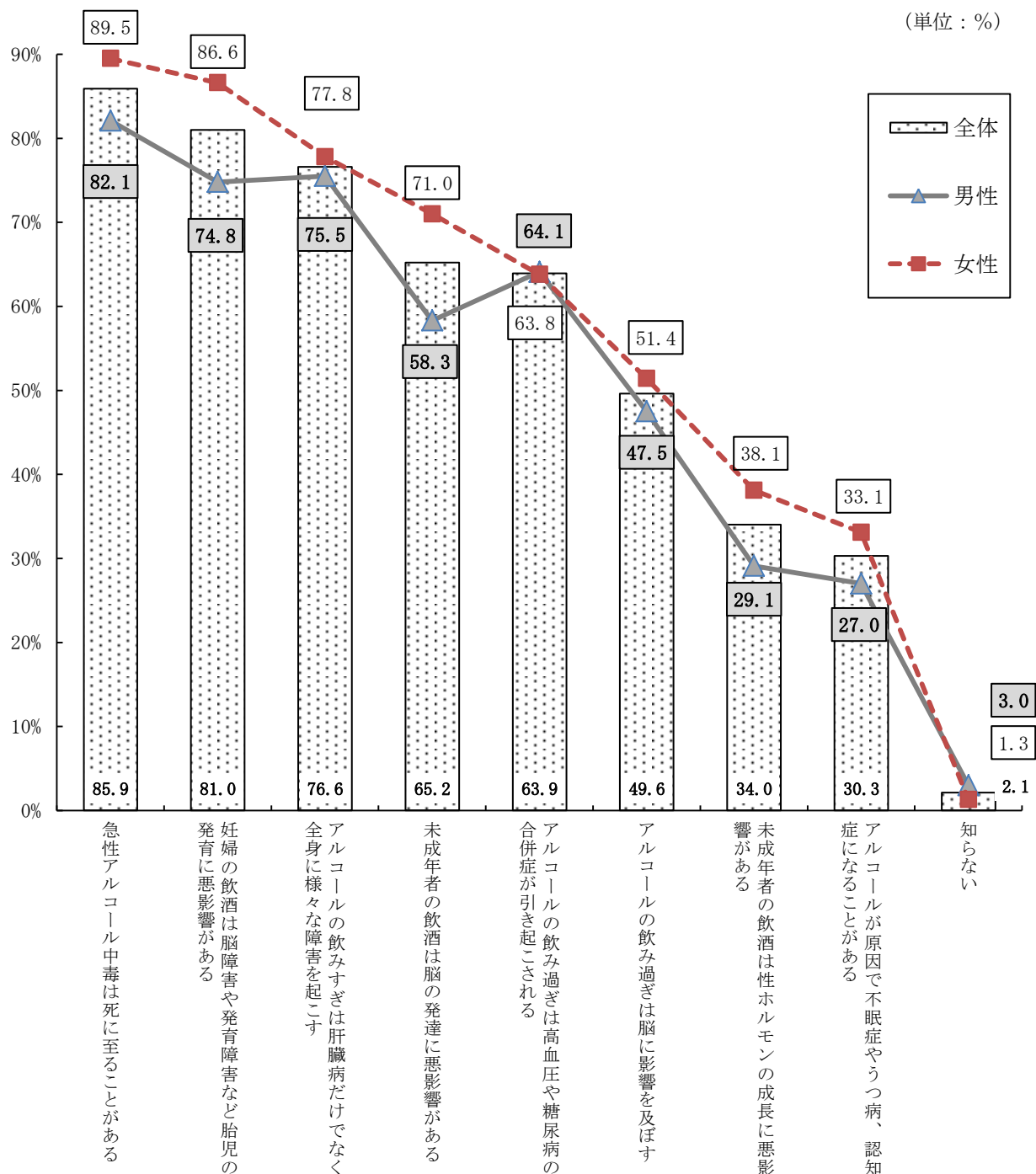
【総合】 「アルコールが原因で不眠症やうつ病、認知症になることがある」が 30.3%で認知度が最も低くなっている。

次いで「未成年の飲酒は性ホルモンの成長に悪影響がある」が 34.0%、「アルコールの飲み過ぎは脳に影響を及ぼす」が 49.6%と認知度が低くなっている。

【性別】

ほぼすべての項目で、女性より男性の認知度が低くなっている。

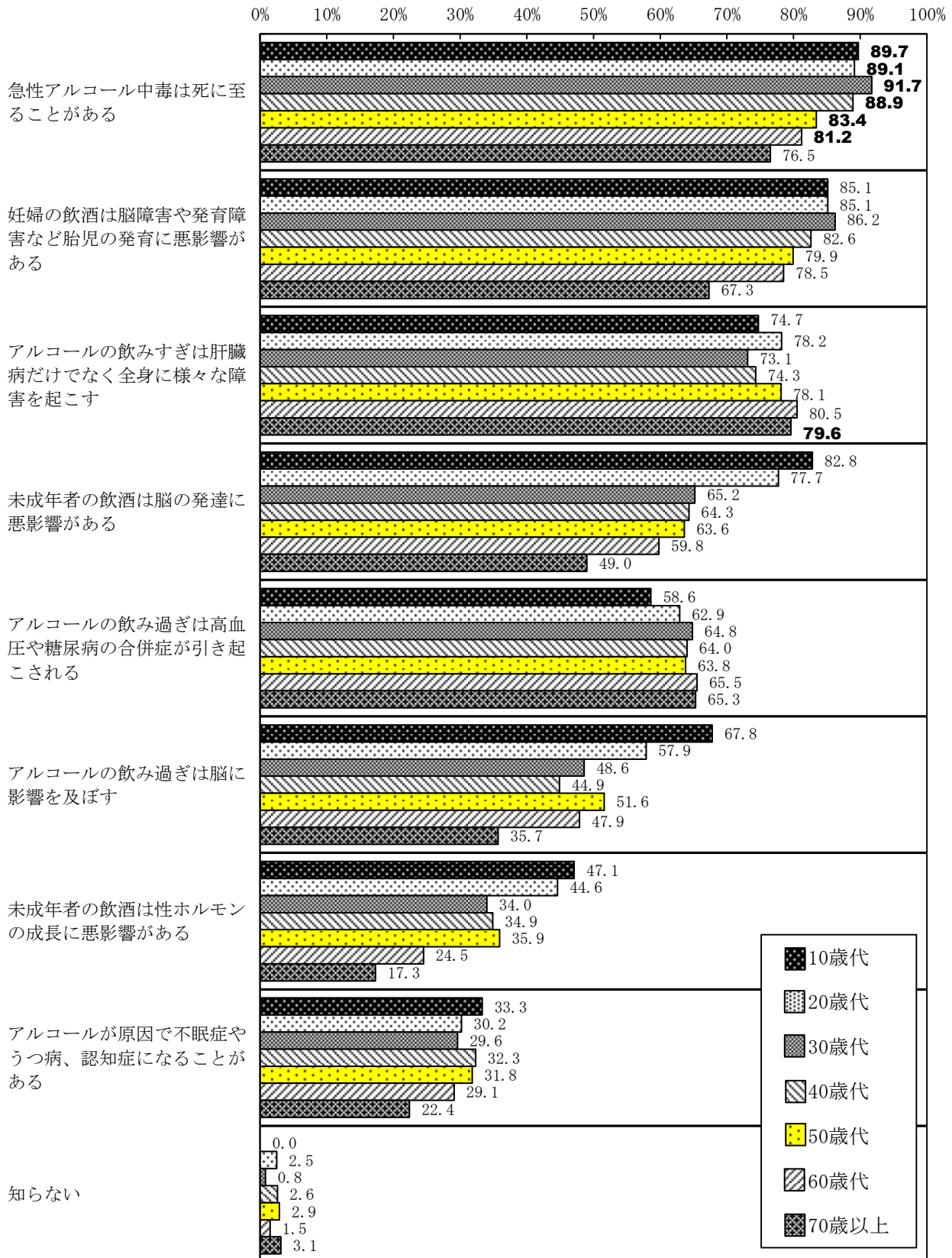
《総合・性別》



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「急性アルコール中毒は死に至ることがある」が、70歳以上では「アルコールの飲みすぎは肝臓病だけでなく全身に様々な障害を起こす」が1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		悪影響がある 未成年者の飲酒は脳の発達に	未成年者の飲酒は性ホルモンの成長に悪影響がある	妊婦の飲酒は脳障害や発育障害など胎児の発育に悪影響がある	アルコールの飲みすぎは肝臓病だけでなく全身に様々な障害を起こす	アルコールの飲み過ぎは高血圧や糖尿病の合併症が引き起こされる	アルコールの飲み過ぎは脳に影響を及ぼす	アルコールが原因で不眠症やうつ病、認知症になることがある	急性アルコール中毒は死に至ることがある	知らない
職業別	農林業	61.9	24.7	81.4	81.4	73.2	44.3	23.7	76.3	1.0
	漁業	77.8	22.2	88.9	66.7	55.6	55.6	22.2	88.9	11.1
	商工サービス業自営	60.9	29.0	72.5	68.1	53.6	44.9	21.7	85.5	1.4
	事務職	65.6	31.7	86.7	80.7	68.3	49.1	30.7	91.7	0.9
	技術職	74.5	45.0	87.6	81.9	69.9	62.4	39.4	88.7	1.1
	労務職	59.1	28.1	74.9	68.0	61.1	42.4	25.6	83.7	3.9
	管理職	60.9	31.3	78.1	78.1	59.4	53.1	32.8	93.8	3.1
	自由業	59.1	36.4	77.3	72.7	68.2	45.5	50.0	81.8	0.0
	主婦・主夫	67.1	34.2	86.6	79.9	62.4	49.0	32.9	88.6	1.3
	学生	82.8	46.6	81.9	78.4	59.5	64.7	30.2	91.4	0.9
	無職	55.6	28.0	75.7	76.2	64.6	43.4	25.9	77.8	4.2
	その他	62.9	34.1	80.0	72.9	55.9	41.2	29.4	86.5	1.8
広域市町村圏別	高知市	67.7	35.2	84.1	78.6	66.3	50.6	32.1	88.3	1.8
	安芸広域圏	57.9	30.7	85.1	72.8	56.1	44.7	22.8	82.5	1.8
	南国・香美広域圏	62.0	28.8	80.8	71.6	59.8	46.7	28.8	82.1	4.4
	嶺北広域圏	58.8	29.4	73.5	76.5	64.7	52.9	35.3	79.4	5.9
	仁淀川広域圏	62.7	33.3	74.6	77.8	64.3	49.2	24.6	87.3	1.6
	高吾北広域圏	72.5	37.3	78.4	82.4	74.5	62.7	43.1	84.3	0.0
	高幡広域圏	66.7	40.7	78.9	78.9	72.4	54.5	38.2	86.2	1.6
	幡多広域圏	66.2	34.3	79.1	75.1	55.7	47.3	25.4	86.6	1.0

【問 27×問 28 のクロス分析】

「日頃お酒をどのくらいの頻度で飲みますか。」という質問への回答に対し、「アルコールが体に及ぼす影響について、知っていますか。」について見てみると、お酒を飲む頻度に関わらず、「急性アルコール中毒は死に至ることがある」が、「週に4～5回」ではこれと同率で「妊婦の飲酒は脳障害や発育障害など胎児の発育に悪影響がある」が1位になっている。

《問 27×問 28 のクロス分析》

(単位：%)

		問 28								
		未成年者の飲酒は脳の発達に悪影響がある	未成年者の飲酒は性ホルモンの成長に悪影響がある	妊婦の飲酒は脳障害や発育障害など胎児の発育に悪影響がある	アルコールの飲みすぎは肝臓病だけでなく全身に様々な障害を起こす	アルコールの飲み過ぎは高血圧や糖尿病の合併症を引き起こされる	アルコールの飲み過ぎは脳に影響を及ぼす	アルコールが原因で不眠症やうつ病、認知症になることがある	急性アルコール中毒は死に至ることがある	知らない
問 27	毎日飲む	63.0	32.6	77.3	79.2	66.5	53.1	33.2	82.0	3.4
	週に4～5回	72.4	35.8	88.8	81.3	67.2	59.7	35.8	88.8	0.0
	週に2～3回	69.2	36.7	80.8	76.7	61.7	50.8	23.3	86.7	0.8
	週に1回程度	69.4	37.0	86.1	82.4	68.5	45.4	28.7	92.6	0.0
	月に2～4回	66.4	43.0	86.7	77.3	64.8	45.3	27.3	91.4	0.0
	月に1回	72.2	38.0	88.6	79.7	64.6	62.0	34.2	92.4	3.8
	年に数回	65.9	34.1	83.3	73.8	66.3	45.6	28.2	84.1	1.6
	飲まない・飲めない	56.1	25.9	74.9	73.2	59.4	41.7	29.3	85.1	3.9
	未成年なので飲めない	84.3	47.0	85.5	77.1	59.0	68.7	34.9	89.2	0.0



問 29 不適切な飲酒によって引き起こされる次のもので、あなたやご家族、ご友人、知人などが経験したことがあるものはどれですか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「特になし」が52.1%で1位になっている。

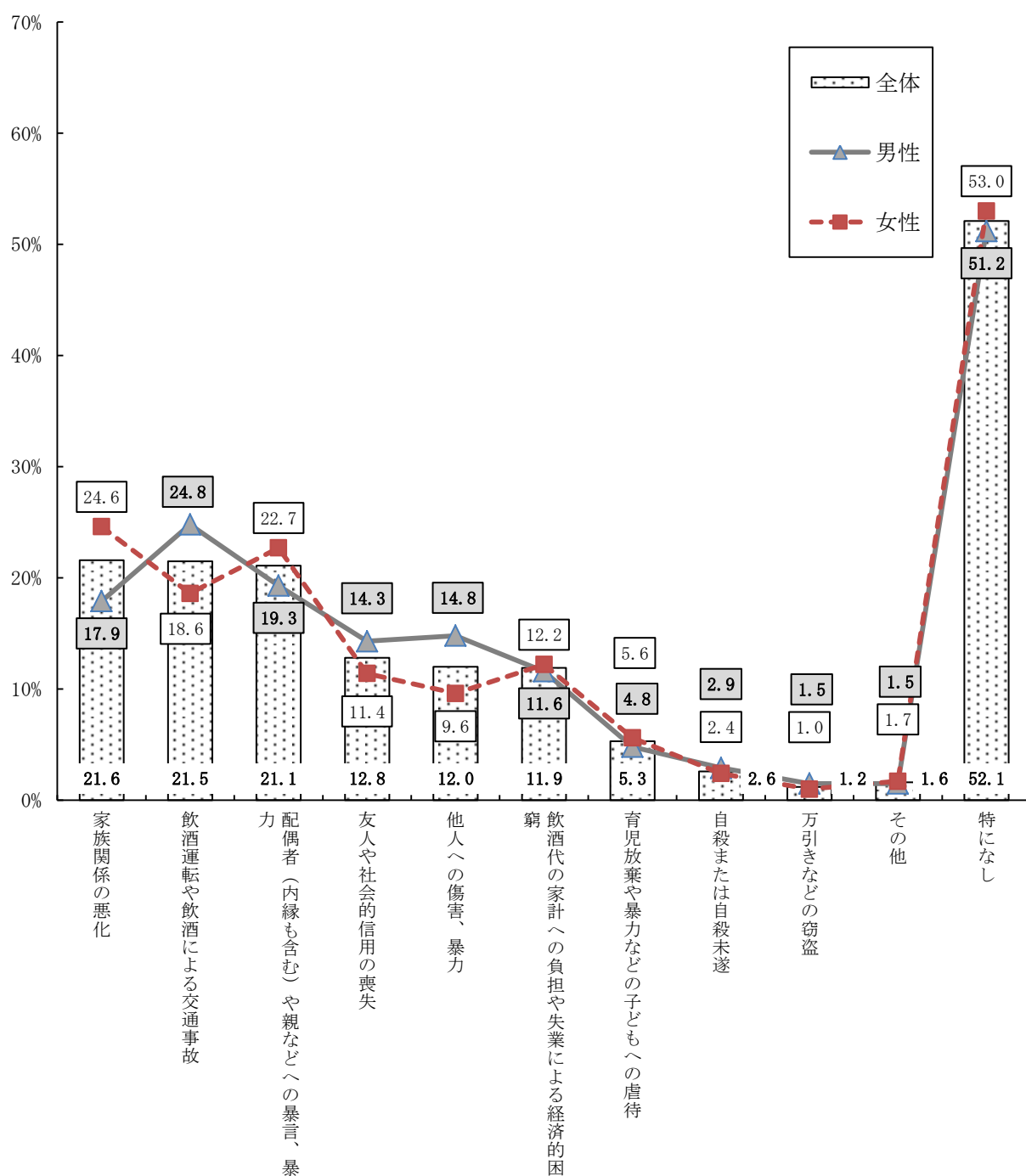
次いで「家族関係の悪化」が21.6%、「飲酒運転や飲酒による交通事故」が21.5%と続いている。

【性別】

男女とも「特になし」が最も高く、次いで男性では「飲酒運転や飲酒による交通事故」が、女性では「家族関係の悪化」が続いている。

《総合・性別》

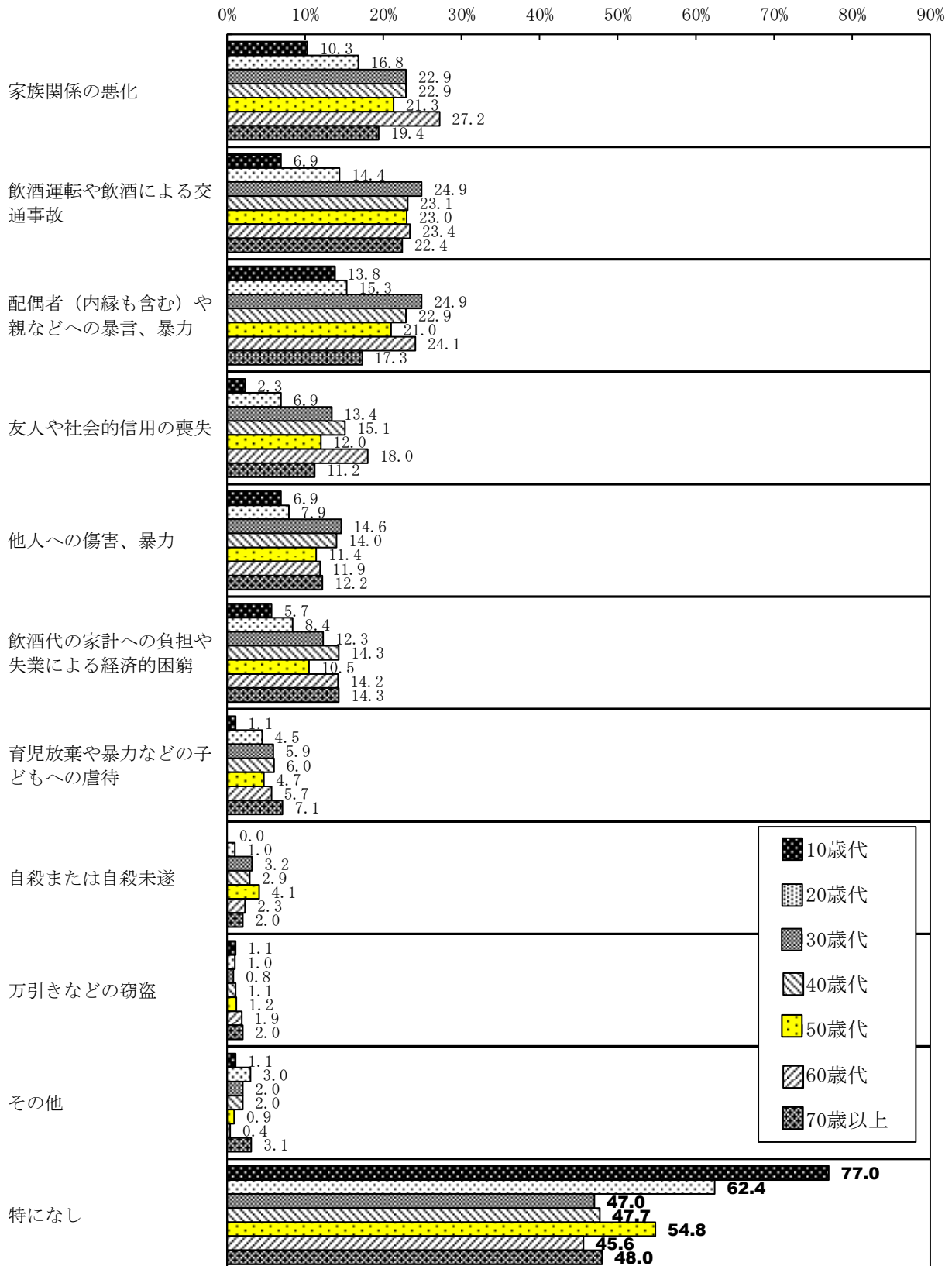
(単位：%)



【年代別】

すべての年代で「特になし」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目 属性		飲酒代の家計への負担や失業による経済的困窮	配偶者(内縁も含む)や親などへの暴言、暴力	育児放棄や暴力などの子どもへの虐待	故飲酒運転や飲酒による交通事故	万引きなどの窃盗	他人への傷害、暴力	家族関係の悪化	友人や社会的信用の喪失	自殺または自殺未遂	その他	特になし
職業別	農林業	16.5	18.6	6.2	32.0	1.0	17.5	17.5	18.6	4.1	2.1	41.2
	漁業	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	22.2	33.3	22.2	0.0	0.0	44.4
	商工サービス業自営	11.6	24.6	4.3	34.8	4.3	17.4	18.8	17.4	7.2	1.4	43.5
	事務職	10.6	18.3	6.4	22.5	0.9	14.7	22.9	12.4	2.8	1.8	56.4
	技術職	9.6	20.6	3.9	19.9	1.8	10.6	23.8	11.7	2.8	1.8	54.3
	労務職	12.8	22.2	4.4	21.2	2.0	14.8	18.2	11.3	1.0	3.0	50.7
	管理職	14.1	25.0	7.8	28.1	1.6	17.2	28.1	28.1	4.7	0.0	42.2
	自由業	9.1	22.7	0.0	18.2	0.0	0.0	36.4	13.6	0.0	0.0	40.9
	主婦・主夫	16.1	26.2	8.1	18.1	0.7	8.7	33.6	14.1	4.0	2.0	44.3
	学生	5.2	12.1	2.6	8.6	0.0	5.2	10.3	7.8	0.9	0.0	76.7
	無職	11.1	21.2	6.3	19.6	1.6	11.6	20.1	10.6	1.6	1.1	52.4
	その他	15.3	24.7	4.7	22.4	0.0	9.4	17.1	10.0	2.4	1.2	50.6
広域市町村圏別	高知市	10.6	20.6	3.8	17.6	1.1	11.4	21.4	12.7	2.7	1.5	53.1
	安芸広域圏	14.0	20.2	7.0	21.1	2.6	11.4	19.3	10.5	3.5	1.8	57.0
	南国・香美広域圏	10.9	21.4	6.1	22.3	0.9	11.8	23.6	11.8	1.7	1.7	52.4
	嶺北広域圏	20.6	23.5	2.9	35.3	0.0	14.7	17.6	23.5	2.9	0.0	52.9
	仁淀川広域圏	10.3	17.5	4.8	19.8	0.8	9.5	15.9	13.5	1.6	1.6	55.6
	高吾北広域圏	9.8	23.5	2.0	11.8	0.0	13.7	11.8	11.8	0.0	2.0	56.9
	高幡広域圏	17.1	19.5	7.3	29.3	1.6	16.3	27.6	12.2	3.3	4.1	46.3
	幡多広域圏	13.4	24.9	9.0	28.4	2.0	11.9	23.9	13.9	3.5	0.5	47.3

問 30 アルコール依存症について、次のことを知っていますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「お酒に強い人ほどなりやすい」が13.4%で認知度が最も低くなっている。

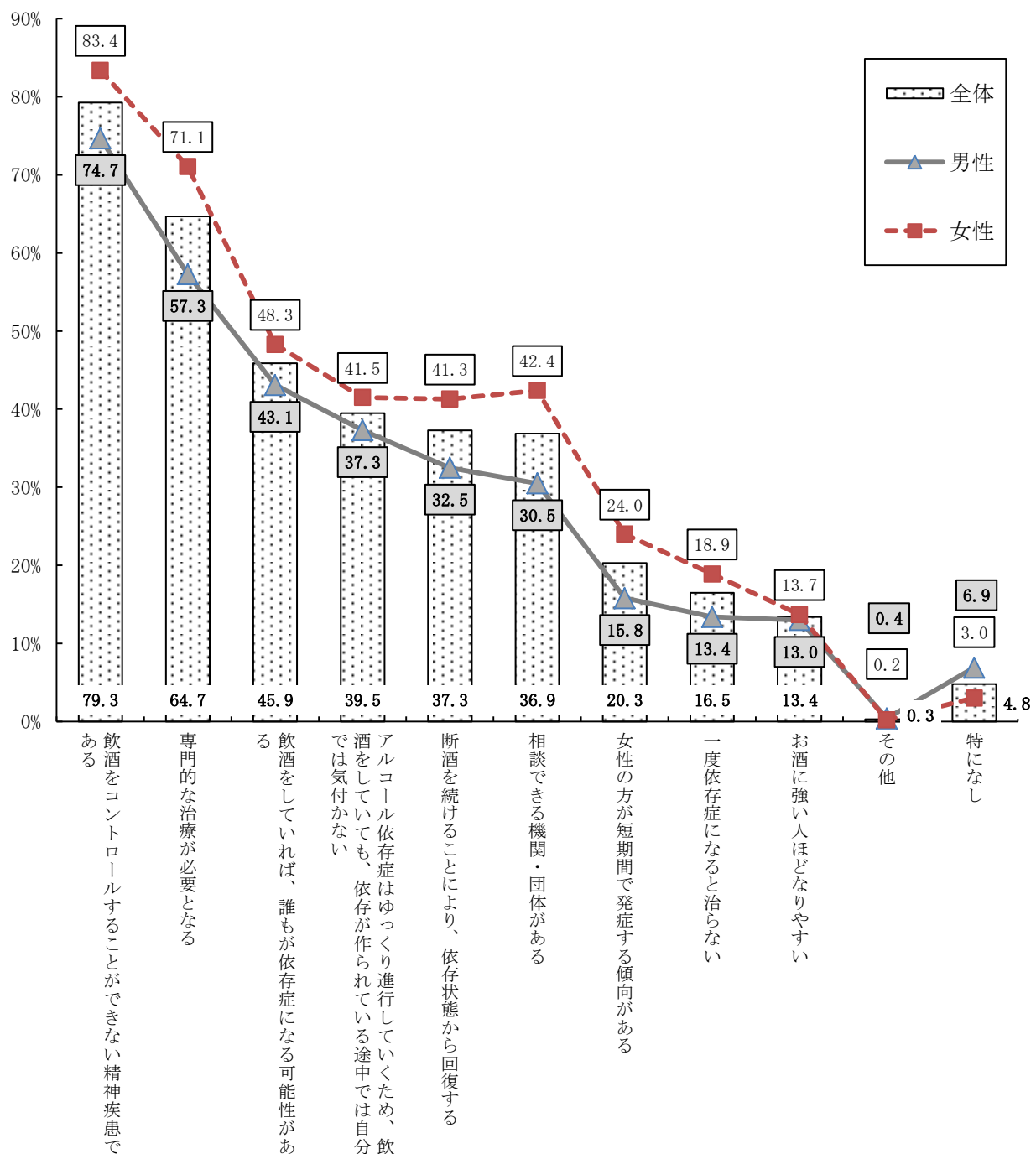
次いで「一度依存症になると治らない」が16.5%、「女性の方が短期間で発症する傾向がある」が20.3%と認知度が低くなっている。

【性別】

すべての項目で、女性より男性の認知度が低くなっている。

《総合・性別》

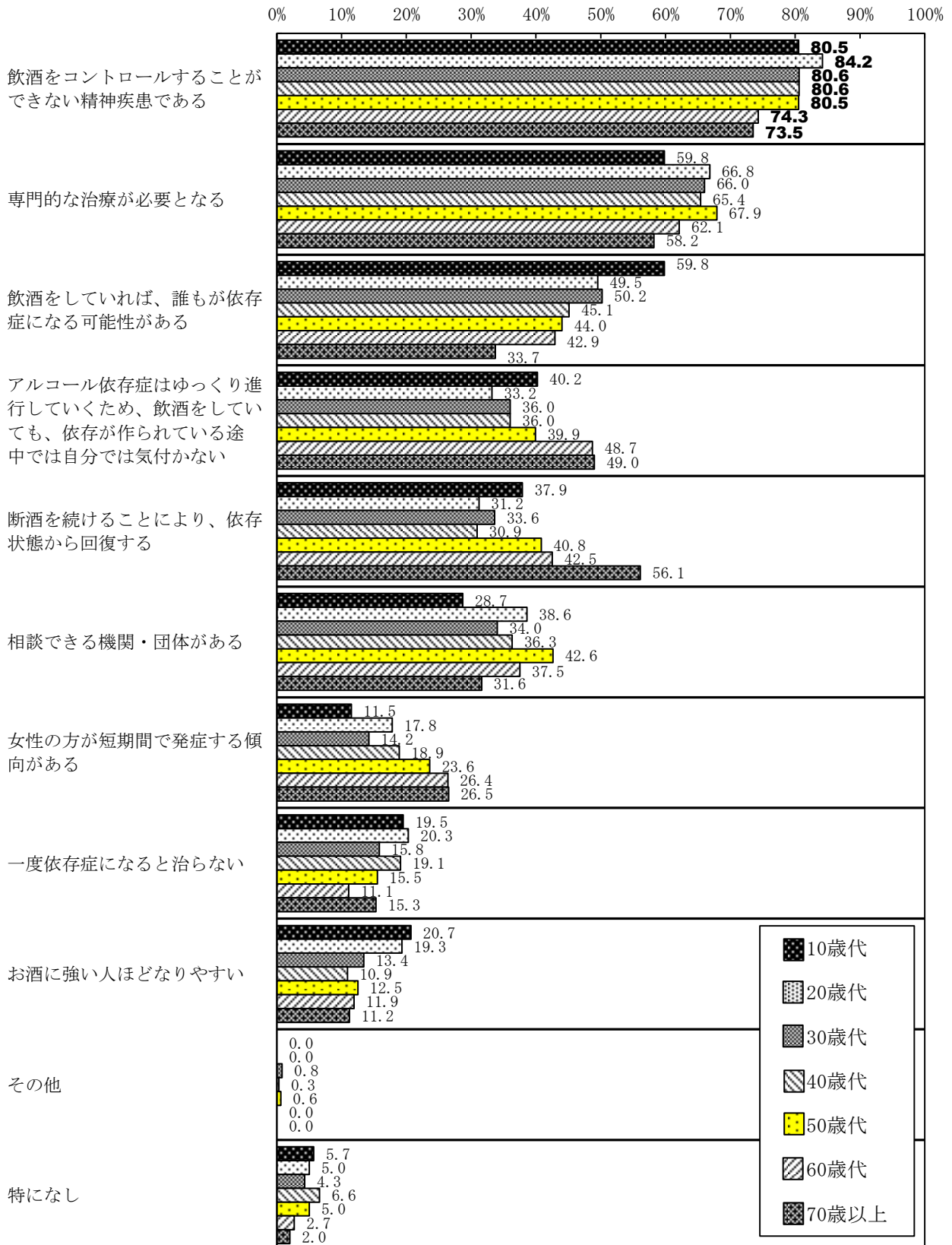
(単位：%)



【年代別】

10歳代と20歳代で「女性の方が短期間で発症する傾向がある」が、10歳代、20歳代を除くすべての年代では「お酒に強い人ほどなりやすい」の認知度が低くなっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		飲酒をコントロールすることができない精神疾患である	アルコール依存症はゆっくり進行していくため、飲酒をしても、依存が作られている途中では自分では気付かない	飲酒をしていけば、誰もが依存症になる可能性がある	一度依存症になると治らない	断酒を続けることにより、依存状態から回復する	専門的な治療が必要となる	お酒に強い人ほどなりやすい	女性の方が短期間で発症する傾向がある	相談できる機関・団体がある	その他	特になし
職業別	農林業	81.4	42.3	39.2	18.6	43.3	63.9	12.4	13.4	30.9	0.0	0.0
	漁業	77.8	44.4	44.4	0.0	44.4	55.6	0.0	0.0	33.3	0.0	22.2
	商工サービス業自営	76.8	24.6	34.8	4.3	34.8	53.6	5.8	17.4	24.6	0.0	10.1
	事務職	84.4	31.7	45.4	16.1	32.1	67.4	12.8	15.6	37.2	0.5	4.6
	技術職	85.5	45.0	49.3	20.9	37.6	75.2	14.5	25.9	50.0	0.0	2.8
	労務職	68.5	38.4	38.9	16.7	32.5	54.7	12.8	16.7	30.5	0.5	8.9
	管理職	81.3	40.6	45.3	7.8	34.4	65.6	14.1	23.4	31.3	1.6	7.8
	自由業	77.3	31.8	45.5	18.2	40.9	72.7	0.0	13.6	36.4	0.0	0.0
	主婦・主夫	83.2	38.9	51.7	14.1	38.9	65.8	9.4	24.2	39.6	0.0	2.0
	学生	83.6	38.8	59.5	21.6	36.2	58.6	23.3	14.7	33.6	0.0	4.3
	無職	74.1	48.1	43.4	15.9	45.0	60.3	14.8	25.4	36.0	0.5	3.7
その他	78.8	38.8	48.8	16.5	38.8	71.8	14.7	22.9	37.1	0.6	4.7	
広域市町村圏別	高知市	80.7	40.4	46.6	17.2	37.7	69.0	14.1	22.1	40.8	0.0	4.6
	安芸広域圏	78.9	38.6	43.9	16.7	39.5	61.4	13.2	25.4	36.8	0.0	4.4
	南国・香美広域圏	77.3	38.4	43.2	13.5	35.8	59.4	13.1	17.5	33.6	0.9	5.2
	嶺北広域圏	73.5	55.9	44.1	17.6	41.2	55.9	11.8	23.5	41.2	0.0	8.8
	仁淀川広域圏	80.2	35.7	40.5	12.7	34.9	59.5	11.1	15.1	31.0	0.0	4.0
	高吾北広域圏	70.6	54.9	52.9	15.7	35.3	62.7	11.8	21.6	27.5	0.0	3.9
	高幡広域圏	83.7	41.5	50.4	17.1	40.7	71.5	14.6	17.9	39.8	0.8	4.9
幡多広域圏	79.1	33.8	48.3	18.9	37.3	61.2	12.9	18.9	31.3	1.0	3.5	

問 31 あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合、相談窓口を知っていれば、相談しますか。(1つだけ○印)

【総合】 「する」が84.6%で、「しない」の13.6%を71.0ポイント上回っている。

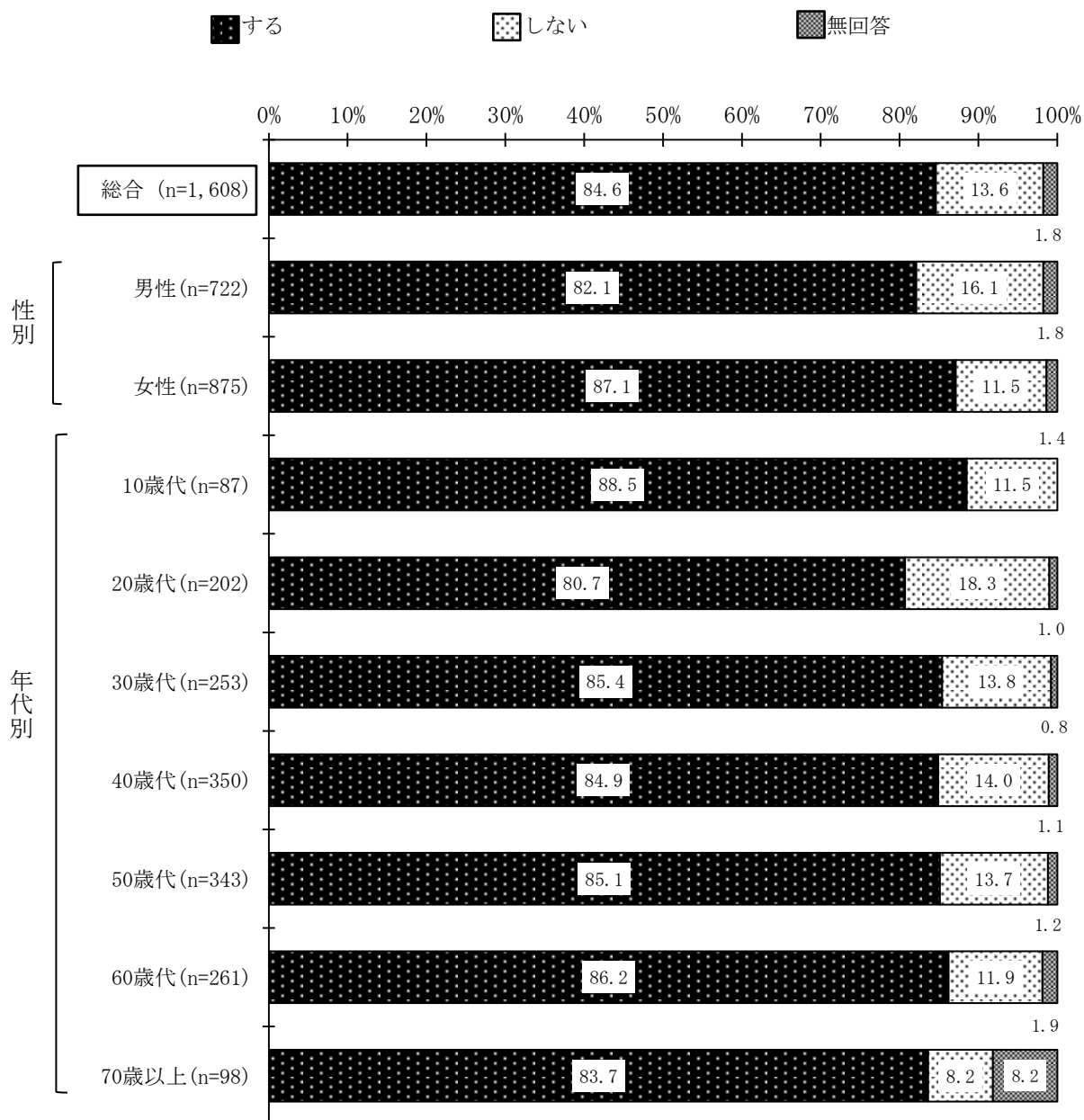
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

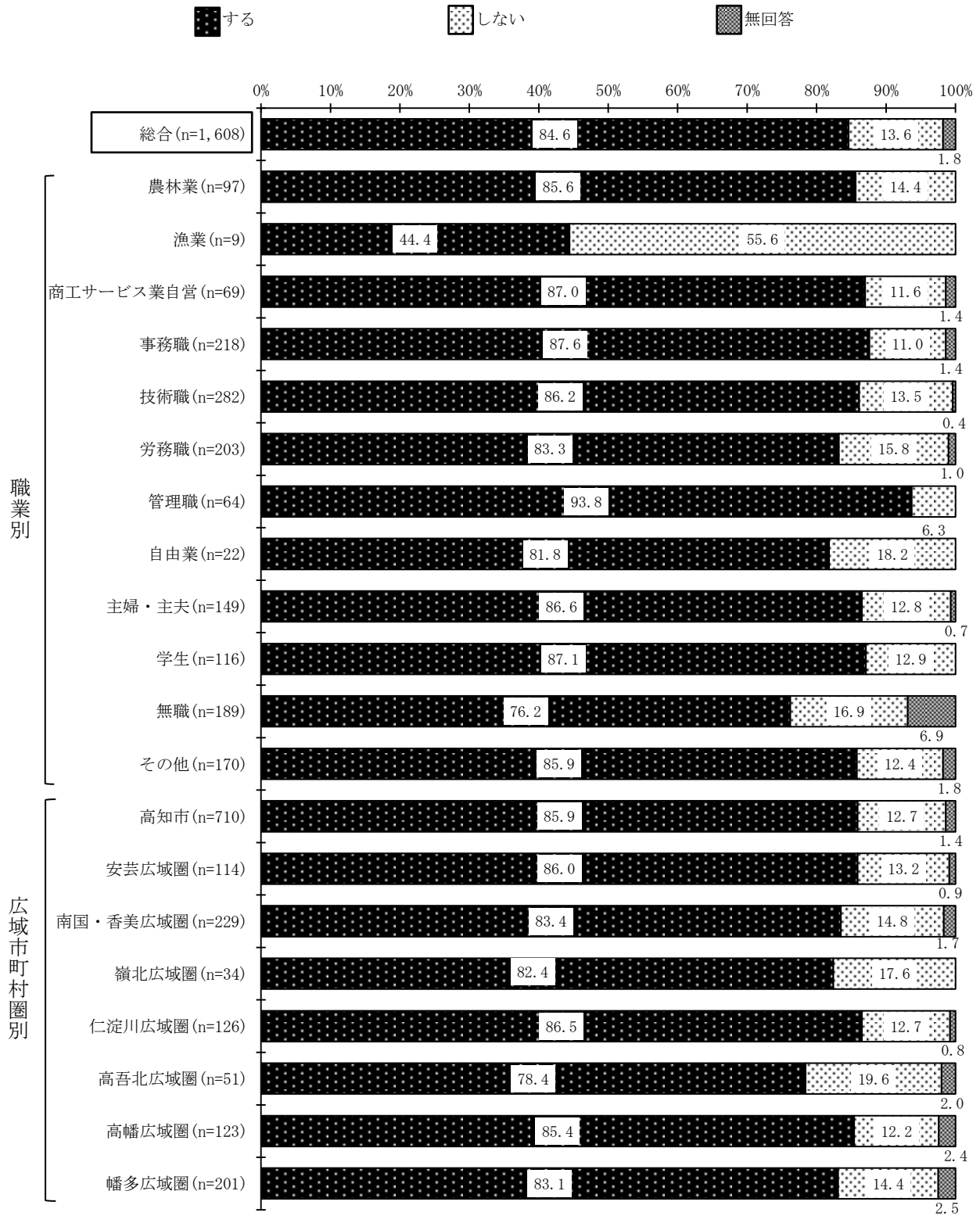
【年代別】

すべての年代で「する」が「しない」を上回っている。

《総合・性別・年代別》



《職業別・広域市町村圏別》





【問 30×問 31 のクロス分析】

「アルコール依存症について知っていますか。」という質問への回答に対し、「あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合、相談窓口で相談しますか。」について見てみると、「特になし」と回答した人では「しない」が高くなっている。

《問 30×問 31 のクロス分析》

(単位：%)

		問 31	
		する	しない
問 30	飲酒をコントロールすることができない精神疾患である	87.9	11.3
	アルコール依存症はゆっくり進行していくため、飲酒をしていても、依存が作られている途中では自分では気付かない	86.1	12.8
	飲酒をしていれば、誰もが依存症になる可能性がある	87.1	12.2
	一度依存症になると治らない	84.2	14.7
	断酒を続けることにより、依存状態から回復する	89.5	9.7
	専門的な治療が必要となる	90.6	8.8
	お酒に強い人ほどなりやすい	82.4	17.1
	女性の方が短期間で発症する傾向がある	87.4	12.3
	相談できる機関・団体がある	89.5	9.8
	その他	80.0	20.0
特になし	66.2	32.5	

問 31 副問 1 (問 31 で「2」を選んだ方のみお答えください。)  
 相談しない理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「相談しても解決すると思えないから」が44.0%で1位になっている。

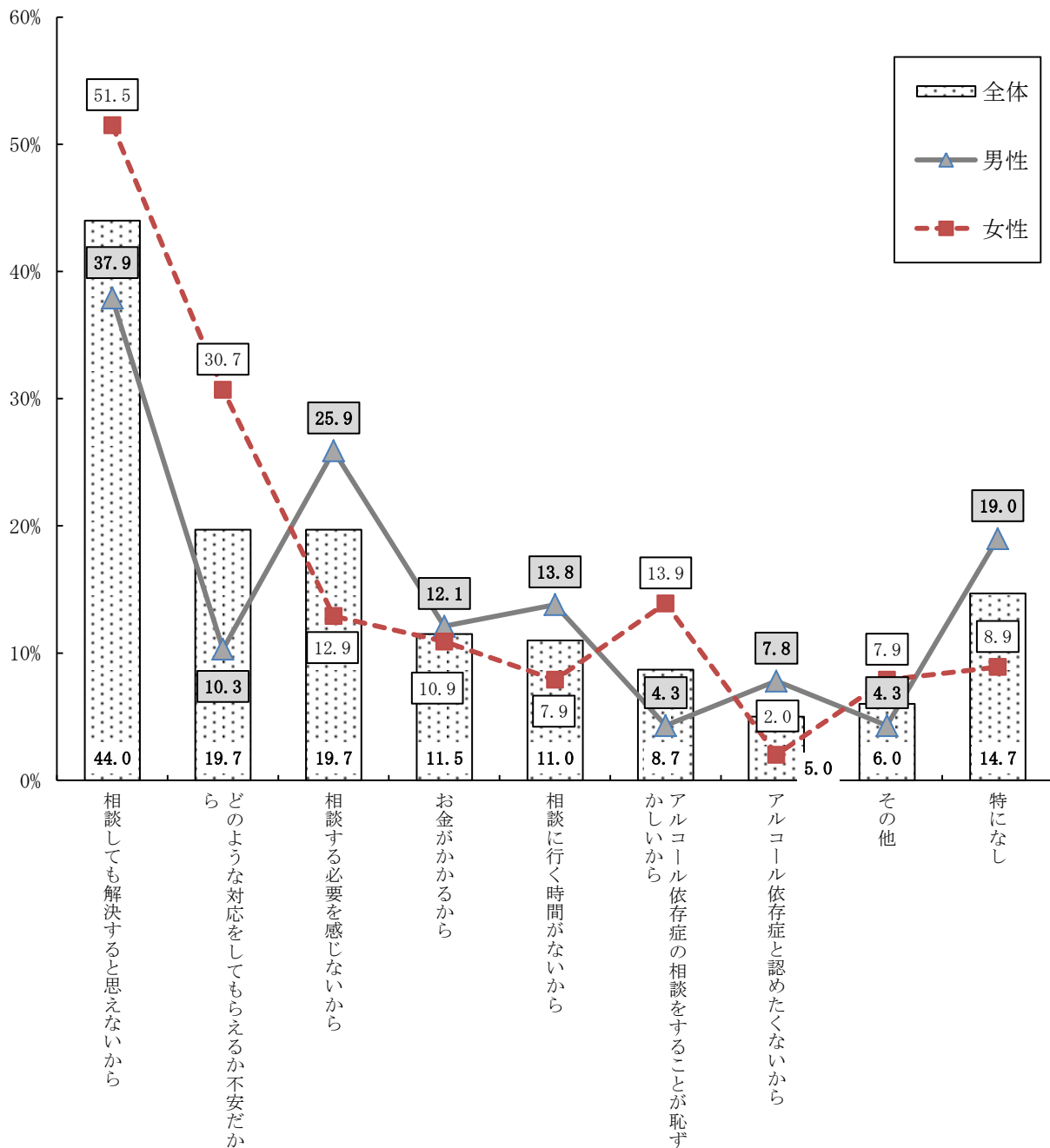
次いで「どのような対応をしてもらえるか不安だから」、「相談する必要を感じないから」が同率で19.7%と続いている。

【性別】

男女とも「相談しても解決すると思えないから」が最も高く、女性では男性よりも13.6ポイント高くなっている。

《総合・性別》

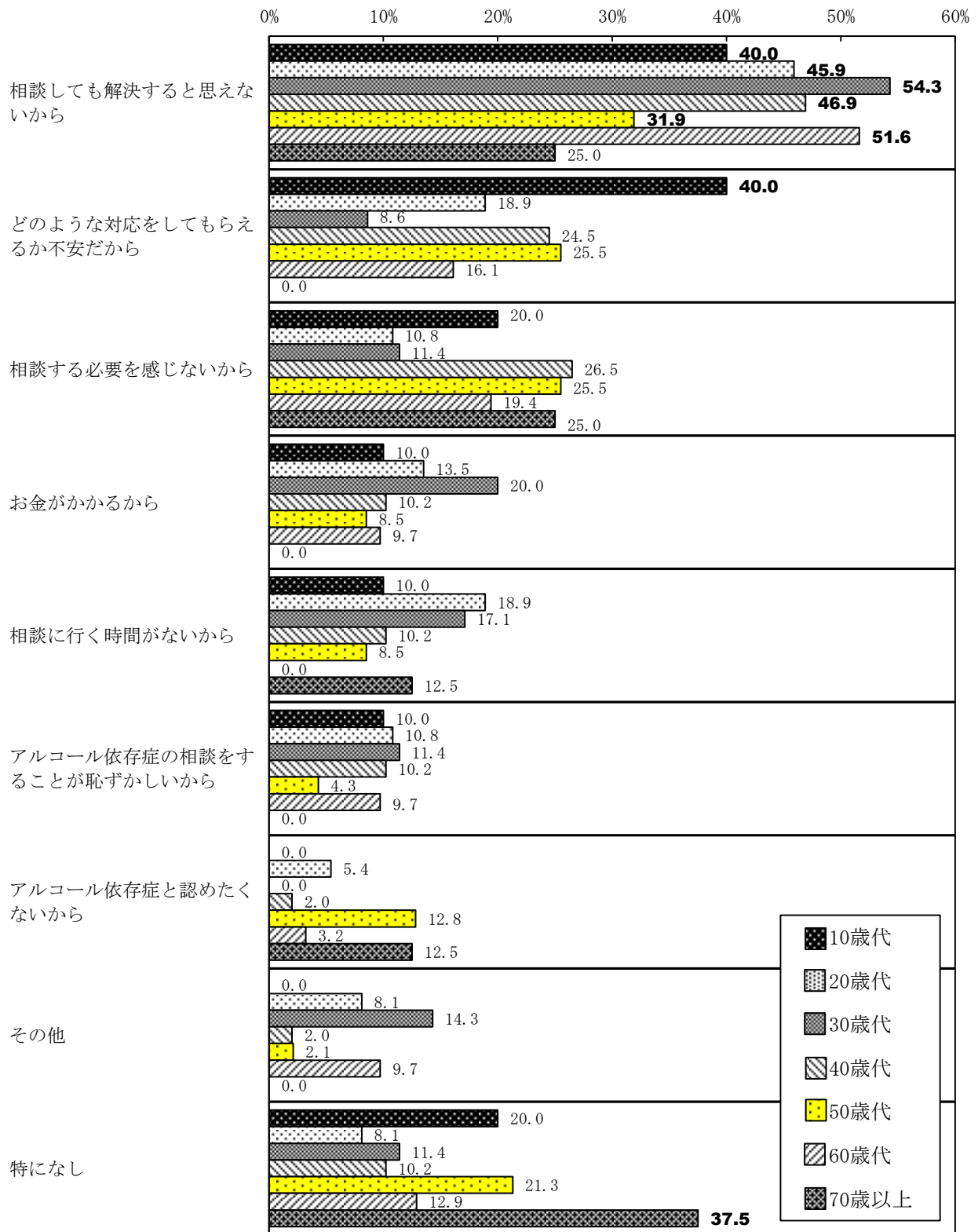
(単位：%)



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「相談しても解決と思えないから」が、10歳代ではこれと同率で「どのような対応をしてもらえるか不安だから」が、70歳以上では「特になし」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属性		項目	相談に行く時間がないから	どのような対応をしてもらえないか不安だから	アルコール依存症の相談をすることが恥ずかしいから	相談するのを感じないから	相談しても解決すると思えないから	アルコール依存症と認めたくないから	お金がかかるから	その他	特になし
職業別	農林業		0.0	14.3	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	21.4
	漁業		20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	商工サービス業自営		25.0	12.5	0.0	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	事務職		4.2	29.2	20.8	8.3	66.7	4.2	4.2	4.2	0.0
	技術職		10.5	15.8	7.9	13.2	47.4	5.3	13.2	7.9	13.2
	労務職		21.9	15.6	9.4	28.1	31.3	6.3	18.8	9.4	15.6
	管理職		25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	自由業		0.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫		0.0	31.6	15.8	21.1	42.1	5.3	10.5	10.5	10.5
	学生		13.3	33.3	6.7	13.3	60.0	6.7	6.7	6.7	6.7
	無職		6.3	15.6	6.3	21.9	34.4	9.4	15.6	6.3	21.9
	その他		19.0	14.3	4.8	19.0	38.1	0.0	23.8	4.8	19.0
広域市町村圏別	高知市		15.6	20.0	8.9	20.0	48.9	5.6	15.6	3.3	10.0
	安芸広域圏		6.7	13.3	0.0	46.7	33.3	0.0	6.7	0.0	13.3
	南国・香美広域圏		5.9	17.6	2.9	20.6	41.2	8.8	8.8	5.9	26.5
	嶺北広域圏		16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3
	仁淀川広域圏		25.0	31.3	12.5	6.3	43.8	6.3	12.5	12.5	18.8
	高吾北広域圏		10.0	30.0	30.0	10.0	30.0	10.0	10.0	0.0	20.0
	高幡広域圏		6.7	26.7	13.3	13.3	33.3	0.0	0.0	6.7	13.3
	幡多広域圏		0.0	13.8	6.9	20.7	55.2	0.0	13.8	13.8	3.4

問 32 あなたがスポーツに取り組むことになったきっかけは何ですか。(1つだけ○印)

【総合】 「スポーツはやっていない」が57.1%で1位になっている。

次いで「家族や友達など周りの人が取り組んでいるのを見て」が14.4%、「美容や健康増進のため」が11.4%と続いている。

【性別】

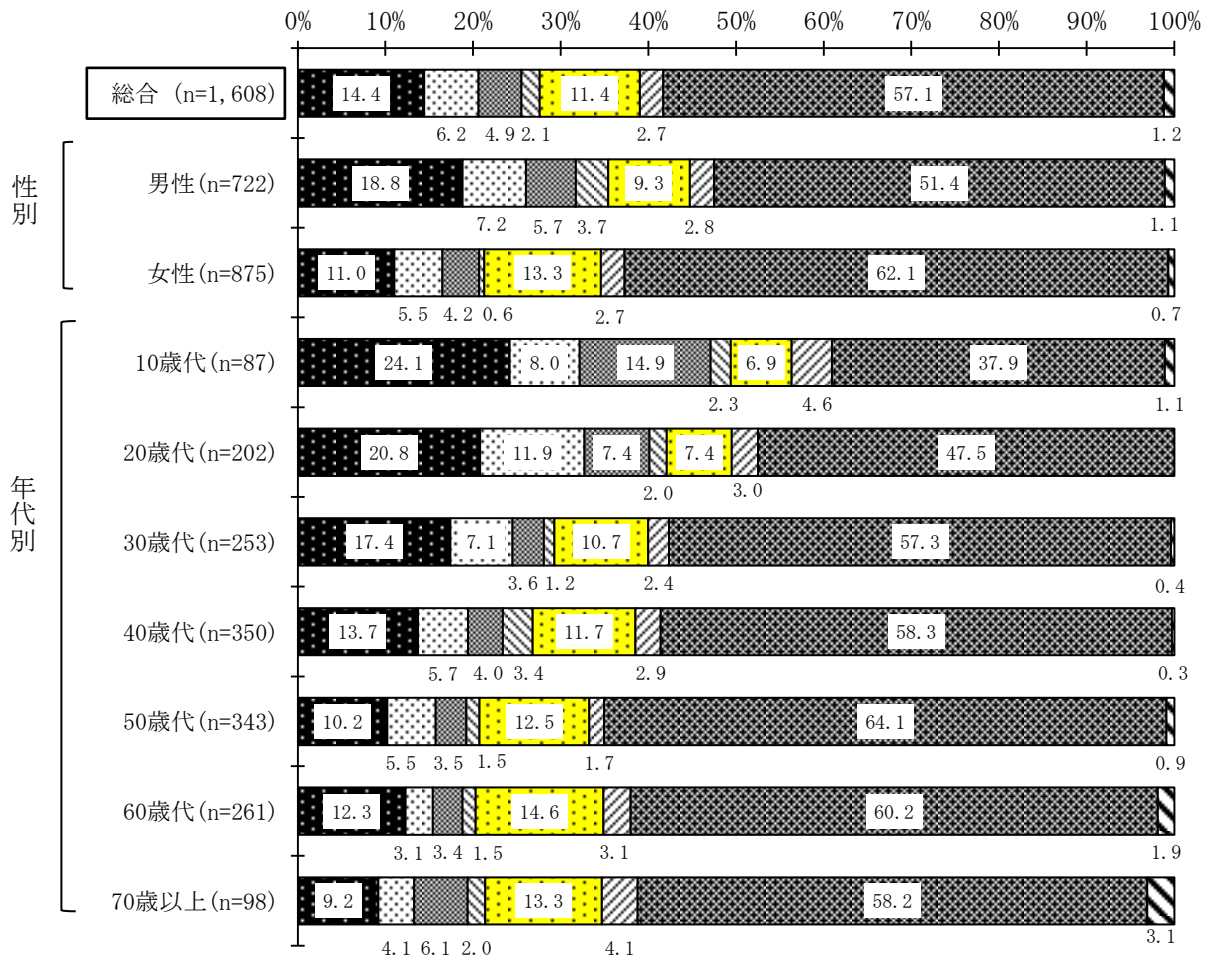
「スポーツはやっていない」では、女性が男性より10.7ポイント高くなっている。

【年代別】

低い年代ほど「家族や友達などの周りの人が取り組んでいるのを見て」が高くなっている。

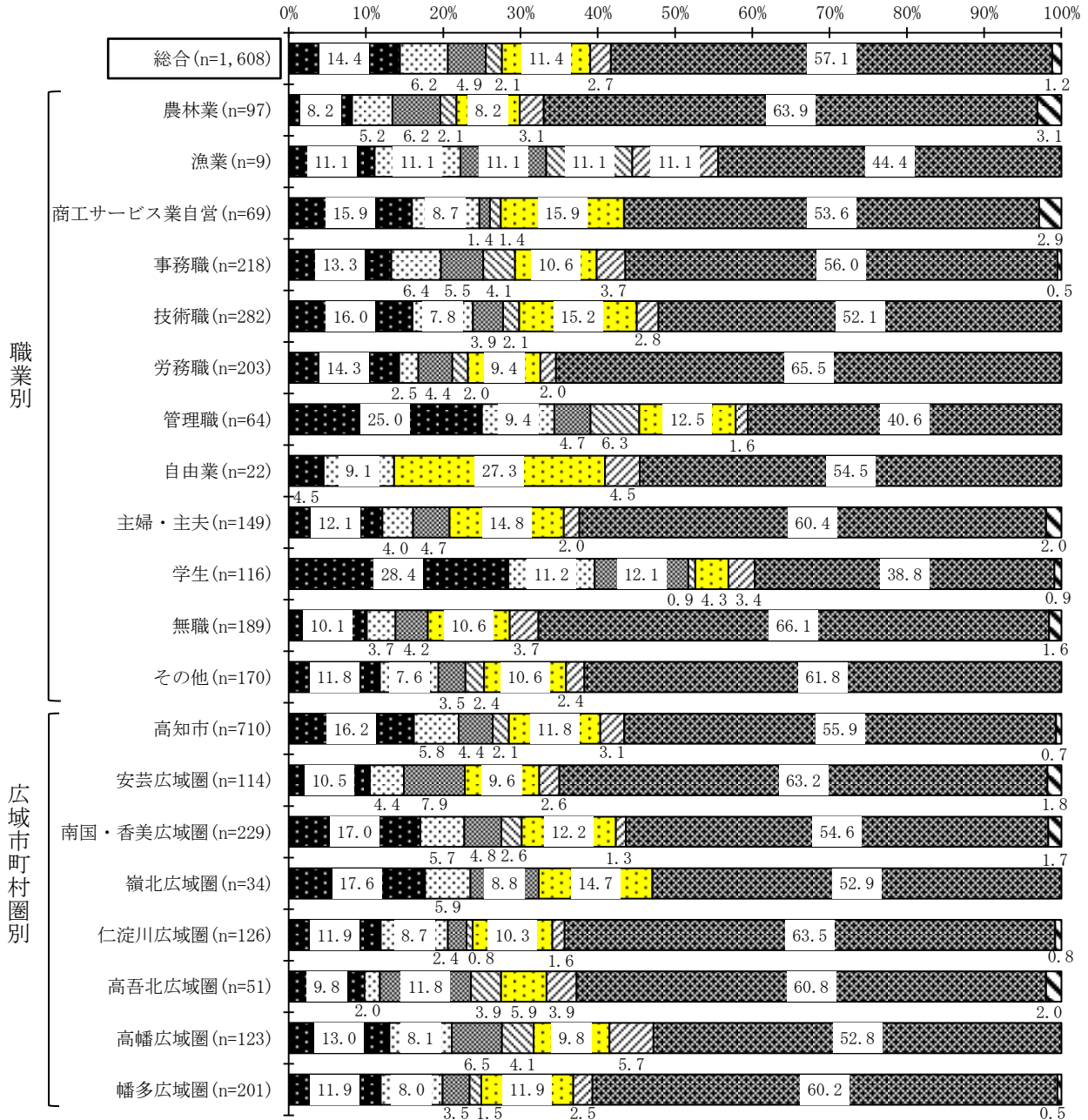
《総合・性別・年代別》

- 家族や友達などの周りの人が取り組んでいるのを見て
- 家族や友達、先生などの周りの人に勧められて
- 体育の授業やスポーツイベントなどへの参加を通して
- プロ野球やJリーグなどのスポーツ観戦を通して
- 美容や健康増進のため
- その他
- スポーツはやっていない
- 無回答



《職業別・広域市町村圏別》

- 家族や友達などの周りの人が取り組んでいるのを見て
- 家族や友達、先生などの周りの人に勧められて
- 体育の授業やスポーツイベントなどへの参加を通して
- プロ野球やJリーグなどのスポーツ観戦を通して
- 美容や健康増進のため
- その他
- スポーツはやっていない
- 無回答



問 33 子どもたちがスポーツに親しむために有効な取り組みは何だと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】 「学校の体育施設や運動公園など子どもが自由に利用できる場の提供」が30.0%で1位になっている。

次いで「スポーツクラブやスポーツイベントなど日常的にスポーツができる機会の充実」が24.6%、「スポーツに興味・関心を抱かせる体育の授業や幼児教育の充実」が21.4%と続いている。

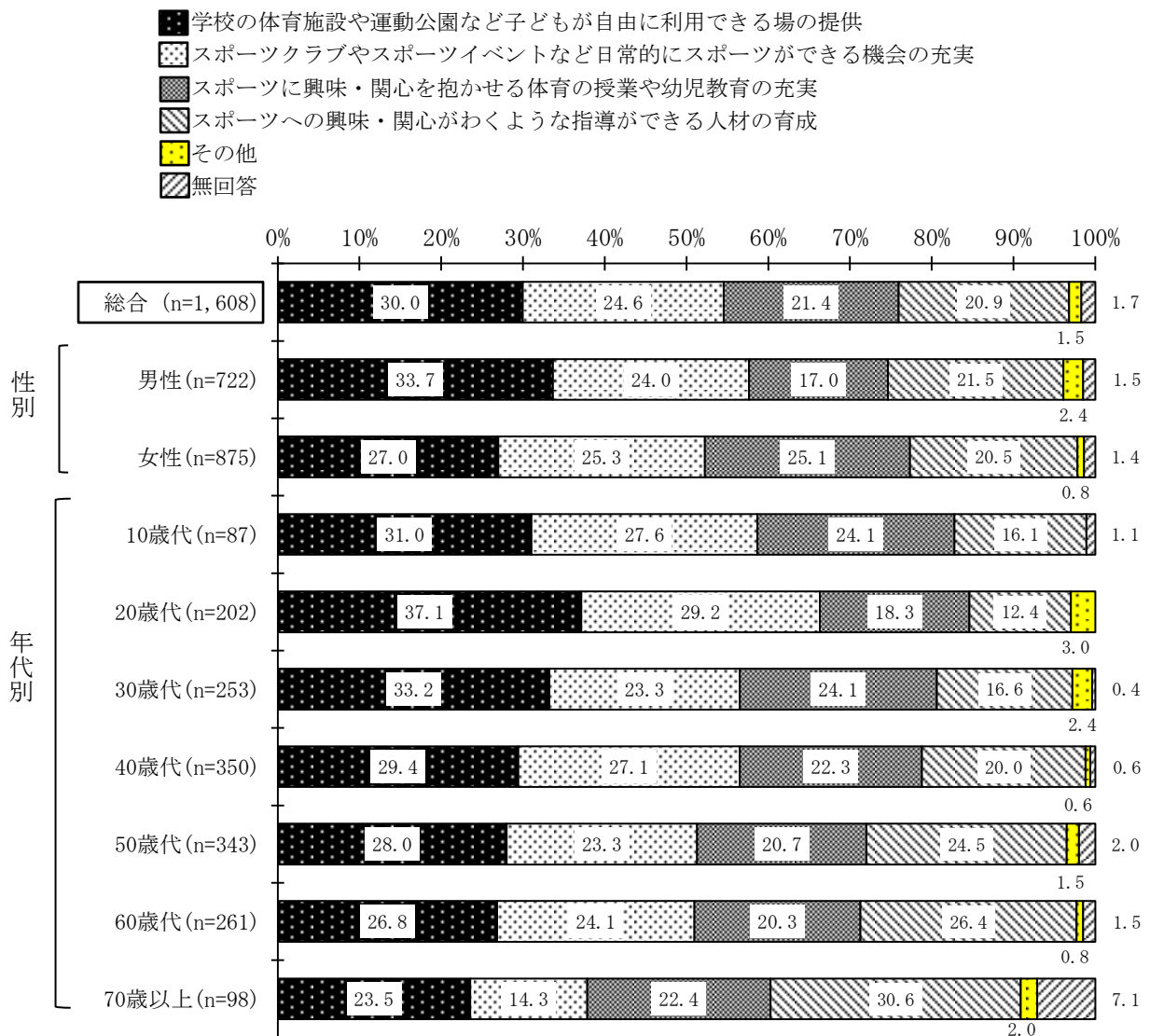
【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

【年代別】

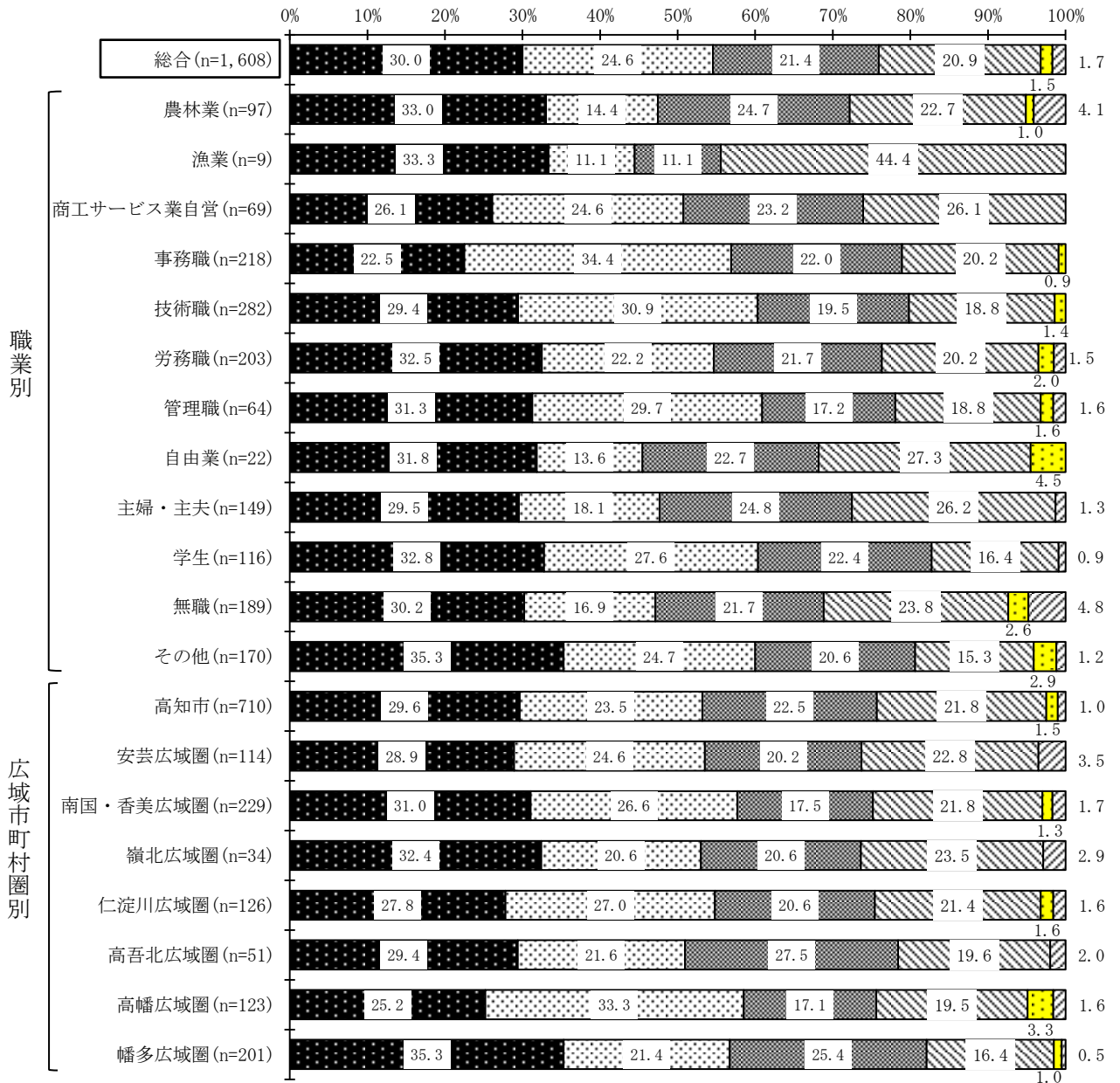
70歳以上を除くすべての年代で「学校の体育施設や運動公園など子どもが自由に利用できる場の提供」が、70歳以上では「スポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人材の育成」が1位になっている。

《総合・性別・年代別》



《職業別・広域市町村圏別》

- 学校の体育施設や運動公園など子どもが自由に利用できる場の提供
- ▨ スポーツクラブやスポーツイベントなど日常的にスポーツができる機会の充実
- ▩ スポーツに興味・関心を抱かせる体育の授業や幼児教育の充実
- ▧ スポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人材の育成
- その他
- ▨ 無回答





問 34 平成 31 年度の人口の社会増減を均衡させるという目標を実現するためには、多くの若者に県内で就職していただけるようになることが重要です。そのために、県として何に力を入れる必要があると思いますか。（2つまで○印）

【総合】 「企業に給料、福利厚生等を改善するよう働きかける」が51.2%で1位になっている。

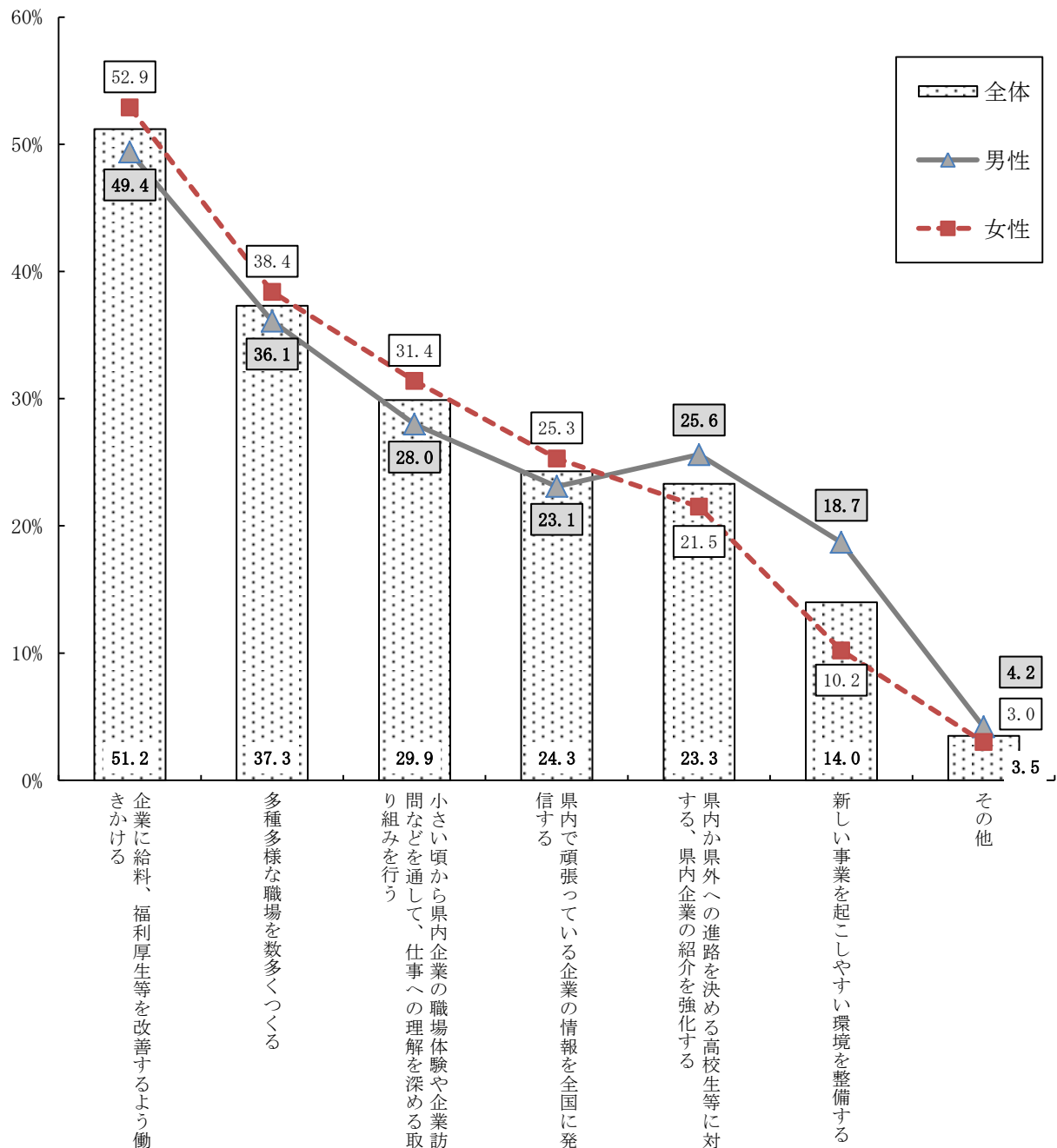
次いで「多種多様な職場を数多くつくる」が37.3%、「小さい頃から県内企業の職場体験や企業訪問などを通して、仕事への理解を深める取り組みを行う」が29.9%と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

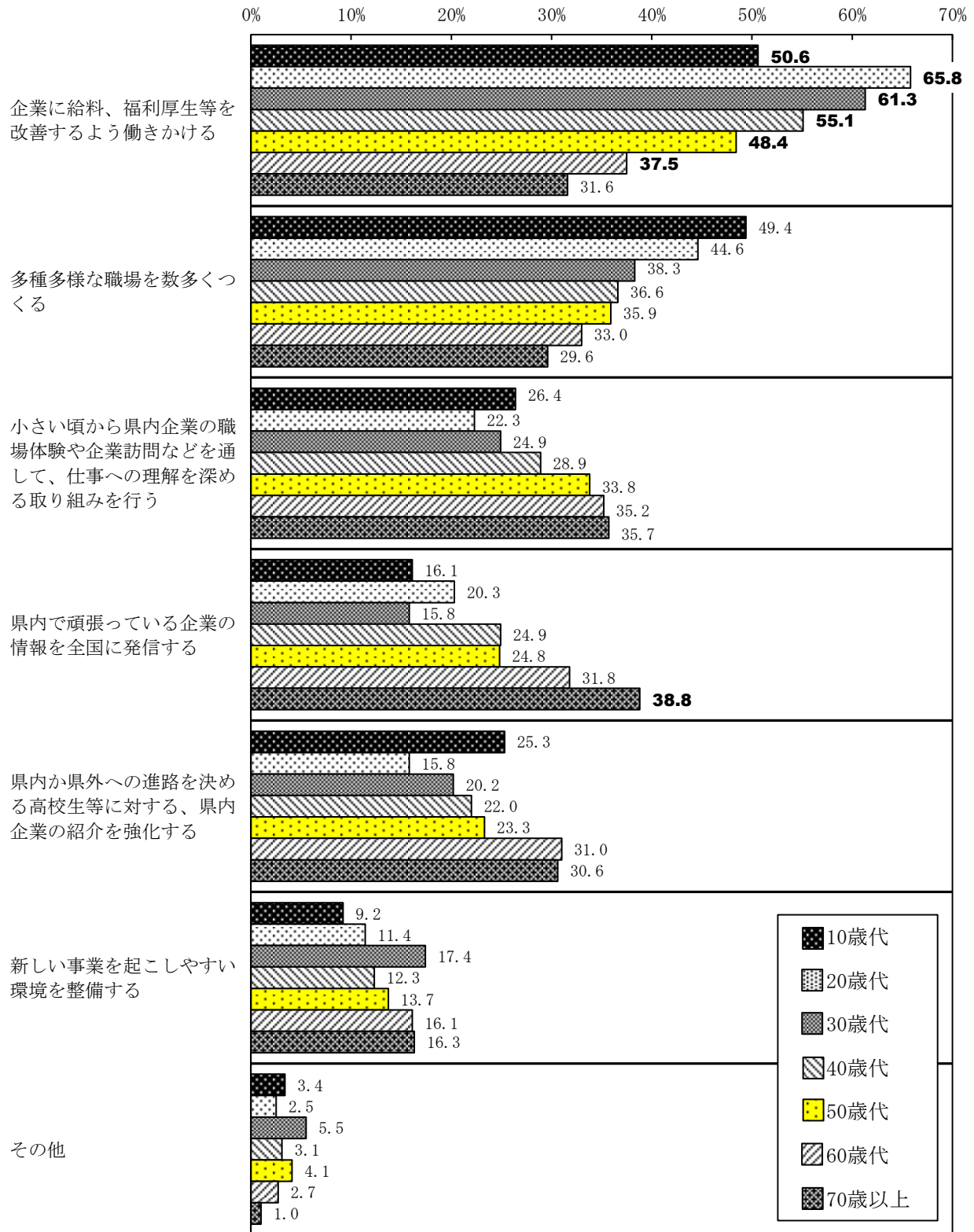
(単位：%)



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「企業に給料、福利厚生等を改善するよう働きかける」が、70歳以上では「県内で頑張っている企業の情報を全国に発信する」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属性		項目	多種多様な職場を数多くつくる	県内で頑張っている企業の情報を全国に発信する	新しい事業を起こしやすい環境を整備する	企業に給料、福利厚生等を改善するよう働きかける	県内か県外への進路を決める高校生等に対する、県内企業の紹介を強化する	小さい頃から県内企業の職場体験や企業訪問などを通して、仕事への理解を深める取り組みを行う	その他
職業別	農林業		35.1	24.7	23.7	32.0	29.9	33.0	5.2
	漁業		44.4	0.0	22.2	33.3	55.6	22.2	0.0
	商工サービス業自営		26.1	24.6	21.7	42.0	29.0	29.0	4.3
	事務職		35.3	25.2	11.5	51.8	22.0	31.2	3.7
	技術職		35.8	22.0	12.4	57.8	21.6	31.6	3.9
	労務職		37.9	21.7	13.3	65.0	17.2	27.1	3.4
	管理職		37.5	21.9	14.1	40.6	35.9	29.7	4.7
	自由業		31.8	36.4	31.8	31.8	31.8	31.8	0.0
	主婦・主夫		41.6	28.2	9.4	48.3	20.1	34.2	4.7
	学生		50.0	23.3	11.2	60.3	18.1	14.7	3.4
	無職		34.4	30.7	14.3	40.2	29.1	34.4	1.6
その他		38.2	20.6	14.7	55.3	22.4	29.4	2.4	
広域市町村圏別	高知市		36.9	24.9	11.3	55.9	21.3	29.3	4.2
	安芸広域圏		39.5	28.1	14.9	41.2	31.6	23.7	2.6
	南国・香美広域圏		38.0	22.3	14.0	50.7	23.1	34.1	2.2
	嶺北広域圏		41.2	26.5	14.7	44.1	32.4	23.5	2.9
	仁淀川広域圏		34.1	28.6	14.3	56.3	17.5	28.6	4.8
	高吾北広域圏		39.2	29.4	13.7	47.1	21.6	27.5	2.0
	高幡広域圏		39.8	22.0	17.1	51.2	23.6	33.3	2.4
幡多広域圏		36.8	19.4	21.9	42.8	28.4	30.8	2.0	

問 35 県では、平成 31 年度に移住者を 1,000 組にするという目標を達成するために、今年の秋を目的に、移住促進と人材確保を一体的に担う新組織を立ち上げ、各産業分野の人材ニーズを掘り起こした上で一元的に集約し、相談者のニーズに応じた提案をしていきます。今後どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。（3つまで〇印）

【総合】 「移住者の住宅の確保に向けて、空き家の活用等の取り組みを強化する」が 52.3%で 1 位になっている。

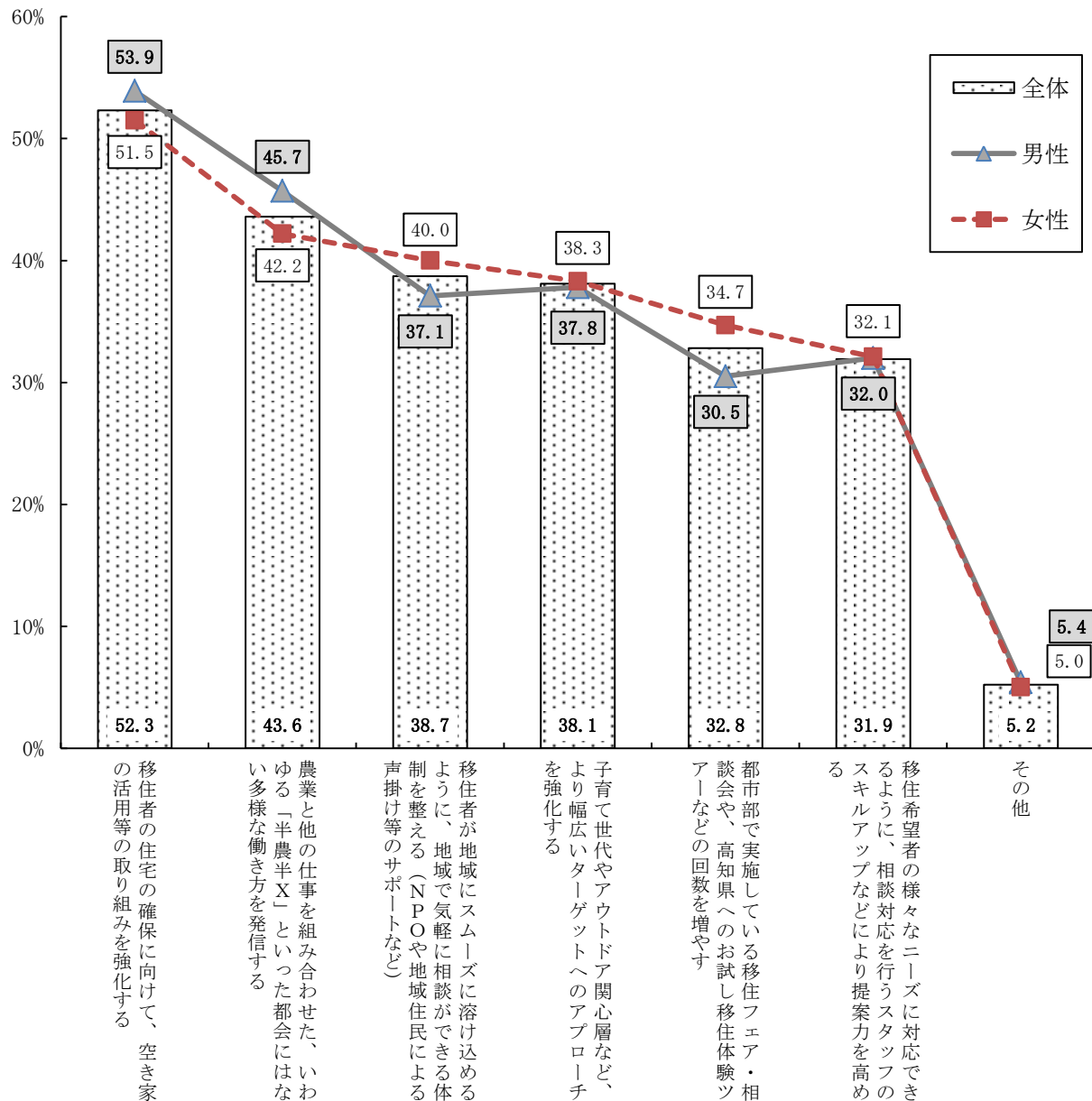
次いで「農業と他の仕事を組み合わせた、いわゆる「半農半X」といった都会にはない多様な働き方を発信する」が 43.6%、「移住者が地域にスムーズに溶け込めるように、地域で気軽に相談ができる体制を整える（NPOや地域住民による声掛け等のサポートなど）」が 38.7%と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

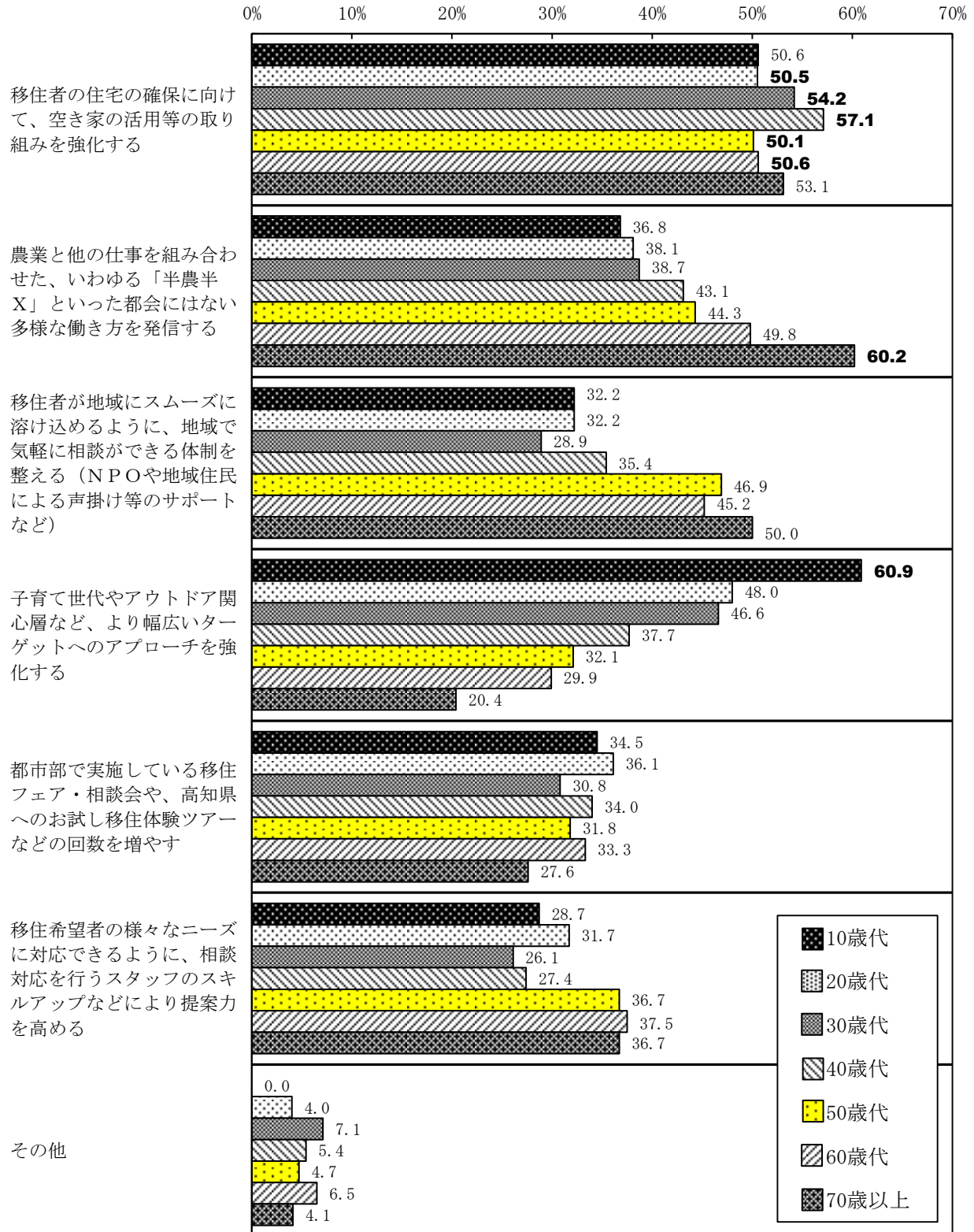
(単位：%)



【年代別】

10歳代では「子育て世代やアウトドア関心層など、より幅広いターゲットへのアプローチを強化する」が、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「移住者の住宅の確保に向けて、空き家の活用等の取り組みを強化する」が、70歳以上では「農業と他の仕事を組み合わせた、いわゆる「半農半X」といった都会にはない多様な働き方を発信する」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		子育て世代やアウトドア関心層など、より幅広いターゲットへのアプローチを強化する	き方を発信する	いった都会にはない多様な働き方を発信する	農業と他の仕事を組み合わせ、いわゆる「半農半X」といった都会にはない多様な働き方を発信する	農業者の仕事を組み合わせ、いわゆる「半農半X」といった都会にはない多様な働き方を発信する	プなどにより提案力を高める	移住希望者の様々なニーズに対応できるように、相談対応を行うスタッフのスキルアップなどにより提案力を高める	移住希望者の様々なニーズに対応できるように、相談対応を行うスタッフのスキルアップなどにより提案力を高める	回数を増やす	お話し移住体験ツアーなどの回数を増やす	都市部で実施している移住フェア・相談会や、高知県へのお話し移住体験ツアーなどの回数を増やす	移住者の住宅の確保に向けて、空き家の活用等の取り組みを強化する	移住者が地域にスムーズに溶け込めるように、地域で気軽に相談ができる体制を整える(NPOや地域住民による声掛け等のサポートなど)	その他
職業別	農林業	28.9	57.7	25.8	29.9	50.5	36.1	8.2							
	漁業	44.4	33.3	44.4	33.3	66.7	33.3	0.0							
	商工サービス業自営	36.2	53.6	27.5	27.5	68.1	36.2	7.2							
	事務職	41.3	33.9	31.2	35.8	48.6	35.8	6.9							
	技術職	42.9	46.1	28.4	32.6	51.4	35.1	4.6							
	労務職	32.0	45.3	32.5	30.0	56.2	39.9	5.4							
	管理職	32.8	53.1	26.6	39.1	62.5	34.4	3.1							
	自由業	40.9	54.5	36.4	18.2	50.0	50.0	4.5							
	主婦・主夫	36.9	40.3	38.9	32.9	47.7	45.0	8.1							
	学生	62.1	43.1	25.0	33.6	50.9	36.2	0.9							
	無職	26.5	47.1	40.7	32.3	52.9	43.9	3.2							
	その他	39.4	34.7	34.7	37.6	51.8	39.4	4.7							
広域市町村圏別	高知市	40.1	43.4	33.1	35.9	51.5	38.7	4.5							
	安芸広域圏	31.6	43.0	38.6	24.6	55.3	36.0	6.1							
	南国・香美広域圏	37.1	49.3	29.7	27.9	52.0	41.9	4.4							
	嶺北広域圏	29.4	58.8	23.5	38.2	47.1	35.3	8.8							
	仁淀川広域圏	33.3	31.0	36.5	38.9	58.7	39.7	4.0							
	高吾北広域圏	37.3	45.1	45.1	23.5	33.3	49.0	3.9							
	幡多広域圏	41.5	42.3	22.0	38.2	56.9	41.5	9.8							
幡多広域圏	37.8	45.3	28.9	26.9	56.7	31.8	5.5								

問 36 県が行っている次の広報活動で、ご覧になったり、お聴きになったりしたことがあるものはどれですか。（当てはまるものすべてに○印）

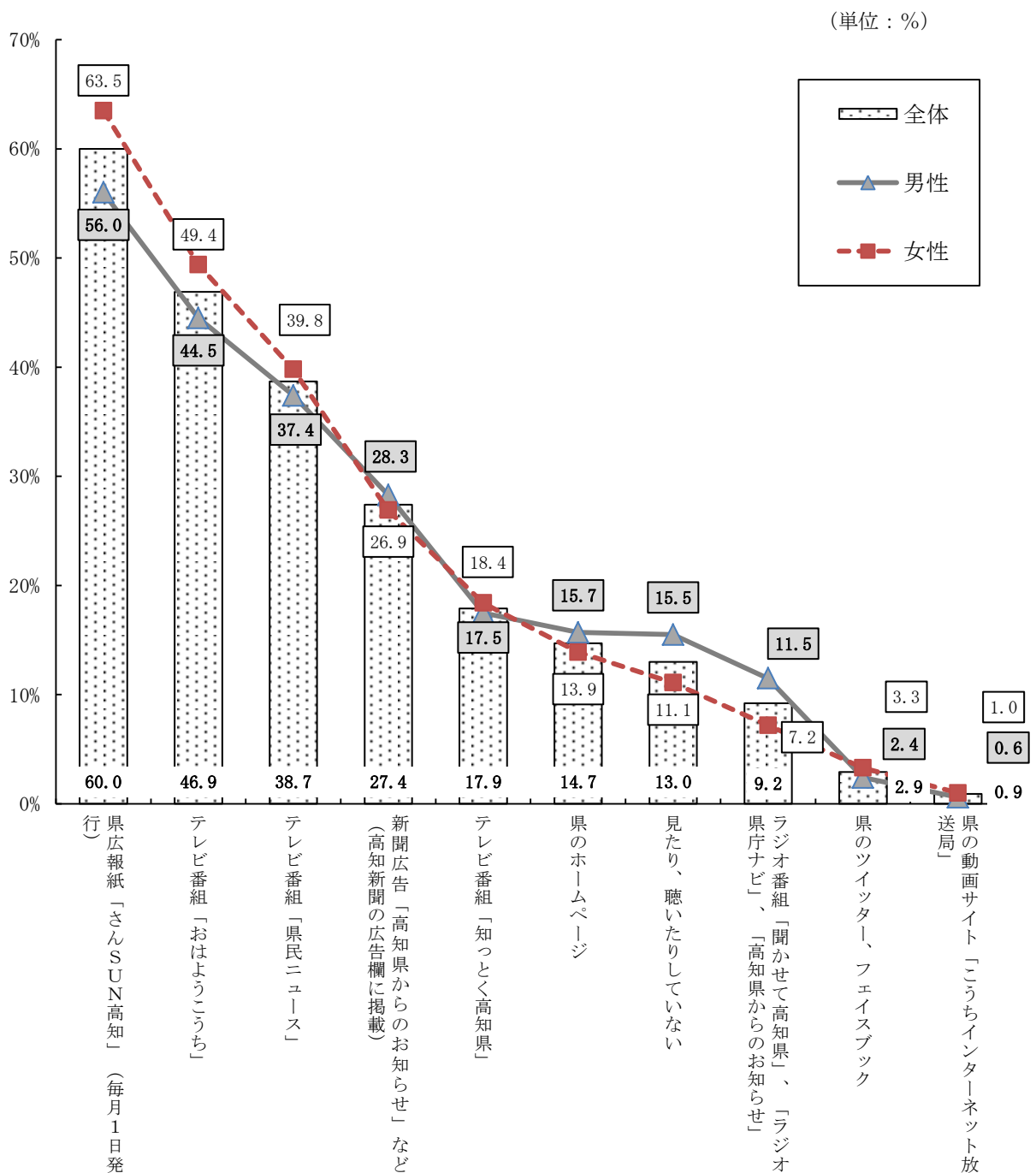
【総合】 「県広報紙「さんSUN高知」（毎月1日発行）」が60.0%で1位になっている。

次いで「テレビ番組「おはようこうち）」が46.9%、「テレビ番組「県民ニュース）」が38.7%と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

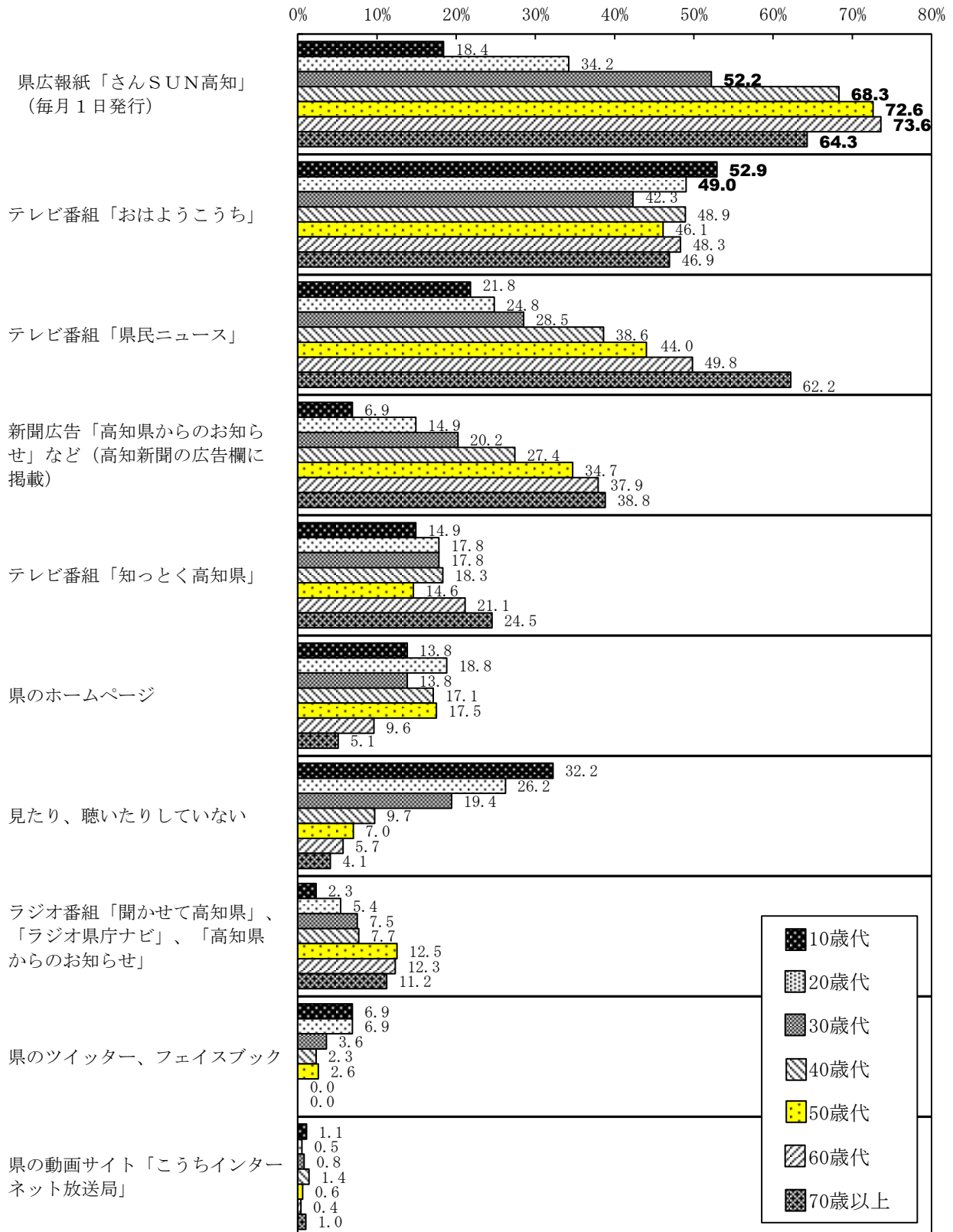
《総合・性別》



【年代別】

10歳代、20歳代では「テレビ番組「おはようこうち」」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「県広報紙「さんSUN高知」（毎月1日発行）」が1位になっている。

《 年 代 別 》





《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		県広報紙「さんSUN高知」 (毎月1日発行)	新聞広告「高知県からのお知らせ」など (高知新聞の広告欄に掲載)	テレビ番組「おはようこうち」	テレビ番組「県民ニュース」	テレビ番組「知っとく高知県」	ラジオ番組「聞かせて高知県」 、「ラジオ県庁ナビ」 、「高知県からのお知らせ」	県のホームページ	県の動画サイト「こうちインターネット放送局」	県のツイッター、フェイスブック	見たり、聴いたりしていない
職業別	農林業	64.9	38.1	55.7	54.6	18.6	23.7	13.4	1.0	1.0	5.2
	漁業	55.6	22.2	55.6	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1
	商工サービス業自営	62.3	26.1	40.6	33.3	13.0	13.0	13.0	0.0	1.4	13.0
	事務職	70.6	28.4	53.2	34.9	18.3	7.3	25.7	1.4	5.0	11.9
	技術職	60.6	25.5	46.5	34.8	16.7	7.8	16.7	1.8	2.8	14.5
	労務職	56.2	26.1	48.8	34.5	16.7	9.9	6.9	0.0	2.5	13.3
	管理職	62.5	31.3	23.4	34.4	14.1	12.5	26.6	0.0	3.1	10.9
	自由業	59.1	27.3	40.9	31.8	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0	9.1
	主婦・主夫	77.2	34.9	52.3	45.6	19.5	10.1	11.4	1.3	1.3	5.4
	学生	18.1	9.5	47.4	20.7	16.4	1.7	17.2	0.9	6.9	36.2
	無職	60.8	28.0	45.5	50.8	24.9	7.9	9.0	0.5	0.0	9.5
	その他	60.0	31.2	43.5	44.1	18.2	7.6	12.9	0.0	4.7	12.4
広域市町村圏別	高知市	65.5	29.4	44.5	37.6	17.3	8.9	15.9	1.3	3.2	11.1
	安芸広域圏	58.8	32.5	53.5	46.5	17.5	10.5	14.0	0.0	0.9	7.0
	南国・香美広域圏	54.1	25.3	44.1	37.1	21.0	11.4	13.1	0.4	2.2	17.9
	嶺北広域圏	70.6	29.4	70.6	47.1	17.6	5.9	20.6	0.0	0.0	8.8
	仁淀川広域圏	57.9	27.8	54.8	42.1	16.7	11.9	15.9	0.0	2.4	11.9
	高吾北広域圏	56.9	21.6	47.1	33.3	17.6	3.9	9.8	2.0	2.0	15.7
	高幡広域圏	56.9	29.3	54.5	35.8	20.3	10.6	13.8	0.0	4.1	13.0
	幡多広域圏	52.2	21.4	43.3	39.3	16.4	6.5	12.9	0.5	3.5	18.4

問 36 副問 1 (問 36 で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
 県広報紙「さん SUN 高知」の記事を、どの程度読んでいますか。(1つだけ○印)

【総合】 「一部の記事だけ読んでいる」が40.9%で1位になっている。

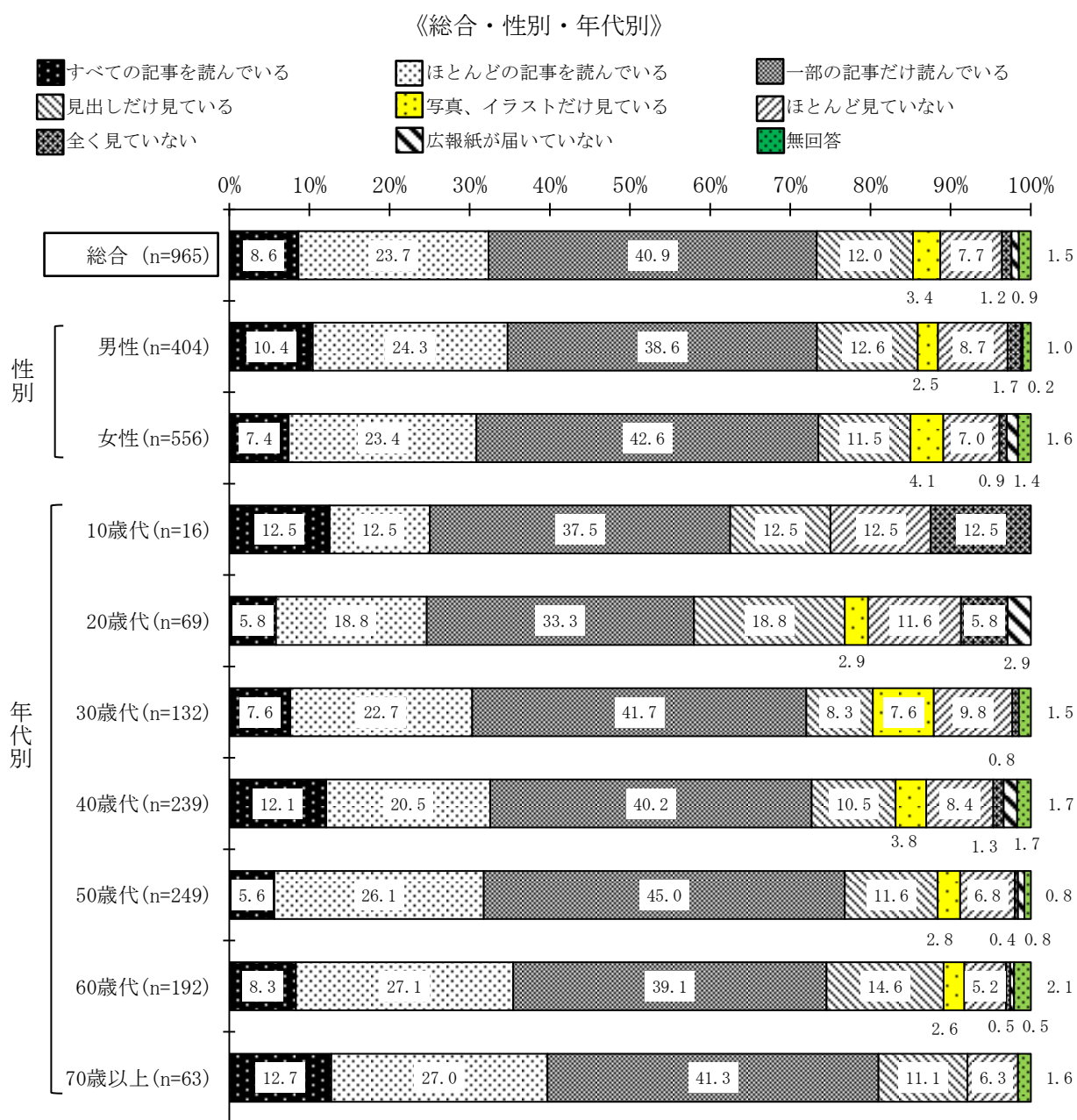
次いで「ほとんどの記事を読んでいる」が23.7%、「見出しだけで見ている」が12.0%と続いている。

【性別】

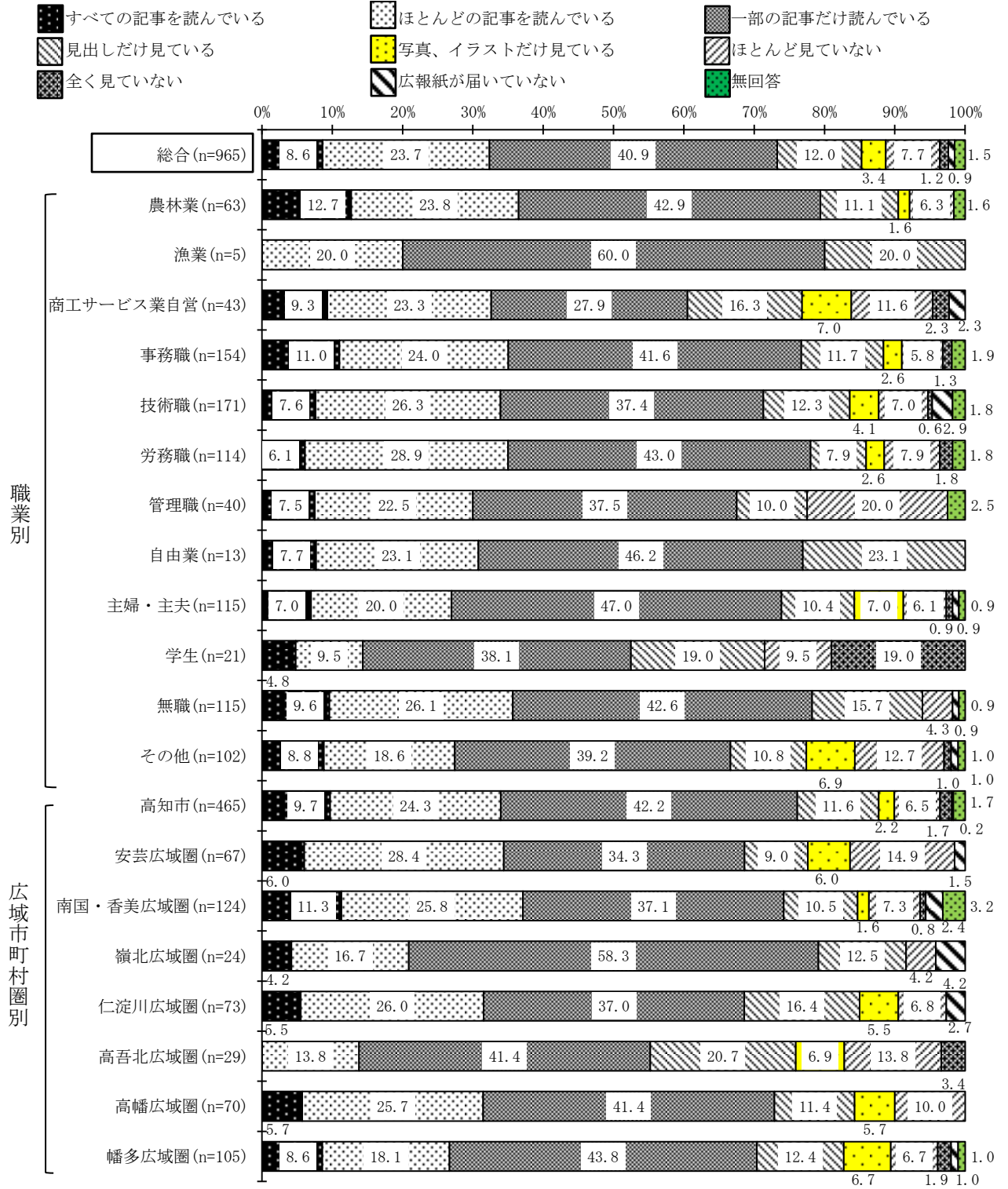
男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

【年代別】

すべての年代で「一部の記事だけ読んでいる」が1位になっている。



《職業別・広域市町村圏別》



問 36 副問 2 (副問 1 で「2・3・4・5・6」を選んだ方のみお答えください。)  
 県広報紙「さん SUN 高知」の紙面について、必ず読んでいる記事は次のうちどれですか。  
 (当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「情報ひろば」が 55.6% で 1 位になっている。

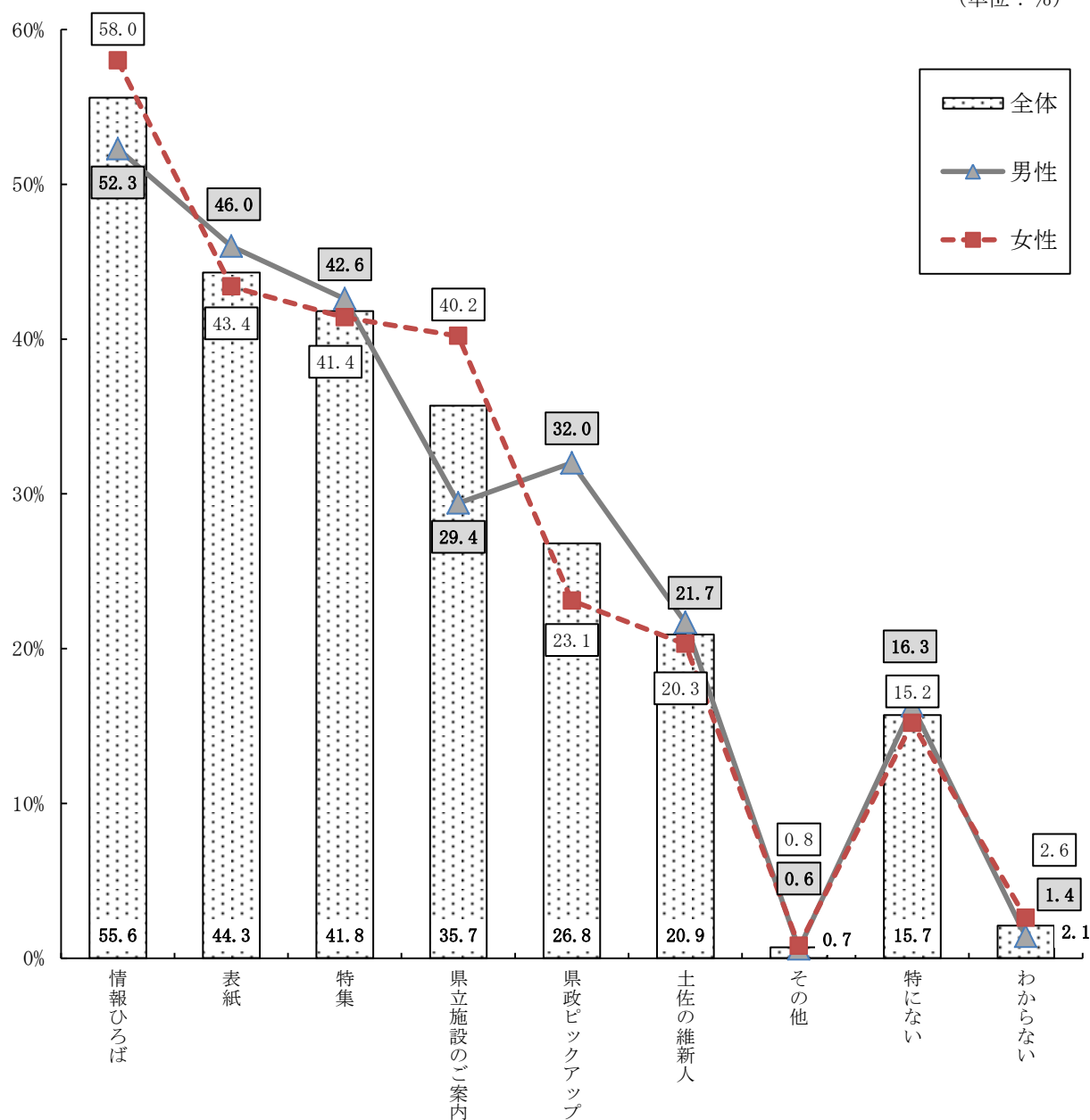
次いで「表紙」が 44.3%、「特集」が 41.8% と続いている。

【性別】

「県立施設のご案内」では、女性が男性より 10.8 ポイント高くなっている。

《総合・性別》

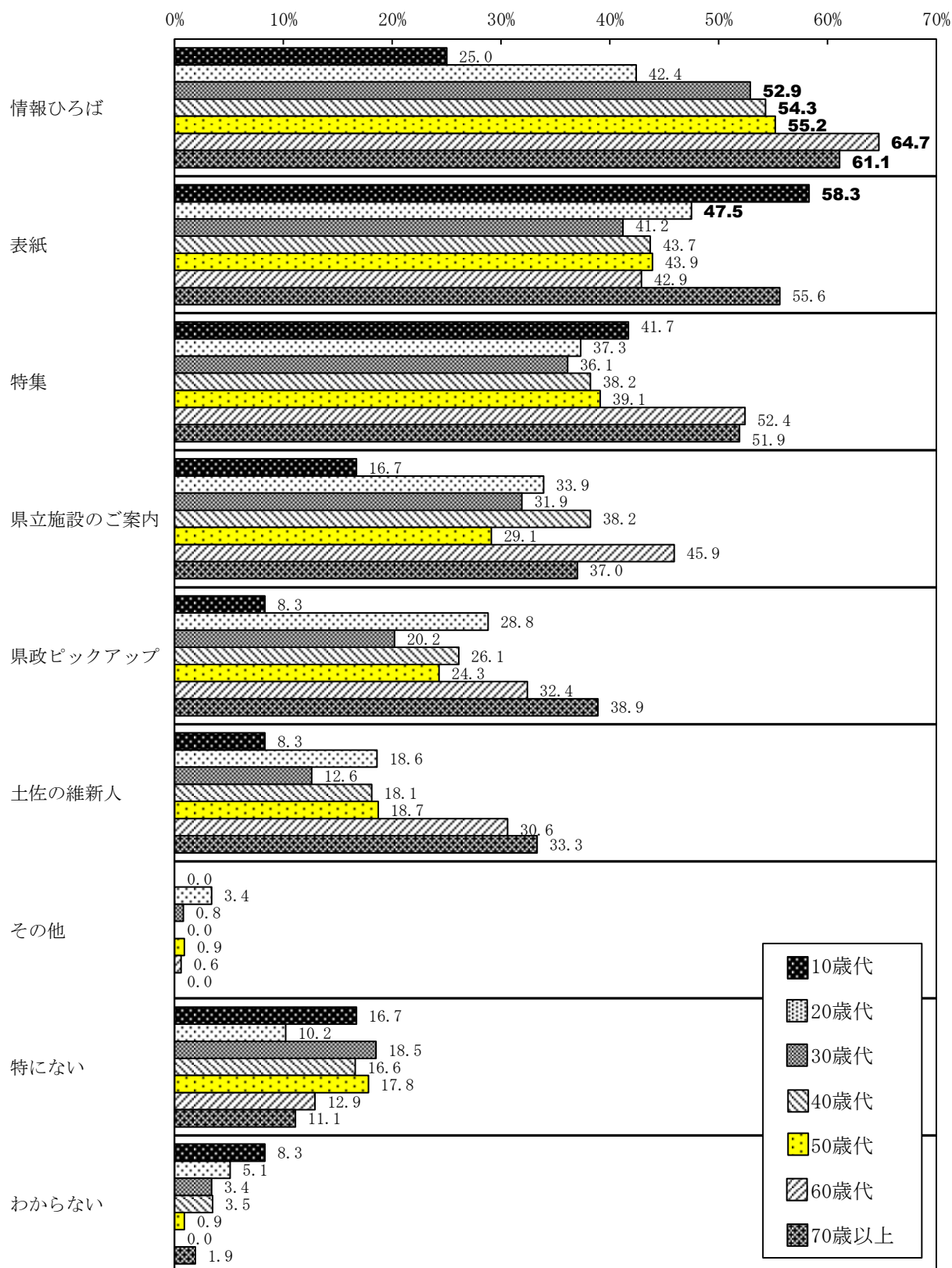
(単位：%)



【年代別】

10歳代、20歳代では「表紙」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「情報ひろば」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：％)

項目		表紙	県政ピックアップ	特集	土佐の維新人	情報ひろば	県立施設のご案内	その他	特にない	わからない
属性										
職業別	農林業	55.6	40.7	48.1	29.6	63.0	31.5	0.0	14.8	1.9
	漁業	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	48.6	21.6	32.4	21.6	45.9	27.0	0.0	27.0	2.7
	事務職	44.7	25.8	40.2	20.5	51.5	40.9	3.0	17.4	0.8
	技術職	43.6	28.9	40.9	18.8	60.4	34.9	0.0	13.4	2.0
	労務職	39.8	26.2	45.6	19.4	55.3	33.0	1.0	18.4	1.9
	管理職	41.7	22.2	33.3	16.7	44.4	33.3	0.0	30.6	2.8
	自由業	41.7	33.3	75.0	25.0	50.0	16.7	0.0	8.3	0.0
	主婦・主夫	41.3	21.2	44.2	23.1	56.7	43.3	0.0	12.5	2.9
	学生	62.5	18.8	31.3	6.3	37.5	18.8	0.0	6.3	12.5
	無職	43.1	34.3	50.0	30.4	62.7	43.1	0.0	12.7	1.0
	その他	44.4	18.9	33.3	12.2	53.3	30.0	1.1	14.4	3.3
広域市町村圏別	高知市	42.4	26.3	46.4	19.6	61.3	38.5	1.2	11.4	2.7
	安芸広域圏	46.8	24.2	40.3	24.2	48.4	29.0	1.6	19.4	1.6
	南国・香美広域圏	45.1	25.5	41.2	18.6	52.0	40.2	0.0	18.6	2.0
	嶺北広域圏	72.7	45.5	40.9	27.3	54.5	13.6	0.0	18.2	0.0
	仁淀川広域圏	40.3	32.8	38.8	13.4	52.2	41.8	0.0	11.9	1.5
	高吾北広域圏	39.3	14.3	21.4	32.1	46.4	17.9	0.0	21.4	0.0
	高幡広域圏	50.0	31.8	31.8	27.3	50.0	37.9	0.0	27.3	3.0
	幡多広域圏	43.5	23.9	40.2	22.8	50.0	28.3	0.0	19.6	1.1

問 36 副問 3 (副問 3 へ誘導された方のみお答えください。)

県広報紙「さん SUN 高知」の紙面について、魅力的で分かりやすくするには、どのようにすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性がある分かりやすい文章とする」が 33.4% で 1 位になっている。

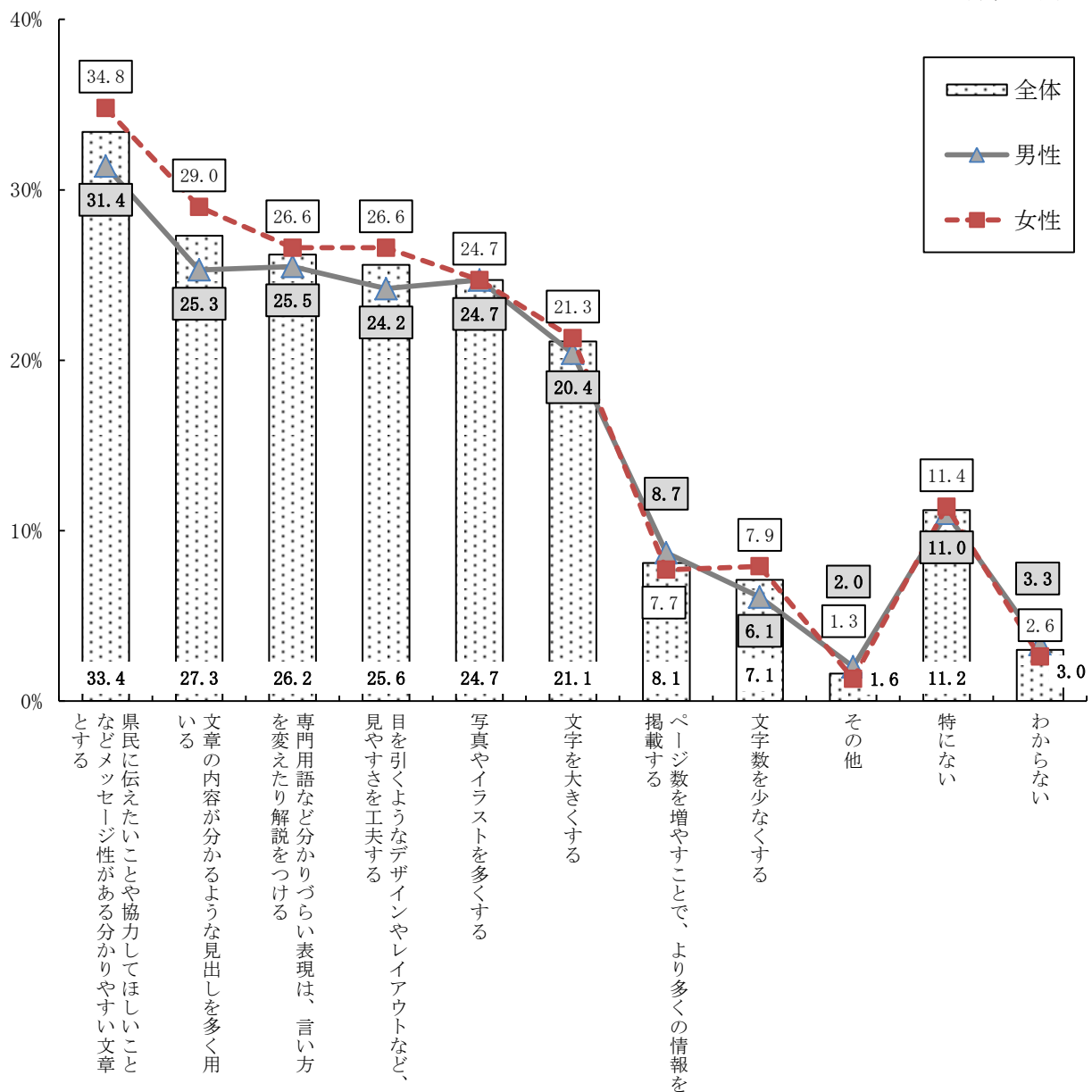
次いで「文章の内容が分かるような見出しを多く用いる」が 27.3%、「専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける」が 26.2% と続いている。

【性別】

男女とも「総合」とほぼ同じ傾向になっている。

《総合・性別》

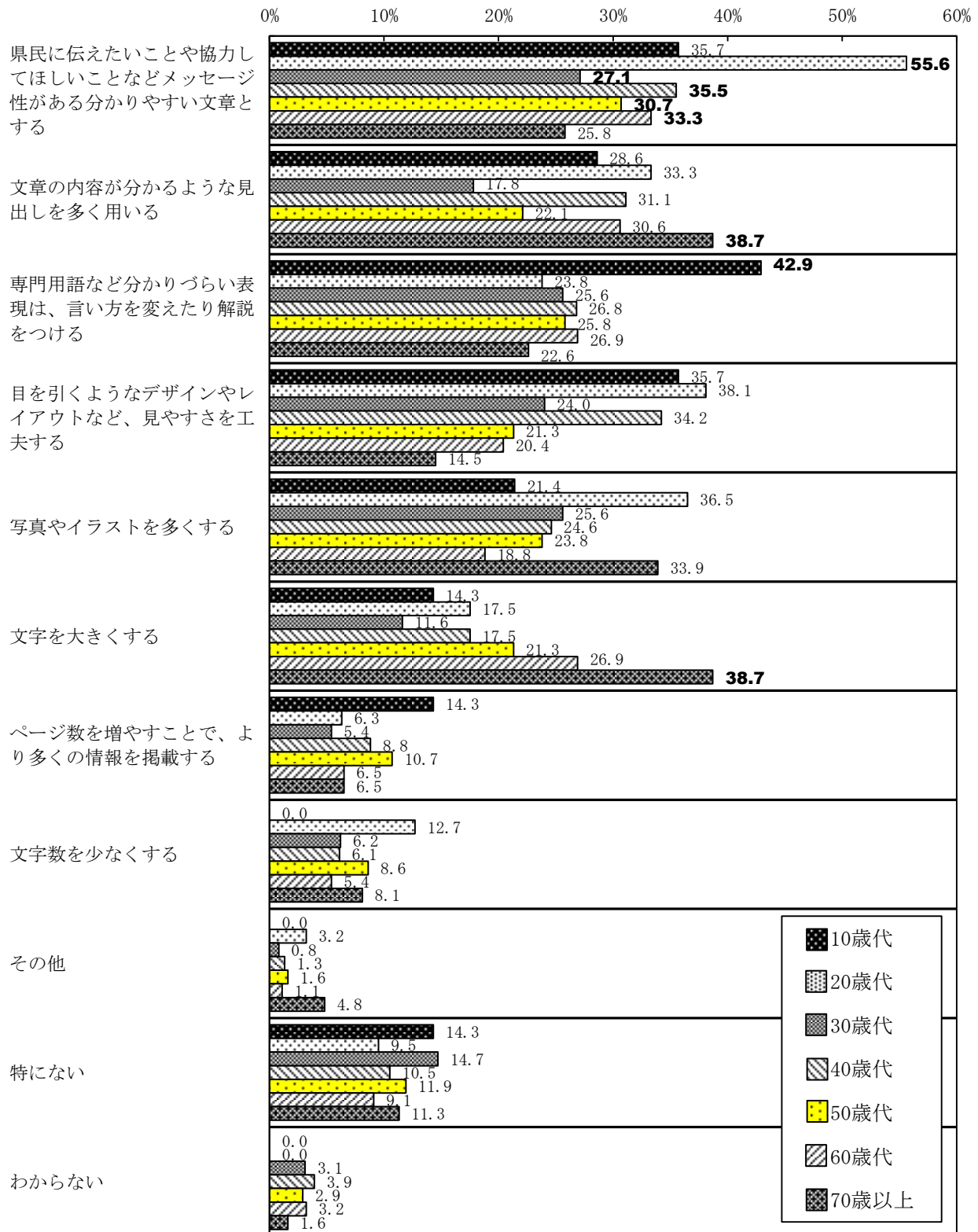
(単位：%)



【年代別】

10歳代では「専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける」が、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性がある分かりやすい文章とする」が、70歳以上では「文字を大きくする」、「文章の内容が分かるような見出しを多く用いる」が同率で1位になっている。

《 年 代 別 》





《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目		文字を大きくする	写真やイラストを多くする	文字数を少なくする	文章の内容が分かるような見出しを多く用いる	目を引くようなデザインやレイアウトなど、見やすさを工夫する	専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける	ある分限りやすい文章とする	県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性がある分限りやすい文章とする	ページの数を増やすことで、より多くの情報を掲載する	その他	特になし	わからない
職業別	農林業	25.8	16.1	3.2	32.3	27.4	24.2	29.0	12.9	0.0	11.3	3.2	
	漁業	20.0	60.0	0.0	40.0	80.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	17.1	19.5	7.3	14.6	14.6	9.8	26.8	9.8	0.0	12.2	9.8	
	事務職	10.1	20.8	6.0	28.2	25.5	23.5	34.9	9.4	0.7	12.1	2.0	
	技術職	20.4	25.3	10.5	20.4	27.2	24.1	34.0	6.8	1.2	12.3	1.2	
	労務職	15.5	27.3	6.4	30.0	25.5	27.3	35.5	10.9	1.8	6.4	3.6	
	管理職	15.4	30.8	15.4	28.2	33.3	23.1	38.5	2.6	2.6	10.3	7.7	
	自由業	53.8	30.8	15.4	53.8	46.2	23.1	53.8	7.7	7.7	7.7	0.0	
	主婦・主夫	22.3	24.1	5.4	25.9	29.5	33.9	33.0	4.5	1.8	8.9	3.6	
	学生	11.8	23.5	5.9	23.5	35.3	41.2	52.9	5.9	0.0	5.9	0.0	
	無職	36.3	26.5	7.1	32.7	15.9	22.1	30.1	8.8	2.7	15.9	3.5	
	その他	24.2	28.3	5.1	30.3	24.2	34.3	29.3	8.1	3.0	12.1	1.0	
広域市町村圏別	高知市	20.1	25.4	8.0	29.2	30.4	25.0	33.5	7.8	2.2	10.7	2.5	
	安芸広域圏	28.8	21.2	7.6	22.7	25.8	27.3	31.8	4.5	0.0	12.1	4.5	
	南国・香美広域圏	25.0	32.8	3.4	30.2	21.6	25.0	29.3	7.8	2.6	15.5	1.7	
	嶺北広域圏	21.7	30.4	17.4	4.3	17.4	21.7	43.5	17.4	4.3	17.4	0.0	
	仁淀川広域圏	15.5	18.3	5.6	19.7	25.4	33.8	42.3	11.3	0.0	14.1	2.8	
	高吾北広域圏	17.9	17.9	7.1	21.4	10.7	21.4	35.7	7.1	0.0	14.3	7.1	
	高幡広域圏	15.7	17.1	8.6	25.7	14.3	28.6	27.1	7.1	0.0	7.1	2.9	
幡多広域圏	23.8	25.7	5.0	32.7	23.8	26.7	34.7	8.9	0.0	5.9	5.9		

問 37 県広報紙「さんSUN高知」を充実するために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】 「日常生活で役立つ情報を優先的に紹介する」が47.5%で1位になっている。

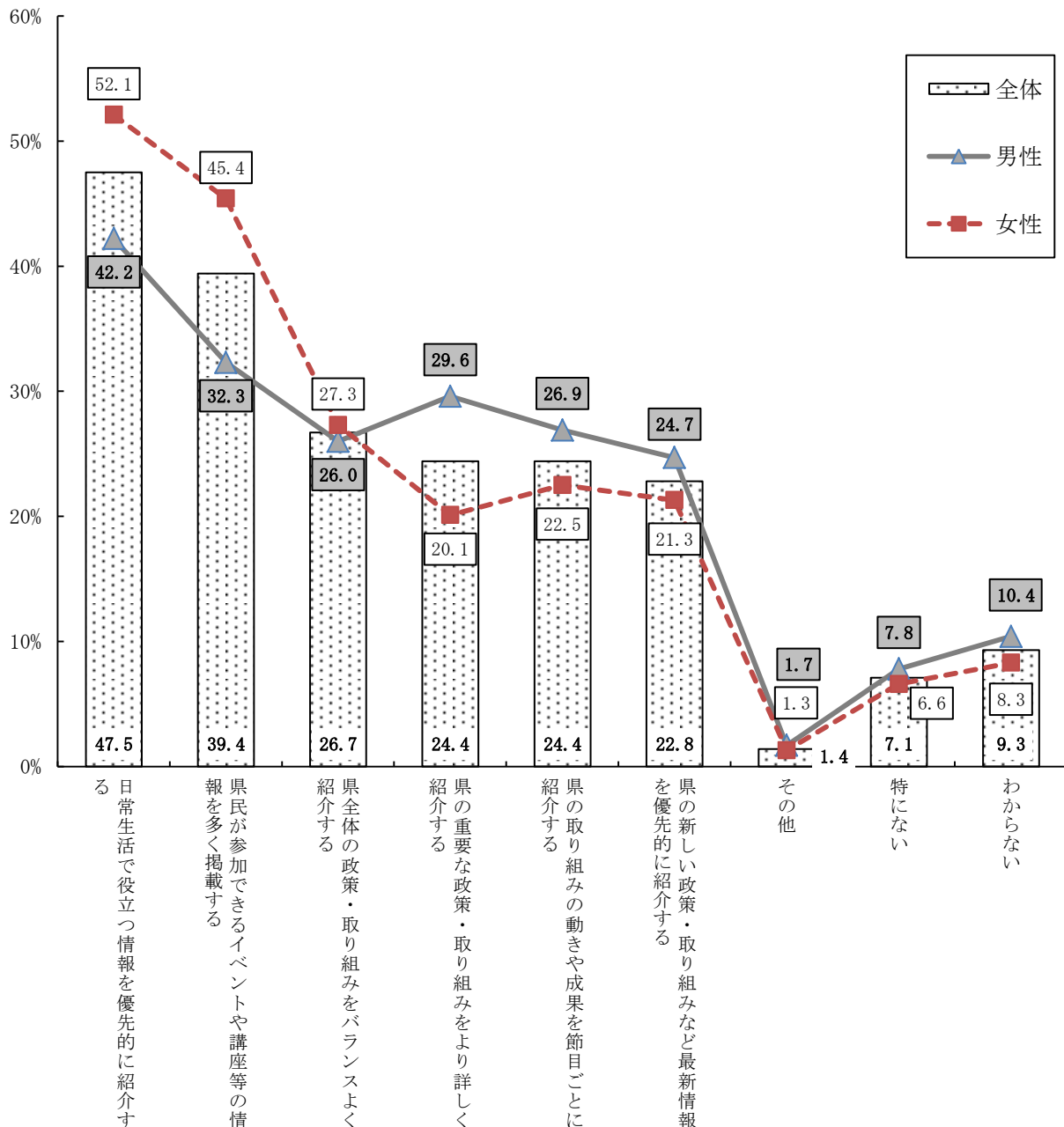
次いで「県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する」が39.4%、「県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する」が26.7%と続いている。

【性別】

男女とも「日常生活で役立つ情報を優先的に紹介する」、「県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する」が続いており、次いで男性では「県の重要な政策・取り組みをより詳しく紹介する」が、女性では「県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する」が続いている。

《総合・性別》

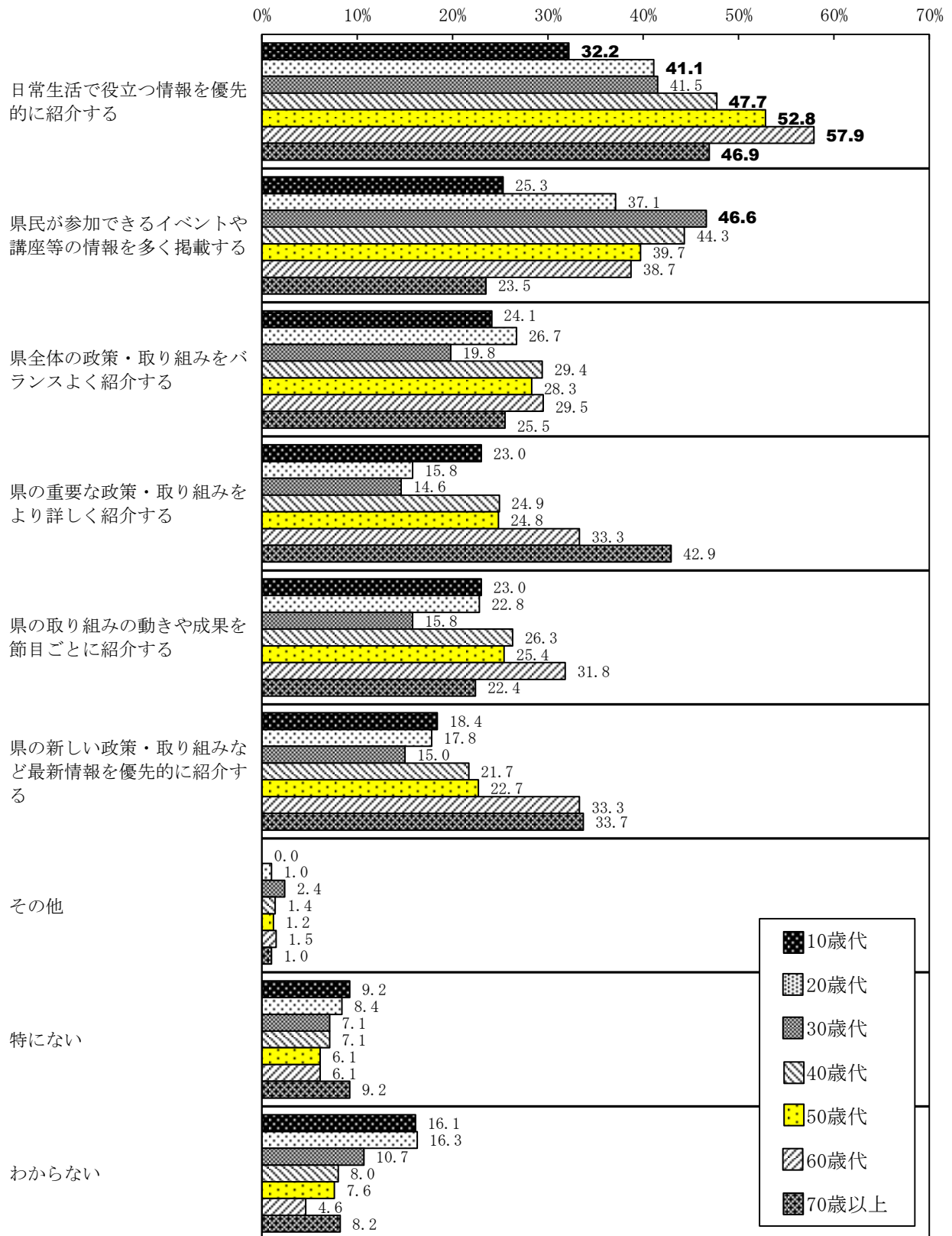
(単位：%)



【年代別】

30歳代を除くすべての年代で「日常生活で役立つ情報を優先的に紹介する」が、30歳代では「県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属性		項目	県の重要な政策・取り組みをより詳しく紹介する	県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する	県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する	県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する	日常生活で役立つ情報を優先的に紹介する	県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する	その他	特になし	わからない
職業別	農林業	38.1	24.7	35.1	25.8	46.4	19.6	0.0	6.2	5.2	
	漁業	0.0	33.3	33.3	11.1	66.7	44.4	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	24.6	17.4	26.1	21.7	49.3	39.1	1.4	8.7	11.6	
	事務職	20.6	31.2	19.3	22.0	49.5	49.1	3.2	5.5	6.9	
	技術職	17.0	29.1	20.6	24.1	49.3	46.5	1.4	7.4	6.7	
	労務職	23.6	32.5	23.2	26.1	46.8	36.0	0.5	4.4	12.8	
	管理職	37.5	26.6	21.9	29.7	43.8	42.2	6.3	9.4	7.8	
	自由業	31.8	22.7	22.7	36.4	50.0	36.4	0.0	0.0	9.1	
	主婦・主夫	21.5	24.2	20.1	24.8	58.4	49.7	2.0	6.7	8.1	
	学生	17.2	20.7	16.4	21.6	35.3	27.6	0.0	8.6	16.4	
	無職	37.0	24.9	28.0	25.9	43.4	28.6	1.1	10.1	9.0	
その他	23.5	23.5	23.5	24.1	48.2	41.8	0.0	8.8	11.8		
広域市町村圏別	高知市	22.4	27.6	22.3	24.4	52.3	44.6	1.4	6.9	7.7	
	安芸広域圏	20.2	28.9	25.4	25.4	37.7	31.6	0.0	8.8	15.8	
	南国・香美広域圏	24.0	23.6	26.6	24.0	48.0	37.1	2.2	6.6	11.8	
	嶺北広域圏	44.1	38.2	32.4	26.5	52.9	32.4	0.0	11.8	0.0	
	仁淀川広域圏	23.0	21.4	15.9	27.0	44.4	46.0	2.4	7.9	7.1	
	高吾北広域圏	39.2	15.7	29.4	29.4	43.1	35.3	2.0	5.9	11.8	
	高幡広域圏	30.9	35.0	17.1	26.0	45.5	34.1	0.8	4.1	9.8	
幡多広域圏	24.4	25.4	23.4	20.9	40.8	30.8	1.0	8.0	10.4		

問 38 幼児教育について、どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。

(3つまで○印)

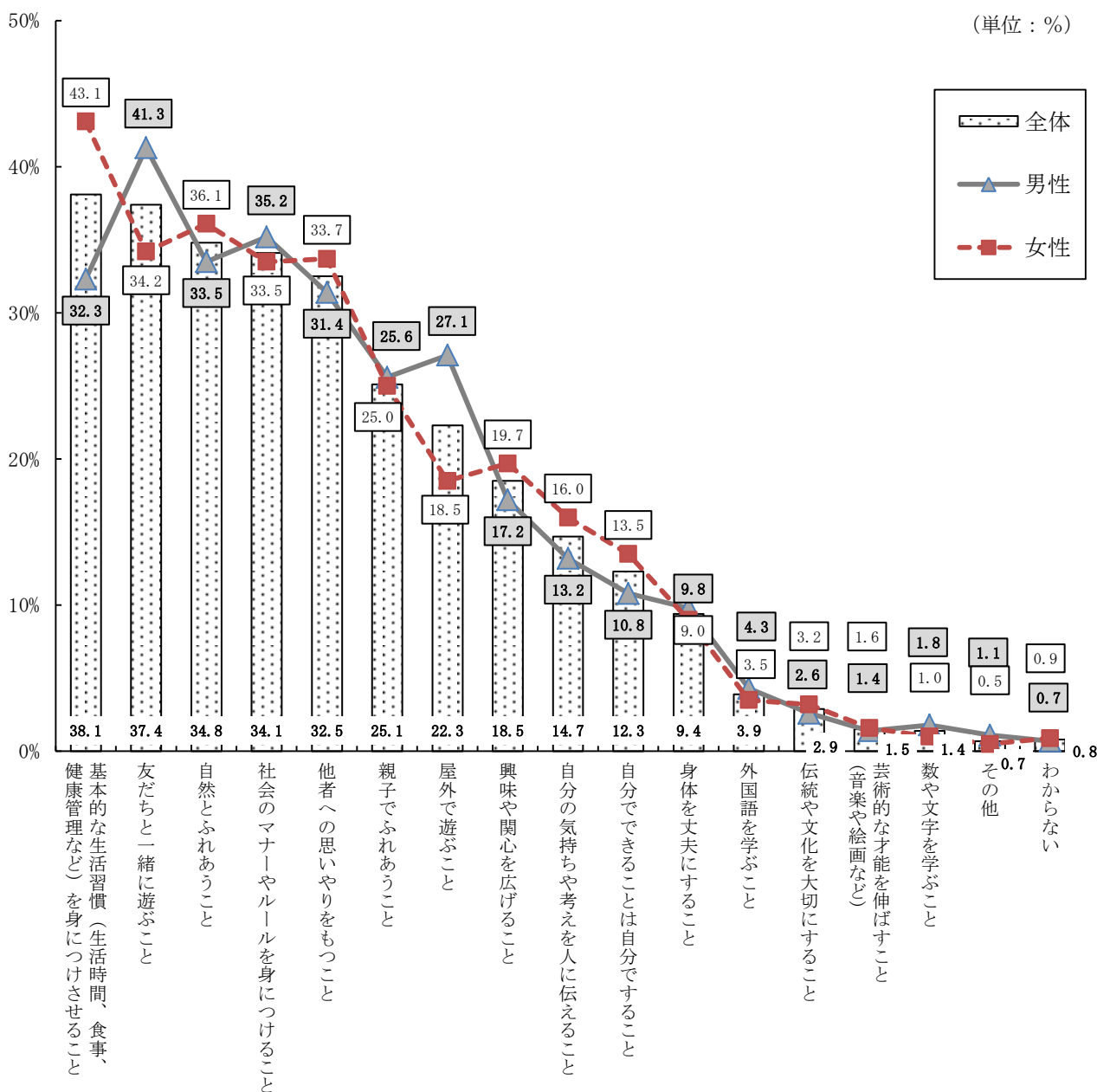
【総合】 「基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせること」が38.1%で1位になっている。

次いで「友だちと一緒に遊ぶこと」が37.4%、「自然とふれあうこと」が34.8%と続いている。

【性別】

男性では「友だちと一緒に遊ぶこと」が、女性では「基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせること」が1位で、次いで男性では「社会のマナーやルールを身につけること」、「自然とふれあうこと」が、女性では「自然とふれあうこと」、「友だちと一緒に遊ぶこと」が続いている。

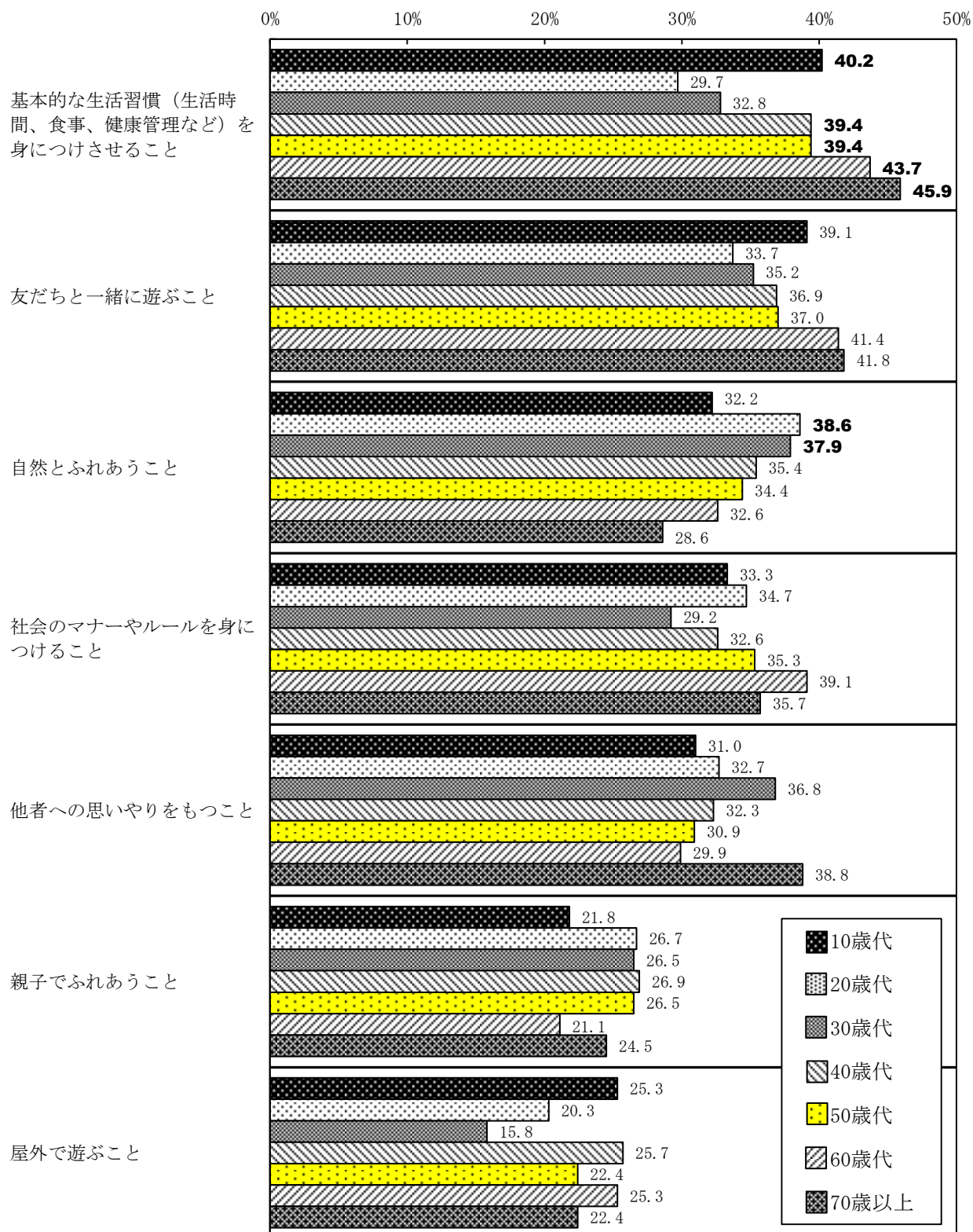
《総合・性別》

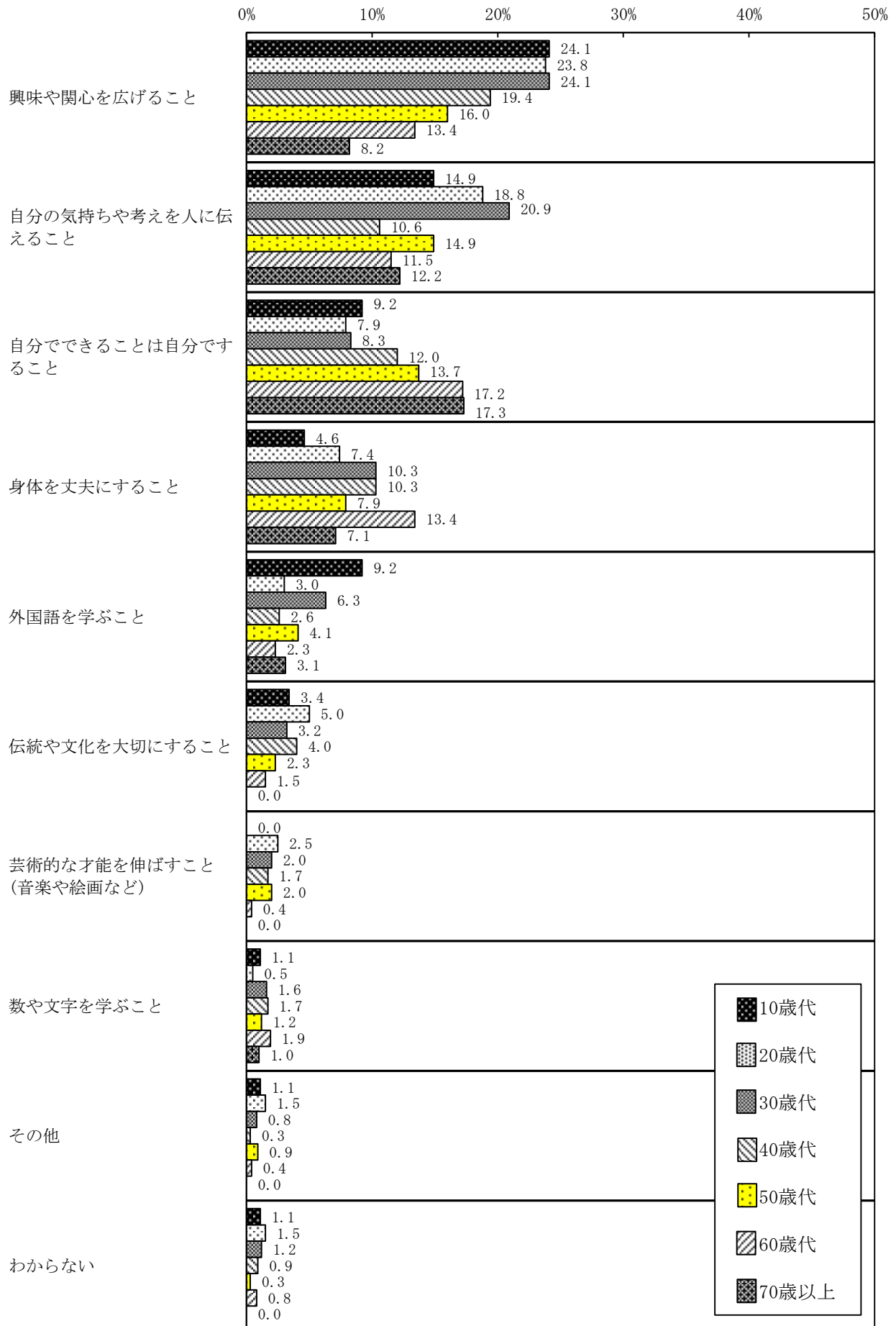


【年代別】

10歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせること」が、20歳代、30歳代では「自然とふれあうこと」が1位になっている。

《 年代別 》





《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

項目 属性		屋外で遊ぶこと	友だちと一緒に遊ぶこと	自然とふれあうこと	親子でふれあうこと	身体を丈夫にすること	基本的な生活習慣(生活時間、食事、健康管理など)を身につけさせること	他者への思いやりをもつこと	自分の気持ちや考えを人に伝えること	自分で行えることは自分ですること	社会のマナーやルールを身につけること	伝統や文化を大切にすること	数や文字を学ぶこと	外国語を学ぶこと	芸術的な才能を伸ばすこと(音楽や絵画など)	興味や関心を広げること	その他	わからない	
		職業別		農林業	27.8	33.0	37.1	19.6	17.5	35.1	27.8	13.4	14.4	37.1	2.1	2.1	6.2	1.0	10.3
		漁業	22.2	44.4	44.4	33.3	11.1	33.3	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
		商工サービス業 業自営	24.6	40.6	39.1	24.6	14.5	27.5	29.0	14.5	10.1	31.9	2.9	2.9	2.9	1.4	18.8	1.4	0.0
		事務職	20.6	31.2	34.9	28.9	7.3	41.3	34.9	16.1	8.3	34.4	4.1	1.4	5.0	2.3	24.3	0.5	0.0
		技術職	23.8	38.7	35.1	26.6	5.7	41.1	31.9	19.9	11.3	34.8	2.8	0.7	2.8	1.4	19.1	0.4	0.4
		労務職	20.2	34.5	34.5	22.7	9.4	34.5	32.5	14.3	13.8	39.9	2.5	2.0	4.4	1.0	23.2	0.5	1.5
		管理職	32.8	39.1	26.6	28.1	10.9	34.4	31.3	10.9	7.8	35.9	6.3	4.7	4.7	4.7	12.5	0.0	0.0
		自由業	18.2	59.1	45.5	31.8	4.5	27.3	31.8	0.0	27.3	36.4	4.5	0.0	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0
		主婦・主夫	18.1	36.9	34.9	24.8	12.1	48.3	39.6	10.7	14.1	31.5	2.7	1.3	3.4	0.7	13.4	1.3	0.0
		学生	22.4	34.5	37.9	20.7	6.9	36.2	31.9	16.4	7.8	32.8	5.2	1.7	7.8	1.7	24.1	0.9	1.7
		無職	21.2	41.3	30.7	25.4	10.6	40.2	34.4	9.5	15.9	32.3	1.1	1.1	1.6	0.5	15.3	0.5	2.1
		その他	23.5	42.4	35.9	27.6	9.4	32.9	28.8	17.1	12.9	32.4	1.8	0.0	1.8	2.4	17.6	1.8	1.2
広域市町村圏別		高知市	23.0	37.9	32.4	25.5	9.3	39.9	32.1	13.4	12.1	36.2	2.8	1.4	3.8	1.5	19.2	0.7	0.7
		安芸広域圏	17.5	28.9	36.8	16.7	16.7	39.5	35.1	11.4	16.7	36.0	2.6	0.9	4.4	0.9	18.4	0.0	1.8
		南国・香美広域圏	17.5	38.4	37.6	31.0	7.9	31.9	34.9	17.5	10.0	31.9	5.2	0.9	3.5	1.3	19.2	1.3	0.4
		嶺北広域圏	20.6	44.1	26.5	32.4	8.8	35.3	32.4	14.7	11.8	32.4	2.9	0.0	5.9	0.0	23.5	0.0	5.9
		仁淀川広域圏	25.4	38.1	40.5	25.4	7.9	38.9	27.8	14.3	7.9	38.9	1.6	1.6	4.0	2.4	16.7	0.8	0.0
		高吾北広域圏	31.4	31.4	43.1	19.6	11.8	51.0	21.6	9.8	7.8	33.3	2.0	2.0	3.9	2.0	15.7	0.0	0.0
		高幡広域圏	25.2	34.1	37.4	30.1	6.5	41.5	33.3	13.8	15.4	28.5	2.4	1.6	5.7	1.6	17.9	0.0	0.8
		幡多広域圏	23.4	40.8	34.8	20.9	10.0	34.3	35.3	19.9	13.9	31.8	2.0	1.5	3.0	1.5	17.4	1.0	1.0



問 39 幼児教育において、家庭の果たす役割として、どのようなことが重要だと思いますか。

(3つまで○印)

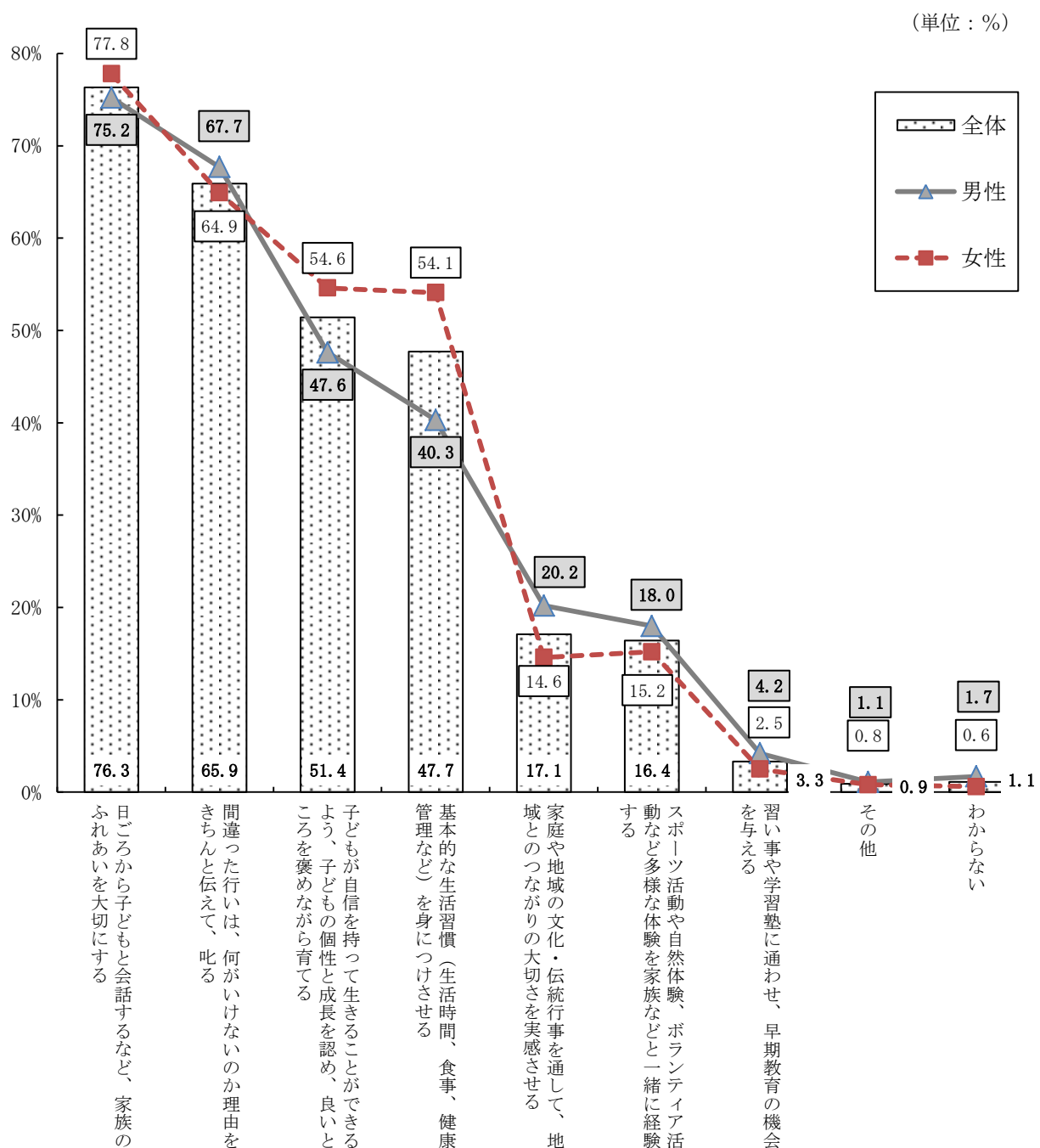
【総合】 「日ごろから子どもと会話するなど、家族のふれあいを大切にする」が76.3%で1位になっている。

次いで「間違っただ行いは、何がいけないのか理由をきちんと伝えて、叱る」が65.9%、「子どもが自信を持って生きることができるよう、子どもの個性と成長を認め、良いところを褒めながら育てる」が51.4%と続いている。

【性別】

「基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせる」では、女性が男性より13.8ポイント高くなっている。

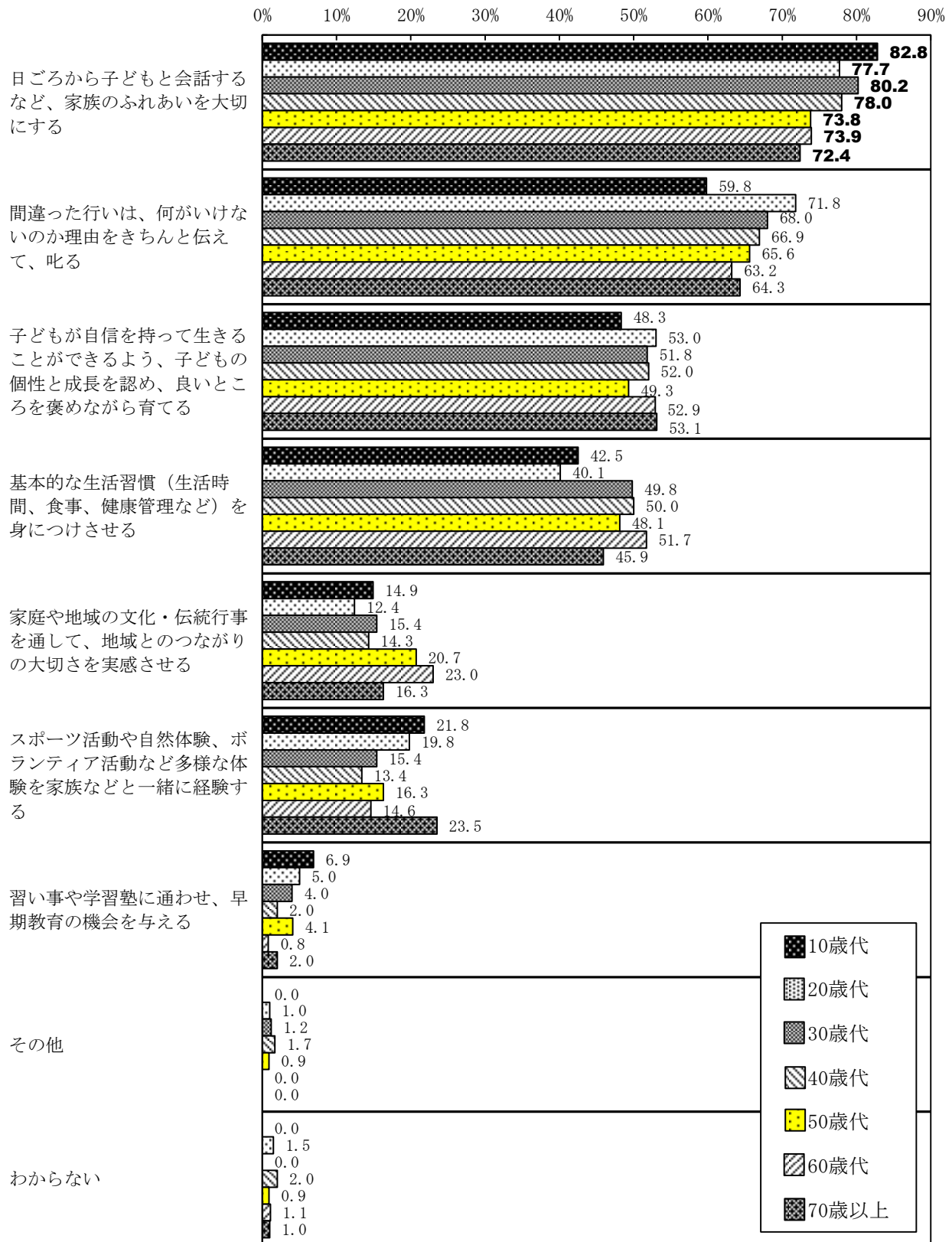
《総合・性別》



【年代別】

すべての年代で「日ごろから子どもと会話するなど、家族のふれあいを大切にする」が1位になっている。

《 年 代 別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属 性		項 目	日ごろから子どもと会話するなど、家族のふれあいを大切に する	褒めながら育てる	子どもが自信を持って生きることができるよう、子どもの個性と成長を認め、良いところを	子どもが自信を持って生きる ことができるよう、子どもの個性と成長を認め、良いところを	間違った行いは、何がいけないのか理由をきちんと伝えて、叱る	基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせる	スポーツ活動や自然体験、ボランティア活動など多様な体験を家族などと一緒に経験する	家庭や地域の文化・伝統行事を通して、地域とのつながりの大切さを実感させる	習い事や学習塾に通わせ、早期教育の機会を与える	その他	わからない
職業別	農林業	78.4	38.1	68.0	54.6	16.5	25.8	1.0	0.0	0.0			
	漁業	100.0	44.4	77.8	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0			
	商工サービス業自営	72.5	49.3	71.0	31.9	13.0	26.1	7.2	1.4	0.0			
	事務職	79.4	47.7	65.1	58.7	14.7	17.4	2.3	0.9	0.5			
	技術職	77.0	57.4	68.1	44.3	20.9	16.0	3.5	1.1	0.7			
	労務職	74.9	48.8	71.9	41.9	13.8	19.2	5.4	1.0	2.0			
	管理職	75.0	48.4	54.7	60.9	21.9	15.6	6.3	0.0	0.0			
	自由業	72.7	81.8	77.3	36.4	9.1	4.5	4.5	4.5	0.0			
	主婦・主夫	77.2	51.7	61.1	63.1	14.8	13.4	1.3	0.7	0.7			
	学生	85.3	50.0	58.6	43.1	20.7	12.1	5.2	0.9	0.9			
	無職	66.7	56.6	66.7	44.4	15.9	15.9	3.2	1.1	2.6			
	その他	80.0	50.6	66.5	41.2	15.9	18.8	0.6	0.6	1.8			
広域市町村圏別	高知市	77.5	52.3	67.7	51.1	16.2	14.4	2.8	0.6	0.7			
	安芸広域圏	66.7	46.5	69.3	45.6	17.5	21.9	3.5	1.8	0.0			
	南国・香美広域圏	76.9	53.3	61.6	46.3	15.7	17.0	3.9	1.3	1.3			
	嶺北広域圏	55.9	58.8	64.7	38.2	20.6	29.4	2.9	0.0	5.9			
	仁淀川広域圏	77.8	51.6	62.7	42.9	24.6	18.3	4.8	1.6	1.6			
	高吾北広域圏	80.4	51.0	74.5	39.2	13.7	19.6	3.9	0.0	3.9			
	高幡広域圏	78.9	48.8	65.9	52.0	13.8	18.7	4.1	0.8	1.6			
	幡多広域圏	80.1	50.7	63.7	44.8	14.4	20.4	2.5	0.5	0.5			

問 40 問 39 で重要と答えた家庭の役割は、現在の社会において十分にできていると思いますか。

(1つだけ○印)

【総合】 「不十分である」と「全くできていない」を合わせた割合が 57.2%となっており、「十分できている」と「概ねできている」を合わせた割合の 24.7%を 32.5 ポイント上回っている。

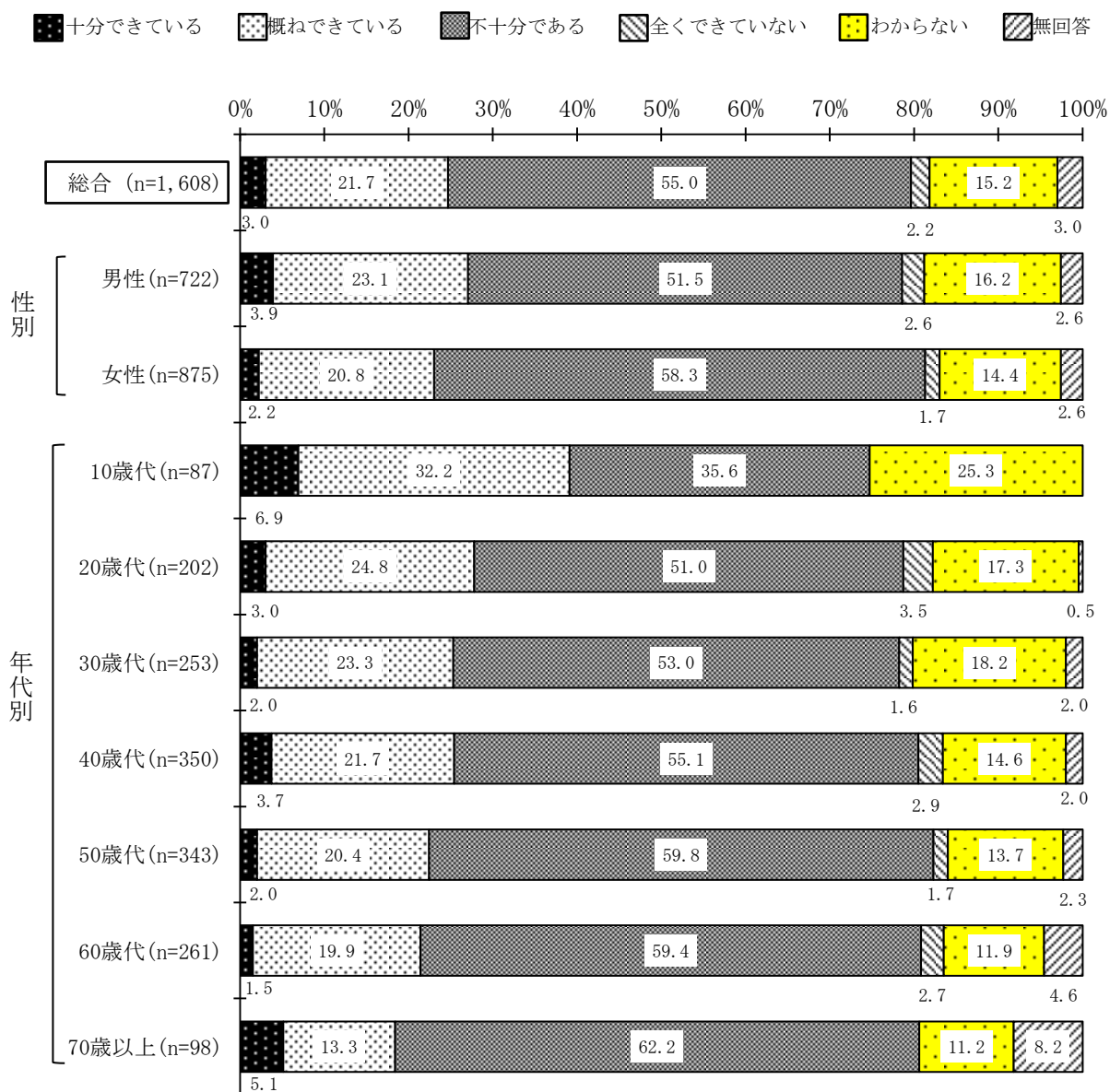
【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

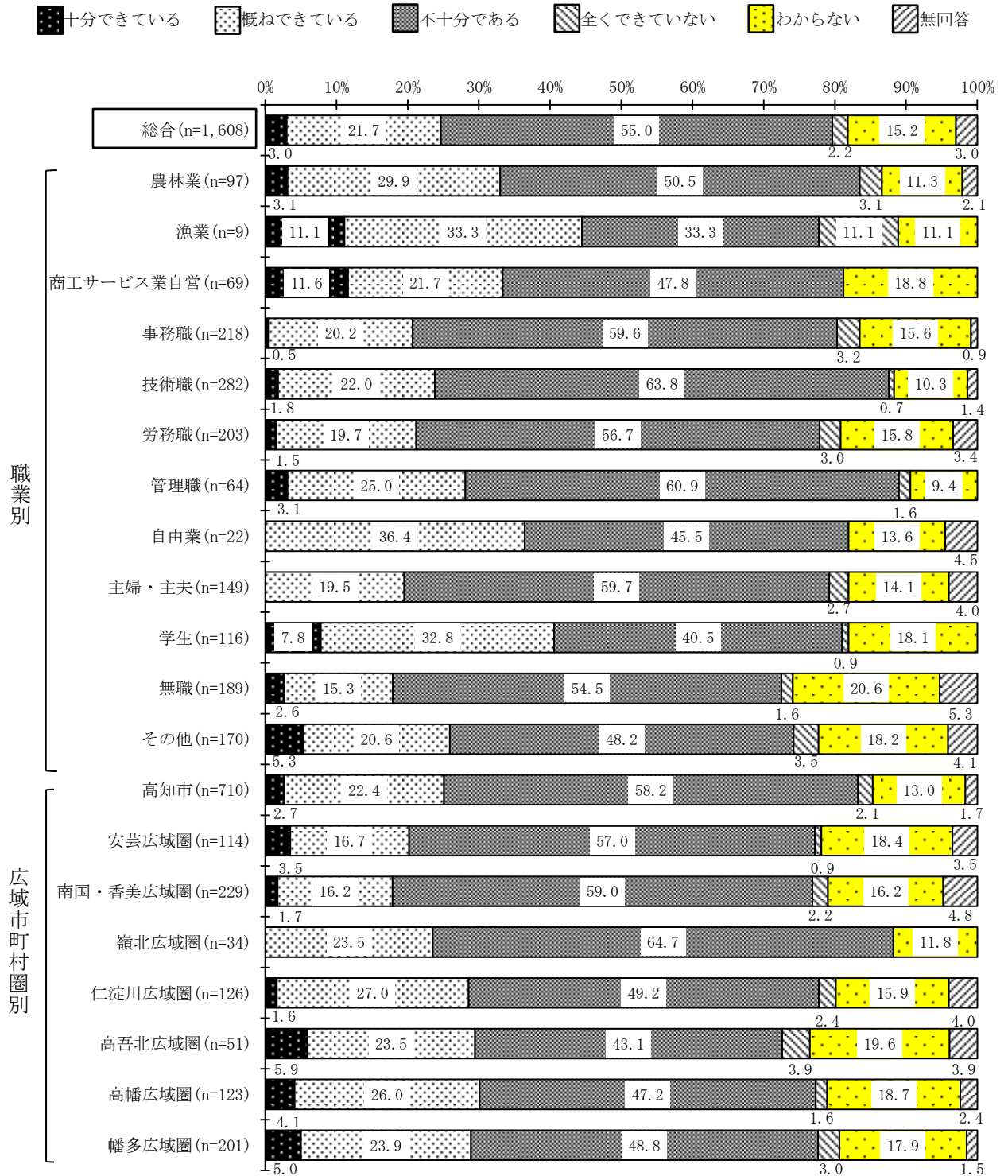
【年代別】

すべての年代で「不十分である」が1位になっている。

《総合・性別・年代別》



《職業別・広域市町村圏別》



問 40 副問 1 (問 40 で「3・4」を選んだ方のみお答えください。)

現在の社会において、家庭の役割ができていないと思う要因は何だと思いますか。(3つまで○印)

【総合】 「共働きや長時間労働等により、多忙な保護者が増えたこと」が50.9%で1位になっている。

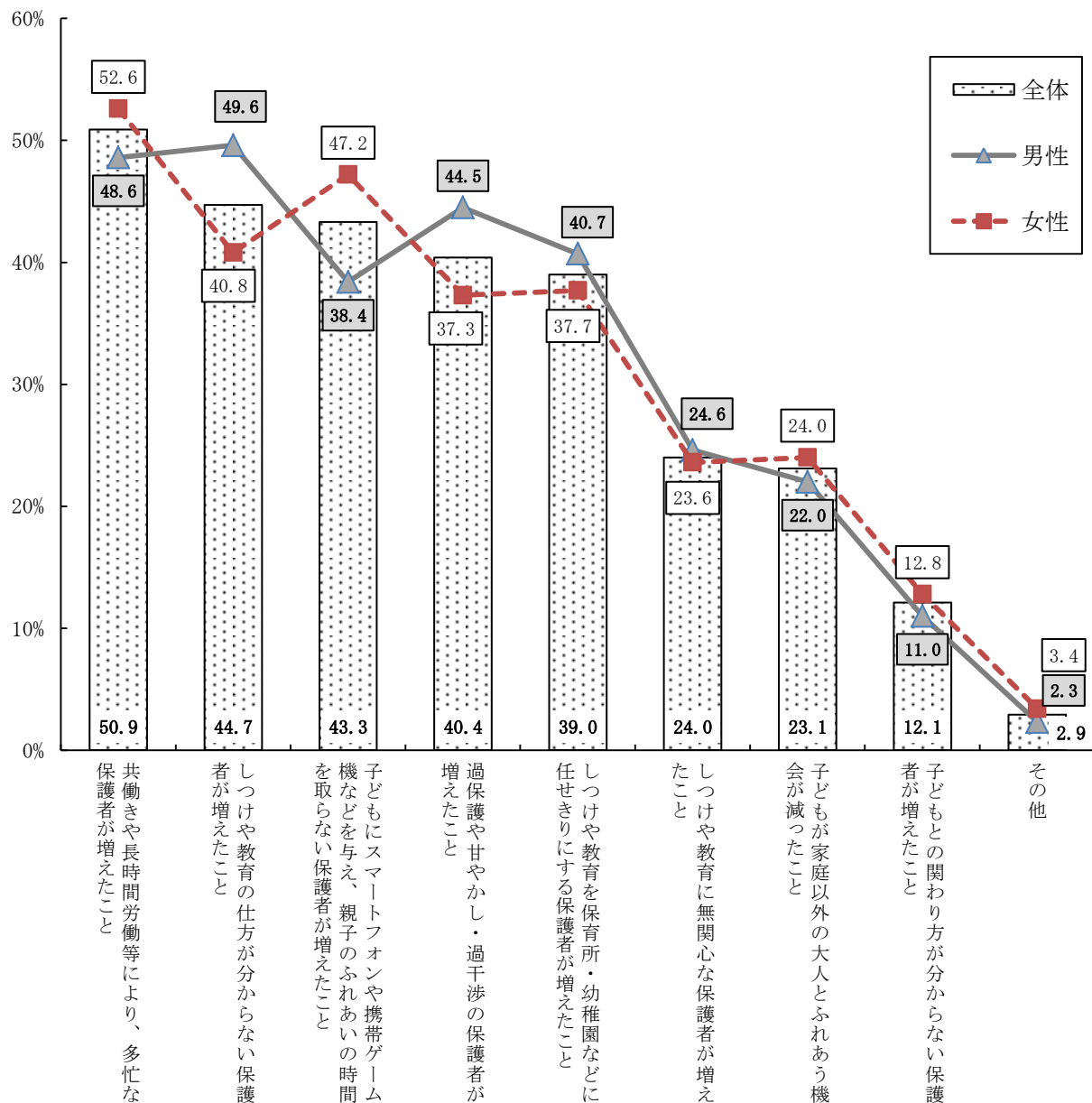
次いで「しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えたこと」が44.7%、「子どもにスマートフォンや携帯ゲーム機などを与え、親子のふれあいの時間を取らない保護者が増えたこと」が43.3%と続いている。

【性別】

男性では「しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えたこと」が、女性では「共働きや長時間労働等により、多忙な保護者が増えたこと」が1位で、次いで男性では「共働きや長時間労働等により、多忙な保護者が増えたこと」、「過保護や甘やかし・過干渉の保護者が増えたこと」が、女性では「子どもにスマートフォンや携帯ゲーム機などを与え、親子のふれあいの時間を取らない保護者が増えたこと」、「しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えたこと」が続いている。

《総合・性別》

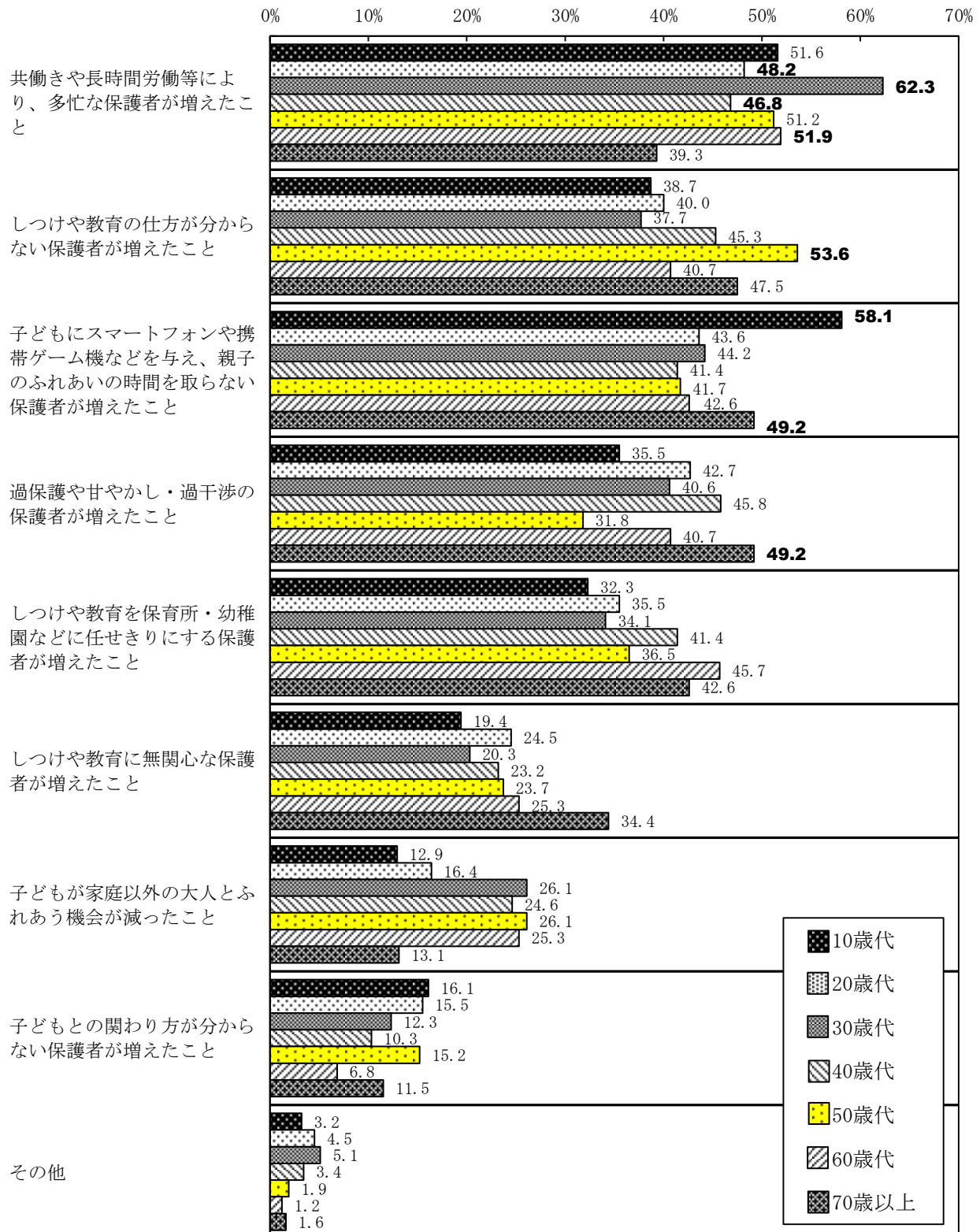
(単位：%)



【年代別】

10歳代、70歳以上では「子どもにスマートフォンや携帯ゲーム機などを与え、親子のふれあいの時間を取らない保護者が増えたこと」が、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代では「共働きや長時間労働等により、多忙な保護者が増えたこと」が、50歳代では「しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えたこと」が1位になっている。70歳以上では「過保護や甘やかし・過干渉の保護者が増えたこと」も同率で1位になっている。

《 年代別 》



《職業別・広域市町村圏別》

(単位：%)

属性		項目	しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えたこと	過保護や甘やかし・過干渉の保護者が増えたこと	しつけや教育に無関心な保護者が増えたこと	しつけや教育を保育所・幼稚園などに任せきりにする保護者が増えたこと	共働きや長時間労働等により、多忙な保護者が増えたこと	子どもとの関わり方が分からない保護者が増えたこと	子どもが家庭以外の大人とふれあう機会が減ったこと	子どもにスマートフォンや携帯ゲーム機を与え、親子のふれあいの時間を取らない保護者が増えたこと	その他
職業別	農林業	40.4	38.5	19.2	44.2	50.0	5.8	28.8	40.4	0.0	
	漁業	100.0	75.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
	商工サービス業自営	60.6	45.5	18.2	51.5	45.5	9.1	18.2	33.3	0.0	
	事務職	46.7	37.2	24.1	42.3	48.9	9.5	29.2	33.6	7.3	
	技術職	50.0	34.1	20.3	34.1	58.2	15.4	23.6	45.1	1.6	
	労務職	37.2	52.9	27.3	31.4	48.8	10.7	25.6	47.9	0.8	
	管理職	47.5	32.5	32.5	40.0	47.5	17.5	35.0	30.0	0.0	
	自由業	60.0	40.0	10.0	30.0	50.0	10.0	40.0	30.0	10.0	
	主婦・主夫	44.1	34.4	26.9	40.9	51.6	8.6	18.3	47.3	3.2	
	学生	33.3	37.5	25.0	41.7	52.1	20.8	10.4	50.0	2.1	
	無職	46.2	40.6	20.8	41.5	50.0	14.2	23.6	48.1	2.8	
	その他	35.2	48.9	29.5	42.0	46.6	10.2	13.6	50.0	5.7	
広域市町村圏別	高知市	44.6	37.6	26.4	37.4	55.1	11.2	23.4	45.3	2.3	
	安芸広域圏	43.9	39.4	30.3	34.8	53.0	13.6	31.8	36.4	1.5	
	南国・香美広域圏	47.9	41.4	17.9	36.4	52.1	11.4	21.4	42.9	4.3	
	嶺北広域圏	31.8	50.0	40.9	27.3	45.5	9.1	22.7	45.5	0.0	
	仁淀川広域圏	46.2	40.0	20.0	50.8	43.1	15.4	16.9	47.7	3.1	
	高吾北広域圏	37.5	41.7	29.2	37.5	50.0	12.5	20.8	50.0	0.0	
	高幡広域圏	38.3	50.0	20.0	51.7	45.0	10.0	20.0	41.7	6.7	
	幡多広域圏	44.2	45.2	19.2	41.3	41.3	14.4	26.0	36.5	2.9	